the GazettE ナイトメア LM.C Plastic Tree ムック ViViD DEATHBIE

平成9年12月5日第三郵便物認可平成23年9月1日発行第223号(毎月1回1

SHOXX

9月号 Vol.223
2011 月刊 980YEN

2大特典

#001特別付録:両面ピンナッ
the GazettE
ViViD
#002応募者全員サービス:
ご希望のフォトカードをサービス

the GazettE

杂志迷
zazhimi.com

SPECIAL FRONT 28 PAGES EDITION

ナイトメア LM.C Plastic Tree ムック ViViD DEATHBIE
THE 東京 HIGH BLACK ギルガメッシュ ダウト メガマソ マコト

蝴蝶网
hudie.com

AYABIE TOUR'11
SUMMER DIVER
7月24日(日)高田馬場AREA
OPEN 17:30 / START 18:00
7月28日(木)横浜F.A.D
OPEN 18:30 / START 19:00
8月01日(月)札幌KRAPS HALL
OPEN 18:30 / START 19:00
8月03日(水)仙台darwin
OPEN 18:30 / START 19:00
8月22日(月)名古屋
OPEN 18:30 / START 19:00
8月23日(火)梅田AKASO
OPEN 18:30 / START 19:00
8月25日(木)博多DRUM Be-1
OPEN 18:30 / START 19:00
8月27日(土)岡山IMAGE
OPEN 16:30 / START 17:00
8月28日(日)四日市CLUB CHAOS
OPEN 14:30 / START 15:00
8月30日(火)赤坂BLITZ
START 18:00
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
AYAB
MAJOR DEBUT SINGLE
「流星」
2011.8.24
on sal
杂志迷
zazhimi.com
初回限定盤 A（CD＋DVD） CD：1. 流星 2.Lilia DVD：「流星」Music Clip TFCC-89340 / ¥1,890(tax in)
初回限定盤 B（CD＋DVD） CD：1. 流星 2.Lilia DVD：「Lilia」Music Clip TFCC-89341 / ¥1,890(tax in)
通常盤（CD） CD：1. 流星 2.Lilia 3.MARBLE TFCC-89342 / ¥1,260(tax in)
AYABIE official web site http://www.ayabie.co.jp

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

LM.C TOUR 2011
- CRAZY A GO GO GO TO THE 5TH ANNIVERSARY -
8月5日(金) Zepp NAGOYA OPEN 17:30 / STRAT 18:00
8月6日(土) Zepp OSAKA OPEN 16:30 / STRAT 17:00
8月10日(水) Zepp TOKYO OPEN 17:45 / STRAT 18:30
■前売料金￥5,000(税込) ※当日ドリンク代￥500別途
※名古屋・大阪公演は指定席、東京公演は指定席／1F後方立見になります。
チケット好評発売中！
2012.1.8(sun)
OPEN 16:00
START 17:00
～Go To The 5th Anniversary FINAL～
★Rock the PARTY★ 2012
日本武道
NEW SINGLE Release!!
「星の在処。-ホシノアリカ-」
2011.7.27[wed] Release!!
「週刊少年ジャンプ」連載中、シリーズ累計900万部を超える人気アニメ「ぬらりひょんの孫～千年魔京～」の主題歌(オープニングテーマ)に決定!
TOKYO MX、YTV、メ～テレ、BS11にて放送中/詳しくは、www.nuramago.jp
OFFICIAL WEB SITE
www.lovely-mocochang.co
杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

NoGoD
New Album
2011.8.3 OUT!!
現実
さぁ、今この現実-ステージ-へ
欠片に続く待望のニュー・アルバム早くも完成!!
現実
【完全限定プレス盤(CD+DVD)】
KICS-91681 ¥3,780(tax in)
【CD】全10曲収録
1. 神風(album version)
2. コワレモノ
3. downer's high!
4. 優しさの意味
5. Raise a Flag
6. 愛してくれ
7. 天馬、空を行くが如く
8. 机上の空論
9. Ⅲ-実存
10. 恒星
【DVD】
Raise a Flag Video Clip
神風 Video Clip
Making
現実
【通常盤(CD)】
KICS-1681 ¥3,150(tax in)
【CD】全11曲収録
1. 神風(album version)
2. コワレモノ
3. downer's high!
4. 優しさの意味
5. Raise a Flag
6. 愛してくれ
7. 天馬、空を行くが如く
8. 机上の空論
9. Ⅲ-実存
10. 恒星
11. アイデンティティー
NoGoD
ONE MAN TOUR 2011
「現実 -stage-」
9/03(土) 渋谷スターラウンジ
9/10(土) 本八幡ROUTE14
9/11(日) 横浜DRAGON CLUB
9/17(土) HEAVEN'SROCK宇都宮VJ-2
9/19(月.祝) 札幌KRAPS HALL
9/20(火) 札幌KRAPS HALL
9/24(土) 仙台HOOK
10/01(土) 名古屋ell.FITSALL
10/02(日) ESAKA MUSE
10/06(木) 岡山IMAGE
10/08(土) 福岡DRUM Be-1
10/09(日) 広島ナミキジャンクション
10/15(土) 渋谷BOXX
その他イベント出演あり、詳細は公式頁にて
レコチョク
「神風」
着うた® 配信中!!
http://www.artpop.org/nogod/indexx.html
Art Pop
KING RECORDS
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

Artemis Classicとメガマソ コラボレートモデル販売決定

シルバーアクセサリーブランドの Artemis Classic
とメガマソのコラボレートモデルを
『2011 Listner's Best Tour』の各会場＆
アルテミスクラシック直営店・公式 HP にて販売！

【販売期間】7月23日(土)～9月30

Gou　　　：「Gloss ～銀を唇へ～」ネックレス&ブレスレット (2way) ￥10.500(税込)
インザーギ：「Secret Heart」ブレスレット ￥10.500(税込)
涼平　　　：「ガンゴン」ネックレス&リング (2way) ￥10.500(税込)

【 購入方法・お問合せ先 】

Listener's Best Tour「Mega-Star's Prayer」各ライブ会場、アルテミスクラシック直営店・アルテミスクラシック公式通販サイトでお買い求め頂けます。

アルテミスクラシック TOKYO
東京都渋谷区神宮前3-24-5
Tel. 03-6438-1073

PC　http://www.artemisclassic.com/
携帯　http://www.artemisclassic.com/mobile.html 【公式通販サイト】

※ WEB・直営店でご購入のお客様：購入予約となり、商品のお渡しについては8月末～10月末の予定です。(お届け日は注文日により異なります)

スペシャル特典 その2

もれなく
直筆サイン入りカードプレゼント！

ここでしか
手に入らない、
待ち受け FLASH・
待ち受け画像が
ゲットできます！！

詳細は、決定次第
左記 URL にて発表！！
お楽しみに！！

スペシャル特典 その1

**コラボレートモデル
購入者限定イベント開催**

ツアーファイナルの興奮冷めや
ファイナル翌日の 9月4日
「全国ツアー打ち上げ&2shot 名
都内某所にて開催！

夏の思い出、全国ツアーをメンバーと一緒

オフショット映像やウラ話など、フ
だからこそ、聞ける秘蔵ネタがあ
2shot 名刺交換会では、メンバーと名
…密会度 120%(!?) な 2shot タイム
ふたりだけの特別な時間をお過ご
名刺を持っていない方でも、もちろ
メンバーのオリジナル名刺を
お持ち帰り下さい！

【メガマソ OFFICIAL】
http://megamasso.jp (PC&mobile共通)

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

D

限定 NEW SINGLE
「鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～」
2011.7.28 RELEASE!!! & 全国ツアー開催決定 !!!

籠御殿
Oiseau bleu～

年7月28日 RELEASE!!

式通販限定 SINGLE!!!

「鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～」ツアーライヴ会場
期間限定／受付期間 7/7 ～ 8/31（当日申し込み有効）
HP「Rosen Kranz」SHOP ページからお手続き下さい。
http://www.rosen-kranz.jp

ざいませんのでご了承下さい。
の販売となりますので、確実にご入手されたい方はお早めに
（通常盤の発売の予定はございません）
の一部を日本赤十字社を通して寄付させて頂きます。

ers please use "cool JAPAN store".
panstore.com/default.php?manufacturers_id=86

■A TYPE（CD&DVD）
GOD CHILD RECORDS／GCR-017／¥1,890（Tax in）／
2SongsCD&1SongDVD／Special Limited Edition
［CD］
1. 鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～
2. 羽根をひとひら
［DVD］
1. 鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～（Music Video）

▶ポストカード6種ランダム封入

■B TYPE（CD）
GOD CHILD RECORDS／GCR-018／¥1,200（Tax in）／
4SongsCD／Special Limited Edition
［CD］
1. 鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～
2. 羽根をひとひら
3. 伝承されし空の物語
4. 鳥籠御殿　～L' Oiseau bleu～（Voiceless）

▶会場 W（A+B）同時購入特典：直筆サイン入り生写真（集合）
▶公式、海外通販 W（A+B）同時購入特典：「鳥籠御殿
～L' Oiseau bleu～」Music Video Making 収録 DVD

UR 2011「鳥籠御殿 ~L'Oiseau bleu~」開催決定 !!!

杂志迷
zazhimi.com

EAVEN'S ROCK さいたま新都心	開場:18:30/開演:19:00	(問):HEAVEN'S ROCK さいたま新都心	TEL:048-858-7251
EAVEN'S ROCK さいたま新都心	開場:18:30/開演:19:00	(問):HEAVEN'S ROCK さいたま新都心	TEL:048-858-7251
古屋E.L.L	開場:16:30/開演:17:00	(問):サンデーフォークプロモーション	TEL:052-320-9100
台CLUB JUNK BOX	開場:18:30/開演:19:00	(問):仙台 CLUB JUNK BOX	TEL:022-716-5155
幌PENNY LANE24	開場:16:30/開演:17:00	(問):札幌PENNY LANE24	TEL:011-644-1911
潟Live Hall GOLDENPIGS -Red stage-	開場:18:30/開演:19:00	(問):RISKY Ltd.	TEL:025-290-4455
沢RAZ	開場:18:30/開演:19:00	(問):RISKY Ltd.	TEL:025-290-4455
阪BIG CAT	開場:18:30/開演:19:00	(問):大阪BIG CAT	TEL:06-6258-5008
岡DRUM Be-1	開場:18:30/開演:19:00	(問):福岡DRUM Be-1	TEL:092-737-5300
島ナミキジャンクション	開場:16:30/開演:17:00	(問):広島ナミキジャンクション	TEL:082-249-7363
坂BLITZ	開場:18:00/開演:19:00	(問):インフォメーションダイヤル	TEL:03-5793-8878

チケット料金
スタンディング¥4,200（税込）
※東京赤坂BLITZ公演のみ
¥4,700（税込）
※別途ドリンク代必要/整理番号順/3歳以上有料

一般チケット発売中！！！

募集中　男性のみ・要普免

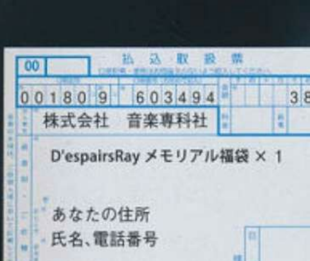
UB "Ultimate lover" 会員募集中！！ www.d-gcr.com　www.D-gcr.com/mobile
ON：有限会社 GOD CHILD RECORDS 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-27-8 セントラルビル 703 号

ESP　TAMA　Zildjian

蝴蝶网
hudie.com

価格￥3,150（税込） 送料別途￥700
受付期間：2011年7月21日（木）～2011年8月22日（月）
商品発送：2011年９月上旬より

【申し込み方法】
商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振込用紙にて、定価3,150円+送料700円を以下の口座にお振込み下さい。
■口座番号：００１８０－９－６０３４９４
■金額欄：定価に送料を加えた金額をご記入下さい。
（複数申し込みの方は定価の合計金額＋送料７００円をご記入下さい）
■加入者名：株式会社　音楽専科社
■通信欄：D'espairsRay メモリアル福袋　　申し込み数量
■振込人住所氏名：あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入下さい。
■お問い合わせ先：株式会社音楽専科社『D'espairsRay 係』TEL:03-3574-0203
〒104-8228 中央区銀座6-2-3 Daiwa 銀座アネックス5F


払込取扱票
00
00180 9 603494
株式会社　音楽専科社
D'espairsRay メモリアル福袋 × 1
あなたの住所
氏名、電話番号

杂志迷
zazhimi.com

.1.07.27 Release 7th Maxi Single

「地球という名の乗り物」

MES-0001】(CD 全2曲 + DVD/"地球という名の乗り物" PV収録) ￥1,890- (税抜 ￥1,800-)
ラリー式 応募券、トレーディングカード 1枚封入 (全5種・FMES-0001、FMES-0002共通)

-0002】(CD 全3曲) ￥1,575- (税抜 ￥1,500-)
ラリー式 応募券、トレーディングカード 1枚封入 (全5種・FMES-0001、FMES-0002共通)

券に関しては、ケミカルピクチャーズオフイシャルHPをご確認下さい。

「地球という名の乗り物」が
TBS系列『エンプラ』
(毎週土曜日26:05〜26:35)
8月・9月度オープニングテーマに決定!

o to the Last Dawn Mylife 2011 ―

都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2◆07/24 (Sun) 水戸 LIGHT HOUSE
谷が大変◆08/05 (Fri) 下北沢 SHELTER◆08/06 (Sat) 名古屋 E.L.L ◆08/07 (Sun) 京都 MUSE
戸 CHICKEN GEORGE◆08/16 (Tue) 岡山 CRAZYMAMA 2nd Room◆08/17 (Wed) 高松 DIME
本 DRUM Be-9◆08/20 (Sat) 長崎 DRUM Be-7◆08/21 (Sun) 博多 DRUM LOGOS◆08/24 (Wed) 広島 NAMIKI JUNCTION
古屋 ell.FITS ALL◆08/28 (Sun) 大阪 RUIDO
幌 SUSUKINO 810◆09/16 (Fri) 札幌 SUSUKINO 810◆09/19 (Mon) 仙台 Hook

0/21(Fri) 渋谷 La.mama (ワンマン)

◆OPEN 18：00 / START 19：00◆ADV ￥3,000- / DAY ￥3,500- (共にD代別)
[チケット]ローソン[L：71263]・La.mamaにて発売中！〔入場順〕 A→B→C 【問】 03-3464-0801

E EVENT 無料LIVE！

OWER RECORDS B1 「STAGE ONE」

渋谷店・新宿店にて『地球という名の乗り物』【初回限定盤/FMES-0001】または【通常盤/FMES-0002】
約・ご購入の方に先着で、整理券・入場券を配布します。
カルピクチャーズオフィシャルHP上のIN STORE EVENT MINI LIVE特設ページをご覧ください！

e Event ―

大阪 ZEAL LINK◆08/18 (Thu) 熊本 SKULL ROSE◆08/22 (Mon) 福岡 SKULL ROSE◆08/23 (Tue) 広島 マジカルスクエア
大阪 Like an Edison◆08/25 (Thu) 大阪 PURE SOUND◆08/26 (Fri) 名古屋 Like an Edison◆09/03 (Sat) 新宿 ZEAL LINK
新宿 Like an Edison◆09/04 (Sun) 埼玉THE NACK5 TOWN◆09/04 (Sun) 原宿 Like an Edison
西新宿 PURE SOUND◆09/10 (Sat) 渋谷 ZEAL LINK◆09/11 (Sun) 新宿 自主盤倶楽部◆09/11 (Sun) 池袋 Brand X
札幌音楽処◆09/18 (Sun) 古川 レコードショップ セブン◆09/18 (Sun) 仙台 little HEARTS.

19 8th Maxi Single『トガリムネエソ』Release!!
25 遂に待望の1st Full Album『Goodbye to My old avarice』Release決定!!

蝶(米)
hudie.com

ディーフル/dowango.jp/レコチョク/music.jp/V系STYLE NEOにて
乗り物】【y通り沿いの公園】【胸に降る雨 頭揺らす声】
うた呼び出し音)」「着ムービー」「着ボイス」「着うたフル」「ムービーフル」配信！
時計モバイル版』に またもやケミカルピクチャーズ登場！

フィシャルファンクラブ「ピクチャーズ」会員募集中！
特製会員証、豪華入会特典グッズ付(更新時に更新特典グッツも有)、年4回(季刊誌)の会報、限定バースデーカードの発行
の先行予約・販売、ファンクラブ限定イベント等を予定！ケミカルピクチャーズに関するあらゆる情報を先取り出来ます！
替にて・金額欄：￥6,000-・口座記号番号：00170-8-718574・加入者名：ピクチャーズ
住所(フリガナ)/氏名(フリガナ)/電話番号/メールアドレス/生年月日 以上を必ず記入の上、郵便局にてお間違えの無いよう
。【問】 cps@fme-hc.com ※各詳細はケミカルピクチャーズweb siteをご覧下さい

【Total Information】 Flow Music Entertainment ケミカルピクチャーズOfficial Web Site URL：http://chemical-pictures.net/

蝴蝶网
hudie.com

NightingeiL

新音源発売決定

2011年8月24日発売

Dark Word

3songs ¥1,575-(tax in) SDR-226

08/11 東高円寺二万電圧のワンマンライブにて先行発売！

2012年1月25

12秒間

3songs ¥1,575-(tax in)

01/21 高田馬場 AREA のワンマンライブ

OFFICIAL HP http://nightingeil.jp/

6ヶ月連続ワンマン公演開催

2011

08/11 東高円寺二万電圧
【Darkness Summer side】
~NightingeiL 3rd anniversary~
open/17:30 start/18:00
adv/¥1,000- day/1,500- (D代別途)

09/11 東高円寺二万電圧
【Unpredictable side】
open/18:30 start/19:00
adv/¥1,000- day/1,500- (D代別途)

10/11 東高円寺二万電圧
【Abnormal season side】
open/17:30 start/18:00
adv/¥1,000- day/1,500- (D代別途)

11/11 東高円寺二万電圧
【Wandering person side】
open/17:30 start/18:00
adv/¥1,000- day/1,500- (D代別途)

12/11 東高円寺二万電圧
【SakasaSnow side】
open/18:30 start/19:00
adv/¥1,000- day/1,500- (D代別途)

2012

01/21 高田馬場 AR
【逆世界】
open/18:30 start/19:00
adv/¥2,500- day/2,800- (D

◆チケット発売◆
全6公演、一斉発売になります。
※各公演で開場、開演時間が異なりますので
ご注意下さい。
●ライブ会場発売●
6/27～ 高田馬場AREAより全公演分先行発
全公演Aチケット：整理番号1～50
●ローソンチケット一般発売●
7/2～
全公演Bチケット：整理番号50～
08/11―Lコード：73173
09/11―Lコード：73174
10/11―Lコード：73176
11/11―Lコード：73177
12/11―Lコード：73180
01/21―Lコード：73182

主催 NightingeiL
企画/制作 NightingeiL
協力 SPEED DISK/高田馬場AREA
問い合わせ SPEED DISK 03-5386-6016

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

CONTENTS

072 NoGoD
ノーゴッド
074 DuelJewel
デュエルジュエル
076 BugLug
バグラグ
078 ユナイト
080 愛狂います。
アイクル
082 R指定
アールシテイ
084 ケミカルピクチャーズ
086 花少年バディーズ
ハナショウネンバディーズ
087 アンド
088 イベント
"V-Love☆Live Vol.1"
イベント"ブイ・ラヴ・ライヴ"
090 D
ディー
092 boogieman
ブギーマン
094 12012
イチニーゼロイチニ
096 ギルガメッシュ
098 ムック
104 BREAKERZ
ブレイカーズ
108 SHOCK WAVE アポロ
110 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
amber gris
アンバーグリス
V-last.
ブラスト
Megaromania
メガロマニア
DIAURA
ディオーラ

120 EXPECT RUSH
連載
MEJIBRAY
メジブレイ
サウイフモノ
ソウイウモノ
ヴィデオグラマァ
Para:noir
パラノイア
ポルターガイスト
126 一筆入魂!!
ザ・ミッション
130 ARTIST'S BOX
135 大島暁美の
ロックンロール日記
136 プレコンWORLD
138 編集後記&次号予告
043 応募者全員プレゼント

>> マークの説明 <<

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」

Editorial in chief／Yoshio Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa,
Atsushi Takami

Art Director／T.O.MAMMOTH graphics
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi(Bakery37.1),
Nakane(amulet label), Yukako Takayama,
Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics,
Kyoko Yasunaga(zoisite)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.224は2011年8月20日(土)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3Daiwa銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木佳男
製版・印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2011年9月1日
特別定価／980円本体933円

杂志网
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

2011
9月号
Sep Vol.2
Cover Model : the Ga
Photo :
SUSUMU MIYAWAKI(PROG
Design :
T.O.MAMMOTH graph

014 **the GazettE**
ガゼット
Part 1 :『REMEMBER THE URGE』最速リリース・インタビ
Part 2 : 近況を訊くパーソナル・インタビュー

046 **ナイトメア**
6月27日国際フォーラムレポート&
YOMI & RUKAインタビュー

052 **LM.C**
エルエムシー
『星の在処。ーホシノアリカー』という宇宙へ！

057 **ViViD**
ヴィヴィット
最新撮り下ろし&「E
リリース・インタビュー

062 **Plastic T**
プラスティック トゥリー
"浮世離れ"した『アンモナイ

064 **DEATHI**
デスビエ
謎のバンドが本誌初

066 **メガマソ**
『ザガールダイドホエン
リリース・インタビュー

068 **マコト**（ドレミ
マコト(ドレミダン)

070 **Mix Speaker'**
ミックス・スピーカーズ・イン

139 **THE 東京 HIGH B**
トウキョウハイブラック

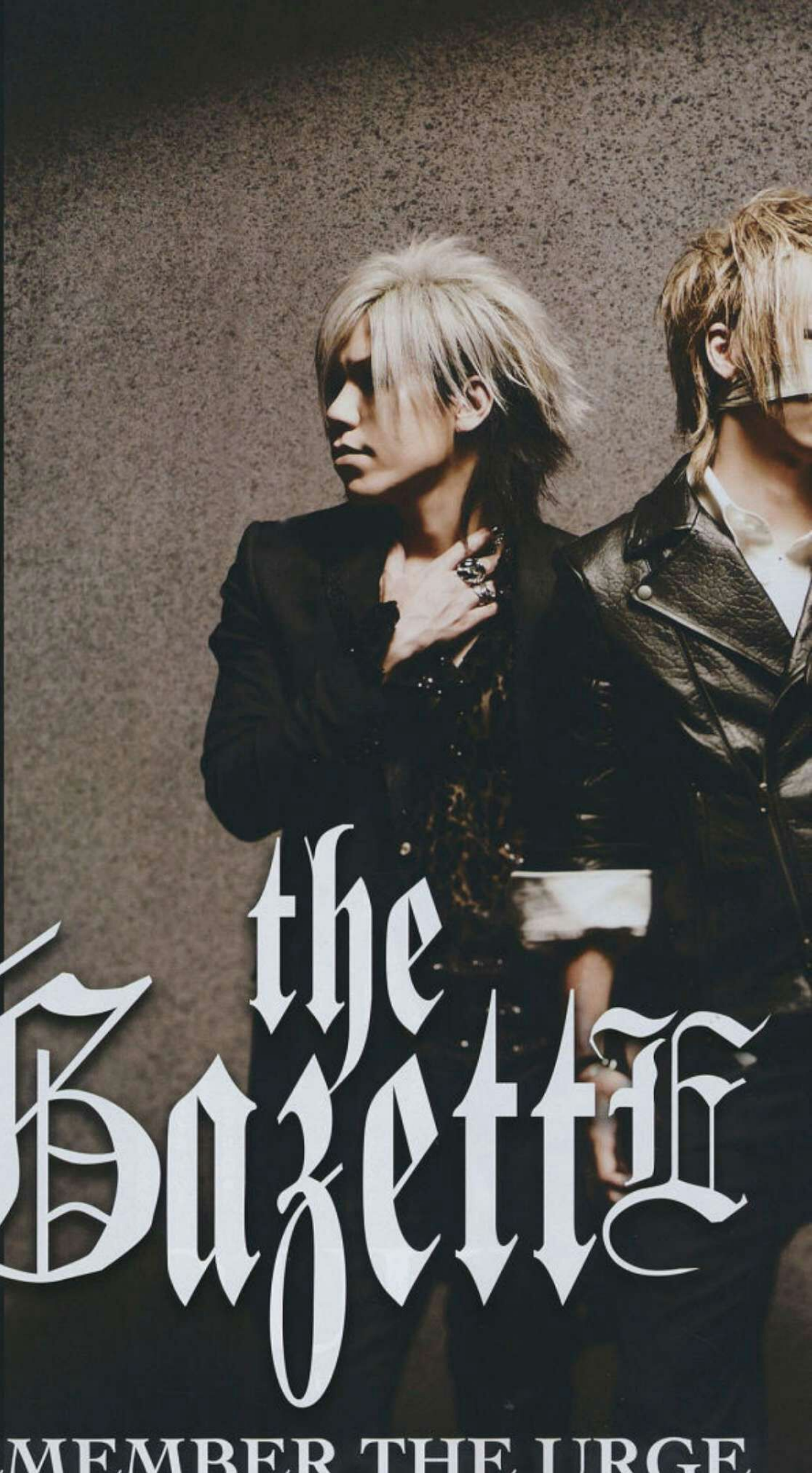
142 **ダウト**

146 **"Peace & Sm
Carnival 201
Special Sess**
"ピース&スマイルカーニバル2011"スペシ

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

Photography : SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M)
Design : T.O.MAMMOTH graphics
Hair & Make-up : KAOLU ASANUMA (Deep-End) [RUKI,麗]
ASAMI YAMADA (PS COMPANY) [葵,れいた,戒]



the GazettE

REMEMBER THE URGE

[illegible]に引き続き、3月31日に[illegible]されるthe GazettEの最新シングル『REMEMBER THE URGE』は、前作同様に自由な製作環境で作られたという。また、今後の展開を占う上でも重要な曲……まさに必聴盤と言える今作について徹底的に追求したインタビューと、彼らの近況にも迫ったパーソナル・インタビューの2本立てでお送りするthe GazettE表紙巻頭特集。

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

[illegible]THE URGE」に随分[illegible]いた音に仕上がっていますよね。
「あぁ、そうっすね。別に季節を意識して作ったとかは無かったんですけど、言われてみると音はだいぶ夏っぽい感じになってますね」
——新曲を作っていく段階だと、RUKIくんはもともとこの曲に対してどんなヴィジョンを持っていたのです？
「いや、特にそういうのも無かったんで。すぐ前の「VORTEX」を作ったときと違って、かなり自由な中で作ってたし、気が付いたら自然とできてましたっていうような感覚だったかなぁ」
——では、そこから曲を楽器隊に託していくとなった段階で、RUKIくんが各人に対してオーダーしたことは何でしたか。
「とりあえず、「VORTEX」を出してその次どうするかっていうタイミングではあったので、今までよりも実験とか冒険の要素はちょっと増やしたいと思ってましたね。特に、今回はバスドラの音抜けとかスネアの音、あとベースの音も含めて、リズム隊に関しては前から試してみたかったことをやってみようかっていう話になってたんですよ」
——低域の音については、「VORTEX」のときに一旦かなり究めるところまで究めたというか、相当ローを強調する音作りにトライしていたではないですか。それに対して、今回の「REMEMBER～」では少し低音が〝浮上〟して来た印象がありますね。その分、重さ以上にドライヴ感が加味されたようにも感じますよ。
「結局、そのへんは曲調によっての変化なんですよ。その曲ごとに似合う音ってきっと違うし、良い意味でウチはまだまだバンドとしての音も完成されてはないと思うから、今はなるべくその〝伸びしろ〟を活かして、いろんなことをやってみたくて。そういう意味では、今回はまた今やれる限界までのことは試せたんじゃないかと思いますね」
——なかなか絶妙なサジ加減ですよね。

[illegible]ですよ」
——つまり、このシングルは今後に向けての布石でもあると。
「そうそう。タイアップがあって出すシングルっていうわけでもないし、純粋に今やってみたいことを素直にやってるだけの音源だから、実は自分たちの中では〝シングル〟っていう意識さえあまり無いくらいなんです。どっちかっていうと、バンドからの近況報告に近い（笑）」
——ということは、「REMEMBER THE URGE」の歌詞も今の心境をそのまま描いたものなのかもしれませんね。
「これはまぁ、バンドをやり始めた頃の夢見がちだった自分に対して、今の自分が思うことっていう感じですかねぇ。あるいは、今からバンドなり何か希望を持って新しいことをやろうとしてる子たちに向けての歌、とも言えますけど」
——RUKIくんは、何故そのことを今こうして歌にしようと思ったのです？
「やっぱ、ドームやったからっていうのはありますよ。あそこであらためて、自分の思う理想のバンド像とはどういうものなのかとか、自分にとって夢って一体何なのかっていうことを、また深く考えるようになりましたからね。あれもやりたい、これもやりたいって、それこそバンドをやりだした最初のうちは衝動に身を任せて走り続けていればいいところもあるものの、意外とひとつひとつをいざ実現させていってみると、〝あれ、こんなもんだったのか?!〟って、妙にちっぽけに感じたりすることもあるわけでね。今になって、〝あぁ、予想以上に見えてなかったことが一杯あったな〟って分かることもけっこう多いんですよ。そのへんを、この詞では昔の自分に対して問い掛けてますね」
——この詞には、〈夢は儚く～〉という一節がありますけれど……。この言葉が今のRUKIくんから出てきた、ということに、意味深さと感慨深さを感じましたよ。
「去年あのタイミングで東京ドームやっ

にとっては大き[illegible]。自分たち自身は全く変わってないつもりだったけど、客観的になってみると、知らないうちに変わってしまっていたところってあったんだなっていうことを自覚できたんです。そこでやっと全てのことに対して純粋になれたんじゃないかなぁ。それまで自分たちがやってきたことは決して間違いじゃなかったし、それをもっと自分たちで信じるべきだって、そういうふうにも感じたんですよ」
——それらの思いは、この詞の中の〈真実は一つだろう?〉というフレーズに集約されているような気が致します。
「うん。何をやるにしても、おそらく最終的な答えっていうのは一コしか無いんじゃないかと思いますよ」
——と同時に、中盤に出てくる英文には〈～disturb it now〉という表現も出てきますよね。このあたりには、聴き手に向けてのメッセージが強く込められているようにも聴こえました。
「自分のことで言えば、その昔に思ってたメジャーデビューをしたいとか、ドームでやりたいとか、そういうのは全て夢っていうより単なる目標だったわけじゃないですか。そこを履き違えたままで進んで行っちゃうと、絶対ズレが出てきちゃいますからね」
——学生さんでも、社会人でも、その手の罠にはまってしまうケースは珍しくないと思いますよ。本来ならば入りたい学校や部署に行けたとしても、〝そこに入りさえすれば何とかなる〟程度の意識でいると、瞬く間に〝その先どうすればいいか〟が分からなくなってしまったり。
「まさにそういうことですよ。この詞は、意味的に「VORTEX」と繋がってるところもあって、現実と向き合ったときにじゃあどうするかっていうことを描いたものでもあるんです」
——何故、ここに「REMEMBER THE URGE」という曲タイトルがついたかは、推して知るべきところですね。
「もちろん、そのまま言葉通りに受け取っ

[illegible]「VORTEX」とこの曲は[illegible]GazettEにとって新しい始まりだったんだって、そのうちもっと明確に分かるようになると思いますよ」
——なお、今回のシングルにはほかにも2曲が収録されています。まず、「CLEVER MONKEY」については、こちらもRUKIくんの作詞・作曲によるものになるそうですね。
「この曲は、「LUCY」をやってた時期に作ったので、〝ライヴでもっとこういう曲が欲しいな〟っていう気持ちが反映されてますね。歌詞は……簡単に言うと、〝ゆとり〟に贈る歌（苦笑）」
——もしや、これは「Hyena」や「HEADACHE MAN」などに続く、〝現実にこんな困ったヤツがいたシリーズ〟の一貫であったりして??
「そうっすね（苦笑）」
——RUKIくんって、つくづく人や状況というものをよーく見ていますよね。
「そんなことないっすよ。自分たちに対して実害さえ無ければ、人のことなんてどうでもいいですもん」
——では、もう一曲の「痴情」についてもお伺いしましょう。こちらは表題曲とは対極にあるウェットな質感と、ディープな詞世界が特異な存在感を放っている、濃い色合いの楽曲ですね。
「この曲も、ちょうど「ABYSS」をやってた時期に作ったんですよ。あの世界にはまるような、でもこの曲だけでもしっかりと完結するような、そういうものをイメージしながら作ってましたね」
——それにしても、「痴情」というタイトルは実にインパクト大です。
「女性の情念っていうんですかねぇ。それって恐ろしいものではあるんだけど、反面ではすげぇ純粋だなとも思って。そのドロドロしたものを言葉にしたら、「痴情」っていうタイトルが出てきたんです」
——ちなみに、RUKIくんは身近に〝こういう女性〟がいたらどうします??
「それは……ヤバいでしょう」

RUKI

#01『REMEMBER THE URGE』Interview

杂志迷
zazhimi.com

バンドをやり始めた頃の夢見がちだった自分に対して、今思う

甦りし衝動は、きっと夢の先にある真実と繋がっていくのだろう。新曲「REMEMBER THE URGE」の中で、RUKIは過去の自らに向けた率直な言葉を、今現在の視点から幾つも投げ
時に、人は大事なことを見失いかけてしまうことがある生きものであるということ。それを身をもって知っている彼は、衝動をそのまま具現化した歌で、私たちに真摯な思いを伝えてく

Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

――このところ、近況としてはどんなことをしている時間が多かったですか。

「圧倒的に曲作りばかりです。今回のシングルのＰＶ撮りの準備とか、他にも仕事はいろいろあったけど、とにかくこの先に向けての曲作りっていうのに、かなりの時間を割いてました」

――諸々が立て込んできた場合、時間の融通をする上ではプライベートな時間を削るケース、というのも出てきそうですね。その場合、RUKIくんが真っ先に犠牲にするのは何の時間ですか。

「睡眠でしょうね。今もまさに、殆ど寝てらんないっていう状態だし（苦笑）」

――ごく一時的なことであれば、精神力で乗り切ることは可能かもしれませんが、それが常態化してくるとさすがに辛いものがありますよね。

「既に半ば常態化してますけどね、ウチの場合。だから、もう慣れたって言えば慣れたとも言えますよ。眠いのは眠いけど、それでもやらなきゃいけないことは一杯あるし、いよいよ辛かったらちょっとだけ寝て復活して、また限界までやって、ずーっとこれの繰り返しですから」

――いやはや、お察し致します。

「でも、意外とそういう状態もキライじゃないんですよ。というか、むしろ楽しいくらい（笑）」

――そういえば、過労で倒れた的な話もあまり聞いたことが無いですものね。

「うん、そういうのは全然。自分の思った通りに何かを完成させようと思ったら、それに時間が掛かるのは当たり前だしね。作業に集中してるときは面白いから疲れとかも感じないし、そのへんの度合いは昔よりどんどん増してる気がする」

――RUKIくんは、完全なるワーカホリックですねぇ。

「そうなのかなぁ？　俺はただ、もっともっとクリエイティブなことをやっていきたいだけですよ。時間とか、条件とか、なるべくそういうものに左右されないかたちで、やりたいことをやりたいだけっていうか。そこはほんと、純粋にそう思ってますね。それに、去年のあのドームまでのスケジュールをクリアしてしまった今となっては、もう恐いものなんて無いですよ。この程度の寝てないレ

#02 Personal Interview

もっと自由に、もっと面白いことをやっていければそれでいい。

ベルだったら、全然余裕です」

――そんなRUKIくんからすると、日々の中に癒しや安らぎはあるものですか。

「これはもう、間違いなく家にいる時間ですね。家に帰って犬と遊んでるときとか、家で普通にメシ食ってるときとか、ようやくベッドに入って寝る前とか、あと家で雑用してるときなんかも意外と落ち着くんですよ。だから、バンドのことで疲れたときは、家で何かしらしていれば自然とチャージされます。他に何か気分転換する方法は無いのか？って言われると、ちょっと切ない気はしますけど（苦笑）、合理的と言えば合理的でしょ」

――貧乏性である、とも言えそうです。

「いや、いいんですよ。特に今年はもう、やりたいことをやっていくって決めてますから。ここからどんなものを作っていきたいかっていうヴィジョンもハッキリしてるし、もっと自由に、もっと面白いことをやっていければそれでいいです」

――その面白いこと、の中には夏のサマソニへの出演なども含まれているのでしょうか。

「まぁ、それに関しては楽しそうだからやってみるかくらいの話ですよ。ウチらって、初めて渋谷AXワンマンをやった辺りから意図的にイベントには出ないようにしてたんですけど、ここに来てまた外に出て行ったり、ほかのバンドと一緒にやれるっていうのも良いかなと思ったので、それで出ることにしました。だから、あまり宣伝的な意味とか、戦略的な意味は無いですよ」

――貪欲だけれども無欲。今のRUKIくんは、そんなスタンスのようですね。

「長くやっていても10年くらいで解散しちゃうバンドがいたり、メンバー間の仲が次第に悪くなっていくバンドもいる中で、いよいよ俺らも来年は10年ですからね。これだけの時間やってきてると、いろいろこびりついて取れなくなってくるのが普通だと思うんですけど、俺はそれはイヤなんです。いつまでも自由に好き勝手やれれば、それでいいやっていうだけの話なんですけど（笑）」

――その精神は、これからも貫いていって欲しいところです。

「俺たち、我を通す自信はありますよ（笑）」

蝴蝶网 hudie.com

杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

に向けての新しい一歩っていう部分があったので、意識してたのはそこですね。原曲がストレートで分かりやすい雰囲気だったので、普通にやっちゃうと王道っぽくなりそうかなっていうのがあったんですよ。だから、なるべくそうならないように音を作っていきました。具体的には、チューニングが普段より重めになったりしてます」

――しかし、不思議です。ギターの音にしても、それぞれはパーツごとに聴いていくとヘヴィでエグいくらいの音を使っているというのに、この曲全体からは爽快感のようなものさえ感じますよ。

「あぁ、爽やかさみたいなのはけっこう漂ってますよね（笑）」

――厚みと熱さがあるにも関わらず、これだけクリアな音を作っていく上でのコツとは、どんなものでしたか。

「崩していくこと、だったと思います。聴きごたえはあるんだけど、爽やかな音にしたいっていうイメージはあったんですけど、でも最初からいきなりそこを狙ったわけじゃなかったというか」

――つまり、バンドの中で音をどんどん揉んでいったわけですね。

「えぇ。RUKIの作ってきた原曲がわりとラフな状態だったっていうのもあって、今回はBメロとサビ以外は殆ど原形からは変わったんじゃないかな。結局、チューニングもアレンジしてく中でAに変わったんですよ。"そろそろBにも飽きてきたよね"って。ただ、この話にはさらに続きがあって、フタを開けてみたら実際はAにはなってなかったっていう（苦笑）」

――どういうことですか??

「いや、僕らは一応Aのつもりでやってたんですけど、プリプロで気が付いたら微妙にズレてA#になってたんです」

――チューニングの設定によって、同じ曲でも聴こえ方の印象は随分と変わってくることがありますものね。なかなかそれは、興味深いお話です。

「自分たちとしては、今後さらにAの曲を増やしていきたいっていうスタンスでいた分、"どうする?"って迷うのは迷っ

も出ましたけど、そうなると今度は歌メロの方にも影響が出ちゃうっていうのがあって、最後は思い切ってA#で通すことになりました。そういう意味では、この曲はちょっとイレギュラーな存在になりましたね」

――もっとも、それだけに他の曲には無い響きを持っているのも確かです。

「誤算から生まれた新しいテイストっていう型にとらわれなかった分、曲を作ったRUKI本人にとってヴォーカル的に一番気持ち良いところが、そのまま出せてるんじゃないかと思いますよ」

――それと、麗くんのギターに関して言えば、あのギターソロもこの曲の中の大きな聴きどころかと思います。前回の「VORTEX」では、楽器をエモーショナルにいななかせるような音使いで新たな一面を垣間見せていましたが、今回のソロはテクニカルかつ色鮮やかで、聴き手を高揚させるような音になっています。

「やっぱり、曲ごとにちゃんと違うアプローチで聴かせたかったので、今回もこの曲ならではのソロっていうのを考えていったんですよ」

――細かい音の粒立ちが、綺麗で美しいソロになっていますよね。さすがです。

「良かった。細かいとこまで気を遣って弾いた甲斐がありました。今回は、ピッキングの立ち上がりがしっかり感じられるような音をエンジニアさんとも相談しながら録ってたので、そこが伝わったのは嬉しいですねぇ。ああいう流れ方をするソロって久々だったので、弾いていても楽しかったですよ」

――言われてみると、そうですね。ある意味、ちょっと新鮮でした。

「いつもいつもこのパターンってなるとつまらないですけど、たまにやるとなかなかいいですよね（笑）。あと、今回はイントロのフレーズも意外と試行錯誤してるんですよ。夜中にRUKIに電話しながら、"これはどう? あれはどう?"って何パターンも考えた末に出てきたのが、この音源のアレだったんです。

したい"とか、曲のことを分かってる者同士じゃないと、全く伝わらない会話になってたでしょうね」

――そんな、メンバー間のみにしか分からない、密なやりとりを経て完成したこの曲に対して、麗くんは今どんな印象を持っていますか。

「去年、疾走感のある曲っていうもの自体はある程度お腹いっぱいになるくらいまで作ってきた中で、前回出した「VORTEX」と今回の「REMEMBER~」では、それぞれまた新しいことができたので、そこに対する手応えはすごく感じてますね。ここで試したことは確実にこの後にも繋がっていくだろうし、今の段階でやれることは全て出し切れたから、次にまた何か作っていくときにはまた全く別の方向からのアプローチっていうのが、心置きなくできるんじゃないかと思ってます」

――別の方向からのアプローチという面では、今回のカップリング曲たちの中でも、それらは充分に活かされている印象がありますけれどね。

「結局、言い方は悪いですけどシングルの表題曲っていうのは、あくまでバンドにとっては外面の部分だったりしますからね。その点、カップリングのほうはもっと内側の表情だったり、本性みたいなところが遠慮無く出せる場なんですよ」

――たとえば、「CLEVER MONKEY」は、今回の3曲の中では最もアグレッシヴなトーンです。麗くんが、ここで重視したのはどんなことでしたか。

「曲がこれだけ激しい感じなので、ギター的には少しトリッキーなプレイが必要だなって思ってましたね。とは言うものの、ソロに関してはあんまりソロっぽく弾いてないんですよ。雰囲気的には、オブリで単にウワモノとして弾いてるくらいの感覚でした。人によっては、もしかしたら分かりにくい音だって感じる場合もありそうですけどね」

――それだけ、ヒネリが利いていて面白い楽曲になっているわけですよね。

「そうなんですよ。まぁ、作ってるとき

これも、ライヴで早くやれたらいいなぁ」

――生で聴くと、より刺激的なものとして聴こえそうですしね。

「ウチのバンド、実はカップリングにもイイ曲がすごく多いんですよ。でも、なかなか難しくってね。まだライヴでやってないカップリング曲がどんどん溜まっていってる状態も勿体ないので、この先2デイズとかまたやる機会があるときは、こういう曲たちもどんどんやっていけたら嬉しいです」

――では、最後にもう1曲の「痴情」についても伺いましょう。こちらは、一転してダークでアンダーの空気感が色濃いものに仕上がっていますね。この異質な世界を、ギターの音で表現していく際に心掛けたのはどんなことでしたか。

「この曲は、どうするか悩んだあげくにシンプルなところに行き着きました。とにかく、これは暗くて重い曲じゃないですか。そこの感覚が、アレンジすればするほど薄まっていっちゃいそうだったので、プレイ的には必要最低限のことをするようにして、その分この音圧とか音質で"稼ぐ"ようにしたんです」

――正解でしたね、その考え方は。

「敢えて選んだ方法が、思ってた以上に功を奏しました。個人的には、今回の3曲の中で一番良い音で録れたんじゃないかなって思うくらいです」

――曲調だけで考えれば、この曲はアルバム『DIM』に入っていてもおかしくないタイプのものだとは思うのですよ。でも、もしあの頃この曲を録っていたら、絶対この完成形にはなっていなかったでしょうね。今だからこういう音になったのだろうな、というthe GazettEのバンドとしての成長の度合いが、ここからは如実に感じられました。

「そうでしょうね。バンドって、そのときはここが最高到達点だと思っていても、後になってみたらまだ上があったっていうことの繰り返しなので、今回の音もまた更新されていくことになるんだろうなって思います。音楽を作っていくって、ほんとにキリが無いですよね（笑）」

麗

#01『REMEMBER THE URGE』Interview

ここで試したことは確実にこの後に繋がっていくと思

論理的な一面と、感覚的な一面。麗は、その狭間で的確な音を作っていくことができるアーティストだ。今回のシングル『REMEMBER THE URGE』においても、彼は収録されている3曲そ
様々なアプローチを使い分けながら自在に音を繰り出している。自分の信念を貫きながらも、柔軟な発想でthe GazettEの音を[illegible]ているの

Interview:YUKI SUGIE

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

──６月の初めに名古屋で［ABYSS］と［LUCY］が終わって以降、麗くんはどんな日々を過ごしていました？

「何やってたっけ……？　あぁ、そうそう曲作りですよ。今も続いてはいるんですけど、６月入ってからしばらくの間は選曲会も控えてたので、締切に追われるような感じで曲作りを毎日やってました」

──そのような切羽詰まった状態になってきたとき、麗くんの生活にはどんな変化が生じるわけですか。

「寝る時間が減ります。というか、今日も俺ここに来るまでずっと一睡もしてないっす（苦笑）」

──気候も暑くなってきましたし、睡眠不足は身体に響きませんか。

「今は大丈夫ですけど、夕方とかキツくなってくるかもなぁ。まぁ、今日も寝ようと思えば仮眠程度の時間はとれたんですけどね。でも、僕そういうときにサッと眠りに入れないんですよ」

──夜中に作業をしていて朝を迎えてしまうと、そのまま交感神経が優位になってしまって、眠りに必要な副交感神経がうまく作用してくれない場合がありますからね。そのせいかもしれません。

「曲作りが山場になってくると、もう生活サイクルとかメチャメチャですよ。どうしたらいいんですかね？」

──ちなみに、寝たいのに眠れないという時、麗くんはどうしています？

「布団に入って横にはなってますけど、それでもずーっと眠れなくてウダウダしてます。一瞬うつらうつらってなったりするんだけど、でもちゃんとは眠れないっていうのの繰り返しですね。部屋もカーテン閉めて真っ暗なのに、それでもダメなんですよ」

──朝だとしてもナイトキャップとして、少しアルコールを摂取するというのは如何でしょうか。

「うーん……でも、朝７時くらいで昼にはまた仕事だしなって思うと、さすがに少量でも飲む気にはなれないですよ。かといって、睡眠導入剤とかには絶対頼りたくないですしねぇ。じゃあ、いっそのことホットミルクでも試してみるか？とは思いつつ、それはメンドくさくて試したことないです（笑）」

──では、そのくらい張り詰めた日々が終わったとして、ある程度いろいろな仕事から解放された場合、麗くんが真っ先にやるのはどんなことですか？

#02 Personal Interview

楽を作るにはリラックスするって必要不可欠な条件だと思ってます。

「そういうときこそ、家で酒でしょうね。あとは、特に何をやるでもなく時間を贅沢に使うとか」

──麗くんは、あまり外には飲みに行かない方でしたっけ。

「俺、ひとりで飲んでて普通に楽しめるタイプなんですよ。むしろ、ひとりで盛り上がるのが好きっていうか（笑）」

──家でひとりで盛り上がる、とは一体どういう状態を指すのでしょう？

「何やっていても楽しいんですよ。飲みながら録り溜めてあったテレビとか映画を観てるだけで面白いし、ほろ酔い状態でギター弾いていても楽しくなれるし。一番リラックスできる時間です」

──飲んでいてもギターを手放さないとは、いかにもギタリストらしいですね。

「家での曲作りとか、プリプロだと飲みながらのこともけっこうありますよ。ある程度の適量であれば、そのほうがシラフな状態より集中力が上がったりすることも多いですからね。イイ感じでリラックスした状態のときのほうが、良い曲とかフレーズって生まれやすいんですよ。飲んでいても、飲んでいなくても、このリラックスできてるかどうかっていうのはすごく大事なとこで、良い音楽を作るにはリラックスするって必要不可欠な条件だと俺は思ってます」

──ということは、麗くんは家での作業環境にもこだわる方だったりして？

「大事です。必要だなと思うものは全て揃ってないとイヤだし、ストレスフリーな空間を作るのが理想なんです。そういえば、ついこのあいだ遂に防音部屋も買って、家の中に設置したんですよ」

──それはもしや、ヤマハから出ている防音室シリーズのことですか？

「あぁ、それです。ちゃんと業者が来て組み立ててくれるヤツで、最近はその中でギターもほぼライヴと同じようにアンプ鳴らしながら弾いてますね」

──素晴らしい。これで、いつでも鳴らし放題ですね！

「と思いきや、意外と低音が漏れるんですよ（苦笑）。だから、ある程度は時間に気を付けつつやってます」

杂志迷
zazhimi.com

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

葵

#01『REMEMBER THE URGE』Interview

このシングルはぜひ聴いておいてほしい。ここからの先って感じになると思う

欲しい音にはとことん貪欲な葵。彼は今回も1曲のために欲しい音を追求し、手に入れたという。彼は楽曲が必要とする音を手に入れるためならば、どんな努力も惜しまない。今回彼と話したことで、それをより強く
RUKIを原曲者とする、まったく違う色を放つ今シングルの3曲に、彼はthe GazettEの葵としてはもちろん、純粋にギタリストとして参加しているのだ。今作は、そんな葵のこだわりが活かされた"音"に注目したい1枚

Interview：NAOKO TAKEICHI

作業をしてた時期だったと思うよ（笑）。常に"今"やってることに集中して最高を目指してるタイプだからね、俺」

――そうでした（笑）。「REMEMBER THE URGE」のギターソロとか、あまりいままでのthe GazettEの楽曲の中で感じたことのないアプローチだった気がするけど。

「この曲のギターソロに関しては、麗が考えたから、どういうイメージであのソロを弾いたかは解らない。でも、一般的には珍しいアプローチではないけど、たしかにthe GazettEとしては新しい試みだったかなと思いますね。AメロBメロともに、低い音で弾いてるほうが俺なんだけど、そこもだいたいのイメージを話し合って、お互いに煮詰めて一気にプリプロで合せて完成型に持っていくって感じでしたね。チューニングがかなり低いんですよ。A#。原曲はRUKIなんだけど、最初に麗がチューニングをAに合せて作ってきて、それでやったらライヴでやるときまた竿（ギター）を1本足さなくちゃならないじゃん？ってことになって見直そうってことになったら、今度はRUKIがA#で作り替えてきたっていう（笑）。"おいおい、作り替えてきた意味ないじゃん！"っていうね（笑）。でも、曲としてはカッコイイからそれでいこうかっていうことになって。だからライヴではどうしようかってことになってるっていう（笑）。Bメロではボーカルとはまた別のメロディーを入れてるんだけど、あそこはプリプロのときにRUKIにすごく反対されたんですよ」

――どうして？　あそこいいのに。

「でしょ。俺もあそこがあるからこそ引っかかる感じがすると思ったから、かなり説得したんですよね（笑）。なんかRUKIのイメージではなかったみたいで。あまりゴネるほうじゃないんだけど、そこだけはゴネて。RUKIのイメージではあそこはバッキングだったみたいなんですよ。けど、絶対にこっちのほうがいいって、今回そこだけはかなりゴネまし

〈鮮やか過ぎたのはきっと俺も同じで〉ってとこね。あと、今回この曲のためにギター買ったんですよ、麗にそそのかされて（笑）」

――そういうところストイックというか、惜しまない人だよね葵くんって。よく1曲のためにギター買ったりしてるもんね。

「そう。そのギターは今回、この曲と「痴情」で使ったんだけど、やっぱ買って良かった。この曲ももちろんなんだけど、「痴情」はこの3曲の中で1番納得いく音で録れたんだよね」

――「CLEVER MONKEY」はthe GazettEっぽい1曲だよね。あのド頭のシニカルなRUKIの笑い声から、もうthe GazettE色がぷんぷん漂ってくる。

「たしかにthe GazettEっぽさが濃く出てる曲だと思う。でも、故に似てる部分を感じてしまうところがデモの段階であったから、そこは指摘して作り替えたりしたんですよ。似てる部分が個性になっていればいいんだけど、ただ似てると感じさせるのは良くないと思うからね。そこを個性と感じさせるために考えたというか。ハーモニクスが入るあたりとか、こだわりどころでもあるからね。常に新しさを加えながら、そこに個性を感じさせるフレーズをどうもってくるかを考えながら曲を作ってるわけで」

――さっきも話に出た「痴情」なんだけど、この世界観、葵くんすごく好きな世界観なんじゃない？

「好き好き」

――the GazettEの従来の曲に例えて言うならば、「奈落」のような空気感というか。

「そうね。「奈落」も大好きだからね。とにかく「痴情」は曲に合った最高の音が出せたと思う。特にギターは本当にいい音で録れた。シンプルだから1音1音を長く聴いていられるから、音の良さをじっくりと味わえるんじゃないかなって思うんだよね。音を言葉で表現するのは難しいんだけど、ちょっと貼り付くような、ちょっと息苦しいような感じをイ

音だぞと（笑）。でも、この音に辿り着けた自分もたまたまなんだけどね（笑）。合いそうな音を手探りで探してたら、これ以上にない音に出逢ったって感じ。この音と出逢えたときはホント嬉しかった」

――デモを聴いた段階でこの音をすぐに探り出し始めたの？

「そう。すごく欲しい音が明確に自分の中に浮かんできたからね。歌に入るまではとことん息苦しさを感じさせておいて、歌に入ったと同時にその圧を抜いてやるっていうのがポイントで」

――なるほど。ライヴで早く手元が見てみたいって思った曲でもあった。

「演奏面もなんら難しいことはしてないんだよ。ごくごく普通に弾いてる感じで。難しいことはひとつもしてない。いたってシンプルなんだよね、この曲」

――ライヴで放つこの曲の世界観を早く見てみたいな。

「そうね。こういう曲調もいまやthe GazettEの個性の1つとなってるからね。このシングルを1つの区切りとして、次からの展開ではまたちょっと想像を絶するようなところへ行きたいなとも考えていて。かといって「CLEVER MONKEY」や「痴情」のような世界観をなくしてしまうっていうわけではない。けど、こういう世界観以外の場所にも行ってみたいなって思ってるのもあって、今、いろいろと曲出ししてる中ではいままでになかったthe GazettEが生まれつつあるんですよ。まだ具体的には言えないけど、そうね、ちょっとチャラい感じ（笑）。解りやすく言うならば、ガガ的な感じのチャラさかな（笑）」

――【ABYSS】でもなく【LUCY】でもなく？

「どっちでもないね。ダークなアプローチっていうものじゃないロックというか。もちろん、ダークなアプローチがなくなっちゃうっていうわけじゃなくね。間口は広いんだけど、どれも同じような臭いがするっていうのかな。同じような香りを持ってる。そんな曲が出揃ってる感

回のシングル曲の原曲は、全曲RUKI作曲なんだけど、今いろいろと煮詰めてる曲たちもRUKIの曲が多くて。RUKIがすごくいい仕事してる。俺はその仕事をいかにもっといい仕事にするかを思案中ってところかな」

――ギターの音作りに集中してる感じ？

「そう。楽曲が求める音を探してね。「痴情」のギターに関して、RUKIはもっとギターで遊んでほしいって言ってたりもしたんだけど、そこは作り手本人じゃない俺たちが客観的に見て、この曲は絶対にシンプルにしたほうが楽曲の良さが際立つと思ったからこそ、そこは遊ばないほうがいいし、あまり動くフレーズを差し込まないほうがいいと判断して、実際音にしてみてRUKIに聴かせて納得させたように、今は楽曲を作るほうより、その曲をギタリストという目線でより良くしていく立場に立っていたいと思っていて。構成員1って感じかな（笑）」

――それって、よりミュージシャンっぽい考え方だね。

「そればっかりじゃまた違うのかもしれないけど、いままで作り手としての立場もあったから、たまにはそうやって客観的に見ていくのも必要かなと思ったんですよね。今回のシングルに関してもそう。だからこそ、「CLEVER MONKEY」に関してはthe GazettEの個性をどうやってマンネリにしないように伝えていったらいいかって試行錯誤したし。やっぱり作り手が1人になると、どうしても同じ臭いに偏り過ぎちゃうところがあると思うから、同じ臭いをいい状態に持っていけるようにするのが俺たちの役目っていうか。そういう作り方も面白いなって今は思いますね」

――すごくいい変化になりそうだね。

「そうですね。激しいのもコアなのもずっとやってきてるから、下半期はライヴが変化するような楽曲を作って攻めていきたいなと。バンドでそんなチャラさ出せるの!?っていうところも攻めていけたらいいなと思ってるので楽しみにしていてほしいですね」

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

――［LIVE TOUR11 TWO CONCEPT EIGHT NIGHTS -ABYSS/LUCY-］を終えてからはいかがお過ごしだったかという近況を聞いていきたいと思います。

「ええで。そりゃいろいろとありますよ、俺にだって近況は。話せること話せないこといっぱいありますけど、書けること書けないことどっちにする（笑）？」

――ぜひ、書けることで（笑）。

「ええで（笑）。ツアー後はずっと曲作りしてますよ。ツアーも全部終わってみて、やって良かったなと思ってるし。けど、しんどかったね、両日共に。何が辛いって［ABYSS］は精神的に辛いし、［LUCY］は体力的に辛かった。ファンの子たちは［ABYSS］は棒立ちで逆に疲れたと思うけどウチらは［ABYSS］のほうもけっこう激しいからかなり動いてたのもあったし、あの２デイズはいままでにない辛さを経験しましたね。延期になったこともあって日程が大幅にズレてライヴとライヴの間が変に空いちゃったから筋肉痛になったりもしたし、いままでにない辛さがあったツアーだった」

――［LUCY］は無条件に手放しで楽しかったのに対し、［ABYSS］のあの"激しいライヴに微動だにしないフロア"っていう激しさと静寂が同居した空間は異様なモノがあったなと。素晴しかった。

「みんな動けなかったから辛かったんじゃないかな（笑）。でもあれはいい経験でしたね」

――今年はサマソニにも出演することになったし。そこも１つのいい経験にしていけそう？

「いい経験だとは思うけど、必要以上に踏ん張ってやろうって気負う感じはない。いつもどおりのライヴができたらいいなと。当日になってみたらまたテンション違うかもしれないけど。でも、みんなが音楽ファンだったらいいなと思う」

――洋楽好きは邦楽をシャットアウトする傾向にあったりもするからね。

「そう。それは俺から言わせてもらえば音楽ファンではないからね。本当の音楽ファンだったら洋楽邦楽関係ないと思うんですよ。邦楽だって今すごく頑張ってるし、いい音楽いっぱい作ってるし。それを聴きもしないで否定するのは音楽ファンではないと思うから。ウチらの音も聴いて嫌いって思うならしかたないけど、聴きもしないで偏見だけでシャットアウトするのは納得いかないっていうかね。みんなが楽しんでくれて、自分たちも楽しめるってのが１番だと思うけど、そう甘くはないと思うんで、まずは出ることに意義があると思っていつもどおりのライヴをしてこようかなと思ってます。それくらいの気持ちでいないとね。総スカンくらって心折れることも覚悟してるし。でも、昔だったらそれが怖くて出るって言ってなかったと思う。それが、今は出るって決めたわけだし」

#02 Personal Interview

ちょっとだけね、強くなれたんじゃないかなと。

――昔より自信がついてる？

「そう。ちょっとだけね、強くなれたんじゃないかなと」

――葵くん、案外細いからね。

「心がね（笑）」

――そう。意外と繊細だから。

「折れると思いますよ。でも、それをバンドの糧にしていけると思うんですよね、今は。そうしていかないと、これ以上成長しないと思うし。１人でもそこでカッコイイと思ってくれたら、出た意味があると思うから。リスナーの幅を広げたくないわけじゃないし、初めて聴いて好きって思ってくれた人には最高の音で返していきたいと思うから。その人たちのためにも、もっとthe GazettEというバンドを良くしていかなくちゃいけないと思ってますから」

――挑むことを忘れていないバンドであることがカッコイイと思う。変に落ちついちゃったり守りに入ったら、一気にワクワクしないバンドになってしまうから。

「それは本当にそうだね。自分たちがカッコイイと思えるモノを届けていきたいなって思う。実際、既に次のこと考えてるから、今はもう「REMEMBER THE URGE」なモードじゃないから（笑）」

――え？　どういうこと？

「もうその先に行ってるってこと（笑）。もちろん、みんなは「REMEMBER THE URGE」をまずは聴いてほしいんだけど、俺はもう次のことやってるからそっちに気持ちが行ってるからね（笑）。次もいいよ、最高のモノ作ってるから」

――まずは「REMEMBER THE URGE」で……。

「あ、そうね、今日は「REMEMBER THE URGE」なモードでね（笑）」

杂志迷
zazhimi.com

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

CONCEPT EIGHT NIGHTS -ABYSS/LUCY-」に行く前には終わってたくらいのスケジュールだったと思う。けど、今回表題曲を含め選曲にはそんなに時間がかからなくすんなりこの3曲に決まったかな」

―そうなんだ。今回3作ともまったく違う色を放っているけど、表題曲に比べて「CLEVER MONKEY」の方がｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥっぽい印象を受けた。

「たしかに。「CLEVER MONKEY」のほうが従来のウチらっぽさはありますよね。そこまでではないけど、「REMEMBER THE URGE」はキャッチーさがあるから。キャッチーっていうと人それぞれとらえ方が違うと思うけど、この曲は歌メロがすごくキャッチーだと思う。けど、演奏面は意外にハードなんですよね。現に「REMEMBER THE URGE」はいままでで1番チューニングを低くしてあるんですよ。この曲をやるために1本、ベースを増やさなくちゃいけないっていう（笑）。それくらい低くてヘヴィなんですよ。最初ＲＵＫＩから聴かせてもらったときは、パッと聴きはキャッチーな曲だなって感じたんだけど、演奏してみたらまったく印象が変わった曲で。そこも面白かったですね。ただキャッチーなだけだとｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥっぽくないしね。ｔｈｅ ＧａｚｅｔｔＥらしいキャッチーさなんじゃないかなと」

―そうだね。でも、キャッチーとはいえド頭のドラミングとかギターのハウリングから入るあたり、一般的にいうキャッチーとはかけ離れてるからね（笑）。

「たしかに（笑）。今回ベースに関していえば、「VORTEX」の頃からずっとこころがけてた"あまり動かないベース"というところを意識したかな。動かないで低音を支えるというベーススタイルが自分の理想なんですけど、どうしても弾きだすと動かないといけない気がしてきちゃうっていうところがあったんですが、最近は堂々とルートを弾けるようになったんですよね。そこは精神的な変化だと

か。堂々とプレイできるようになって。それが今回の3曲にはすごく出てると思いますね」

―「REMEMBER THE URGE」の歌詞についてはどう感じた？

「"何に対して歌ってるの？"ってＲＵＫＩに聞いた気がしますね。たしか"バンドを始めた頃の昔の自分に対して歌ってる"って言ってた気がする。メロディーと歌詞の相性がすごく良かったからレコーディングのとき、自分も口ずさみながら歌いましたね。それくらいハマりが良かったなと。きっと耳馴染みもいいので、聴いてくれたらすぐに口ずさめると思います」

―「CLEVER MONKEY」はギターとのユニゾンも多いこともあって、弾き過ぎないベースを弾けたのでは？

「そうなんですよ。そういうときこそ細かいピッキングの部分で変化を付けてみたりしましたしね。フレーズで変化をつけるというより、同じ音の中での変化を深く考えるようになりました。ＲＵＫＩは「CLEVER MONKEY」は「LUCY」をやってた頃に作ったって言ってましたよ。「REMEMBER～」のほうはチューニングが違うから、ライヴでやるときは置く場所をすごく選ぶ曲になると思うけど、「CLEVER～」はライヴで活躍する曲になるんじゃないかなと思いますね」

―「痴情」は「ABYSS」のときのセットリストに入っていてもいい感じの曲だね。ドロっとした世界観というか。

「まさに、「ABYSS」やってたあたりで出来た曲だったから、セットリストの中に入れたかったくらい。この曲もＲＵＫＩの曲なんだけど、やっぱり「ABYSS」をやったことで生まれた曲だったみたいですからね。個人的にこの曲が1番音的に好きで。シンプルだからこそ音の良さが際立ってるというか。サビとかギターもけっこう淡白だし。ここまでシンプルなのはなかったんじゃないかなってくらい。それ故に音の厚みも出たし。派手に動くとどうしてもそっちに引っ張られて

したね。低音のドロッとした感じがいい感じに表現できたと思いますね。すごく納得した音で作れた曲でした。ベースに関してもこの曲でコンプを借りて繋いでみたんですけど、その音がすごく良くて、買ったんですよ。なので今後活躍させていこうかなと思ってますね」

―コンプレッサー？

「そう。コンプレッサーは、音の表情を整える機材でもあるから、低音の波をなるべく一定に整えてくれるんですよ。それがこの曲にはすごく合ってましたね。ずっと低音が下のほうで這ってるっていう印象を作れたのもコンプを使ったからだと思うし。いままでベースに直接コンプを繋げて音作りすることってなかったので、すごくいいチャレンジになりましたね。あと、今回新たに試したことがもう1つあって。いつもはローをめいっぱい出してるんですけど、今回それをやめて、そこをフラットにして少しローを足すようにしたんです。いままではローを出し過ぎていてそこまで出ていなかったかなってところにも気づけたというか。今回新たなローの出し方を覚えましたね。今回3曲ともアンプは一切弄ってないんですよ」

―セッティング的に？

「そう。レコーディングは最初に「CLEVER MONKEY」を録ったんですけど、そのままのセッティングで録ったんですよね。いままでは1曲1曲セッティングを変えてたんだけど、今回アンプに関しては敢えて同じにしてみたんです。ここまでやってきて最近思うのは、いい音っていうのは、そこまで選択肢があるわけではないってこと。1個決まっちゃうとそこでやるほうがいいなと。今回は自分が納得できる音に出逢えたレコーディングでもありましたね」

―今回の音作りは根源に還った感じだったのかな？　いろいろとくっつけたり削ったりのない。

「ですね。アンプや竿の特性を活かした音作りだったと思う。いままではとにかくいろんなことを施していたから。そこ

う、1つの自信の表れなのかなって」

―そうかもしれないね。「痴情」の歌詞については？

「これはＲＵＫＩが歌詞を書いてるときから何を題材に書いてるか知ってたっていうか、いろいろと調べながら書いてたからそれを一緒に見てたんだけど、タイトルは情痴と痴情どっちにするか迷ったって言ってましたね」

―まさしくその言葉どおりの愛の形というか……。

「そう。集約されてますよね、そこの二文字に」

―うん。それにこの曲も歌詞がすごくメロに沿っていてド頭から世界にグッと引き寄せられたんだよね。

「その感覚すごく解りますね。個人的にこの曲、女性の人にカヴァーしてもらいたいなって思ってるんですよね。女性がこの曲を歌うとどうなるのか、すごく興味があって」

―まさにその究極の愛の形をね。

「そう。女性の声で聴いてみたいなと。もっと怨念がこもって怖くなるんじゃないかなと思うんだよね（笑）」

―じゃあ、この曲に関しては歌詞の内容を知ってからのレコーディングでもあったんだね。

「そうなんですよ。だからなんかすごくその景色を描くようにベースが弾けたってのはありましたね。仮歌詞はデモの段階で付いてるけど、完成型の歌詞はリズム録りのときにはまだ上がってないこともあるので、歌詞を見てから演奏するっていうのはなかなかないんだけど、この曲はいろいろと背景を調べていた段階を見ていたから、自分も歌詞以上に深くその情景を知れたこともあって、よりそこに向いた演奏ができたというか、歌詞が求めている音を出せたんじゃないかなと思いますね。さっきも言ったけど、今回の3曲はちょっと精神的に大人になったのが音にも出てると思うので、そこを感じてもらえたら嬉しいですね。ただ攻めてるんじゃなく、そこにちゃんと余裕を感じてもらえると思うので」

れいた

#01『REMEMBER THE URGE』Interview

自分の守るスタイルは自分で決めるっていう自信がつい

東京ドーム、3月11日の東日本大震災、誕生日。その1つ1つがれいたを少しずつ変えていったという。そんな変化が音となって現れているように思うのが今作『REMEMBER THE URGE』
彼は精神的な変化をどのように音への変化としていったのだろう？　まったく違った印象を放つ『REMEMBER THE URGE』『CLEVER MONKEY』『痴情』。the GazettEらしくも新しい今作に込め

Interview:NAOKO TAKEICHI

杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

――[LIVE TOUR11 TWO CONCEPT EIGHT NIGHTS -ABYSS/LUCY-] の後のれいた的近況は？

「the GazettEれいたとしてももちろんなんですけど、個人的れいた的近況はですね、いろいろと考える時間が多かったですね。震災というショックなことが起こり、よりいろんなことを考えるようになったし、またひとつ歳をとったこともあり、自分を見つめ直すきっかけになったというか。まだまだ満足する形ではなかったけど東京ドームという場所でライヴをしたのも大きかったし、今自分は何を考えて何をすべきなのかっていうことをいままで以上に考えましたね。自分の中でずっと目標にしてきた“親に家を買ってあげる”っていうのも実現できたし。自分のために使う時間というより、誰かのために使う時間を大切に感じるようになったなって思いますね。近況というより心境の変化的な話になっちゃいましたけど(笑)」

――いや、すごくいい話。大人の男としてね。

「そう。責任ある行動をとっていかないといけない時期に差し掛かったなと。より責任感が強くなった時期でもありましたね。東京ドームまではそこしか見えてなかったけど、その後のツアーをまわりながらいろいろと考えて」

――震災で延期になったりもしたからね。

「そう。やっぱり個人的にいろいろと考えるツアーになったし、the GazettEとしても延期になったこともあって、延期を残念がる声を聞いて待っていてくれてるんだってことを実感することができたし、ツアーといえど1本1本が離れちゃってたので単発ライヴ的な印象でもあったし、本当にいろいろと見つめ直せる時間になったんですよね。待っていてくれてるんだから、もっといいものを届けていかなくちゃなっていう気持ちにもなれたんですよ。低音は俺が守っていかなくちゃいけないところだしっていう気持ちも前より大きくなったこともあって、すごく音へのこだわりも強くなったし。[ABYSS] と [LUCY] に関してもそう。震災を挟んで状況の変化があって少し意識が変わったというか。最初 [ABYSS] と [LUCY] っていう2つのコンセプトに分けて、いつもとちょっと違うことしてみようかっていう軽いノリの発想からだったんだけど、実際にやってみていままで自分たちがやってきたセットリストってすごくよく出来てたんだなって思えたんですよね。ちゃんと聴かせるところもあり、ちゃんと一緒に盛り上がれる部分ありでね。正直 [ABYSS] は精神的に疲れたライヴだったし、[LUCY]

#02 Personal Interview

誰かのために使う時間を大切に感じるようになった

は肉体的に疲れたライヴだった（笑）。また [ABYSS] のほうは本編で一度もMCを挟まなかったこともあって、アンコールでMCした俺の言葉がその日最初のMCになったっていう。それがね、また最悪に緊張したっていう（笑）。めちゃめちゃ責任感じましたからね」

――あの本編の沈黙からの最初のMCはキツイよね、たしかに(笑)。でも、次の日にはちょっと早い誕生日をステージ上で祝ってもらってたしね。

「そうそう！　あれは本当に想像してなかったからびっくりしたし、マジで嬉しかった。RUKIが出て来るべきタイミングで出て来ないから、おっと、トラブル発生か!? って思ったらいきなりRUKIがケーキ持って出て来たっていう（笑）。感激しましたね。すごくいい誕生日を迎えさせてもらいました。もっともっと頑張らないとって思いましたね」

――すごく充実してる感じだね。

「精神的にね。なんか本当に自分的にもやっと落ち着けたのかなって思う。いままでは大人にならなくちゃなって思いつつもなかなかってところがあったけど、自然と落ちついてきたなって思う」

――夏にはサマーソニックにも出陣するわけですが。

「そうですね。以前だったら出るって言ってなかったかもって思いますね。自分たちに自信が持てなかったっていうか。そういうアウェイな場所に出て行って折れずにいられなかったと思う。絶対に折れると思うんですよ、心が。けど、今は、それはそれでいいかなって思えるというか。それも経験だって思えるんですよね。でも、そのアウェイ感も経験としてバンドの糧としていこうって今は思えてる。絶対って言っていいくらいブーイングが起こると思うけど、そこで音を放つことを避けてちゃ何も始まらないと思うから。5分でもいいからまずは音をそういう場所で届けているウチらの曲を聴いてほしいって思う。それで、音を聴いて嫌いだと思ったら他に行ってもらってかまわないから。まずはそういう人の耳にウチらの音を入れたいと今は思ってますね。1000人中1人でもいいねって思ってくれる人がそこで居てくれたらやった意味ってあると思うし。悪口を書かれたとしても、それは見てくれたっていう証拠でもあるから。1つの経験として頑張りたいと思ってます」

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

こからさらにサウンドメイクの方向性がガラリと変わった印象です。特に、ドラムの音の響きについてはクリアさと力強さがより増しましたよね。

「今回のレコーディングで、また新しいことに挑戦したんですよ。自分で自分のドラムの音っていうものをちゃんと探してみたくって、マイキングの段階から自分でやってみたんです」

——それは本来、エンジニアさんの仕事領域だったりしますよね。

「もちろん、本職ではないので全部自分でっていうのは無理でしたよ？ それでも、ドラムに対して何処にどうマイクを立てたら音がどう響くのかっていうのを自分自身で確かめてみたっていうのは、すごく大きい経験になりました。シンバルの音ひとつとっても、俺の叩き方に一番合ってるマイキングの方法を探してから録ると、やっぱり出てくる音って全っ然違うんです」

——細かいことこそが、侮れなかったりするのは一事が万事なのでしょうね。

「結局、そこまでの細かい微調整っていうのは、さすがにエンジニアさんに任せ切りだとなかなかできないことだったりするわけですよ。だから、細かいところまでこだわろうとしたら、自分でここまでやる必要があるんだなっていうことも、あらためて良く分かりました。それに、ここで大体の感覚を自分でつかんでおくと、今後またレコーディングでエンジニアさんとやり取りをしていくときにも、話をしやすくなりそうです」

——ちなみに、戒くんからすると今回のレコーディングにおける最大の収穫は、どんなことだったのでしょうね。

「あぁ、それはもうキックのアタックです。ようやくここに来て、自分的に"これだ"っていう音を見つけられた気がしてるんですよ。要は、キックの音って楽曲の中における心臓部分なんですよね。今回は曲自体がちょっと明るめな雰囲気になってるのもあって、今までみたいにローを前面に出した音とは違う、もっとバランスの良い音が出せるようになった

——とはいえ、そのキックの音の変化が、ひいては全体にも良い意味で影響を及ぼしているように感じますよ。イントロで鳴っているスネアの音にしても、臨場感たっぷりではないですか。

「あのスネアは、マイキング自体は自分ではやってないんですよ。ただ、16で速く叩くああいうフレーズを聴かせるんだったら、もっとひとつひとつの音の存在感を出したいなと思って、いろいろ試行錯誤しながら、最終的にはマイク間の音量バランスをとることで、なんとか調整していったんです。でもまぁ、今度やるときはスネアも自分でマイキングからやって音を作ってみたいですねぇ」

——ところで、今回のシングルについては表題曲「REMEMBER THE URGE」に限らず、カップリングの「CLEVER MONKEY」と「痴情」も含めて、なんとなくドラムの音については1枚を通しての一貫性があるようにも感じました。戒くんとしては、そこについても多少は意識されていたのでしょうか。

「個々の曲に合わせているところもありますけど、根本的には同じ人間が、同じドラムセットを叩いてるわけですからね。そこは自然と一貫したところが出てきても不思議はないと思います。むしろ、そこで一貫したところを出せないほうがドラマーとしては問題ですよ。俺が叩いてる意味っていうものが、無くなっちゃいますしね。その点、今回のシングルって3曲ともわりとドラムの音が大きいので、音の個性が伝わりやすくはなってるような気がします。俺は、途中で"ちょっとデカくない？"って言ったんですよ。でも、今回全部の曲を作ってるRUKIが"いいんだよ、これくらいで。"って言ってたんで（笑）。それもあって、ドラムの音がいつもより目立ちがちっていうのはあると思いますね」

——汚いドラムの音は音量を上げてもウルサイだけですが、カッコ良いドラムの音は大きい方がずっと気持ちいいですからね。RUKIくんの意見は正論かと（笑）。

「ただ、不思議だなと思うのは今回の3曲の中では「痴情」の音が一番好きですね。なんか、曲としてのまとまりとか、他のパートとの兼ね合いも含めた次元で、最もしっくり来ました」

——確かに、この「痴情」の音はとても味わい深い仕上がりです。

「こういうゆったりしたテンポ感の曲であれば、あとはチューニングをいじるくらいでも、曲によってベストな対応ができるだろうなっていう確信が今なら持てますね。その分、今回の「REMEMBER THE URGE」とか、「CLEVER MONKEY」みたいな速いタイプの曲については、まだもうちょっと研究が必要かな。そこも今後の課題ですね」

——「REMEMBER THE URGE」の場合、プレイ的な面で特にこだわったのはどんなことでしたか。

「これは常に心掛けてることで、速い曲で大事なのはやっぱりブレをなくしていくこと、だと思いますよ」

——「REMEMBER～」では、ドラムの醸し出すあの独特なドライヴ感が、曲に絶妙な疾走感を与えていますよね。あのあたりは、この曲におけるひとつの肝でもあるように感じました。

「人それぞれプレイには癖っていうのがあって、俺の癖っていうのも自分では分かってるつもりなんですよ。簡単に言うと、俺はどっちかって言えばモタりがちなので、ああいう疾走感を出そうと思ったら、意識してちょっと走り気味に叩くとオン（＝ジャストタイミング）ぐらいになるんです。でもね、今回の「REMEMBER～」はマジで稀に見るぐらい難しい曲ですよ（笑）」

——しかしながら、the GazettEの場合、ドラマー泣かせの曲は他にもたくさんあるのではないです？

「そっか。よくよく考えると、いろんなパターンの、いろんなタイプの難しい曲がどんどん増えていってる気はします（苦笑）。「CLEVER MONKEY」も、俺ハットワークがけっこう苦手なほうなので、ちょっと手強かったもんなぁ」

——ご謙遜を。この音を聴く限りでは、

——戒くんは確か、ジャズドラムから楽器を始めた人でしたよね。となると、ハットワークなどお手の物なのでは？

「いやいや、単に俺にとっては音楽の入り口がジャズドラムだったっていうだけの話です。だからって、別に本格的にジャズドラムを勉強したわけではないので、今となってはそっちの道を選んでなくて良かったなって思ってるくらいです（苦笑）。苦手なことがあったらあったで、それに対してまた一生懸命になれるから、それはそれでドラマーとしては良いんですけどね」

——戒くんも、相変わらず極めてストイックですね。

「そりゃそうなりますよ。今回の新曲たちにしたって、これからライヴで実際にやる頃までには、もっと満足のいくドラミングができるようにしておかないとヤバいですから」

——前回の「VORTEX」、そして今回の『REMEMBER THE URGE』、2枚のシングルを通してthe GazettEはバンドとして有意義な音楽的実験を実践できたのではないかと思います。それを踏まえて今後に視点を移したとき、ここからこのバンドの音はどう変化していく可能性が高いのでしょうね。

「良くも悪くも、俺たちはまだ完全なかたちでは音を確立してないと思うんですよ。特にドラムって、アンプや電気回路を通さなくても鳴らせるアコースティック楽器だし、当然叩く人間や叩く力によってもいくらだって音は変わるわけです。そういう意味では、良い音を出したいっていう結論は分かっていても、そこに至るまでのプロセスが無限って言えば無限なくらいある世界なので、これからも試行錯誤の日々は続くでしょうね」

——まるで、地図も持たぬまま宝探しをしているかの如くです。

「まさにそうですよ（苦笑）。地図が無いからこそ、いろいろ常識にとらわれない考え方とか、進み方をできるのは良いけど、探さなきゃいけないものが多過ぎて大変っす（笑）」

戒

#01『REMEMBER THE URGE』Interview

これからも試行錯誤の日々は続くでしょう

杂志迷
zazhimi.com

地図も持たぬままの、大いなる宝探しに終わりはない。自らの求める音を探しあてる為に、戒は今回も新たな手法と発想でレコーディングに臨んだそうだ。その甲斐もあって、今
『REMEMBER THE URGE』で、the GazettEと戒は今まで以上に核心を突いた音を具現化するに至った。無限の可能性を追求していく日々は、もちろんこれからも続いてい

Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

——日々レコーディングや曲作りが続いている今は、やはり自分の時間というものがとりにくい状況だったりしますか。

「ここのところ、プライベートで何かしたことはあるかって言われると、すぐには何も思いつかないくらいの状態ではあるかなぁ（苦笑）。でも、それだけにいろいろ落ち着いて少し時間ができたら、やりたいことはありますよ」

——願望ですね。それは何ですか？

「まずは、夏のライヴ前にしばらくサボり気味だった身体作りがしたいっていうのがひとつ。あと、これも身体の話ですけど、最近ちょっと健康っていうものに気を遣うようにもなってきたので、一回ちゃんとした検査ですか？　精密な人間ドッグみたいなものを、ちゃんと受けてみたいです」

——ロックミュージシャンとしては、あまりにクリーンな回答ですね。

「まぁ、ドラマーって他のパート以上に身体が資本っていうところもあるんでね。こうしてバンドでやってる以上、ソロと違って俺ひとりが仮に倒れちゃったら、バンドごと止まっちゃうわけでしょ？　そういう事態だけは絶対避けたいなと思ってるんです。だから、今までは表面的な目に見えるところしか気にしてこなかったけど、それと同時に見えない部分の健康にもそろそろ気を付けたほうがいいのかなと思っていて。少なくとも、俺もイイ大人なんだし、自分の身体が今どうなってるのかっていうことくらいは、知っておいてもいいような気がするんですよ」

——素晴らしい心掛けです。参考までに伺いますが、戒くんは平均して年に何回くらい病院に行きます？

「普通に風邪ひいたら行く程度ですね」

——外科的な部分での通院なども無しですか。よく、ドラマーの方は職業病のようなかたちで慢性的な腰痛に悩まされることも多いと聞きます。

「俺、幸いなことにそれは無いんです。腰の痛みっていうもの自体、生まれてこの方全く感じたこと無いんですよ」

——羨ましい！　ライヴでもしょっちゅうあれだけ激しく２バスを踏んでいて、何も症状を感じないだなんて凄いですね。

「なんでなんだろ？　別に俺、姿勢もたいして良くないはずなのに」

#02 Personal Interview

ーニングも大事ですけど、重要なのは食生活の充実。

——体質、なんですかねぇ。

「そうかもしれない。だって俺、肩こりっていうのも経験無いんですよ。肩こりってどういうことを言うのか、いまだに全然分からないんです（笑）。筋肉痛とは違うんですよね？」

——違います（笑）。欧米人は、肩こりをあまりしないと聞いたことがあります。もしや、戒くんは骨格がソッチ寄りのつくりなのかも？　あるいは、自分で気付いていないだけで実はこっているとか……？

「いや、そこは気付いてないわけじゃないみたいですよ。前に何回かマッサージを受けたことはあって、皆やってくれた人は“全然こってないですね”って言ってましたから」

——戒くんは、ドラマーになる為に生まれてきた人なんですね。天からの恵みですよ、その出来の良い身体は。

「ただ、損してるところもありますよ。皆、マッサージ受けると“気持ちいい”って言うでしょ？　俺は、強くやられなくても絶対に痛いんですよ。そこは逆に、ちょっと皆が羨ましいです」

——なお、先ほどのお話に出ていた今後に向けての身体作りについては、ここからどんなことをしていこうと？

「もちろん、トレーニングも大事ですけど、それより重要なのは食生活を充実させることでしょうね」

——しかし、定時で終わる仕事と違って戒くんの場合は、どうしても外食やお弁当が多くなってしまうはずですよね。食生活の管理はかなり難しそうです。

「毎日ちゃんとバランスをとるっていうのは難しいと思います。だから、そこはキッチリ持続してやらなくてもいいって割り切ってるんですよ。それこそ、ライヴの直前に集中してやったり、それが一段落したらまた少し前の生活に戻ったり、そういう波があっても俺は良いんじゃないかなと思ってるくらいです」

——毎日やらなきゃ、ずっとやらなきゃと思うとプレッシャーで心が折れがちですが、期間限定で集中管理するというのもアリはアリですよね。

「そうそう。最終的に三日坊主で終わらせなければ、断続的でもいいんですよ。ちょっとしたことを積み重ねてくだけでも、きっと違うんじゃないかなぁ」

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

the GazettE

SHOXXと歩んだ the GazettEの軌跡をファイル!!

永久保存版

(S)HOXX FILE the GazettE Edition.2

大好評Edition.1に引き続きEdition.2の発売が決定!!

締め切り迫る!! 急げ! 急げ!!

hudie.com

…7(2006年6月21日発売)からVol.202(2009年10月21日発売)号までに
…された全記事、及びSHOXXの別冊である"SHOCK WAVE"からの記事も網羅し掲載。
…ークから2009年までの王道街道をぶっちぎる5人の軌跡をここにファイルする!!

先着5,000名様にシリアルナンバーカード封入
驚愕の掲載リスト(一部紹介)!!

●戒パーソナルインタビュー●れいたパーソナルインタビュー●葵パーソナルインタビュー●巻頭特集「DECOMPOSITION BEAUTY」ツアーファイナルin横浜アリーナレポート、「FURY&SORROW」in横浜アリーナサウンドホールレポート、アフターインタビュー●アルバム「STACKED RUBBISH」リリース●STACKED RUBBISHPluse Wriggling To Black]ツアーに対する想い●STACKED RUBBISH[Pluse Wriggling To Black 01]in市川市文化会館ライヴレポート●[STACKED RUBBISH[Pluse WrigglingToBlack01]in武道館●[STACKED RUBBISH [Pluse Wriggling To Black 02] in Zepp Nagoyaライヴレポート●3月11日・神奈川県民ホール公演レポート!!●[STACKED RUBBISH[Pluse Wriggling To Black 04]] in 仙台市民会館ライヴレポート●巻頭特集、「REPEATED COUNTLESS ERROR」in代々木第一体育館2daysレポート、パーソナルアフターインタビュー●ルキパーソナル特集●「LEECH」リリース。緊急フォトセッション!!●ルキパーソナルインタビュー、「LEECH」リリース●戒パーソナル&ルキパーソナル●FC限定ツアー[FROM THE DISTORTED CITY]in 新木場スタジオコーストレポート●巻頭特集「DISTRESS AND COMA」リリースパーソナルインタビュー●巻頭特集、LIVE09[7-SEVEN-]レポート、ルキパーソナルインタビュー

…PCもしくは携帯電話(一部対応していない機種もあります)からのお申し込みになります。
…をご利用のお客様
…便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、定価に送料を加えた金額(1セッ…
…,600円)をお振込みください。
…座番号:00130-0-481019
…式会社　音楽専科社
…e GazettEファイル Edition.2」と「希望部数」をご記入ください。注意)振込人住所氏名:
…所・氏名・電話番号を忘れずに、ていねいに記入してください
…電話をご利用のお客様
…ページにアクセスしてお申し込みください。お支払いはお近くのセブンイレブン、ローソン、
…ートの各店でお支払いできます。

…w.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_gaze_2/index.html

…w.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_gaze_2/index_mob.html
…ット:5,600円=5,000円(本体税込)+600円送料
…発送は1セットにつき600円ずつかかります。
…様:A4ワイド・全354ページ
…及び商品の発送】2011年6月22日正午12時より受け付け開始
～2011年8月11日消印分にて予約〆切り
… 2011年8月下旬

払込取扱票

00

口座記号番号: 00130-0-481019

金額: 5600

加入者名: ㈱音楽専科社

料金

備考

通信欄: the GazettE ファイル Edition.2　1部

ご依頼人: あなたの住所、氏名、電話番号　様

日附印

…:(株)音楽専科社　〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　Daiwa銀座アネックス5F　TEL:03-3574-0201　FAX:03-3574-8548

SHOXXスペシャル企画

オリジナル・フォトカード 応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、
応募者全員にサービスしちゃい
全部で21パターン。
応募券1枚でご希望のフォトカ
1枚あなたのお手元に!!

the GazettE

A-1:RUKI

A-2:麗

A-3:葵

A-4:れいた

A-5:戒

LM.C

B-1:maya

B-2:Aiji

B-3:LM.C

ViViD

C-1:シン

C-2:零乃

C-3:怜

C-4:イヴ

C-5:Ko-ki

マコト(ドレミ團)

D-1

D-2

THE 東京 HIGH BLACK

E

ダウト

F-1:幸樹

F-2:威吹

F-3:ひ

F-4:玲夏

F-5:ミナセ

●応募に必要なもの(応募方法が少し変わりました。よく読んでご応募願います。)
- 80円切手2枚(お客様が編集部に送信する封筒に貼るもの&返信用封筒に貼るもの)
- 定形封筒2枚
- 応募券(このページの左下にあり)

【応募方法】

①フォトカード(9cm×13cm)が入る大きさの定形封筒(定形外の封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を2枚用意します。

②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォトカードのナンバー(例えばthe GazettEのRUKIであればA-1)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。

③②の返信用封筒をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F 株式会社 SHOXX編集部 葉月のフォトコーナー●係(●の中には返信用封筒に書い
フォトカードナンバーを必ず書いてください。例えばthe GazettEのRUKIであれ

【締め切り】

2011年8月21日(当日消印有効)

【発送】

2011年10月下旬からになります。11月10日になっても届かない場合は1
にご連絡ください。※11月30日以降のお問い合わせは、対応できない場合が
(03-3574-0205/月~金　11:00~18:00)。

【お願い】
- 希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせて
- 応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
- 応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様は
応募でお願いします。
- 発送は日本国内のみになります。海外への発送は出来ません。
- We do not ship outside of Japan.

SHOXX VOL.223
葉月のフォト
応募券

zazumi.com
hudie.com

XX・アリーナ37℃に掲載された全記事をまるごとパッケージ!!

仙台貨物FILE

永久保存版

賛受付中!!

5,000名様に
アルナンバーカード封入
面ポスター付き!!

宅配便"仙台貨物の
分かってしまう(!?)
リートファイルがここに誕生!!

み方法】

PCもしくは携帯電話（一部対応していない機種
からのお申し込みになります。

替をご利用のお客様

郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を
、定価に送料を加えた金額（1セットの場合は
）をお振込みください。
口座番号:00170−6−190906
株式会社　音楽専科社
仙台貨物FILE」と「希望部数」をご記入ください。注意）振込人住所氏名:あなたの住所・氏名
ーを忘れずに、ていねいに記入してください

帯電話をご利用のお客様

ムページにアクセスしてお申し込みください。お支払いはお近くのセブンイレブン、
ファミリーマートの各店でお支払いできます。

からは>
www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_
index_mob.html

らは>
www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/shoxx_file_sendai/index.html

ット:4,100円=3,500円（本体税込）+600円送料
発送は1セットにつき600円ずつかかります。
:A4ワイド・全210ページ
び商品の発送】 ●2011年7月19日正午12時より受け付け開始
～2011年9月5日消印分にて予約〆切り
2011年9月下旬

払込取扱票

00

口座記号番号 00170-6-190906　金額 4100

加入者名 ㈱音楽専科社

通信欄 仙台貨物FILE　○部

ご依頼人 あなたの住所、氏名、電話番号　様

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

:（株）音楽専科社　〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　Daiwa銀座アネックス5F　TEL:03-3574-0201　FAX:03-3574-8548

蝴蝶网
hudie.com

SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow tour'11

7月29日（金）仙
Cast:DEATHE
Guest:DuelJewel/ v【NEU
レミング/少女-ロ

7月31日（日）札幌 KRA
Cast:DEATHE
Guest:DuelJewel/ アンド

8月6日（土）長野 CLUB
Cast:DEATHE
Guest:DuelJewel/ v【NEU】/少女-ロ

8月7日（日）新潟 GOR
Cast:DEATHE
Guest:DuelJewel/HERO/少女-ロ

8月8日（
Cast:DEATHE
Guest:DuelJewel/HERO/ ユナイト /少女-ロ

8月10日（水）名
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ アンド /HERO/ 少女-ロ

8月11日（木）
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ アンド /HERO/ 少女-ロ

8月13日（土）鹿児島 CAPAR
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJew

8月14日（日）博多 D
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ アンド

8月16日（火）
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ アンド

8月17日（水）岡山 CRAZY MAMA
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ ア

8月19日（金）大
Cast:DEATHBIE/Mo
Guest:DuelJewel/ アンド /HERO/ 少女-ロ

8月26日（金）渋
Cast:Mo
Guest:DuelJewel/ アンド
HERO/vistlip/ 少女-ロ

http://xxxrecords.jp/speeddisk/in

蝴蝶网
hudie.com

the time rewind to ZERO

NIGHTMARE

Live at 東京国際フォーラム・ホールA 2011.6.27

6月27日、東京国際フォーラム・ホールAにて、ツアー『the time rewind to ZERO』公演を完結させたナイトメア。3月に日本を襲った大震災の影響で、スケジュールの変更を余儀なくされた本ツアーであったが、幾多の試練を乗り越えた彼らは、また一回りバンドとして成長を遂げたステージを見せてくれた。今回は、そんなツアー・ファイナルの模様をレポートするとともに、一足早く、9月7日にリリースされるNEW SINGLE「SLEEPER」についての話を、YOMI&RUKAに訊いてきました！詳しくは、次号表紙巻頭特集にてじっくりお届けしますので、そちらもお楽しみに。

Photography MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report&Interview YUKA SUGIE

震災後、新木場スタジオコーストでのライヴでは、必要最低限のセット、照明、機材で、5人の想いと祈りを、被災地にしっかりと届けた。

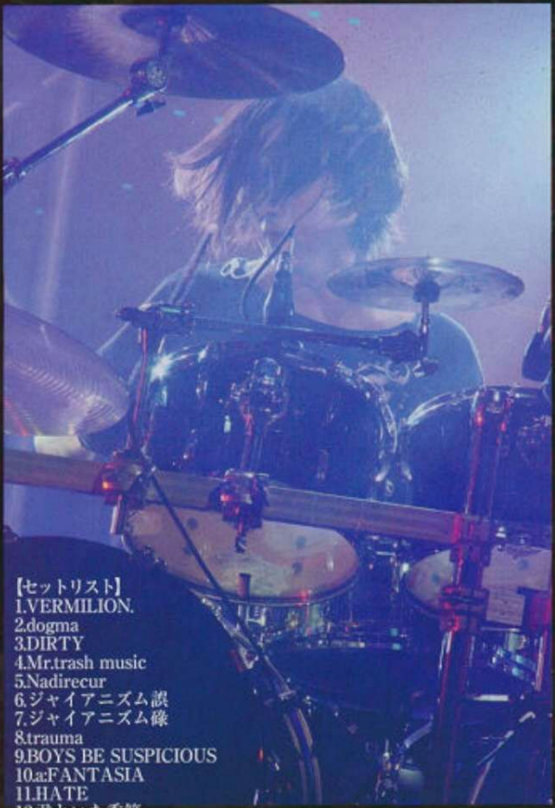
では、今回のツアー"the time rewind to ZERO"はどうであったのか。誰が埋もれることもなく、5人が絶妙な均衡を保ちながら、今のナイトメアに相応しい曲たちを、実にテンポよく魅せてくれたように思う。ステージを余すことなく使って、メンバー同士がアイコンタクトをとったり、向かい合ったり、背中合わせになったり…とにかく、ロックバンドってこうだよなと思わず血がアツくなるような場面が、幾度となく見られたのだ。

何と言っても、この日のライヴを成功へと導いた決定打は、1曲目の「VERMILION.」。RUKAとNi~yaが牽引する疾走感にしろ、咲人と柩による高揚感をアオるユニゾンにしろ、YOMIの骨太い存在感にしろ、しょっぱなから求心力が高い。

続く「dogma」では、フロント4人が一気にステージ際ギリギリまで攻め、オーディエンスを挑発。取材陣のいた2階席は、観客のいっせいジャンプでまるでトランポリンの如く揺れに揺れて、建造物がしなって良い限度を超えているのではないか、なんていう心配がよぎるほど。震災の影響で大幅なスケジュール変更を余儀なくされたツアーではあったが、だからこそ、ファンのナイトメアを求める想いが極限まで高まっていたのではないだろうか。

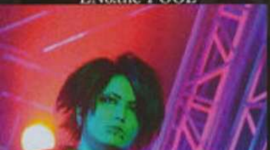
いつにも増してダーティーな「DIRTY」。カオスな音像の中でメンバーが余裕の絡みを見せた「Mr.trash music」の橋渡しとなったのは、Ni~yaのベースソロ。このシーンに限らず、この日のNi~yaは相当アグレッシヴだ。YOMIが"揺らせ揺らせ！"とけしかけた「Nadirecur」では、フロント4人がセンターお立ち台、ステージ脇の客席に近い通路も貪欲に使い倒して、どこを観ていいかわからないほど。さらに

杂志迷
zazhimi.com



【セットリスト】
1.VERMILION.
2.dogma
3.DIRTY
4.Mr.trash music
5.Nadirecur
6.ジャイアニズム誤
7.ジャイアニズム絛
8.trauma
9.BOYS BE SUSPICIOUS
10.a:FANTASIA
11.HATE
12.君といた季節
13.ByeBye
14.東京傷年
15.livEVIL
16.アクアリア
EN1.SLEEPER
EN2.惰性ブギー
EN3.極東乱心天国
EN4.ジャイアニズム零
EN5.ジャイアニズム死
EN6.the FOOL

蝴蝶网
hudie.com



もそもは2002年に通信販売された『SHOCK JAM CD Edition.1』に収録、ライヴではめったにお目にかかれない曲だが、Ni～yaがアップライトベースを、咲人と柩の2人共がアコースティックギターを手にする姿は新鮮。YOMIの歌力もいかんなく発揮されて、大きな見せ場となった。インタヴューでは〝YOMIがモテようとしている！〟と憤慨して見せたRUKAも、作曲者として実はまんざらでもなかったのではないだろうか。

『借りぐらしのアリエッティ』をネタに、Ni～yaや咲人も巻き込んで沸かせたMCに続いて、エキセントリックな色を放ったのは「Bye Bye」。シングル「VERMILION.」の3曲はどれも、ライヴでますます彩度が増すようだ。

YOMIがシャツのボタンを全開、暴れ倒した「東京傷年」、オーディエンスの熱が高まりに高まった「livEVIL」と、アツく駆け抜けるかと思いきや、本編ラストは「アクアリア」。人魚姫の儚さを映す曲に、津波や地震で甚大な被害を受けた故郷への想いをダブらせたのだろうか。余韻を残す最後だった。

アンコールでは、6月が誕生月である咲人、Ni～ya、RUKAの3人を祝うべく、アー写が全面にプリントされたケーキが登場。しかし！ なぜか咲人とNi～yaだけが大きくフィーチャーされ、RUKAはYOMI、柩と同じ控え目サイズ。当然〝…なんで俺だけ⁇〟と、釈然としない。誰が仕込んだかわからないが、その遊び心（⁉）なかなかのナイスセンスっ。

Zeppツアー、ジェム・ケリーとのコラボアクセ発売やCM出演なども発表し、観客の期待感に火をつけたところで、リリースに先駆け「SLEEPER」を披露。歌始まりでインパクトの強い曲は、また新たな武器になりそうだ。

何しろ、話題テンコ盛りなこの秋。バンド力がだいぶ底上げされているだけに、楽しみは尽きない。

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

YOMI&RUKA interview

――〝the time rewind to ZERO〟ツアーファイナル、構成にしろ、パフォーマンスにしろ、全体のテンポにしろ、すごく良いライヴだったなと思うわけです。
RUKA：1曲目（「VERMILLION.」）の感動度合いがたまらないだろ？
――確かに、あの1曲目でライヴの成功が決まったと言っても過言ではないかと。
RUKA：ほらなっ。だからずっと「VERMILLION.」が1曲目が良いって言ってたじゃん、ツアー中にさ。
YOMI：いやいや、俺はずっと賛同派だったって。
RUKA：じゃあもっと賛同しろよ！いや、あの1曲目は良かった。
YOMI：うん、歌ってても気持ち良かったし。あれが1曲目で、ホントに正解だったと思う。
――という表題曲をはじめ、シングル「VERMILLION.」の曲たちがライヴでとても活きていたし、全体的にムダがなかったように思います。
YOMI：久々のライヴだとは思えなかったでしょ？
――久々だからこそ良いライヴにしたいという気概があったから、ですかね。
RUKA：でもね、レコーディングの最中だから、リハーサル少なかったんだよね。
――ということは、やはりバンドの状態がだいぶ底上げされている、ということですよね。
RUKA：うん、されてるね、完全に。ま、1曲目が良かったからな。
――どうやっても、話はそこに行き着いてしまうと。
YOMI：いける！って思った？

RUKA：思った。
YOMI：俺も思ったもんね。1ブロック目が終わるころには、〝今日はこのまま最後までいけるな〟って。集中してできたと思う。
――フロント4人のアグレッシヴな動きも効果的でしたし。ほぼ、攻めでしたね。
RUKA：本編のMCが短かいからさ、休めねぇの、全然。死んじゃうかと思った。アンコールで吐きそうになったもん。俺のことかわいそうだと思わなかった？あのアンコール。
――激しい曲の連打ですもんね。でも、拒否権を行使しないあたりがエライ。
RUKA：肉体労働者だよね、ホント。
YOMI：確かに（笑）。
RUKA：カメラがすぐ近くにあったけど、絶対白眼剥いてたと思う。
YOMI：俺も、超ツラかった。
――それを感じさせないあたり、さすがです。YOMIさんのMCも、全体の流れに良い感じではまってましたね。

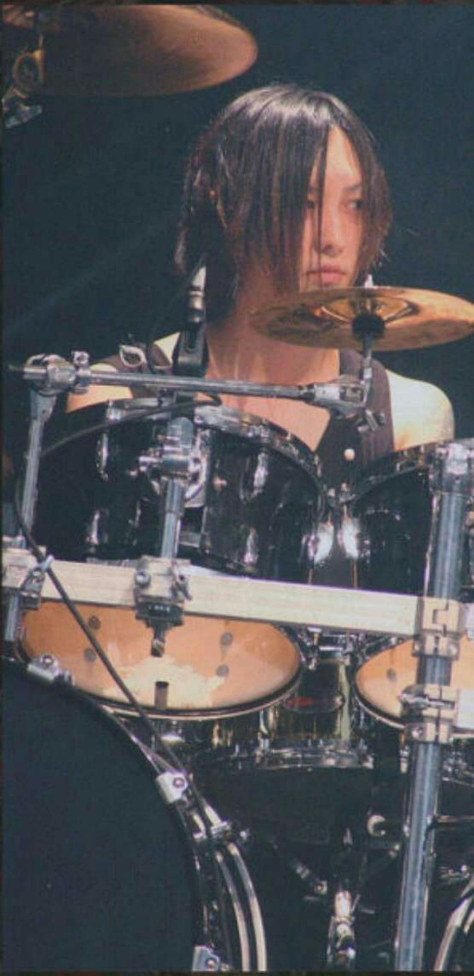
ていう流れで「Bye Bye」にいくのかなと思ったら、それは違ったんだけどね。
YOMI：その流れでいけてたら、さらにハイクオリティだったよね。
編集S子：私は逆に、「君といた季節」からつなげたのかと思いました。あれって転校の話ですよね。
YOMI：あ、そっちもあったか。
RUKA：最近のファンはわかんないって。オリジナルは、SHOXXのオムニバス（2002年に通信販売された「SHOCK JAM CD Edition.1」）に入ってた曲だもん。
――にしても、久々にこの曲をセットリストに組み込んだ、そのこころは？
RUKA：いつもファンクラブイベントぐらいでしかやってなかったんだけど、一昨年の武道館で、ゾジーさんが「Melody」を独りで歌ったじゃん。そのときに良い想いができたからでしょ？
YOMI：違うって！
RUKA：いや、俺はホントにこの事実をいろんな人に知ってほしくて。またそうやって自分だけが目立てるやり方をしたかったんでしょ？
YOMI：いや、あれってさ、良い意味でセットリストのフックになるじゃん？
RUKA：そんなのゾジーさんが考えると思う⁉人の曲を踏み台にして、絶対私物化しようと思ってるからね。
――そんな野望が⁉でも、こうして久々に日の目を見たからには、今後もライヴで聴けるといいなと。
RUKA：俺は不本意だね。本来、作曲

杂志迷
zazhimi.com

the time rewind to ZERO
NIGHTMARE

蝴蝶网
hudie.com

(問)＜伊達漢＞〒162-0831 東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld.
TEL 03-3268-7213(受付時間 平日12:00~18:00)
dateotoko@nightmare-web.com



RUKA：お前は淳くんとしてモテようとしてやってんだろ!?
YOMI：…うん。ははは！
——「君といた季節」を歌っている姿、すごく気持ち良さそうに見えましたしね。
YOMI：そりゃもう、ね。
RUKA：でも、実際一番気持ち良くなってたのは咲人だったんでしょ？（笑）。
YOMI：最後のところで、めっちゃ溜めてたからね。
RUKA：あ、それは見た。
YOMI：びっくりして二度見したもんね。あれは俺以上に入り込んでた！（笑）。
——ともあれ、震災で日程変更があったりしましたが…終始客席の熱も高かったですし、〝ナイトメアを求めている感〟がすごく強かったようにも思います。
YOMI：ただね、アンコールで、6月が誕生日のRUKAさん、Ni~ya、咲人の誕生日ケーキが出てきたときが、一番歓声が上がってたでしょ？ あれは、腹が立った（笑）。

RUKA：…俺、写真小さいし。
——ケーキにプリントされていたメンバーの写真、なぜか咲人さんとNi~yaさんだけが大きかったですもんね。何せ、それぞれに理不尽を感じていたと（笑）。
RUKA：ひどいよな、ホントに。絶対仕返ししてやるよ。だってさ、同じ6月だよ？ あれ見たらショックだわ。
YOMI：俺も、ケーキ見てあれ!?って思ったもん！（笑）。
——いろいろな意味で、神が降臨したライヴだったことは間違いありません。さて、9月7日リリースのシングル「SLEEPER」について、ヒントをいただいておきたいんですが…今回は、何が制作の原動力になったんでしょうか。
RUKA：…っていうかさ、〝カネ〟って言うと思ってるでしょ、絶対。
YOMI：オンナかカネかね（笑）。
——思ってませんよっ。タイアップありきでの制作ではあったんでしょうか。
RUKA：いや、タイアップは曲が出来てから決まったんだよ。録ったのも「VERMILION.」と同じだし。
——では、フラットに聴けるYOMIさんが、3曲それぞれの印象を語るなら？
YOMI：「SLEEPER」は、サビにパンチがある。俺的には、「VERMILION.」より〝サビきたな〟っていう感じ。
RUKA：…今、ゾジーさんとの間に溝が生まれた。
YOMI：いや、「VERMILION.」もいいよ!?
——溝、埋まりました？
RUKA：…埋まらないっ。
YOMI：「Star Spangled Breaker」は、事務所の社長いわく『ワンピース』らしいかな。

RUKA：…こんな感じでどう？
RUKA：…まあまあかな。40点。
YOMI：ありがとうございますっ!!
——詳しくは、次号でじっくり聞かせてくださいっ。あと、ジェム・ケリーとのコラボアクセを発売、CMにも出演という、新鮮なアプローチもありますからね。いろいろと楽しみです。
YOMI：CMね。自分でも楽しみだな。
RUKA：どうせまた自分がモテるからだろ？
YOMI：いやいや、地元でCMが流れたら、嬉しいしさ。
RUKA：アクセ作ってもらえる機会なんてそうそうないからね。それは良かったかな。せっかく作ってCMでしかつけられないっていうのはイヤだから、ずっとつけられる物にしたし。
——であれば、ファンは絶対欲しくなっちゃいますね。
YOMI：つい買っちゃうでしょ？ そこ、期待。これ、書いといてっ（笑）。
——かしこまりました。9月から10月にかけてはゼップツアーが開催されますが…お互いに望むことはありますか？
YOMI：肉体労働、一緒に頑張りましょう。
RUKA：俺のほうが年上だからなぁ…俺のほうがツライ。
——ツラさの打開策、何かありますかね。
RUKA：全部バラードだろ。
YOMI：それ、俺がツライって！ 叫んでたほうがまだラクだもん。よし、ツアー始まるまでに打開策考えよう（笑）。

杂志迷
zazhimi.com

SHOXX

これからは送料０円

新刊のSHOXXを発売前に予約して、

送料無料で自宅のポストにお届けします!!

電話・スマートフォンで予約

↓

コンビニでお支払い

↓

自宅のポストにお届け

は、■パソコン

http://www.ongakusenkasha.co.jp/

■モバイル【音楽せんか？】

http://mobile.ongakusenka.com/

【INFORMATION】制作 / 発行（株）音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3 Daiwa 銀座アネックスビル 5F
TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548

【お問い合わせ】音楽専科社 :03-3574-0201 (平日 月～金 10:30 ～ 19:00)
hanbai@ongakusenkasha.co.jp
©2011 ONGAKUSENKASHA | All Rights Reserved.

hudie.com
zazhi.com

YYARD

YOSHIMOTO CREATIVE AGENCY Y-YARD

V-ROCK AUDITION

YOSHIMOTO CREATIVE AGENCY,音楽マネジメントセクションによるVISUAL ROCK
専属マネジメントチーム「Y-YARD」が今秋、活動をスタート!! シーンを目指す新たな才能を求めていきます!!

ヴィジュアルROCKアーティストを長年メジャーレーベルや、マネジメントとして手掛けてきたスタッフによるプロフェッショナルなアーティスト育成を行っていきます。オーディション実施に伴い、ROCKシーンにおけるメジャー音専誌やメディアへのプロモーションの活路が開かれます。 さらに「Y-YARD」より各メジャーレーベルへのプレゼンテーションを行います。

募集要項

一次選考 応募方法は2通り!!

1

郵送の場合

■音源:ご自身のバンドで演奏された楽曲1～2曲入りのCD-Rをご用意ください。
■写真:バンド全体の写真、各メンバーの写真(バストサイズ、全身サイズ)をご用意ください。
■ライブ映像:生演奏されたLIVE映像入りのDVDをご用意ください。
※ただし、YOUTUBE等にライブ映像をアップされている場合は、そのURLを記載した書類をご用意いただいても可。
■プロフィール:バンド名、メンバー名、H.P URL等、バンドについて分かる資料をご用意ください。
上記を同封して以下の住所までお送りください。

株式会社YOSHIMOTO CREATIVE AGENCY CO.,LTD.
エージェント本部 マネジメントセンター 音楽担当 宛
〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目18-21 TEL:03-3209-8205

2

データ転送の場合

専用ホームページからデータでお送りください。 **http://www.y-yard.jp/** をアクセス

参加資格: 応募にあたり、現在レコード会社・音楽出版社・プロダクション等と契約していないこと。
締め切り: 郵送の場合、2011.10.31消印有効 データの場合、2011.10.31中にアップロード完了してください。

※お送りいただいた書類並びに音源等ご返却は行いません。予めご了承ください。 選考の結果は、原則として通過者のみへの連絡となります。

そして 最終選考に残ったバンドは…

2012.3月都内ライブハウスにてプレゼンテーションライブ開催!!

最終選考を通過したバンドは…
YOSHIMOTO CREATIVE AGENCY VISUAL ROCK マネジメントチーム「Y-YARD」にて専属契約。

お問い合わせ 株式会社YOSHIMOTO CREATIVE AGENCY CO., LTD. エージェント本部 マネジメントセンター 音楽担当 宛
〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目18-21 TEL:03-3209-8205

YOSHIMO
STAR GA

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

LM.C

THE MIRACLE BEING UNDER THE SAME STAR

“これまでのLM.C”を連れて未来へ行きたい

たとえ雨や嵐で夜空が見えないという、そんな時にも。厚い雲の彼方では、きらめく星たちがいつもと変わらずにずっと瞬き続
7月27日に発表される、LM.Cの新しいシングル『星の在処。-ホシノアリカ-』の中で描かれているのは、星という名の希望であ
願いなのではなかろうか。心洗われるほどに美しい星明かりは、きっと私たちを光溢れる未来へと導いてくれるはずだ

Photography : SHIGERU TOYAMA (starmine)
Hair & Make-up : CHINATSU TABATA
Interview : YUKI SUGIE

の在処。-ホシノアリカ-」も初披露されましたよね。何だか、あの一連の流れからは必然性と運命性の両要素を強く感じてしまいましたよ。

maya：2年前に野音で「YAON de FEVER」っていうライヴをやった時にも、なんか凄い爆発するような力っていうんですかね。これがLM.Cだって言い切れるものを打ち出せたなっていう実感があったんですよ。今回の「YAON de FEVER FEVER」に関しては、4月から延期になったこととか、あのセットリストの内容や、雨っていうシチュエーション、その中で武道館の発表をして、みんなの前で初めて「星の在処。-ホシノアリカ-」をやったこと——その全てがLM.Cにとっての必然だったんだと思います。2年前以上に、あの空間にはLM.Cっていうものがめいっぱい詰まっていたし、最高でした。

——Aijiくんにとっても、当然あの一夜は感慨深いものでしたよね？

Aiji：現実問題として、明日って何も保証されてないんだっていうことをリアルに知っちゃった今、震災以降はどのライヴに対しても1本1本がそれぞれ特別なんだっていう意識になって来てるところがあるんで、野音だけが特別っていうわけではなかったですけどね。でも、あの日も凄く良いライヴだったのは確かです。いくらオカネ出しても買えない、雨っていうドラマティックな演出もあったし、自分の人生の中の1ページとしていつまでも残っていくような、ライヴのひとつになったなって思います。

——そんな記念すべき場で、初披露されたのが今回のシングル「星の在処。-ホシノアリカ-」なわけですが、この曲タイトルについては3月中から、mayaくんがWeb上で早々に提示していました。リリース情報としてではなく、まず最初に曲タイトルだけを知らせた理由は何だったのでしょうか。

maya：何となく、ですかね。タイトルを発表した時にブログでも説明してた

杂志迷
zazhimi.com

通り、この曲自体は去年の夏に家で作ってたものだったんですよ。でも、その時はあんまりやりたいと思えないところもあって、最終的に『LET ME' CRAZY!!』のほうを去年の秋に出したんですね。

——そういえば、当時mayaくんは「実は、他にもシングルの候補曲はあった。そっちのほうがドンズバで〝LM.Cらしいでしょ〟ってなる曲だったんです」と言っていましたね。

maya：ああ、まさにそれがこの曲です。その時は、そのうち後でやればいいやくらいの気持ちでいたし、曲に対しての愛着なんかはほとんどないまま、タイトルも付けずに放ってあったんですよ。

——そのままでいけば、どこかに埋もれていってしまうかもしれなかったこの曲の、運命を大きく変えたのは…

maya：震災、でしたね。最初、自分ではそのことについて認めたくはなかったんです。震災によって、自分の気持ちや人生観までが揺さぶられた、だなんて。自分ではそういうタイプの人間じゃないって認識してたし、なんかそんな風になるのってちょっと短絡的で好きじゃないくらいに思ってたんで[illegible]。だけど、今振り返ってみるとこの曲[illegible]急に意識が向いたのは、やっぱ[illegible]震災があったからなんだと思います。

——3月のあの日、mayaくんは何をしていたのでしたっけ。

maya：家で曲を作ってました。それも、『SUPER DUPER GAL[illegible]』の次にシングルの曲を。だけど、あの日を境に、今回のタイミングで出すつも[illegible]って出したいのは、これじゃな[illegible]なったんですよね。そこに理[illegible]理由なんか何もなくて、ふと[illegible]去年作ったこの曲のことをはっかり[illegible]るようになってたから、そこで先輩とかスタッフに、次はこっちの曲をやりたいんですけど、って相談しました。

——その言葉を聞いた時、Aijiくんはどんなことを感じましたか?

Aiji：俺としては、mayaがそういうことを言ってくる前から、次はこっ

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

LM.C
THE MIRACLE BEING UNDER THE SAME STAR☆

曲を作ってたんですよ（笑）。

Aiji：たいしたリアクション返って来なかったもんなぁ、あの時（苦笑）。でもまぁ、その後「星の在処。-ホシノアリカ-」っていうタイトルが3月中には出て来て、そこで"やっとスイッチ入ったんだな"って思ったんですよ。

——スイッチが入ったら入ったで、愛着が沸かなかったという先ほどの言葉がウソに思えるほど、ここまで存在感の強い曲に仕上がったわけですから、mayaくんは何とも極端な人ですよね。

maya：自分でも、いまだにあの前後のことってよく分かんないんですよ。ただ、ああやってタイトルを先に発表したっていうのは、この曲をみんなで作ってる感じが欲しかったからだろうな、っていう風には思いますね。あの時点では、まだ詞も曲も完成形にはなってなかったから、ここからみんなでこの曲を作ってくんだっていう感覚が、どっかで欲しかったのかもしれないです。

——かくして、完成した「星の在処。-ホシノアリカ-」ですが…この曲は野音で聴いたその時から、新曲であると同時に、ある種のコラージュ的要素も持っている作品のように感じております。

maya：元々曲を作り出した時から、例えば「BOYS & GIRLS」であるとか、これまでLM.Cが作ってきた曲たちと近い色とか、空気感は僕自身も感じてはいたんですよ。

Aiji：LM.C的には、ホント王道なタイプの曲だもんね。

maya：でも、意図的にこれまでの要素を取り入れていくようになったのは、3月以降に曲作りを再開してからのことですね。今まで出したシングルのフレーズとか、曲のタイトルを歌詞に入れていったりして。要は、今までのLM.Cを連れて、ここから未来に行きたいっていう気持ちが凄く強かったんです。

——そして、その作詞をしていたのであろう時期にも、mayaくんはwe[illegible]でファンのみなさんに呼びかけていたことがありましたよね。

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

maya：とにかく、みんなの気持ちを集めたかったんですよ。だから、嬉しいことでも、悲しいことでも、いろんな話を聞かせておくれということでみんなには伝えてましたね。それがどう作品に反映されるかなんていうのは、その時点ではまるで見えてなかったですけど、何しろそうしたい衝動に駆られてたんです。

――聞けば聞くほど、この曲は特殊な生い立ちを持った曲となったようですね。

maya：音楽って、こんな風に利用できるものだったんだなって思いましたよ。自分的には、ひたすらにみんなの力で「星の在処。-ホシノアリカ-」っていう宇宙を加速させて行きたかっただけなんだけど、やっていけばやってくほど、これは音楽とか曲とかっていう名詞じゃなく、"現象"っていう言葉で表したほうが正しいんじゃないか?っていう風にも感じてたくらいです。

――それだけ思念のこもった曲を仕上げていくにあたり、Aijiくんとしてはサウンドメイクの面について、どんなことを留意していったのでしょう。

Aiji：俺はいつも通り、その曲がいちばん行きたがってる方向に音を持ってっただけですよ。とは言いつつも、クリエイターとしては最新な耳触りっていうのを感じてほしいところはあったんで、今だから出来ることっていうのも要素としてはいくつか入ってます。

――LM.Cとしての王道が、新鮮な音像で描かれていますものね。

Aiji：たぶん、これって曲調的には5年前のLM.Cでも、けっこうな高いクオリティで作れてた系統の曲だとは思うんですよ。でも、あれから5年経ったからこその説得力とか、パワー感がここにはプラスアルファの部分として、しっかり入ってるんですよね。今回の場合は、そこが凄く大きかったんじゃないかな。

――つまり、これはありそうでなかった佇まいの楽曲だとも言えそうです。

Aiji：だから、俺もmayaが最初「愛着沸かなかった」って言ってた気持ちは分かるんですよ。あのまんま普通に

と、磨かれたメロディが乗って、このサウンドが重なった時に、初めてこれだけの存在感を持つ曲になったんだと思います。

――mayaくんからすると、この曲の音を作っていく上で最も大事にしたのはどんなことでしたか。

maya：何でしょう? 言葉で表すなら、愛ですよ。

――臆面もなく、愛と言い切りますか。

maya：もうね、最近はずっと確信してるんです。音楽的にどうとか、そういうこと以上に大切なのは、そこに心があるのかどうかなんじゃないかなと。「LM

何のために生きてるのかとか、そういう漠然とした疑問に対する全ての答えが何か見えた気がしてるんです。忘れちゃいけないのは、そこに愛はあるのかい?ってことなんですよ。

――どこかで聞いたフレーズですねぇ。

maya：そうそう。名付けて、ひとつ屋根の下的精神（笑）。

――しかし、そこまでメンタルな部分が軸になって来ると、音楽制作のプロセスもより高度になって来そうですね。

Aiji：それはあります。mayaの気持ちとか、歌詞も含めた世界観をちゃんと見渡して理解してないと、アレンジ

ホシノアリカ-」はこれだけ胸に響くものになっているのでしょうね。**

Aiji：愛と絆を感じますよね。言葉にすると青臭いけど（笑）、今のLM.Cの核はそこだなって俺も思います。

maya：ですよね。みんなの気持ちと愛を憑依させたLM.Cの宇宙そのものなんですよ、この曲は。

――ちなみに、この曲にはファンのみなさんから集めた声も入っていますよね。みんなの気持ちを曲に憑依させるために、mayaくんは相当に手間のかかる作業をしたそうではないですか。

maya：作ってるうちに、リアルな

声を送ってくれ。ってブログに書きました。

Aiji：個人宛にそれを送ってもらうっていうのが、メジャーでやってんのにすげぇインディーズっぽいよね（笑）。

maya：いや、最初はそんな来ないだろうと思ってたんですよ。それが、フタを開けたら世界中からたくさんの声が集まってて、驚きました（笑）。しかも、それをひとつずつ全部トラックに起こしてく作業がホントに地道で（笑）。最後まで自分でやりましたけど。

――その甲斐あって、「星の在処。-ホシノアリカ-」はLM.CとLM.Cを愛する人々にとっての、素敵なモニュメントにもなったのではないです?

maya：そうですねぇ、そうかも。中には、このシングルがリリースされてから、"私も、声を送っとけば良かった。"って言う人がいるかもしれないですけど、もはや送った／送らないはそんな重要じゃないですから。みんなの気持ちは全部届いてるし、この現象にみんなが巻き込まれてるっていう事実だけで充分なんです。

――8月に名古屋、大阪、東京にて行なわれるZeppサーキット【LM.C TOUR 2011-CRAZY A GO GO GO TO THE 5TH ANNIVERSARY-】や、ひいては2012年1月8日に日本武道館で行なわれる【～★ Rock the PARTY ★ 2012】などで、この曲がどんな風に響いていくことになるかが楽しみですよ。

maya：ホントに。我々も、そこは凄く楽しみにしてるところですねぇ。

――ところで、今回のシングルには、2曲目にいきなり別のアーティストの曲が入っていませんか。

Aiji：え、[illegible]っすか!?

――幻聴ではないと思いますよ。アノやんちゃかつヤバい音は、いつぞやぶりのTHE MAD LM.Cですよね??

maya：まさか、これが2ndシングルってことで（笑）。なんか、また出て来たくなったみたいです。

――[illegible]か、MAD AIJI氏の欲

Vo. シン

ViVi
BLU

3つのブルー

ONEMAN LIVE TOUR
ViViD COLORS」ファイナ
外音楽堂公演(5月15日)に
ファイナルに相応しいステ
くれたViViD。そんな彼ら
メジャー第2弾となるSIN
をリリースした。表題曲の「
レビ東京系アニメーション
のオープニングテーマ曲と
すでに耳にしている方も多
は、そんな「BLUE」に込めた
バー 5人に語って貰いまし

Photography:HIROE YAMAUC
Report&Inter
Hair&Make-up: SAYAKA/KAORI OK
Styling:KAZU
Costume:グラブ(☎03-3478-9855
(☎03-3477-8188)/FUGA by Silverbullet原宿(
JURYBLACK(
VANQUISH(
BUFFALOBOBS(☎03-3477-8163)/_L

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

Gt 零乃

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

――シングル「BLUE」の3曲、どれが表題曲になってもおかしくないなと。

零乃：確かに、それぐらいのパンチはありますよね。

Koiki：前作の「「夢」～ムゲンノカナタ～」ではバランスも考えたけど、今回は、今一番カッコイイ曲を入れようっていう感じだったもんね。

――そこに、今のViViDが良い状態かが表われている、とも言えますね。では、イヴさん作曲の表題曲に関して、それぞれの視点から魅力を語るなら？

零乃：メロディですかね。パっと聴いてすぐメロディが入ってくるし、1曲を通してストレートに聴ける曲だと思います。

Koiki：やっぱ、メロだよね。カッコイイし、聴いててすごく頭に残る。

怜我：俺は、2サビの後、転調するDメロですね。サビからガラっと雰囲気が変わって切ない感じになるんで。そこ、すごく好きです。

――そのメロディを、押し引きのバランスが絶妙なアレンジが引き立たせますね。

零乃：すっきり全部の音を出そう、とは思ってましたからね。特にサオ陣のユニゾンする部分とか、ハモる部分とか、交互に弾く部分とかは、意識してました。イヤホンで聴くと、臨場感あるサウンドになってるんじゃないかな。

――作曲者的にも、満足度は高いんじゃないでしょうか。

イヴ：うん、みんな素晴らしいですよ。1曲に全部を詰め込むんじゃなくて、押し引きをわかってきましたよ。ギターソロにしても、零乃は速く弾きたいだろうけど、味のあるソロを弾いてくれてるし。

零乃：最近、聴く音楽も少し変わってきましたからね。今まではとことん速弾きがウマくなりたいって思ってたけど、泣きのフレーズだったり、ギターで感情を伝えたいなって思うし。「BLUE」のギターソロは、一発目チョーキングから入るところが気持ち良いですよ。

――シンさん的には、そういったアレンジ祭り、情景の見える曲が、言葉を引き出してくれた感覚もあったりして？

シン：今、みんなの話を聴いてて思ったんですけど…曲に展開があるからこそ、1曲の中で壮大なことを書きたいと思ったのかなって。〝人生とは〟ということをテーマに書いたんですけど、いろんな展開があるから、自然と歌詞の視点が変わったし、言い方が変わったし。やっぱり、影響はされてますよ。あと、これまではメロディを自分でつけることが多かったんですけど、3曲すべて、作曲者がつけてるんです。本に例えるならタイトルだけ決まってて内容は自分で書くような感覚もあって、すごく新鮮でした。

――ちなみに、〝一度きりの旅だから〟という歌詞のフレーズに、それぞれ、自分なりの人生哲学を繋げるなら？

零乃：一度きりの旅だから、悔いのない1日1日を過ごしていきたい。こういう仕事を選んだのは、そもそもそういう考えがあってのことですからね。安全パイを選択して人生を歩みたくないわけです。

イヴ：俺も、一度きりの旅だから、自由でいたい。自由が好きだから、この仕事をやってるし。中学生のころにミュージシャンでプロになりたいと思った理由は、〝就職して黒髪になりたくないから〟ですもん。

Koiki：うん、俺もそうだった。

イヴ：でしょ？ 今となってはむしろ黒髪になってるけど（笑）、当時はずっとピンク髪とか金髪でいたいと思ってたから。

怜我：俺は…これまで何事も上辺だけで食わず嫌いをすることも多かったけど、一度きりの旅だから、何にでも食いついていこうかなと。今、そういう感じです。

Koiki：一度きりの旅だから、勝ちに行く。勝ちたいんですよ。

怜我：たとえば何に勝ちたいの？

Koiki：…動員とか枚数とか、全部。

怜我：要するに？

Koiki：地位と名誉が欲しい（笑）。

零乃：でも、それ大事だよね。

シン：うん、大事。

Koiki：20代、30代は闘う時だと思うんですよ。そこでいかに闘うかで、その後も決まってくるわけだし。

――勝ち続ける！ という気概を持ち続けるのは、容易ではないでしょうけどね。

Koiki：うん、大変だとは思う。

零乃：でも、地位と名誉のためにって思ったらいけるよね。

怜我：逃げたら負けだよね。

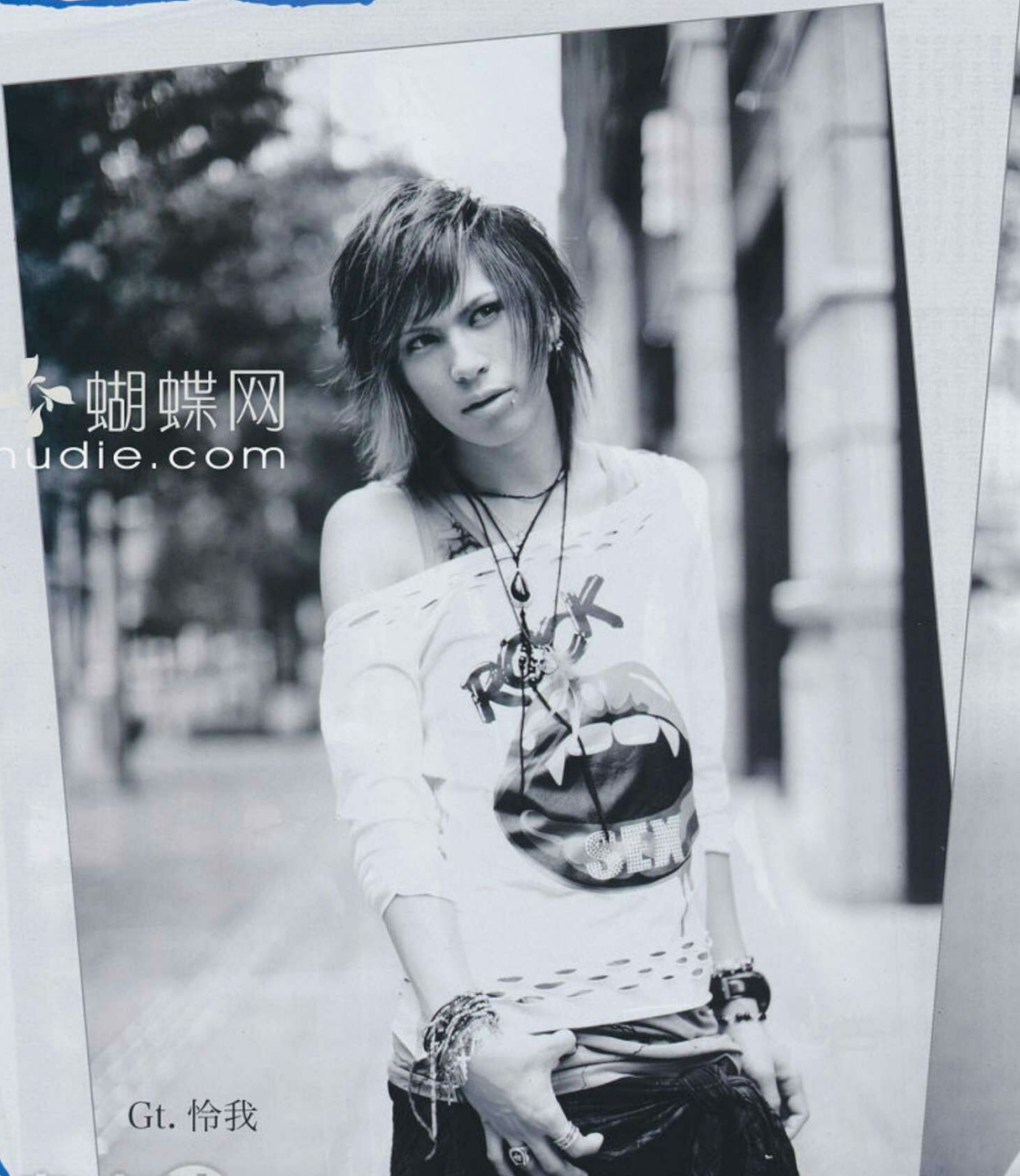
Koiki：うん。最初から負けていいやって思ってたら、その程度の人にしかなれないし。楽しく生きるためにも、勝ち続けますよ、俺は。

シン：…この質問、Koikiがトリで良かったんじゃない？（笑）。

Koiki：いやいや、シンさんは作詞者だけに、深いこと考えてるでしょ！（笑）。

シン：俺は、一度きりの旅だから、そのときの自分を一番好きでありたいと思いますね。そのときの自分が、一番輝いていたいじゃないですか。

Koiki：最終的にどうなりたいの？



Gt. 怜我

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

シン：え!?　…やっぱり、名を残したいですよね。自分なりに納得のいく名の残し方をすれば、全部後からついてくると思うし。ま、自分の好きなことで、最高の仲間と音楽をできてるのは、最高ですよ。

ね。なおかつ、プログレ好きだけじゃなくて、それをみんなにカッコイイって思ってもらえるようにしたかったんです。

——確かに、ただのマニアックでは終わらない、間口の広い印象ですが、演奏陣としてはどう受け止めました？

た！　と思って。そこから、車の中で零乃がかけるBGMが変拍子だったりしても、実はカッコイイなって思ったりしてます、はは。

Ko-ki：変拍子、慣れたら楽しいし。

イヴ：うん、慣れればできるよね。俺は、楽しくはなかったけど…。

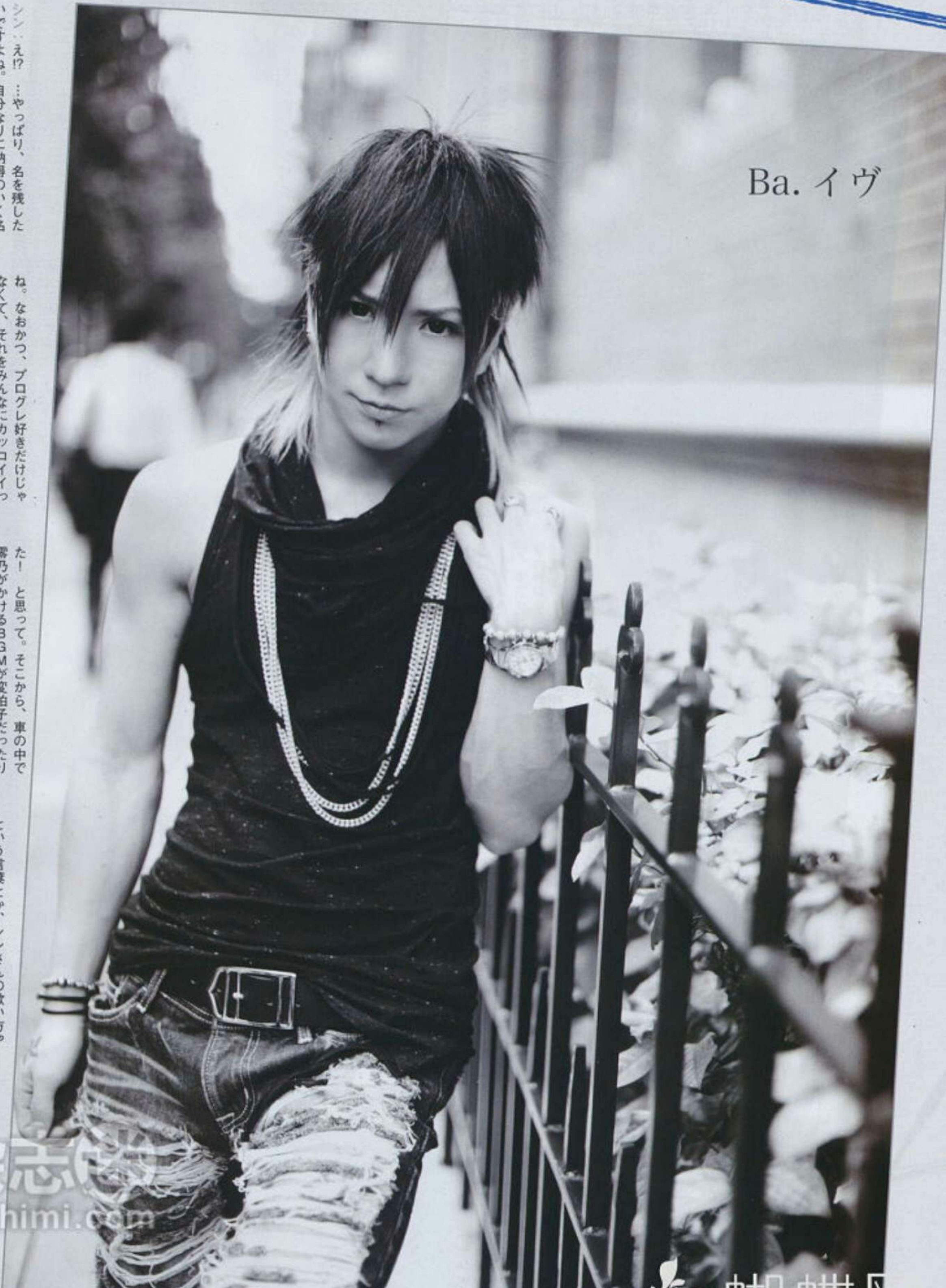
という言葉とか、シンさんの歌い方や歌詞にドキっとさせられたりもしますし。

怜我：作曲者の零乃が妖艶だからね。

零乃：どういうこと!?　でも、シンの

ごく好きです。

——それから、イヴさん作曲の「Re:Load」は、メタルに突き抜けているなと。



Ba. イヴ

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

ル要素のある曲だけど、ギターらしい音を出してたりして。メタルに寄り過ぎず、カッコよくできたかなって。

Ko-ki：ドラムパターンも、自分が聴いてきたルーツそのままだし、こんなにやりたいように叩いたのはこの曲が初めてかもしれない。楽しいですけどね。

転調してるんですけどね。サビとベースソロで。それがViVIDらしさかなって思うし。

零乃：違和感なく転調してるよね。

怜我：俺、最初気付かなかったもん（笑）。

――この激しい曲調に、女の子目線の

ないけど、映画とか本とかドラマとか、過去見たものを思い返しつつ、リアルに情景を描けたかなと。あと、今回の3曲を通して、いろんなブルーが見えるんですよ。表題曲は海のブルーだし、「CRISIS」は人間模様がダークな青だ

――さて、2011年の下半期、ViVIDはどう進んでいくんでしょうか。

零乃：今までのViVIDのライヴバ

零乃：うんうん。来年1月7日の武道館に向け、それぞれがスタイルを確立して、進化していきます。

Dr.Ko-ki

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

(問)PS COMPANY Co.,Ltd.
〒168-0064 東京都杉並区永福4-19-17 1F
http://www.pscompany.co.jp/vivid/

Plastic Tree

rom ammonite to Ammonite.

太朗曰くの、浮世離れした世界。それは、ここからもっと拡大・深長化してい
ことになりそうだ。ツアー［アンモナイト（小）］と、年末からの振替公演［ゆく
ラ　きたプラ］を経て、Plastic Treeはこの秋、さらに規模をスケールアップさ
た［アンモナイト（大）］へと向かう。各場所、そして千秋楽の両国国技館では、
体どれほどの深い世界が描かれるのだろうか…?

Photography:SAWAE HARA（6.22@TOKYO DOME CITY HALL）
Interview&Text:YUKI SUGIE

夢と現の狭間に位置するライヴ空間では、どんなことも可能になる。場合によっては、時をくるくると巻き戻すことさえいとも容易い。

6月上旬に台湾にてツアー「アンモナイト（小）」を終えたばかりの彼らが、この日に臨んだのは昨年末から延期になっていた「ゆくプラ　くるプラ」あらため「ゆくプラ　きたプラ」。半年前のことを思い返しながら、気温30℃越えの日に聴く冬の歌はとても感慨深く、そして乙だった。もちろん、恒例「土曜プラトゥリ劇場」でも場内が沸いていたことは言うまでもない。そして、最後は「リセット」にて全て御破算。

Plastic Treeは、もはや次の「アンモナイト（大）」へと向けて、しかと前に進み出している。

が先日無事終わりました。一連のライヴを完遂させた今、メンバーのみなさんがどんな心境でいるのかを教えて下さい。

長谷川正：まず、「アンモナイト（小）」の方に関して言えば凄く有機的なツアーだったなって思います。アンモナイトって本来は化石のはずなのに（笑）、ライヴで曲が目まぐるしく育ってったあの感覚は、まさに生きものでした。

——震災の影響であったとはいえ、結果的に足掛け4ヶ月という長い期間の中でアルバム『アンモナイト』の世界を深めていけたことも、バンドにとってはプラスに働いたのかもしれません。

正：確かに、今回のライヴの中で軸になってた『アンモナイト』の存在は凄く大きかったです。みんなにこの世界を伝えに行きたいんだっていう、強い気持ちを持った上で各地を廻れたツアーでもあ

ツアーではライヴの度に塗装を増やしていくような感じで、曲をカッコ良くしていきたい〟と明言していましたが、実際その通りのツアーになったようですね。

佐藤ケンケン：そうなんですよ。俺が入ってからはいちばん長いツアーだったんですけど、自分としては今までの中でいちばん無心でライヴに臨めたツアーだったなっていう気がしてます。ホント、各地で満喫出来ました。でも、全然まだ終わった感じはしないんですよね。これから「アンモナイト（大）」もあるし、もっとここから進化させていくことが出来るだろうな、とも思ってます。

——やはり、Plastic Treeは生粋のライヴバンドなのですね。

ナカヤマアキラ：いやでも、最初は相当シンドかったっすよ?（苦笑）当初は、CD通りに弾くだけで精一杯だったもん。これだけ良いアルバムが出来たのは良いけど、ライヴでどうやってくのよ?ってなるわけじゃない。始まったばっかりの頃なんて、俺〝ギター、ガン見して演奏すればいいや〟って開き直ってた（笑）。

——おまけに、ギターをガン見しようにも、今回のステージは終始かなり薄暗いことが多かったのではないです?

アキラ：そうそう。今回からVJさんがついてくれたりして、演出的に新しい試みをやりだしたのはいいんだけど、弾いてる側も今までにない環境でやることになったっていう。まぁでも、そこも含めて今回はいろんな刺激があって面白かった。ここに来て、また良い経験をさせてもらえたツアーでした。

——そこはオーディエンス側としても、今回のツアーで新たな音の楽しみ方をPlastic Treeに教わった感覚がありますよ。溢れる音に浸り、場に漂う空気を堪能するという、機微の大切さをみなさんのパフォーマンスから感じ取ることが出来ました。

有村竜太朗：なんかこう…SEが始まってから本編が終わるまで、自分自身でも今回はその世界に〝引き込まれる〟ような感覚が強かったですね。どこか、浮世

を入れてみたことで、お客さんたちからステージやメンバーの顔が見えにくいところはあったかもしれないですけど、結果的には照明を減らせた分だけ節電が出来たっていう効果もあったし、それ以上に今までよりもっと表現追求できたんじゃないかな、っていう手応えが凄くあって。時には異様なほどのカタルシスを感じながら、日々いろんなところで、めくるめく世界を僕も深く味わっていました。

——と同時に、今ツアーの中での竜太朗くんは、時折MCで〝直接みんなの顔を確かめられて嬉しい〟という旨のことを発言していましたよね。

竜太朗：やっぱり、こういう時期でもあったんで、ライヴという行為の価値を改めて確認することが多かったんですよね。3月20日に清水からツアーを始めた当初は、ぶっちゃけ〝ライヴしてる場合なのかな？〟とか悩んだこともあったんです。でも、散々みんなとも話し合った上で〝迷惑かかんないところには、ちゃんと行って、きっちりやろう〟って決めて、そこから一本ずつやっていった時に、〝ライヴって、ここまで大事なものだったん

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

で良かった…り返せたというか、本来やるはずだったことをそのまま出来たんで、なんか個人的にとてもすっきりしました。

——なお、この夏については、初の

竜太朗：（大）っていうことで、今度はま絵よりも大きな場所での見せ方とか、世界の作り方をどうやってくかが焦点になるでしょうね。

竜太朗：『アンモナイト』を、最後の完成形までみんなにしっかりと伝える場にしていきたいです。

正：もっと音で圧倒していきたいよね。

でも10倍の〝何か〟を、この4人で発しなきゃいけないわけじゃない。そういうプレッシャーに負けることなく、心の余裕を持った上で良い演奏を出来るオトナになりたいね。出来るように頑張る！

ケンケン：いやー、どうなるんですかねぇ。今から楽しみですよ。

正：（小）の時は基本的にアルバムの流れに沿ったライヴだったんですけど、多分ちょっと曲が入れ替わるくらいでも印象が変わってくる可能性があると思うんですよね。曲順の決め方も、また重要になって来そうです。

竜太朗：そうだよね、そこは今からみんなで一生懸命考えなきゃ。

——千秋楽は、10月8日の両国国技館です。こちらで相手となるのは、3000人ところの騒ぎではないですよ。

アキラ：そだね。俺、国技館って行ったコトないや。

——そもそも、国技館を選んだ理由は何だったのでしょう？

竜太朗：んーと、純粋にやってみたかったから。テレビではよく見かける場所だけど、僕も行ったことないとこだし、面白そうだなと思って。どんな景色の中で、どんなライヴが出来るのか、今から楽しみなんですよね。

——国技館以外で行なわれる各地でのライヴにも、〝〜場所〟とついているのは、ちょっとした遊び心ですか。

竜太朗：うん。せっかくだし、初日から千秋楽までをみんなで楽しめたら良いなと思って、こういうことになってました。

アキラ：国技館ってことはさ、相撲の時に売られてるような特製弁当みたいのとかあるといいよね。

——確か、国技館には地下に焼鳥工場があると聞いたことがあります。相撲では手をついてはならない→2本足で立つのが大事→ニワトリ→焼鳥という験担ぎで（笑）、お弁当と共に販売されている人気商品らしいですよ。

アキラ：マジで？ じゃあ、ウチも焼鳥弁当出そう。プラ鳥弁当（笑）。

竜太朗：あ、それいいなぁ（笑）。

世界に引き込
"浮世離れ"した

「ゆくプラ　くるプラ」振替公演
「ゆくプラ　きたプラ」
2011.6.22 TOKYO DOME CITY HALL

【set list】
1.眠れる森
2.サナトリウム
3.真っ赤な糸
4.冬の海は遊泳禁止で
5.無人駅
6.涙腺回路
7.メルト
8.空中ブランコ
9.———暗転
幕間「土曜プラトゥリ劇場」
10.エーテルノート
11.オレンジ
12.ムーンライト———。
13.Ghost
14.ガガジ
15.みらいいろ
16.メランコリック
17.ツメタイヒカリ
18.クリーム
<encore>
19.本日は晴天なり
20.リセット

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

DEATHBIE

Interview:NAOKO TAKEICHI

バンドプロフィール非公開、バンドコンセプト非公開——。まったく為体の知れないバンドが突如姿を現した。その名はDEATHBIE。黒を基調としたゴシックな衣裳に身を包み、洋式美ヘヴィサウンドで攻めまくる彼ら。2月21日に名古屋のE.L.L.でライヴを行なって以来その存在を探る者は多かったが、彼らがいよいよベールを脱いだ。今回は結成の経緯と1stシングル「鮮血のマリア(仮)」の話を訊こう。(※DrのD･novemはラテン語で話していたのを編集部が翻訳しました)

骸：ようこそ。まずは僕達の周期のお話をしましょう。

——え!? 周期!?

山田です。：そう。僕達は1，000年前に死に、再びこの世に生まれ出逢った4人なのです。

——あ……はぁ……。

山田です。：理解してませんね。

——ええ。まったく。

山田です。：説明しましょう。僕達は今から1，000年前に事故で一度死んだんです。1，000年後再び蘇り一緒にバンドをやろうと誓い合い、その世を去ったのです。それぞれ天使となり…

一同：墜天使とかのが良くない？

山田です。：ではそうしましょう。

——今決めるなっ！

山田です。：（何ごともなかったように）墜天使となり、1，000年という歳月を過ごし、今ここに蘇ったのです。それぞれに蘇った4人が再び出逢うことになったのは、僕がバンドのメンバーを募集したところからでした。掲示板にメンバー募集の紙を貼ったところ、綺麗に3枚なくなっていて。その紙を持っていったのが、この3人だったんです。これは偶然じゃないんです。

骸：そう。出逢ったとき、お互いすぐにわかった。

D・novem：そう。“オ…オマエ、まさか1，000年前に…!!”って。

山田です。：“そうそう。”って。

——ず、随分ラフな会話だったんですね。

D・novem：ああ。は、インスピレーションってやつ？ それ。

山田です。：ちなみに僕は四日市に生まれたのですが、AYABIEというバンドの夢人の親戚なんです。

——あ、私その夢人って人知ってるけど。

山田です。：そうですか。親戚なんです、僕。

——そんな奇妙な親戚が居るって話聞

杂志迷
zazhimi.com

—ゆ、友人!? また大雑把な設定だね。
D・novem：設定じゃねぇから。
—喋り方、KENZOとそっくり。
D・novem：よく言われるよ。タトゥも同じだからね。
アルプス：私はAYABIEのタケヒトの1，000年前の父だ。
—1，000年前の父!?
アルプス：そうだ。今の父ではないがな。1，000年前の父だ。
—お父さん、ギター弾けるんですか？
山田です。：弾けるとかの問題じゃないんです。ギターが彼を弾くんです。
アルプス：（笑／↑吹き出すタケヒト）そうだ。私はギターに弾かれている。
—あ、はい。で、DEATHBIEはもう既に今年の2月21日にライヴをされているんですよね？
アルプス：そう。もうそのライヴのときから今回の1stシングルの曲をやったな。すごかったな、ウチの山田は。まだ誰も私達のことを知らないのに、いきなり"一緒に歌って下さい"って言ったからな（笑）。
—客席は？
D・novem：笑いの渦だったな、たしか。
—あはは（苦笑）。もちろん曲は？
山田です。：天から降ってきます。
—でしょうね。今回のシングルには何かテーマが？
D・novem：今作のテーマは"輪廻転生"だ。
山田です。：そう。僕たちのようにまた再び生まれ変わるという。
—表題曲「鮮血のMARIA」はゴシックな1曲ですね。
山田です。：僕、中学生の頃からGACKTさんとか大好きなんで、カラオケとかずっとこういう歌い方してるんですよ。だからむしろこういう歌い方の方が得意で。曲もゴシック系の曲大好きなんです。
D・novem：おいおい、随分普通に喋ってるな（笑）。

今、此処ニ蘇ル四ツノ魂

山田です。

アルプス

鴉

D・nover

眠ったら貴方は蝋人形…

う。ってすごくないですか!? 首ないのにどうやって笑ってるのが分かるんだっていう。突っ込みどころ満載なんです。
アルプス：「鮮血のMARIYA」ではPVを作ったのだが、まだここまで合成が発達していない時代をリスペクトして、古い加工で作って。それがまたすごくいいんだ。ぜひそちらも見てほしい。
—PVも凝ってそうだね。それは早く見たいかも。3曲目はまた90年代のロックシーンをリードしたバンドサウンドにも通ずるものがあって。
D・novem：そう。そこはリスペクトも込めてね。この曲は私が天より持ち帰ったものなのだが、私もまさしくタイトルどおりの状況にあったことから、この曲はこのタイトルに曲と歌詞の意味が集約されていると言っても過言ではないんだ。ちなみに、タイトルとなっている「la gueule de bois」はフランス語なので、みんな訳してみるように。これを訳せばこの曲を持ち帰った時の情景を一発で知れるから。
D・novem：コード進行をどこまで変えずに作れるかってところで作ってたんだけど、意外と難しくて。
アルプス：これは説明するのが大変なんで、ぜひ聴きなさい。
鴉：そうだな。絶対に損はさせない自信ある。
—あ、それは本当にそう思う。インタビューはこんなにとっちらかってますけど、音は純粋にいいですからね。歌も。
山田です。：歌詞は突っ込みどこ満載ですけどね。そこもいいんです！ いや、そこがいいんです！
鴉：そこが個性なんだ。
—言われてみれば「コトリノサエズリ」の歌詞もすごいよね。"眠ったら貴方は蝋人形…"ですからね（苦笑）。
一同：（爆笑）。
—これ、大見出しで使えそう。
山田です。：あ、そうして！ かなりなインパクトだと思うから！

てきてるので。
鴉：蝋人形なんて言葉は、久しく聞いていない。
D・novem：フッフッフ（大[illegible]笑）。しかし、この歌詞改めて読むとすごいな。"OYASUMI…眠ったら貴方は蝋人形…"の後に"OHAYO[illegible]"って、目覚めたら私はもういない…"って、目覚めてんじゃん！ 蝋人形にな[illegible]たんじゃなかったのかよ！ってい[illegible]（笑）。
一同：（爆笑）。
山田です。：そうだよね。それに、[illegible]いてかれちゃったんだ！って[illegible]（笑）。なかなかいい突っ込み出来る歌詞だよね。
アルプス：自分で書いたのに（笑）。
山田です。：自分で書いたのにこんなに笑えるって。あ～楽しっ。
鴉：本当に楽しいな、DEATHBIE。
—どうします？ 人気でちゃうかもしれないですけど。
D・novem：望むところで。私達はあくまで真剣にやってるのでね（笑）。ぜんぜんウエルカム。
鴉：そして、今回のシングルにはあともう1曲「もうヘドバンなんてしないなんて言わないよ絶対」という曲も入る予定だ。そちらも楽しみにしてほしい。
アルプス：7月29日からは全国ミサもありますので、そちらにもぜひ遊びに来て下さい。
—東京がツアーに入っていないけど。
D・novem：ま、そこはお楽しみということで。後々発表したいと思います。
—DEATHBIEは蘇った今、何がしたいの？
鴉：DEATHBIEは……この世界を変えるために存在する…。
アルプス：世界発信に決まっているだろ。
D・novem：我々は世界を混沌に変えていきたいのです。夢は大きく、ね☆ では、また。

http://www.d-n-l.jp/deathbie/

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ザガールダイドホエンバウンド

支えてくれたファンへの気持ち

の札幌を皮切りにスタートするメガマソのツアー、[2011 Listerner's Best TOUR「Mega-Star's Prayer」]。それに合わせ、ルダイドホエンバウンド』を会場限定でリリースする。またこのツアーでは、ファンからのリクエストに基づいた曲でライヴをうだけに、いつもとは違うライヴが見られそう。ファンへの感謝を伝えたいというメンバーの暖かい気持ちを直接感じてほしい。

Interview : MIYUKI MURAYAMA

―『ザガールダイドホエンバウンド』はライヴ会場でのみの発売ですが、それを意識して曲を作ったんですか。

涼平：シングルだともっと多くの人に聴いてもらいたいとか思ったりするんですけど、今回はファンの子への感謝を伝えるためのツアーなので、僕らのファンに向けてのメッセージでもいいのかなと思いました。メガマソが既に好きな人がさらにハマれて、今のメガマソ3人の気持ちをストンと落とした曲ですね。

インザーギ：今回のツアーのテーマに沿った曲だと思ってます。震災があって、改めてメガマソのあり方とかを3人で話し合う場面が結構多くて。今回のツアーは、支えてくれたファンへの気持ちが一番にあって決まったものなので、そういうテーマに合った曲ですよね。メガマソらしさも含みつつ、どこか暖かい音色とかメロディーがハマって、この曲に決まった感じですね。

Gou：この曲以外にも何曲かあったんですけど、皆と話してこれがいいねって選ばれた曲です。聴いていて、ほんわかな気持ちになれると言うか、そういうメロディーがいいなって思います。

―サウンド的には疾走感があって、ストレートなノリですよね。

涼平：ノリは完全にストレートだと思います。疾走感があってノリノリだけど、歌詞とかメロディーがずっと入ってくる感じがいいかなっていうのはメンバーと話してました。

―サビは気持ちよく入ってくるので、Aメロとギャップがありますね。

涼平：サビになった瞬間、ギョッとするって結構言われましたね。サビで転調もしてるし、そこはある意味いつものメガマソですね。もし試聴とかがあって、サビから聴けたりすると、サビ以外の部分が意外かもしれないし

インザーギ：デモ出しの最初の段階では、そのギャップは感じましたけど、でもやっぱりこの曲のサビの部分に暖かさが凝縮されてますよね。Aメロ、Bメロは涼平っぽいなっていう感じでしたね。逆に、こういうAメロとBメロが来て、サビでちょっと世界観が変わるのは、新しいな

杂志迷
zazhimi.com

シルバーアクセArtemis Classicとのコラボ
メンバー自身がモデルに名前を付けているぞ！

蝴蝶网
hudie.com

[illegible]の曲であんまり使ってないラインを入れていて。手癖じゃないんですよ。

━━ギターソロではかなりたっぷり弾いてますよね。

涼平：長めですね、久々に。ファン感謝ツアーってことで、昔の曲を聴き直してたら、昔の曲はギターソロが長いなって思って。ある意味そういう昔の気分を出してみたような感じです。

━━ずっと入ってる同期の金属的な音が印象的ですが、あれは？

涼平：ベルの音ですね。曲を作ったときに、夏の夜の花火のようなイメージがあったんです。花火のちっちゃい火花がパン、パンって飛ぶような感じがほしくて。サビのメロディーは暖かいところもあるんですけど、やっぱり夏の夜にライヴで聴いてもらうんだから、ベルの音でちょっとひんやり感を足そうかなって。

━━歌詞については、ファンへのメッセージとはちょっと違いますよね。

涼平：そうですね。でも、恋愛の気持ちは、ある意味皆が持ってると言うか。僕らもファンの子も両方持っていて、共感できる歌詞がいいんじゃないかと思ったんです。

━━別れて後悔してるような切ない内容ですよね。

涼平：お互い後悔してるような。最初のタイトルは、「ザボーイダイドホエンバウンド」だったんですけど、歌詞を書いてるうちに、ボーイよりガールが主人公のほうがいいかなと思って変えたんです。男の子の気持ちより女の子の気持ちが先に死んでいってしまったのかなと思って。でも、最後の〝いつか、君に伝えたいな。〟〝きっと、君に逢える。〟っていう部分は、メロディーで出したいところなんですよね。まだ希望をお互い持ちたいし、今は気持ちは死んでるけど、また出会えたらいいねって。

━━そんな歌詞をどんな風に歌おうと心がけましたか。

インザーギ：今回は僕のキーよりわざと低くしてるんですよ。それで、どれだけ切ない感じとか疾走感を失わずに歌うかが僕の中のテーマで、そういうのをより出そうと思いました。結果的に、自分の

━━[illegible]ライヴで既に演奏している「かけあいさかさまんじ」です。

涼平：去年からずっとやってます。

インザーギ：ライヴ限定曲です。

━━それを今回音源化しようと。

インザーギ：ずっと前から音源化したかったし、ファンの子からも〝いつ音源になるんですか〟とは言われてたので、今回いいタイミングだなと思って。

━━これは完全にライヴのイメージの曲ですよね。

インザーギ：メジャーに行ってから初めてのライヴ限定曲と言うか、そういう曲ですね。この歌詞は、テーマが決意だったりするし、自分の中の深いブレない部分が入ってるので、思い入れがあります。メガマソとは？みたいな歌詞になってるので、そこら辺をよく聴いて、理解してくれたら嬉しいですね。

━━サウンドは重々しくて、攻撃的ですが。

涼平：タイトル曲にはいろいろギターを入れたり、シンセを入れたりしたので、こっちはライヴに近い形にしようと思って。ライヴではサポートドラムも入れて4人だけでやってるんです。だから、ギターも3本ぐらいしか入れてません。シンプルにシンプルにカッコよくみたいな。

Gou：レコーディングでも全くライヴと同じ感じで弾きました。メガマソの根本な感じなので、こういうところも見せていきたいですよね。

━━夏のツアーでも欠かせない曲になりそうですね。

涼平：これから盛り上げていくぞっていうときの起爆剤的な曲でもあるので。

インザーギ：ギターのリフから始まるのがまたいいよね。

━━さて、そのツアーですが、演奏する曲をファンから募ったんですよね。

インザーギ：投票してもらって、上位15曲をセットリストに入れます。

━━そういうことをしてみようと思ったのは？

インザーギ：来てくれる皆が聴きたい曲を知りたかったし、単純にファンの子に感謝の気持ちを表したかったんですよね。

━━いつもとは違ったものになります？

インザーギ：変わりますね。

か[illegible]

インザーギ：でも、しょうがないよね。

Gou：そのためのツアーだし、それがファンへの気持ちなので。

━━モバイルファンクラブができるというのもあって、ファンへの想いを新たにしたところがあるんですか。

インザーギ：インディーズの頃にファンクラブがあったんですけど、レーベルを移籍したときになくなってしまって。僕らはずっと作りたかったし、ようやく設立することができたので、メンバーとの距離が近くなって、入ってよかったと思えるようなものにしたいですね。いろいろ楽しいことをしようかなと思ってます。

━━シルバーアクセサリーの制作もしてるんですよね？

涼平：アルテミスクラシックというブランドとのコラボで、メンバーそれぞれがプロデュースのアクセサリーを作っています。また、メンバーが自身のモデルに名前を付けました。デジタルコンテンツも付録されるし、ツアーファイナルの翌日には、購入者限定でメガマソ初の2shot名刺交換会を行ないます。夏ツアーの会場で購入できるので、そちらもお楽しみに！

━━では、ツアーへ向けて一言。

Gou：ファンのためのツアーだから、プラスαを見せたり盛り上げたりするので、楽しんでもらいたいと思います。今年の夏もいっぱい汗かいてください。

涼平：今回は、アートワークも昔っぽいって言うか、昔のヴィジュアル系っぽい感じになっているので、そこら辺のノリも出していけたらなと思います。夏は、頑張って痩せます（笑）。

インザーギ：何キロ？

涼平：3キロ落とします。

インザーギ：すげえ、甘い（苦笑）。

涼平：6…6キロ落とします。

━━じゃあ、ここで宣言したと。

インザーギ：いろんなことがあって、こういう夏ツアーになることに決まったので、その想いとか、ライヴに来てくれる皆への想いを込めて歌いたいです。メガマソのライヴに来てよかったなって、ちょっとでも心が救われたらいいなと思います。

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

マコト

（ドレミ團）
本当の"愛"の証

ゅ鳴く、この季節に――。

・メンバーチェンジ・環境の変化・上京・メジャーデビュー・そして
バーでの再スタート――。
に書き起こしてみると何分もかからない。しかし、そこには9年と
月がある。ドレミ團にとって、そしてリーダーであるマコトにとっ
きな決断を下すきっかけとなった2007年の夏。そこからこのパー
インタビューは始まった。毎年訪れる季節。あれから4年。マコトの
どんな変化が生まれているだろう?
ミ團・マコト、4回目のパーソナル。

ography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
rview:NAOKO TAKEICHI
&Make-up:ERIKO MATSUMOTO (APT)

"またこの季節が来たなぁ――"。ドレミ團を結成当初から担当している編集者が、編集部で自分の机の整理をしながらポツリとつぶやいた。

そして、彼女は続けてこう言った。
"なんでも、7月にはマコトのパーソナルインタビューをするって決まっているらしいからさっ（笑）"。

"やれやれ"といったニュアンスの言葉使いだったが、その表情には"やれやれ"といったニュアンスは一切感じられない。

"編集部に届いたデモテープの中に気になるバンドが居たから、今度一緒にライヴ観に行って!"

彼女からそんな電話を受けて観に行ったドレミ團のライヴ。場所は高田馬場CLIB PHASE。何のイベントライヴだったかまではっきり覚えていない。そんな中、ドレミ團が出演するという時間に会場に入った。言葉を選ばず、私がそこで見た景色を書こう。お客さんは最前列1列目だけ。ちょっとだけ重なっていたこともあり、ギリギリ2列と言っても盛ってることにはならないかな。人数にしたらきっと20人にも満たないくらいだっただろう。結成当初一番最初のメンバーのドレミ團のライヴだった。

それがマコトとの出逢い。ドレミ團との出逢いだった。

そうそう。それから間もなくの初登場インタビューでは、"マコトは11歳っていう設定にしといて下さい!"って言ってたっけ。は? まったく。面倒臭いやっちゃ。そんなことを思ったっけ（笑）。

「あははは。そんなこと思ってたの!? 酷いね（笑）。でもホント、そう思うとお世話になってるなぁって思う。本当に感謝してるんですよ。"載りたい!"ってダダこねて載れる雑誌じゃないのもわかってる。けど、SHOXXは初登場の頃から何年もずっと毎月欠かさずドレミ團を載せてくれてた。リリースタイミングのときはもちろん、リリースタイミングじゃないときも毎月ドレミ團を載せてくれて、本当に嬉しかった。なんとか毎月載りたくて、"そうだ! リリースがあれば載せてもらえるのかも!"とか"何かネタが

zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

れた者である。すごくわかりやすく言ってしまうならば、需要と供給の関係。需要が多い者に多く頁を割き、需要が少ないバンドには頁がシビアになるというモノ。"そんなの酷い！"そう思うかもしれない。しかし、これは人生と同じ。まさに、これぞ人生の縮図である。

"いい子"、"優しい子"だけじゃ世の中通用しないのだ。ときに、その"いい子"、"優しい子"こそが損をする世の中。ずる賢く頭を使えたり、長いモノに巻かれることを拒まず平気で出来たり、地位と名誉を築くためならば自分のやりたいことを曲げ、身売りしてでも上を目指すことが出来る人間が得をするという、納得いかないことがまかり通る世の中だ。

そんな中、間違いなくマコトという人間は後者のタイプではない。ずる賢そうに見え、強かにも見え、度重なるメンバーチェンジも、ともすればマコトの我の強さに問題があるのではないか？と見えていたりするかもしれない。だが。まったくもってそうではない。そう思われるのもわかるし、なんというか、本当に損をするタイプなのである。不器用な人間。そんな表現はするが故、裏切られたときの打撃は大きい。これを読んでいる人の中にもこれを読んで頷いた人が私は好きだ。でも、これをてはまる人は多いはず。でも、これを読んで頷いた人がいるなら言えばいい。自分が正しいと思った道を歩み、人に不義理をせず、真っ直ぐにいきていれば、いつかは自分に返って来る。また逆も同じ。自分が人にした嫌なことは、いつか自分に返って来る。それが人生だと私はまだ信じている。それでいい。

担当編集者がいつしか、何気ない会話をしているときに言ったことがある。"やってあげたいと思っても、やっぱり反響がなくなっちゃうとそうもいかなくなる。いくら個人的に応援したいバンドでも、やっぱりそれがまかり通るほど甘くはないから……。でも、ドレミには頑張ってほしいんだよね。音もすごくいいと思うし、人間性もすごくいいし。出来る限りで力になりたいと思ってるんだよね――"。

愛されてるな――。

そう思った。実は、マコトと話していたときに後から知ったことなのだが、SHOXXの編集担当者と私が見たというドレミ團の東京での初ライヴの時から、ずっと見続け、力になってくれる事をする編集者だった。彼女もまた、私情を挟まず、しっかりとバンドの音を聴いて判断する、信頼の置ける編集者である。

愛されてるな――。

本当に心からそう思った。損することが多い分、マコトはちゃんと愛されているのだ。売れるものに群がるハイエナたちの歪んだ愛じゃない、上っ面な愛ではない本当の愛で愛されているのだ。見せかけだけのもろい愛情なんていらない。邪魔になるだけ。売れるものに群がる歪んだ愛なんて安いモノ。どうせちょっとしたことで寝返って、平気で裏切っていくのだから。そんな愛など必要ない。

「あのね。これだけは胸を張って言えるんです！ ドレミ團の周りにはすごくドレミ團を愛してくれる人が集まってくれるんです。今も元々スタッフだった人たちや、移動や転職で一緒にお仕事が出来なくなってしまった人たちともずっと連絡を取り続けていて。関係性が切れてしまうことがないんです。本当にバンドとして、ドレミ團を愛してくれているんだなって思うんですよね。それがすごく嬉しいんです」

それでいい。

しかし。マコトは"それでいい"とは言わなかった。

「僕ね、自分で言うのもなんですけど、すごく唄が上手くなってると思うんですよ！ 久しぶりにライヴ見てくれた先輩とかにも"ボイトレとか行ってんの？"って聞かれたりして。ボイトレなんて行ってないんです。でも、自分でもそれはちょっと感じてるんですよ。ここ最近、唄、上手くなったなって。唄うことが前よりもっと好きになってるって実感してるんです。そんな気持ちもあるのかなって。俺、やっぱりドレミ團をもっともっと大きなバンドにしたいんです。そうするにはどうしたらいいんだろう？ってすごく考えてるんです。けど、そうそう簡単には答えは見つからない。そこでひとつ思いついたことがあったんです。ヴォーカリストである俺が、もっともっと人が知ってくれるような場所に出ていけば、まず俺を知ってくれた人が、ドレミ團を知ってくれることになるんじゃないかな？って。ウチのメンバーって、すごくいいヤツらだけど、人を払い除けてまで自分が上に上がろうとする人間じゃないんです。だから、俺がなんとかしなくちゃダメなのかなって……。メンバーも、もしかしたら口には出さないけど、それを望んでいるんじゃないかなって……売れたくないって言ったら嘘になる。現状で満足してる訳じゃないんです」

マコトが最近舞台をやったのも、そういう発想からだったらしい。実にマコトらしい考えだ。マコトはこれまでにも、ドレミ團以外の活動に積極的に取り組んできた。が、しかし。マコトはそこで1つ確信したという。

「やっぱり俺は、バンドがやりたいんだって思ったんです。俺は今のドレミ團のメンバーが大好きだって思ったんです！ もしかしたら叶わぬ夢かもしれない。でも、未来を諦めたくはないんです。いつ死んでも悔いはない。そう思える人生をまっとうするまでは頑張ります。それまではよろしくお願いしますね！ もちろん頑張りますから！ きっと僕らのファンのみんなも頑張ってくれるはずですから！ ウチのファンは優しいですからね！ ホント、俺の自慢なんです」

一度だって同じではない毎日を過ごし、巡り巡ってまた同じ季節、同じ日を迎える。ドレミ團・マコト、4回目のパーソナル。

「また来年、ここでこうして話が出来るように。お世話になったみんなとファンのみんなのため、そして自分のために頑張って生きようと思います！」

ドレミ團の周りには本当の愛が溢れている。ここまで彼らを支えてきたファンたちの愛の深さは他に負けることがないだろう。それこそが彼らの1番の宝物。彼らがドレミ團として頑張れるのも、上を目指そうと踏ん張れるのも、愛されている気持ちをしっかりと感じているからこそなのだ。

今こそ。そんな愛に応えるべきときだと思う。頑張ってほしい。

また来年、彼らの季節に――。

(問)〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F「青空倶楽部」
TEL:03-5485-5678 http://www.doremidan.com/

杂志铺
zazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

Mix Speaker's,Inc.

凸凹珍道中 in USA

ANIME NEXT-2011年6月10～14日-

Mix Speaker's,Inc.史上、2度目となる海外公演を行って来た彼ら。今回、6人が上陸したのは、自由の国・USA!! 『ANIME NEXT』の中で、アメリカ初ライヴ・現地のファンとの撮影会やサイン会等々、様々なイベントを行って来たという。今回は、そんなUSAでの珍道中の模様を、メンバー・seekがレポート！　各所で撮られた、想い出の写真と共に、アメリカでの彼らの様子をお楽しみ下さい♪

Photography:seek/ジュンノ/モッチー/ミキティ　Text:seek

●2011年6月9日 日本 成田日本時刻16：15発／2011年6月9日USA NJ現地時刻16：30着

Mix Speaker's,Inc.にとって初のUSA公演。遂に待ちに待ったこの日がやって来た。メンバー一同のテンションも否応無く上がっている。前回のヨーロッパ公演から二年余り。まさかのリズム隊遅刻によりギリギリ搭乗の反省も活かされ、なんと三時間前の成田入り。実に暇である。出発まで時間が余る程あったので、色々と夢想してみる。MSIにとっての初アメリカ公演の地は「NJ」と書いてニュージャージー州である。ニュージャージー。ニュージャージー州の知識が貧困すぎる僕は、ジャージーと言われると長閑な牧草地で牛の乳を搾るメンバー六人の絵面しか浮かんで来なかった。

飛行機に乗り、初めて英語を使う瞬間。それが「チキンオアフィッシュ」だ。二者択一どちらを選ぶも自由である。但し英語なのだ。搭乗者である以上必ず迫られる「チキンオアフィッシュ」。前方より初老男性アテンダントが乗客を質問攻めにして進んできた。僕の選択は既に心に決めていた。が、しかしである。アテンダントのオッサンは今まで呪文の様に「チキンオアフィッシュ」を繰り返していたくせに「ワーオ。ミドリノアタマベリークールジャネーカー。バンドデモヤッテンノカ。ソウダロウナ。ドコデライヴヤルンダヨ。ミニイッテヤルヨ」というような事をもの凄い勢いで捲し立てた。僕は落ち着いて咳払いを一つしてこう応えた。「チキンプリーズ」飛行機は揺れに揺れ、僕らをニュージャージーへと運んだ。まるでドナドナの様な気分。

着地したアメリカは噎せ返る様な暑さであった。久しぶりに逢うコーディネーター・ハリー。今回通訳としてお世話になるミトリさんそしてステージ周りのサポートをしてくれるジュンさんと連れ立ってステーキを食いに行こうと街へ出る。突然の雷、豪雨。どうやら僕の雨男ぶりに国境は関係ないようだ。アメリカに雨男という言葉は有るのかと言う問いにハリーは「レインメーカーだよ」と答えた。どうやら日本で言う所の雨男というものは無く「雨乞い、祈祷師」に近い存在のようだ。僕が雨男なんだというと「それはダン

zazhimi.com

開会式21：00～ライヴ

さすがに長旅の疲れもあったので即就寝した筈が時差ボケにより即起床。会場の都合も有り、なんと午前7：00からのリハーサル。非常に大きな会場。音響、照明もしっかりしていて日本と同じ様な環境でライヴがやれそうなので一安心する。

よく晴れたニュージャージー。メンバー揃って芝生の上でサンドウィッチを頬張る。「アメリカだねー。外で食うご飯は美味いねー」なんて話をする。此処が伊豆だと言われれば伊豆の様な気もする、そんなニュージャージー州郊外。

午後。今回のアニメネクストの開会式。日本から来られたアーティスト、デザイナー、モデル、声優達が一同に会し開会宣言を述べる。客席にはコスプレイヤーの姿も有り、どちらがステージなのか見紛う程の派手さ。集まってくれた皆もこのイベントを大いに楽しんでいる。

そしていよいよライヴの時刻がやって来た。MSーの世界をアメリカのみんなに知ってもらう為のステージ。始まりを告げるSEが鳴ると共に響き渡る大きな歓声。身体にビリビリと電流が走る感覚。メンバー登場と共に更に大きくなる歓声。世界は国々によってノリも変われば感じ方も違う。ステージにいる僕達。客席で観ているファンのみんな。誰しもが笑顔になるそんな素敵な空間だった。言葉が通じないからこその、より強い想いを感じる、心から楽しいと思えるライヴになった。

気持ちの良い疲労感と空腹でお酒が進む。疲れた身体には肉だろうという話になり一同肉を喰らう。中で

Mix Speakers,Inc. 凸凹珍道中 in USA

きった。ライヴの余韻に浸りながらPAモッチーさん、ジュンさん、ミドリさんと夜更け否朝方まで酒を呑み続けた。会話に終わりは無く未来に続いていく。そんな一晩だった。

●2011年6月11日 NJ 12：00取材15：00 Q&A 18：00NY

昼刻より現地雑誌、サイトの取材。バンドの初のアメリカ公演の感想、ミュージシャンとしてのプロフィール等について問われる。MSーのプロフィールはオフィシャルサイトにも掲載されているのだが幾分変わっていて、ミュージシャンとしての肩書きではなく、各々の役所等が紹介されているのである。これがまぁ日本では吃驚する程受けず、ライターさんから毎度失笑される塩梅なのだが、これがアメリカだと受ける。MSーの笑いのセンスはNJのツボを刺激しているのかもしれない。

続いて会場に入りQ&A。アメリカのファンの子達からの質問にメンバーが答えていく。バンドの確信を突く質問からメンバーの素顔に至るまで、様々な質問が投げかけられてくるのだが、どの問いもバンドの情報を知り得ないと言葉にできない話題ばかりで、本当にみんなよく調べてくれているんだなと心から嬉しく思った。そしてどの問いに関しても答える度に沸き起こる歓声。調子に乗った僕は一発芸を披露し大いにすべる。僕の笑いのセンスはNJのツボを刺激していないようだ。

イベント終了後、折角アメリカに来たのだからと、花の都ニューヨーク略してNYへ行く。世界から集まる旅行客達の群れ。とにかく人人人の波。其の様子は日本の渋谷、新宿に酷似していて盆と正月が同時にやって来た様な喧騒である。思えばこのツアー初めてのオフらしいオフ。メンバー一同もテンションが上がり写真を撮りまくっている。普段は斜に構え、渋谷等歩く事すら嫌だというメンバー達がシャッターを切りまくる絵は恐怖すら覚える。恐るべきNYの街。

●2011年6月12日 NJ 12：00～写真撮影会 13：00～サイン会

アメリカでのイベント最終日。午前5時に起きホテルの周りをホテホテと歩く。昨晩から起き続けているのか早

ファンの子達一人ずつをメンバーが囲んでの撮影会とサイン会。一昨日、昨日あれだけ歓声を上げていたみんなが急にシャイボーイ&シャイガールに変貌を遂げている。一人一人の時間は非常に短かったが、皆一生懸命に日本語で挨拶をしてくれる。なかなか来る事が出来ないアメリカでこれだけ沢山のファンが待ってくれている。「想いを形にする事ができる」僕達はまた必ず近いうちに帰ってくる約束をした。

全行程が終了してイベントに関わった出演者、スタッフ達と共に打ち上げが催された。テレビドラマに見るホームパーティーのような打ち上げで、皆それぞれに盛り上がっている。日本のアニメや文化、そして音楽、アメリカという場所で日本を見る事によって、新たに発見できる自分達の大切なもの。改めて気付かされる会話が非常に多く有意義なパーティーだった。余談だがMSーのシャイボーイYUKI君が、このパーティーのムードに飲まれたのか、異様な程テンションが上がり、瓶ビールの蓋を歯で開けるという荒技を見せ、日本人、アメリカ人の国境を越えて一同を驚愕させていた。結成五年目にして初めて見せた彼の内に秘めた特技。日本では見ることのできないアメリカという場所だからこそ新たに発見出来る自分達の大切なもの。此処にもあったのかもしれない。

●2011年6月13日 USA NJ現地時刻9：15発／2011年6月14日日本 成田日本時刻15：35着

パーティーの盛り上がりもあった所為か、まだ酔いのさめないメンバーを取り敢えず車に押し込み空港へ。寄生した日々が充実して楽しかった分、別れというものは辛い。スタッフ[illegible]とも固い握手を交わしMSー一行は飛行機へと乗り込んだ。

本当にあっという間だったアメリカ[illegible]での五日間。Mix Speaker's,Inc.にとっての初アメリカは、勿論バンド自身を知ってもらう旅。そして待ってくれていた人達に会えた旅でもあったけれどそれだけではなく自分達に[illegible]Mix Speaker's,Inc.という存在の大きさを改めて感じることのできた[illegible]なったと思う。「この想いを形に」して アメリカに帰ってくる日は近い。

(株)東京都世田谷区池尻3-19-24 ヴィラ池尻201
http://www.mixspeakersinc.com

zazhi.com 蝴蝶网 hudie.com

"欠片(ファンタジー)"から"現実(リアル)"への変化

NoGoD

バンドが、よりバンドらしく

蝴蝶网
hudie.com

NoGoDのメジャー2ndアルバム『現実』が、8月3日にリリースされる。
前作『欠片』で描いた物語性要素とは真逆の、
"バンドがバンドとしてよりバンドらしく"というリアリティを追求したことで、
NoGoDの在り方を浮き彫りにする作品に仕上がったと言える。
9～10月にはワンマン・ツアーも展開予定の彼ら…いつ団長の顔に
"SHOXX"の文字が描かれるのか!?(笑)

w : RIE MAKINO

Shinno(Gt)

Kyrie(Gt)

——前号のインタビューで、前々シングル「Raise a flag」、前シングル「神風」、そして今作のアルバム『現実』は、一貫したテーマの下に制作していると言っていましたね？

Kyrie：ええ。「Raise a flag」以降、僕らが掲げているテーマは一貫していて、バンドがバンドとしてよりバンドらしく、

くるにあたっても、みんなでいろいろ話し合ったところはあるんですが、やっぱ"現実"ないし"現実性"という言葉に集約されるだろうっていうことになりましたね。

——前アルバム『欠片』が完成した後、よく"幻想的なアルバム"という表現をしていましたよね？

杂志迷
zazhimi.com

K(Dr)

華凛(Ba)

る時に、そういった物語性のある作品を作ろうっていう意思だったわけではなく、出来たものがそうだったっていう。今回に関しては、『欠片』っていう作品が出来たからこそ、今度は自分たちなりの変化というか、新しいところに進んでみようっていう意思があったのかなぁと思いますね。

――ファンタジックからリアルへの切り

華凛：出来てくる曲に対して、〝リアリティ〟というテーマが具現化されてるなっていうのは感じましたけど、特に意識することなくやったかなって。

Shinno：僕の場合も、〝コンセプトがリアリティだからこうしよう〟っていうのはなく、曲を聴いてやってみたら必然とそっちの方向に行けてたっていう感じなんで。意識せずしてそっちに行けるような流れがありますね。

団長：たぶんこのアルバムの並びのままワンマンできる構成になっていると思います。1本のライヴとして成り立つぐらいのクオリティですよね。

――〝ライヴ映えする〟と聞いた時に、アグレッシヴな楽曲ばかりだと思ったら、ミディアム・ナンバーもバラードもあり、それもいろんなサウンドアプローチがあって。だから、ただ〝速くて激しい曲〟ではないところだったんだなと。

団長：全曲、速くて激しい曲だったら、まぁライヴは死ぬよね（笑）。

Kyrie：速くて激しい曲って、ライヴ映えしないと思うんですよ。

――なるほど、逆にライヴ映えしないと。

Kyrie：勢い一発で、何やってるのか分かんないから（笑）。それは決して俺の中で〝ライヴ映え〟ではない。ただ単にテンポが速いから、みんなノれるし、盛り上がれるしっていうだけで。個人的に意識したのは、聴き手が曲を消化しながら楽しめるっていうことで。やっぱ速ければ速いほど、消化する前にどんどん曲が進んでいくから。だから、ライヴ映えするものとか、ライヴ感の強いものっていうのは、決して速さとイコールではないっていう。

団長：俺らの中のライヴ感って、あくまでお客さんがレスポンスしやすい曲かどうかなんですよ。ライヴでお客さんが受け止め反応してくれて、初めてそこで関係性が生まれるので。今回は全体的にコーラスも多いんですよ。お客さんがノリやすいファクターとしてコーラスも多くして。あとグルーヴ感の強いものが多かったり。そこに関してはすごく長けたアルバムだなと。一方的に押しつける曲が少ないから。

――華凛ちゃんは前作『欠片』と比べてどう変わりました？

華凛：『欠片』はだいぶ好き勝手やったんですよ。あとで客観的に聴いたら遊びすぎたというか、自由すぎたところがあるなって。ウチの主役は絶対ヴォーカルに、コンセプトに合わせてやってるわけじゃないで。イメージの擦り合わせがすごい今回難しくて。分かりやすく言うと、〝右手を挙げてくれ〟って言われた時に、右手は挙げられるんだけど挙げ方が違うっていう感じなんですよね。でも面白かったですね、急遽やらされることも多かったし（笑）。面白味としては、満足度は抜群ですね。自分のパート以外もそうですけど、ゴールした瞬間に輝いた部分が多いなって。

団長：Kくん、今回いろいろな打楽器やってますからね。

――「Downer's High」のイントロもパーカッションが入ってますね。

K：カウベルは2種類使ったんですけど音色が違うんですよ。リズムパターンに合わせて音を変えて録ったり。楽しいことになってると思います。

団長：最終的にエンジニアが俺に言った言葉は、〝パーカッション買えば？〟だったからね（全員爆笑）。

K：〝ライヴで団長がポコポコやったら絶対楽しいよ〟って。

団長：腰に括えるやつ買って、やるしかないかなって思ってます。

Kyrie：でもあれ、練習しないと出来ないよ。結構難しいから。

――もう今から練習したほうがいいんじゃないですか？（笑）

団長：あれ経費で落ちるの？ じゃあSHOXXで領収書を切りますね！

K：自分でどうにかしろよ（笑）。

――本当ですよ！（笑）歌詞も変わったなっていう印象を受けました。

団長：『欠片』の時はすごく作り込んでたんですけど、今回は5年前くらい前の書き方、初期衝動のみで書いたものが多いですね。前シングル「神風」の時にも話しましたけど、震災の影響もあって出てくる言葉は変わってると思うんだけど、書き方としては曲をパッと聴いてガッと書く形でしたね。

――じゃあ最初に曲を聴いた時のインスピレーションを大事にしました？

団長：本当そうですね。〝俺は聴いてこると思うし。実際、俺っぽい言葉遣いかなっていう気はしてます。たぶん誰も言わないことだろうし。当たり障[illegible]なって。うまく当たるし、障る[illegible]か。当たり障る……ん？ まあ引っ[illegible]詞が書けたかなって。

――要するに、引っかかると（笑）。

K：最初からそう言えばいい[illegible]（笑）

団長：当たり障る歌詞が書けた[illegible]いかなと思いますっ！

――〝当たり障る〟（笑）。歌に関してはどうですか？

団長：今回Kyrieの作っ[illegible]ディがポップで。俺は歌モノが得[illegible]で歌いやすかったですね。

Shinno：珍しくあんまメロディ変えなかったね。

Kyrie：よく団長歌えたなっていうのがあって。「Raise a flag」辺りから、原曲のメロディに忠実に歌詞を乗せて歌うことが多いから。

団長：3年前だったら、人の作ったメロディは歌えません！って言い切ってましたからね（笑）。

Kyrie：表現力が上がったし、成長したなって、完成したものを聴いて思いましたね。

――9月・10月にかけてワンマン・ツアーも行なうそうですね！

団長：「Raise a flag」と「神風」の楽曲を含めて17曲、プラス過去の曲をどう混ぜていくか。『欠片』の曲もすごく現実感が増すんじゃないかっていうのもありますし。旧曲との共存がどうなるか楽しみですね。

――また聴こえ方や観え方が違うかもしれないですね。

団長：そうですね。ホント良いアルバムが出来たんで。正直、今まで作ったアルバムでいちばん好きです。それ毎回言ってるんですけど、〝ってことは毎回、前作を超してるってことだから良いことだなって。ずっと聴いてます。

Kyrie：聴きすぎて飽きました（笑）。早くライヴでやりたいです！

杂志
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

——今回の「Polaris」は、前作「Vamp Ash」とはガラッと印象の違うイメージですね。

隼人：選曲したのが震災後だったので、ちょっとメッセージ性のあるものにしたかったんです。デモの時点で明るい部分もある曲だったので、それにメッセージを乗せたらいいんじゃないかと思って。今回は攻撃的とかヘヴィなサウンドじゃなくて、キャッチーなメロディーを押し出した感じになりました。

ばる：これはシングルっぽくていい曲ということで、満場一致で決まりましたね。

——曲を作るにあたっては、どんなことを考えました?

Natsuki：新しいフリーのサンプルのドラムをベーシックに曲を作っていって。コードとリズムだけのまっさらな状態のところに、「Polaris」っていう仮タイトルをつけたんです。北極星っていう意味があるので、そこに近づけるために、うわもののシンセとか世界観を作るものをつけていきました。

——皆さんがこの曲をいいと思われたのはどういうところだったんですか。

ばる：単純にメロディーがいいっていうのと、全体的な雰囲気ですよね。ポップすぎず、特にBメロとかはちょっとダークと言うか沈んだところもあって。明るくなりすぎてないところが俺は好きです。

祐弥：透明感があるし爽やかだし、僕もこういう曲が結構好きです。星とか水を感じさせるような感じで、流れる疾走感があって。「Vamp Ash」っていうコンセプトのあるシングルを出した後だし、バンド名の宝石とか、がっちり作り込んだ衣装とか、これに付随するイメージがいっぱい乗っかっていくポテンシャルがあると思いました。

——これだけ同期が雰囲気を出している中で、楽器はどこを意識しました?

Shun：この透明感と言うか、ふわっとした空気がもっと膨らめばいいなと思いながらアレンジしました。どっちかと言えば、シンセを作り込みましたね。

ばる：ドラムはシンプルで、Bメロだけは譜割と合ってたりして、面白い感じになってるんです。そこでは、ライヴでファンの方と一緒にやる演出を考えてます。

——Bメロのところは、歌詞も「」付きになってますね。

隼人：ここは漂ってる意識の中で言葉が浮かんでくるような状況をイメージしてます。そこからサビで目覚めるみたいな、そういう流れを作りたくて。

——歌詞の内容としては、どういうメッセージを込めたんですか。

隼人：会いたくても会えない好きな人を、俺にとっては被災した人たちに当てはめて、会えないけど同じ空の下ではひとつだってことを言いたかったんです。心の距離は近くにいたいなっていう想いを歌ってます。

——Aタイプには、PVが付くんですよね。

隼人：監督と個人的に付き合いがあったので、前から撮ってもらいたいなと思っていて、初めて実現しました。彼がすごいのは、楽曲のストーリーとかメッセージを伝えると、彼なりに解釈して全然違う、同じ曲のアナザーストーリーみたいな感じのを持ってくるんです。全然自分の頭にないストーリーで、すごく面白いんですよ。それをほぼ全部CGで作るので、完成が楽しみです。

——カップリングの「62」は、デジタルの無機質なサウンドが特徴的ですね。

Shun：これは、テーマも何もないです。何も考えないで、作りたかったというのがテーマですね。ただ楽しめるような曲が作りたかったんです。個人的にライヴで一番テンションが上がるのが、俺たちが出してる爆音の音の壁を突き破って、お客さんの声が聞こえたときなんですね。だから、お客さんの声がいっぱい聴ける曲が作りたくて。それが曲中に自然に入ってるのが作曲のスタートでした。隼人の歌い方を崩してみたいっていうのもあったけど、演奏は何も考えずにパーッて弾けるようにシンプルにしてます。

——楽器隊の演奏は弾いていて気持ちいい感じといった印象ですね。

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

会えないけど同じ空の下では ひとつだってことを言いたかったんです。

DuelJewelが、ニューシングル『Polaris』をリリースした。Polarisが意味するのは北極星。そのイメージに相応しく、透明感と広がりのある世界観いっぱいのタイトル曲には、被災地の人への想いも込めたメッセージが含まれ 7月24日、新宿BLAZEでのワンマンライヴでは、この曲が描き出す世界を皆で作り上げたい。その方法については、インタビューの

Interview:MIYUKI MURAYAMA

ドに乗っかるとカッコいいなって。エンジニアさんといろいろ研究しました。

Shun：ギターはこれから録っていったんですけど、むしろ「Polaris」をちゃんと弾けるかが気がかりで（苦笑）。

祐弥：「62」は、プリプロも、デモを聴いて、"わかるっしょ"っていう感じでした。デモから一番違うのが、全員でやってるコーラスですね。

Shun：それが面白かったんですけど、隼人以外の4人が並んで録るとき、絶対ばる君が"（マイクから）下がって"って言われるんです（笑）。

ばる：すごく声が通るんですよ。最終的に後ろ向いてって言われました（苦笑）。

一同：（笑）

――それがわからないように、調整しながら録ったということですね。

Shun：いや、それが結構わかりますね（苦笑）。コーラスでハモるのは今回初だったので、ライヴでは主メロをお客さんが盛大に歌ってくれたら嬉しいです。

――隼人さんの歌い方を崩したいというのは、どういう感じをねらったんですか。

Shun：いきがってると言うか、そういう歌詞がいい感じにハマる歌い方になったと思います。

隼人：メロディーだけ聴いてる分にはきれいに歌おうと思ったんですけど、歌詞を見て、わりと乱暴に歌って、声もつぶして、がなってみたいな。楽曲通してそういう感じで勢いでいってます。

――このタイトルの意味は？

Shun：それは秘密にしておきたいですね。たいして意味があるわけじゃないんですよ。メンバーは知ってますけど。

――Bタイプに収録される「sin」は、既にライヴで演奏してるんですよね。

ばる：1年ぐらい前からずっとライヴでやってるんです。初めてジャムって作った曲ですね。

Natsuki：発信はばる君だよね。ジャムって作ってもいいんじゃないって。

ばる：今はDTM（デスクトップミュージック）が主流になってますけど、ジャムっ

した。

――Shunさんがアレンジするとき、いつもと違うものが出てきてるという印象はありましたか。

Shun：そもそもギターのメインリフはゆうちゃん発信ですから、へ〜って思いましたね。俺と祐弥って、聴いてる音楽が似てるところがあるんですけど、微妙にズレてるところがあって。そこから引っ張ってきたものを出してくれたから、なるほどなと思って。そこからこういうのはどうかなってアレンジを考えました。

――歌メロはどうやって作ったんですか。

隼人：話し合ったんだよね。サビができなくて。

Shun：Aメロは俺が持ってきたんじゃなかったかな。Bは誰が持ってきたの？

Natsuki：Shunじゃない？ 俺、サビしか書いてないよ。最後にやってくるサビだから、ハーフに落としたら面白いんじゃないって言って書いてきたから。

Shun：Bを考えたの、俺だっけ。

――本当に皆で作ったんですね。

ばる：バンドとしては挑戦になりました。

――「Polaris」以外の2曲はかなり攻撃的で対照的な作品になりましたね。

ばる：デュエルジュエルは、ただきれいなだけでは終わらないみたいなところがあるんですよ。

――この雑誌が出るのは、東京ワンマン直前ですが、「Polaris」での演出というのは、どんな風なものになるんですか。

ばる：光るグッズを販売するので、皆で光らせて、私がポラリスです、みたいな。

Shun：わかりにくいな（苦笑）。

Natsuki：北極星がいっぱいあるんだ。

ばる：Bメロと間奏のところで、光らせてほしいんです。

隼人：いやずっと光っていいだろ（笑）。

――そうやって皆で宇宙空間のような光景を作りましょうと。

Shun：成功したら絶対きれいだと思いますね。

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

BugLug バグラグ

http://www.buglug.jp/

Lugの持つ武器を強化
た『KAIBUTSU』リリース!!

ターニング・ポイントとなったという前作『絶交悦楽論』を経て、より
しさが注入されたニュー・シングル『KAIBUTSU』が7月20日にリリース
りを鼓舞する力強さは、彼らの魅力までもさらに開かせた作品となった
の夏行なわれるレーベル・ツアーでは、よりビルドアップされたBugLug
に違いない!!

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

——「KAIBUTSU」は、前作の「絶交悦楽論」のテイストを引き継ぎつつ新しさを出していることが印象的です。

一聖：ロック色の強い「絶交悦楽論」というシングルを作ったことは、BugLugのターニング・ポイントになったんです。あの作品をキッカケにしてライヴのテイストが変わったし、自分たちの新しい武器を見つけた感覚があって。でも、それまでのポップな路線もBugLugであることは間違いないので。そういうところから、今回は「絶交悦楽論」で得たものと、それまでのBugLugを掛け合わせたものを作りたいなと思って。そういう想いの元に作ったのが、タイトル曲の「KAIBUTSU」です。

——パワフルな曲調にふさわしく、歌詞も前向きな味わいですね。

一聖：秀でた能力を持ってる人のことを、"怪物級"とか言うじゃないですか。限られた人に使われる言葉だけど、実は誰もが、そういう力を持っているんじゃないかなと思って。この曲の歌詞は、自分の中で眠っている大きな力を呼び覚ませ…ということを歌っています。

燕：「KAIBUTSU」は、すごくメロディがしっかりした曲だな…というのが第一印象でした。ただ、今の僕らはライヴバンドという意識が強いので、メロディの良さを活かしつつ、ライヴで映える激しい部分を追求した曲になっています。メロディを殺したくなかったので、ベースもシンプルにまとめることにしましたけど、ボトムに徹するのは違うなと思って合間合間に自分らしいフレーズを織り込みました。あとは、今回は全部一樹の家で宅録したんですけど、なんか変な感じでした（笑）。プリプロをしている雰囲気で、本チャンという気がしなくて（笑）。それが印象に残っています。

優：アレンジする上でいちばん意識したのは、サビ・パートを際立たせることでしたね。サビはガチャガチャしたギターを弾こうかなと思ったけど、それは一樹に任せて、俺はシンプルに行くことにして。音色的にも、なるべく低いところに持っていきました。宅録ということを聞いた時はすごく嫌だったけど、自由に時間を使える分、そういうことにもこだわれたんですよね。ギタリストとして得るものが多かったし、結果的に宅録は良かったなと思っています。

一樹：この曲は、すごく夏っぽい印象を受けて。僕は夏が大好きなので、自分にピッタリな曲を持ってきてくれて、ありがとう！と思いました（笑）。夏っぽいイメージと前作から引き継いだ太さをミックスさせているので、ハイブリッドな感じがあって。そういうところから、ヴィジュアル系っぽい曲だなと思いました。僕らはヴィジュアル系ですけど、意外と素直に曲を出していたんですよね。ハイブリットな曲はあまりなかったので、今回はそこを意識したし、ギターもそういうテイストを目指しました。

——テクニカル&ホットなギター・ソ

zazhimi.com

自分の中に眠る力を呼びさませ

カッコいいので活かしました（笑）。"俺の手を見ろ！"的な（笑）。

──あ、あのぉ、お客さんはヘドバンしていると指は見れないんじゃ…。

一樹：あっ…。

一同：アハハ!! どうするんだ？

一同：はいはい、さすがだねぇ（笑）。

一聖：歌に関しては、今はすごく自信があるんです。[illegible]はハッピーハッピーな人間でした[illegible]いろんなことが起きて、いろんなもの[illegible]見て、[illegible]しみを感じるようになって。[illegible]言で[illegible]は成長したんで

──前作の路線を、完全に昇華したことを感じます。カップリングの「人造カオス」と、通常盤に収録される「リリィ」についても話してもらえますか。

一聖：「人造カオス」は、BugLug史上初めてメンバー全員の共同作業でい[illegible]めたから、最初はマジでヤバくて。もう、中2みたいなサウンドでした（笑）。それがこんなにカッコ良くなるんだ…というバンド・マジックに驚いた1曲とも言えますね。歌詞は、一歩引いた目線で世の中を見た時に、ものすごく混沌としてるなと思うことがよくあって。自分もそれに巻き込まれることが多いな…というところから書いた詩です。世の中のカオスは結局人が作ったものなので、「人造カオス」というタイトルを付けました。

優：「リリィ」に関しては、俺らは常にライヴに足りないパーツというのを考えてて。この曲もライヴを意識して作りました。ロックンロールな感じを出したいと思っていたんですけど、作っていたらラヴソングになったという（笑）。あとは、コード感にこだわりましたね。こういうJ-POP的なコードの動きは俺らの武器だと思っているので、ハードな曲だけど入れ込むことにして。良いバランスになったかなと思います。

一聖：「リリィ」の曲の歌詞は、切ないですね。自分で書いておきながら、読むと泣きそうになる（笑）。僕は、優が作ってくる曲だと、なぜかラヴソングや悲しい歌詞を書いてしまうんです。たぶん優はロマンティストで、そういう部分が曲にも出ているんじゃないかな。

燕：カップリングに関しては、「人造カオス」で一樹と同期を作ったことが良い思い出になっています（笑）。いろいろ試してみたり、変な音を入れてみたりしたのが、すごく楽しかったので。

一樹：間奏のところに、"ボヨヨ～ン"という音が入っているんですけど、燕がどうしても入れたいと言うので（笑）。僕は、美しくないと思って、ミックスの時に消してやろうと思っていたんです（笑）。でも、ダメでした（笑）。

燕：僕の究極のこだわりです（笑）。BugLugのユーモアリティも、そこで感じて欲しかったから。ベースに関しては、「KAIBUTSU」と同じようにボトムを支えたうえで自分らしさも出して、"俺だって、やれるんだぜ"みたいなこいるんですけど、ギター・ソロはメッチャ考えたんです。感覚で弾いたソロもあったけど、一聖に"ラヴソングに、そのソロはない"と言われて（笑）。それで、時間を掛けて作り込みました。

一聖：僕は基本的に、常に声を張って歌いたいタイプなんですけど、珍しく「リリィ」のBメロは"グッ"と落ちるんですよね。今までやったことのないアプローチを採って、新しい表情を出せたことに満足しています。

──「KAIBUTSU」は、BugLugの新しい突き抜け感が心地好い1枚になりましたね。ロック度の強いライヴを重ねた印象なども話してもらえますか。

一聖：僕に関しては、自信が付きつつあります。武器が増えたし、新しい自分のスタイルを把握し始めたので。今は本当に"オレ様"という感じで、それを貫こうと思っています（笑）。

優：一聖がバンドを引っ張ってくれる存在になりつつあるので、今は自信を持ってステージに立っています。楽器隊がどれだけアピールしても、一聖がそれに負けないようになったから、もう好きなようにやれるんですよ。なにも気にすることなく自分を素直に出せるから、今は本当にライヴが楽しいです。

燕：バンドのカラーは変わりましたけど、僕は前とあまり変わってなくて。自分が楽しむことを、いちばん重視しています。自分が楽しめるライヴをすることが、お客さんの楽しさにつながると思うので、常にステージに立つことを全力で楽しんでる。もう、それに尽きます。

一樹：一聖が引っ張ってくれることで、僕たちはより個性を出せるようになった部分があって。最近は、もう何も考えずにライヴをしています。ただ、僕は職業がイケメンなので（笑）。ライヴ前は、どれだけカッコ良く見せられるかを少し考えるようにしています（笑）。

一聖：イケメンって職業なんだ？（笑）

一樹：うん。イケメンは、誰もが就ける仕事じゃないから。これからも大事にしていこうと思ってる（笑）。

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

なりましたね。

椎名未緒（以下：未緒）：最初に出したグリーティングCDは2曲とも僕の曲だったので、ここでは他の一面も見せたくて。もちろん、僕の曲も入っているんですけど、メインとなっているのは結くんの作曲した「U-smeh-」なので、聴いていて新鮮ですね。

ハク：これ、レコーディングしているときも縛りとかは一切なくて。作曲者からも、好きにやっていいよって言われ、ほとんどお任せ状態だったので、とことん自由にできましたね。

結：結成したばかりのバンドにも関わらず、今作を聴いたとき、とてもまとまっているなって思ったんです。それは、それぞれの個性がしっかりと出ているから。それだけに、満足度も高いんですよね。

――嬉しそうですね。

結：はい。どや！って感じです（笑）。なんていうか、福袋的な作品なんですよね、これ。

LiN：それだと、余り物を詰めたみたいに聞こえない？（一同／頷く）。

結：違う！　違う！　バラエティに富んだ作品になったって言いたかったの！

――わかります、それ。

未緒：僕としては、この作品って社内案内な感じがするんですよね。

――というと？

未緒：グリーティングCDが自分たちの名刺だとして、そこで挨拶を済ました後、この「U-smeh-」にいくんです。メンバーそれぞれの持ち味が出ているだけに、ここの部署ではこんなことをしていますっていう社内案内風になっているかなと。

ゆきみ：なるほどね、それわかりやすい。ということで、さっきの福袋発言は聞かなかったことにして下さい（笑）。

――冒頭で、未緒さんが結さんの作った曲を新鮮と言っていたけど、私が驚いたのはLiNさんが作曲した「Mr.Fabbit」。元々、ヴィジュアルシーンにいた人ではないだけに、斬新なアイデアがふんだんに盛り込まれていて。

LiN：ほんとですか。これ、ライヴのことを考えて作っていったんですよね。どうしても棒立ちで見ていてほしくて。自分の思ったことをそのまま出していっただけというか。ヴィジュアル系ってこんな感じかなって思いながら完成させていきました（笑）。

――ゆきみ曲の「Chronus」も、ガツガツと攻めてくるところがインパクト大。

ゆきみ：ガッツリですよね（笑）。自分のやりたいことと、ノリやすさをうまく半々にできた曲かな。LiNくんが考えるライヴノリとはまた違うだけに、これも面白く聴けると思います。

――対照的に、結さんが作った「U-smeh-」は突き抜けるほどに明るく。こうやってタイプの異なる曲を詰め込んできたのも、この作品の特徴ですね。

結：（なぜか小声）ありがとうございます。

――（同じく小声で）いえいえ。

結：何で、声小さくなってるんですか？

――君が小さくしたからでしょ（笑）！で、7月13日には2ndマキシシングル「ミドルノート」がリリースされます。これまた、ずいぶんと早いタイミングでのリリースで。

ゆきみ：確かに（笑）。俺、この作品はやりたかったことが全部できたんですよ。1stからそこまで期間が空いてないにせよ、気持ち的にもだいぶ違って。ドラムのフレーズうんぬんというよりかは、いかに良い作品を残すかということを心がけながら叩いていったんですよね。

未緒：元々、1stと2ndを作るにあたり、僕は、LiNくんの色を押し出したいって思ったんです。それで、LiNくんにA面っぽい曲を作ってきて下さいって[illegible]んですよね。そしたら、幸か不幸か、こいつも曲を出してきて。

結：こいつじゃないです！、結ですー。

未緒：（笑）[illegible]そっちの曲も良かったんで、どちらも[illegible]とになり。なので、[illegible]はないんで[illegible]バランスを考えていったわけで[illegible]からこそ、[illegible]枚にばらすことになった[illegible]

――リード曲の「ミドルノート」は、LiNさん[illegible]作ってきそうだけど、これはどう[illegible]風にできあがったんです？

ユナイト

U-smeh-／ミドルノート

ユナイトの世界への案内

6月29日に1stマキシ「U-s m e h-」をしたばかりのユナイトが、7月13日にシ「ミドルノート」をリリース。こちらの異なる楽曲が収録されているだけ聴くことをオススメしたい。また、8は渋谷O-WESTにて1stワンマンラなわれる。個性派の5人がどのようなングを見せてくれるか、期待は高まる

Interview:E

LiN：（笑）。まず、サビが思い付いたんですよね。そこでボイスメモをしておこうと思ったら、歌詞が浮かんできて。なので、同時にできあがっていった感じなんですけど、これもライヴノリをイメージしていきましたね。自分としては、見ている人に色々なことをしてもらいたくて。やっぱり、棒立ちは嫌なんで、跳んだり、頭振ったり、1曲の中でこれでもかっていうぐらい動ける曲にしていきました。それで、最初、あいつに聴かせたんですけど、あいつ的にはどうだったんでしょうね。

結：あいつじゃないです！、結です！（笑）。そう、最初に僕が聴かせてもらったんですけど、メロディが良いなって思いました。

LiN：そこから、音を足していって未緒さんに聴かせて。

未緒：ライヴを盛り上がらせたいっていう気持ちが伝わってきたんですよね。それで、やろうということになり。

ハク：これは自分にとって挑戦の1曲。LiNくんって、元ベーシストじゃないですか。それだけに、デモもベースの音はかなり作り込んであって。でも、そこで作曲者としての意志が汲み取れたし、その上で自分の色をどうやって出せるかと考えていきましたね。更なるアレンジができたおかげで、ハク節が詰め込めたと思います。

LiN：確かに、新しいハクくんに出会えた感じがします。

ゆきみ：ドラムは、金物の位置にこだわりました。とにかく、聴こえない音っていうのが嫌だったので、高さ変えたりしてみて。若干、叩きづらくはなったけど、結果的に変えて良かったと思います。

LiN：うん。新しいゆきみさんに出会えた感じがします。

結：ねぇねぇ、新しい僕には出会えた？

LiN：……まぁ。こいつ、顔の割りには良い声出すじゃないですか。そこを活かしたいと思ったので、要所、要所で、特徴を入れてみて。

――裏声の綺麗さが引き立っていますね。

結：嬉しいです、そこは自分でも良いところかなと思っているので。そうそ

――よ、よろしいんじゃないでしょうか。

結：ですよねー。これね、歌い回しが最高じゃないですかー！　2Aのところとか本当に最高じゃないですか！

一同：何か、だんだんうっとうしくなってきたな（笑）。

未緒：これ、ユナイト結成する前にできた曲なんですけど、他の曲とかぶらない歌モノになっているだけに、聴きどころ満載だと思います。

結：ちなみに、僕の作った「ディストリー」は、「U-smeh-」同様、自分の好きなことを盛り込んだ曲なので、僕のやりたいことってコレなんだなって感じてもらえると嬉しいですね。

ハク：「ディストリー」は、とても伝わりやすい曲だと思うし、ライヴの際には、どこに配置しても栄える曲になるんじゃないかな。

――「不完全ー／F」は未緒さんの曲だけど、これ、何と読むの？

未緒：「不完全インターフェイス」です。結成して1番最初にできた曲が、これで。クレジットからもわかるように（※未緒は曲により表記を変える）、「snow slow」とは全く違う曲調なんですけど、これもユナイトをよく表していると思います。

――改めて、色々なことができるバンドだなと思いましたよ。そして、8月23日には初めてのワンマンライヴが行われます。ここでも、それぞれの個性を存分に発揮していただきたいものです。

結：おかげさまで、チケットはソールドアウト。多くの人の期待に応えるためにも、良いライヴを見せたいです。あと、今回来られない人のためにも、これからどんどんワンマンができるバンドになっていけたらいいなと思っています。

未緒：当日は入場者全員に未発表音源「Kud.[illegible]」を無料配布します。これは、エレクトロニカなのでバンドサウンドではないんですけど、こういうこともできますよっていうのが伝わったら嬉しいなと。

――バンドバージョンと比較するのも面白そうです。とにもかくにも、当日、楽しみにしていますよ。

一同：がんばりますっ！

(問) 〒170-0013　東京都豊島区東池袋 1-20-3(MAKI ビル 2F) 池袋サンシャイン通郵便局留　http://unite-jp.com/

蝴蝶网 hudie.com

杂志迷 zazhimi.com

えみる Vo.

愛狂います。 aicle

さらん Ba

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

皇帝ペンギン

8月10日に、愛狂います。の最新シングル『皇帝ペンギン』が発売になる。最新アルバム『アルク』の頃から、シンプルなスタイルは見えてい
『皇帝ペンギン』では、まさに次なるステージへ進化した愛狂います。の姿を味わうことが出来るはず。その理由や想いを、メンバーらが
ました。夏は、ガンガンにライヴも入っているので、ぜひ、生でも『皇帝ペンギン』を聴いてくれっ!!

Interview:TOMONO

るそうですね。

えみる：すでにライヴでもガンガンやっている曲だから、まだ聴いてない人は、ぜひ配信で聴いてください。

——そんな愛狂います。ですが、8月10日に、最新シングル『皇帝ペンギン』をリリースします。この作品に収録した曲たち、今まで以上に〝聴きやすさ〟を持った構成になったんじゃない?!

えみる：相撲のように、押して押して、引いてみる。そういうことも学んできたというか。これまでの愛狂います。が持っていた〝アクの強さ〟を好きな人もいるうえでのことなんですけど、今の僕ら的には、ある程度作った当初のまんまの、あまり飾りつけをしない音楽として形にしたいという願望を持っていて。なので、アクを次々に取っては、ちょっとクリーンな感じの楽曲にしてるんです。でも、もともと持っていた要素っていう

——シンプルさが際立ったことで、より一層、いろんな人たちが愛狂います。の楽曲を味わいやすくもなったんじゃない?!

えみる：茄子のおひたしみたいにね（笑）。

玲音：それ、さっぱりしすぎてる（笑）。

えみる：違う違う！ より、素材の味を楽しめるってこと。つまり、これまでのように〝愛狂います。ブランド〟で飾りつけるのではなくて、メンバーそれぞれの表現に、聴いた人たちの耳が傾くように今回の作品は作りあげてるんです。その成果もあるのか、歌詞だって、今まで以上に耳に飛び込みやすくなったんですよ。

玲音：ドラムやヴォーカルなどのナマ物に関してはとくに、エフェクト系を減らして、リアルな音や声での強弱の表情を出していくのを心がけました。その結果、よりスッキリとまとまり、歌が聴きやす

余計なアクを取り除いたら、一番濃いアクが際立ってきた。

の頃は、中にこってりとさっぱりの両方の表情を出していたし。以前は、こってりを追求してたけど、今は、あっさりを追求し始めてる段階なんです。でも、「通常盤」の3曲目に入れた「カンガエル」には、しっかり濃い癖が出てるけどね（笑）。

——さらん君のヴィジュアル面での変化にも、驚きました。

さらん：よく、ゲームのキャラクターとか王子様と言われます。だけど、すっぴんのときに、髪の毛がシルバーのせいで、それが白髪に見えたらしく、〝おじさんみたい〟と言われたときは、ちょっとショックでした（笑）。

——……。収録した3曲とも、曲調は異なれど、伝えたい気持ちには共通したものがありませんか?!

えみる：1枚の作品を通して、同じテーマを伝えたかったというか。ちょうど、制作していたのが3月末頃だったんですよ。だから僕的には、3曲でも、まだまだ伝えたい気持ちは足りないですね。

——2曲目に収録した「明日、地球が終わるなら…」には、〝僕と君〟〝僕らと地球〟など、ミニマムからグローバルな視点まで、いろんな角度から書いたメッセージが綴られています。

えみる：もともと、宇宙からの視点で物事を考えるのが好きなんですけど、こういう（時節的な）タイミングだからこそ、みんなも感じてるだろう気持ちと、僕はこう感じましたよという想いを、ストレートに言葉にしたいなと思って。

——そのメッセージを記してゆくうえての視点の捉え方というか、表現の持っていき方が、シニカルファンタジックな世界観を得意としているえみる君らしくって、なんかいいよね。

えみる：ロックバンドである以上、時事問題を唄いたかったり、原発批判をしたかったら、それをストレートにメッセージしてもいいと思うんですよ。だけど自分としては、そのことが起きた春の時期に、〝何々が許せない！〟というよりは、〝なんでなんだろうなぁ〟と、シュンと縮こまる気持ちを感じていて。だから、そういう表現にもなったし。それは「皇

えみる：〝お前は何時まで経っても出来ないよな〟〝俺って、なんでこういうことが出来ないんだろう〟〝みんなは出来てるのに、出来ない自分が悔しいなぁ〟とか、そういう（ネガティブな）気持ちをバネに、〝それをエネルギーに出来ないか?!〟ということを考えてたときに、フッと、〝皇帝ペンギンって、羽根の付いてる鳥なのに、飛べないじゃん。何?! 皇帝って、飛べもしない鳥なのに、ぜんぜん偉くないじゃん。だけど、可愛いんだよなぁ〟って、皇帝ペンギンの姿と、自分の気持ちを重ね合わせてたんですよ。歌詞に書いた、絵本をめくるように進んでいく起承転結を持った物語の結末は、聴いた人なりに捉えて欲しいんだけど、僕自身に関しては、〝飛べないと言ってるけど、飛ぶ方法は、考えればいくらでもあるんじゃないか?!〟みたいな。そういう気持ちを、自分自身に言い聞かせるように、この曲を書いていては、歌っていました。確かに「皇帝ペンギン」は、聴く人のメンタルが上向きか下向きかで、聞こえ方がすごく変わっていくと思うんですけど、たとえば、気持ちが下を向いてる人が、この歌を聴いて、〝俺にも、わたしにも出来るかな?!〟〝この曲聴いたら元気になる！〟と思ってもらえたら、それが一番嬉しいし。逆に、〝俺は、わたしは悩みなんかないんだよ〟というポジティブな人の場合、〝じつは強がってるだけで、自分だって悩みはあるんだから、それと素直に向き合おう〟と思ってくれたら、それでいいなと思ってるんです。

ルビ：それくらい、えみるの言いたいことがたくさん詰まった楽曲だったからこそ、今回は、いい意味で歌を邪魔しない演奏を心がけていきましたからね。

えみる：今までの愛狂います。って、色鉛筆で例えるなら、32色の色鉛筆を使って、隙間さえもいろんな色を塗り重ねてたんだけど、今回のシングルの場合、8色や16色しか使ってないんだけど、その代わり、わかりやすい強い色だけで曲を作ったんですよ。だから結果的には、32色でやっていた頃と同じように、鮮やかな楽曲として見えてくるんです。しかも、

が良いので気持ちいいんですよ。

——アルバム『アルク』の頃から、わかりやすく想いを伝えてゆく音楽性の片鱗は見えていたけど、今回の『皇帝ペンギン』を通して、これからの愛狂います。が進んでいきたい道筋が、とても明瞭に見えた実感を得ることも出来たんだ。

えみる：『アルク』は、幕の内弁当のように、いろんな方向性を持った味を一つに詰め込んだ作品ですからね。だけど、マキシ盤として出す以上、寄せ集めにするよりも一貫性を出していきたいから、必然的に、これからの愛狂います。が求めたい色を持った1枚になりましたよね。

ルビ：バンドとして前へ進み続けていく以上、絶対に進化し続けていかなきゃいけないんですよ。とくにバンドって個性をすごく尊重していくものじゃないですか。今回、えみるの見つけた答えが、想いを伝わりやすい歌や演奏に乗せて届けるという答えであり、各メンバーの魅力をしっかり伝えていくことだったんです。今はまず、そこを感じ取ってもらえたらいいなと思ってるし、まだまだ新しい進化の過程ですからね。とは言っても、今の僕らの自信作にもなっているので、ぜひ、いろんな人たちに聴いてもらいたいんですよ。

えみる：ちょうど全国ツアー中に発売するので、夏のツアーは、この作品を中心に歌っていくし、そこで楽曲を成長させたうえで、8月29日と30日に渋谷にあるclub asiaで行うワンマン2デイズ公演へ、その勢いを繋げていきたいと思っています。今回2日間あるけど、どう何しよう？ それぞれの日ごとに、違うことやる？

ルビ：なんかしたいよね。まぁ、まだ時間があるので、そこは楽しみにしててください。まずは、この夏のツアー経験を通して、どれだけ今の愛狂います。が進化していけるのか、僕ら自身が楽しみにしていることなので、ぜひ、その姿をみんなにも観てもらいたいです。

玲音：「初回限定盤」に付いてくる「皇帝ペンギン」のPVも、見所満載です。

さらん：南極の気分を味わえるから、これを観ると涼しくなれるエコな内容です。

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

—まずは、本作のコンセプトを教えて下さい。
マモ：“史上最強不謹慎ソング”です。
—言い切りましたね（笑）。タイトル曲の「毒盛る」はマモさんが原曲を持ってきたそうですが、前作の「ソメイヨシノ」とはまたガラリと変わって。
マモ：「ソメイヨシノ」がバラードだっただけに、今回は激しくいきたいなと思っていたんです。なので、できあがったときは、やっとやれた！って感じでした。俺のしたかったことはこれなんだよって。
七星：俺も、マモと同じでやったー！って思いました。それほど、この曲は楽しかったです。どこで目立ってもいいし。
Z：俺はこの曲で下を支えているんですけど、ウワモノを入れた楓との対照的なプレイに注目してもらいたいです。後半辺りかな、単に下を支えるだけでなく、

マモ

R指定

毒盛る

楓

不謹慎ソング

けする、“史上最強不謹慎ソング”「毒盛る」がついに
目となるシングルは、未だかつてない凶暴な作品。
あり、新しさあり、実に面白い内容となっている。
作品を引っ提げてツアーに繰り出す彼ら。
初となる全席指定での公演だ。指定席での「毒盛る」、
も、最高にヤバくなりそう!
ンタヴュー欠席です）

UTANI

新鮮でした。
マモ：シャウトしたのも久しぶりなんですよ。とは言え、前と同じような激しさを出しても面白くないと思ったんですよ。活動していく中で、うちらの音楽も少しずつ変わっていってる。だったら、今の俺らが激しい音楽を表現するとしたら何が必要なんだろうと。その結果、サビのテンポ感なり、[illegible]にならなかったところで今のR指定らしさを出せたのではないかと思います
—歌い方に関しても、以前とはだいぶ変わりましたよね。
マモ：そこはあんまり意識しなかったですね。意識したのは、フラストレーションを吐き出すかのごとく、これでもかというぐらいシャウトしてってとこなので（笑）。
宏崇：これはほんと、僕の予想どおりの1曲になりましたね。「毒盛る」ってい

杂志迷
zazhimi.com

ないんですよね。前に出した「学級崩壊」も激しい曲だったから、そこまでの違和感がなかったというか。

――「学級崩壊」以上に尖っていません？

宏崇：確かに、それより上を目指して作っていったところはありますね。

――驚いたのは、このパンチ力。なにせ、できあがったばかりの曲を爆音で、しかも、ヘッドフォンで聴いてしまったので、耳が壊れるかと思いましたよ（苦笑）。

七星：ド頭からヤバいですからね（笑）。

――いやはや、参りました（笑）。

マモ：でも、そこは俺の最大のこだわりでもあったんです。曲が始まって、どれだけ早くヴォーカルが入れるかって。

――スピード感、抜群です。最初、英詞かなと思ったのですが、意外や意外、始まりから日本語で歌っているんですよね。

マモ：そこもこだわりました。普通、激しい曲だと英詞の方が乗せやすいのかもしれないんですけど、俺の伝えたいことを表現するとなると、日本語しかないんですよね。ここでは、憎しみを書いていきました。そういう負の感情って誰もが感じることだと思うんです。なので、俺がここで代弁してみようと。

七星：綺麗な曲って、アレンジも綺麗にしていかないといけないんですけど、こういう曲調だと、色々と冒険ができて楽しいですよ。

――ライヴを見てもわかるように、七星さんって相当暴れるタイプのベーシストではないですか。この曲では、その良さがよく出ています。

七星：いつもに比べ、自由度はかなり出ていると思います。あと、先日、PVを撮ったんですけど、新たなところに踏み入れた感じがしますね。

Z：その表現ぴったり。懐かしさもあるけれど、前とは違う絵になっただけに、R指定の新たな良さを入れられたと思います。

マモ：内容としては、演奏シーンとドラマが半々になっているんですけど、ドラマの部分はかなりドロドロしてますね。ここでも、俺のやりたかったことをぶち込んでやりました。

――「ソメイヨシノ」からR指定のことを知ったファンの方は、「毒盛る」を聴いて腰を抜かすことでしょう。

蝴蝶网
hudie.com
七星

の流れっていうのは、俺が理想としたことだったので、そうやって思ってもらえたら、最高に嬉しいですね。

Z：R指定って、コロコロとバンドのカラーを変えているので、この曲もきっと納得してもらえるはずです。

――この他に、マモさんの曲と楓さんの曲が収録されます。現時点（取材は6月でした）では、タイトルすら決まっていないとのことですが、どのような曲に仕上りそうですか？

マモ：俺の曲は、カップリング意識というよりかは、ライヴで長くやれる曲がほしくて作っていきました。それで、こんなアップテンポな感じになったんですよ。

――「毒盛る」とは対照的ですね。

マモ：「毒盛る」の口直しというだけに、聴きやすさがポイントとなっています。でも、これもR指定からしたら王道で。今まで出してきた作品の中にも、必

してもらったかな

――そこは、楓さんとも綿密に話し合いを？

Z：いや、それはなかったです。いつものことなんですけど、特に話し合いをしなくてもうまいことバランスが取れるんですよ、この2人って（笑）。マモ曲に関しては、俺が7割ぐらいギター入れて、楓が後から音を乗せていきました。それって、もしかしたら難しいことなのかもしれないけど、楓も俺のやりたいことをわかっていてくれているんで、やりやすかったと思います。

――先程、マモさんはこの曲を口直しとおっしゃいましたけど、歌詞もまた相当な口直しとなっています。

Z：同じバンドとは思えない。俺ですら、このギャップに笑いましたから（笑）。

マモ：まさか、ここで恋愛の歌詞がくるとはね（笑）。

宏崇

のはさほどないんですけど、自分らしさを出していって、そのおかげで、曲が求めるものが提示できたと思います。

――そして、楓さんの作ってきた曲は、今までにない要素がたくさん入っていますね。

Z：彼曰く、「毒盛る」を聴いて出した自分なりの答えだそうです。俺としては、これをメインにしてもいいかなって思ったぐらいで。それほど、インパクトのある楽曲だなと。

――ワルツ調なだけに、ブラックメルヘンという印象を受けました。

マモ：そのとおりですね（笑）。

Z：まさに。そこが、"毒"っていうところと繋がってくるんですよね。

マモ：歌詞はまだできあがっていないんですけど、俺が伝えたかったのも、そのブラックメルヘンというところで。聴いてすぐに、森の奥にある怪しげな喫茶店というのが浮かんできたんですよね。

――なるほど。で、そこから先はどうなるのですか？

マモ：それはまだ言えません（笑）。これもまた、他の曲と差別化を図るため、歌い方を変えていくと思います。リズムの良さを活かすため、癖を付けていこうかなと。

七星：リズムだけで言うと得意な方ではないんですけど、そこまでカッチリとした感じではないので、やりやすかったですね。

宏崇：俺、この曲はアドリブで叩いた部分が多くて。こういう曲調だし、それで良かったなと思います。

――ライヴでは、曲に合わせて手拍子、なんていう光景が見られそう。

マモ：きっと、今までにないノリ方で楽しめると思いますよ。

――この後には、ワンマンツアーが控えていますしね。

マモ：7月22日から、単独公演ツアー「tour "DOKUMORU"」が始まります。8月8日にはツアーファイナルとして、豊島公会堂で「トシマ作戦」という単独大講演を行います。全席指定の単独公演は初めてなので、プレッシャーに負けず、頑張りたいと思います。

杂志园
zazhimi.com

（問）〒169-0075　東京都新宿区高田馬場3-3-8-609　http://www.r-shitei.net/

蝴蝶网
hudie.com

ケミカルピクチャーズ

ay of our living Uncool gross

Live at 渋谷O-WEST 2011.6.15

平一洋(Vo)・平井健太(Gt)・西條洋介(Gt)・野中拓(Ba)・田畑子雲(Dr)によって新たなるケミカルピクチャーズのスタートを切った5人。
そんな彼らが6月15日、SHIBUYA O-WESTのステージを踏んだ。
7月27日にリリースされる現メンバーによる初の書き下ろしシングル「地球という名の乗り物」のリリース前に、彼らが見せた景色とは?

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:NAOKO TAKEICHI

現メンバーになって初のMini Album『拝啓…詐欺的道化師音楽愛腐女子様方へ所詮戯レ言サレド純粋無垢ナ音楽』をリリースしたケミカルピクチャーズ。2009年の3月に結成した彼らは、現在までに何度もメンバーチェンジを繰り返してきた。

しかし、彼らは自らに課せられた試練をバネとし、新たなるケミカルピクチャーズの世界を今、見事に作り上げたのだ。

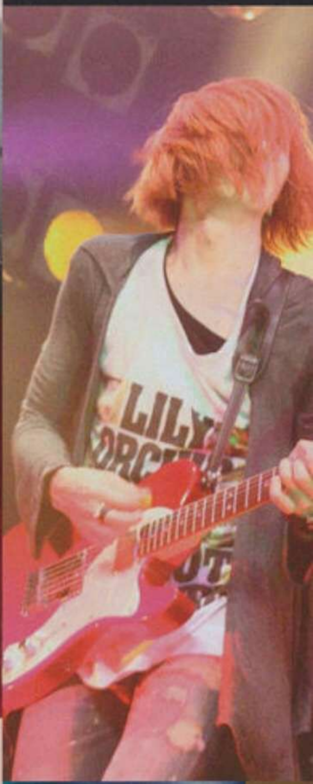
2011年6月15日。ここで彼らのライヴを見るのは2度目。前回は2010年9月17日。5ヶ月連続でリリースしてきたコンセプチュアルなシングルの楽曲を引っさげてのライヴであった。

スクリーンの映像を絡めた彼らのライヴのオープニングは独特な個性を持つ。この日も開演時間が迫ると100からのカウントダウンがスクリーンを通して始まった。カウントが0へと近づくごとにフロアからの掛け声は熱くなっていった。

カウントが0になるとメンバーはステージに現れ定位置に付くと、いきなりジャムり始めた。これも彼らならではのライヴスタイル。ラフに音楽を楽しみたい、純粋に音楽を楽しみたいというスタイルがそんなところからも感じ取れた。現メンバーになってまだ間もない彼らだが、そこに一切のぎこちなさや遠慮はなかった。お互いの音を求め合い、絡め合いながら音の世界に入り込むプレイヤー魂は素晴しいグルーヴを生み出していた。やがてそのジャムりは、ヴォーカルの平の登場と同時に1曲目に用意された「Stand by me」のイントロへと繋がれた。実に自然なinにライヴへの期待度がさらに高まった。彼らはここから一気にケミカルピクチャーズの世界観にオーディエンスを引きずり込んでいった。

感情を押さえることなく吐き出すかのような平井、西條、野中、田畑が奏でる力強い音に後押しされるかのように、胸につっかえた想いの数々を歌に変えていく平。そんな彼らの音にフロアは声を重

杂志迷
zazhimi.com



【セットリスト】
1.I love suG my life
2.Stand by me
3.I WannA GEtAway
4.笑うピカソ
5.My Harlot BrOker
6.ベラミー
7.病ム空
8.翼を下さい
9.感情屑籠境界線
10.純白と絶望のキャンバス
11.Black Box
12.38mm Bir
13.闇に降るフ
14.Mementor
15.Präparat
16.Reincarna
17.イロトリ
18.sPeaKrEr
19.Sick Boy
20.溺れる魚
21.Walking A
EN1.地球とい
EN2. Stand b

さっていたようだった。そして彼らはその後に「Präparat」を届けた。この曲はケミカルピクチャーズが結成されて間もない時期に作られたモノ。リズミックな世界はサビで一気に開かれる。クリーンな音色の西條のタメ感のあるギターソロが印象的な1曲だ。結成間近からメンバーであった田畑が加入する前から存在していたという楽曲である。この曲は、5人で再録した『拝啓…詐欺的道化師音楽愛腐女子様方へ所詮戯レ言サレド純粋無垢ナ音楽』にも入っていることから、彼らはこの日改めて現メンバーで届けるこの曲をオーディエンスに贈ったのだ。このミニアルバムの中でも同じことを感じたが、この日ここでも、ケミカルが誕生して間もなく作られた楽曲や、結成初期からの楽曲たちを改めて現メン[illegible]形として届け残した、現在のケミ[illegible]クチャーズの証を見せてくれたラ[illegible]と感じたのだった。

彼らはこの日、全身の力で音と唄[illegible]けてくれた。"1人1人の心にこの[illegible]届くように——"。そんな彼らの願[illegible]は、しっかりと音となって、唄を通じて[illegible]ちの胸の奥に入り込んできた。彼ら[illegible]こそ、ジャンルの壁を超え、もっと多くの人の知るところとなり、広い世界で[illegible]されるべきだと思う。この日、改[illegible]う思った。

"最後に1曲贈ります。地震の前に書いた歌詞だったんだけど、リンクしちゃって……だからこそ、今出さなくちゃって思った曲です。"（平）

彼らはアンコールで7月27日にリリースされるニューシングル「地球という名の乗り物」を届けた。震源地に近い宮城県を地元とする平の言葉は意味深いモノだった。そしてこの曲の最後に平は叫んだ。"生きていこうぜ!"と。

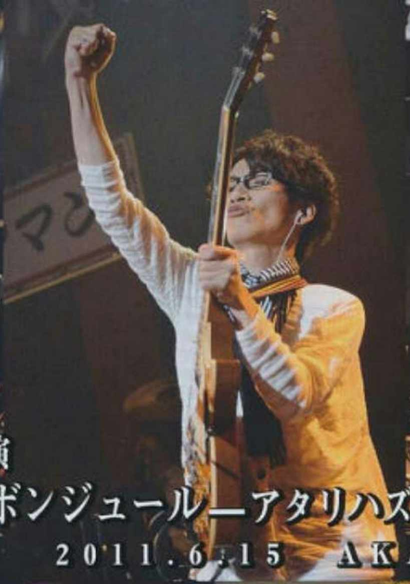
そのメッセージにオーディエンスは大きな歓声を贈った。

あたたかなメッセージと生きる力をくれた彼らに。彼らのこの先の未来が明るいモノでありますように。

（問）http://chemical-pictures.net/

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

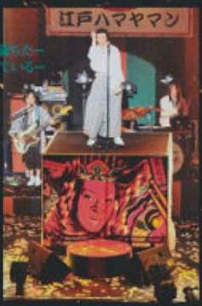


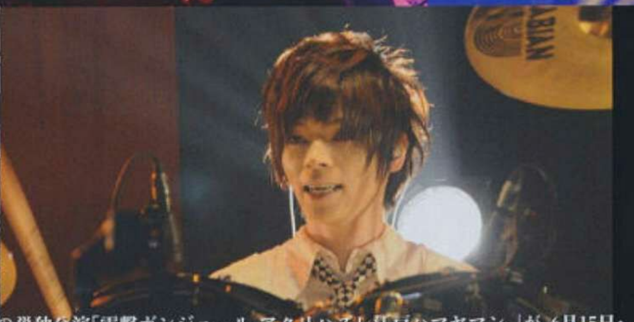
種

少年 ディーズ

単独公演
「電撃ボンジュール—アタリハズレ江戸ハマヤマン—」

2011.6.15 AKASAKA BLITZ





ム「Bonjour」のリリースを受けての単独公演「電撃ボンジュール-アタリハズレ江戸ハマヤマン-」が、6月15日・
にて行なわれた。震災翌日に組まれていたライヴの振替公演となったこの日だが、それもあってか、現在のバ
底にある"真剣に楽しむ"ことが徹底的に表現されたステージとなったのだった。

Report:RIE MAKINO

演芸でも始まりそうなSEが流れ、ステージを覆っていた赤い幕が左右に開かれた。まず目に飛び込んできたのは、ステージバック一面の定式幕に、上方に掲げられたタイトルのロゴ。さらにドラム台の横には和太鼓と、タイトル通り江戸っぽい演芸場のようなセットの中、「Bonjour」で演奏をスタート。花少年バディーズ初の赤坂ブリッツであり、振替公演としてやっと実現した喜びを、ブラッサムと共に確かめ合うかのように、ハートフルな雰囲気が場内に充満した。

"宣誓！ 我々バディーズ一同は、バンドマン精神に則り、ここにいるみんなを絶対的にハピネスに導くことをここに誓います！"と笑いを誘いながら猿が選手宣誓。そして"お前ら、マジメにふざけるぞー!!"と叫び、メンバーも大ハシャギ！「アタリハズレマン」では全員ハッピを羽織り、ミネムラが和太鼓を披露。そこに"ボンビーマン"コールが起こり、豚磨が演歌歌手でも紹介するような口ぶりで語り始めると、着物姿の広志がねぶたのような高い台に乗って登場！ こぶしを効かせて「ボンビーマン」を歌った（笑）。後のMCで、ホントかウソか、それに予算の50％費やしたと話していた（笑）。

"俺らが（昨年）11月から掲げた目標がこのステージでした。すげえ嬉しいです"と言い、今を噛み締めるように気持ちを込めて「テューズデー怪物は幸福に満ちた」を歌い上げた後、スパニッシュ風のアレンジが印象的な「Blank」では、真っ赤なドレスを着たフラメンコダンサーが妖艶なダンスでステージを彩った。そんな趣向を凝らしたさまざまな演出も、すべてはブラッサムの笑顔のため。"真剣に楽しむこと"をメンバー自ら率先して提示したライヴを繰り広げた。

アンコール。複雑な想いを持って廻ったツア[illegible]たことを打ち明けた後、"明日が[illegible]してあ[illegible]でありますように……[illegible]"「落陽」へ。ミネムラが[illegible]が歌う、というつもと[illegible]アレンジで披露した。そして2回目の[illegible]ーでは、懐かしいSE「Walha[illegible]G」が流れ、真っ赤に染まった[illegible]大きな黒旗を掲げた[illegible]メンバー登場。そう、バディー[illegible]、ビリーだ!! 当時からファンのブラッサムは驚きの混じった歓声を上げた。ヘドバン必至の攻

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

アンド

-ECCENTRIC AGENT-

新たなる挑戦
-naught of TRIGGER-Tour FINAL
2011.6.25 SHINJUKU BLAZE

“引き金を引くことで、何かが変わる” 5月にリリースされた
ミニアルバム『TRIGGER』には、そんな想いが隠されている。
人に向けて放ったメッセージでありながら、
どこか自分に言っていたのかもしれない。
だからこそ、6月25日に行われたワンマン公演では、
自らが率先して“変わる”ことを選んだのだろう。
彼らの決心に、心からの“おめでとう”を。そして、その日の模様をここに。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX） Report:ERI MIZUTANI

＜セットリスト＞
1.__naught
2.CODE「B」
3.共栄会
4.恋スル@GIRL
5.犠
6.dope
7.BLINDNESS
8.TRIGGER
9.torch
10.basis
11.恋スル@BOY
12.GUT
13.bluff
14.ブラック アウト
15.砕～cross border～
-ENCORE 1-
16.暖色のセカイ
17.beretta〔six-forteen〕
18.Sobut
19.蜥蜴-トカゲ-
-ENCORE 2-
20.宣戦布告

最新ミニアルバム「TRIGGER」で、バンドの成長を感じさせたアンド。本作では、今までの可愛らしさを覆すかのように、全編から男らしさが滲み出ている。その後、本作を引っ提げて始まった「六大都市単独公演巡業任務-naught of TRIGGER-Tour」では、各地でこれでもかというぐらいに熱いライヴを敢行。まさに、「激撃」任務」に相応しい様子を見せ付けてくれた。もちろん、ツアーファイナルとなった東京公演でも、驚きの連続で我々を楽しませてくれたのである。

6月25日、彼らは新宿BLAZEのステージに立っていた。始まりは「__naught」。観ている者を圧倒させる低音の響き、豪快な煽り。それでいて、サビでは明るく広がりを見せるところなど、全てのバランス感覚が完璧であり、いつになく気合いが入っている、そう思わせるステージングだった。そして、そこから一気に攻め込んでいく。「CODE「B」」「共栄会」で暴れたかと思えば、「dope」「BLINDNESS」で聴かせていく。MCを簡潔にしたことで、フロアのテンションは下がることなく曲に集中できた。

後半には「TRIGGER」からの楽曲を中心に演奏。中でも、内なる情熱をありったけの想いと共に出した「torch」が良かった。また、ラストを「砕～cross border」で締めくくるところも、爽快。ここでは、始まりと同様、サイレンランプが一斉に鳴り響き、ステージが赤く染まっていった。最初と最後の演出を同じにしたことで、全体を通し、すっきりと引き締まった印象を観客に与えた。

たくさんの歓声に応え、4曲を演奏したアンコール。PECOの奏でるアコギが豊かな表情を作り出した「暖色のセカイ」に引き込まれつつ、「蜥蜴-トカゲ-」での統制のとれたパフォーマンスにも目を奪われた。メンバーがステージから去り、これで終わりかと思いきや、この後、重大なお知らせが発表となった。

スクリーン上に映し出された重大発表。そこには、これから始まる「宣戦布告8大任務」の詳細が。食い入るように見つめるフロア。すると、悲鳴のような歓声が上がった。慌てて目をやると「緊急任務メジャー宣戦布告」の文字が。そう、アンドはこの度、ビクター・エンタテインメントからメジャーデビューすることが決まったのだ。そうして、再びステージに戻って「宣戦布告」を演奏し終えると、部隆は涙をこぼしながら言った。「死ぬまでついてこい！」と。それに応えるように、フロアはたくさんの歓声と拍手を贈ったのだった。

杂志迷
zazhimi.com

V-Love☆Live vol.1

蝴蝶网
hudie.com

イヴだけじゃない！ 新感覚のイベントが誕生!!

2011.6.18新木場STUDIO COAST

6月18日、新木場STUDIO COAST［V-Love☆Live］が行なわれた。
LOST ASH、V-last.、Alice Nine、Versailles、樹威、摩天楼オペラ、AYABIE、ゴールデンボンバー（順不同）
といった今をときめく8バンドが集結。当日は、ネット中継も入るなど、注目度の高さが伺えた。
では、そのイベントの様子を一気にお伝えしていこう！

Report:ERI MIZUTANI

摩天楼オペラ

AYABIE

ゴールデンボンバー

通常、こうしたイベント形式のライヴともなると、転換時間を持て余してしまいがちだが、この日は違った。何と、［Viz☆Love☆Night］でお馴染みのDJ陣が会場を盛り上げるという。SARINO（Annie's Black）とえみる（愛狂います。）によるユニット〝オーロラ三人娘〟を始め、ヴィジュアルシーンを作り上げてきた重鎮たちが場内を熱くさせる。時折、出演者も神出鬼没でDJブースに乱入するなど、片時も目が離せなかった。

そして本編。オープニングで勢い良く飛び出してきたのは、LOST ASH。轟音を掻き鳴らす姿は観客の心をがっちりと掴んでいた。続いてのV-last.は、前者とは対照的に、キラキラとした楽曲が持ち味のバンド。どちらも、短い演奏時間の中で個性をいかんなく発揮してくれた。

ダークなスーツに身を包んだAlice Nineが登場すると、会場のテンションもヒートアップ。空間を切り裂く鋭いサウンドが刺激的な「閃光」、人気曲「九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-」でワンマンさながらの一体感を見せ付ける。この後には新曲の「BLUE FLAME」も披露され、充実した内容となった。9月9日のNHKホールでのワンマンも楽しみだ。

シンフォニックなSEが流れると、薔薇の花を持ったファンが前へと詰め寄せる。場内の雰囲気が一気に華やいだところで、Versaillesのステージが始まった。楽器陣の巧みな演奏技術もさることながら、激しさと悲哀の混ざり合った音はどこまでも美しく、彼らのことを初めて観る人は感嘆の溜め息を漏らしていた。〝この時間はVersaillesの生け贄だ。心しておけ〟その言葉どおり、「Vampire」が終わる頃には、観客はすっかり骨抜きとなっていた。

唯一のソロとして登場したのは、樹威。「招待状」で美声を響かせると場内からは大きな拍手が。それもそのはず、ソロシンガーとしてのライヴパフォーマンスは今日が初めて。〝こんな大きなス

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

ない。そのお礼として、最後に「最大公約愛」を、心を込めて届けたのだった。

摩天楼オペラのライヴはいつ観ても気持ち良い。昨年メジャーデビューしたことで知名度が上がってきたせいか、後ろで静かに観ていた人までもが大きな歓声をステージに向かって投げていた。また、ここにきて、バンドコンセプトである"シンフォニック・モダン・ロック・オペラ"がより構築されてきたように感じられる。7月6日にリリースされる1stシングル「Helios」では、ハイトーンが魅力的な苑を取り囲む楽器陣のバランスが見事。これからの活動にも注目したい。

楽曲の覚えやすさと親しみやすさでAYABIEの右に出る者はいない。この日も、MCで夢人がインテツを散々いじり倒したり、新しい盛り上がり方を考案したりと、観客と一体型のステージングで盛り上げてくれた。そんな中、"8月24日にAYABIEはメジャーデビューします"と大事なことをさらっと言ってのけるあたり、大物の予感。メジャーデビューシングル「流星」は、これからのライヴでも重要な曲になること間違いなし。今夏の全国ツアーでは、更なる進化を遂げるはずだ。

トリを飾ったのは、ゴールデンボンバー。ローラースケート姿の4人がステージに現れると、場内は割れんばかりの歓声！ 肘あてを付けたままで2曲演奏すると、AYABIEのメジャーデビューを羨ましく思った喜矢武豊が、いきなり"俺もメジャーいくー"とダダをこねだした。鬼龍院翔の制止を振り払い「抱きしめてシュヴァルツ」のギターソロで野球のユニフォームを着て登場するや否や、"そっちのメジャーかよ！"と総すかん。ここでは樽美酒研二が場内での痴漢逮捕(!?)に一役買うなど、お客様の身の安全を守ったことも書いておこう。新曲「僕クエスト」のカップリング曲「今夜はトゥナイト」では、歌広場淳による振り付け講座もあり、一層にぎわった。言うまでもないが、この抱腹絶倒のパフォーマンスは最後まで続いたのである。

杂志
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

Fly away from the cage!!

やっぱりDは、音楽の力を信じているから

**ヨーロッパ・ツアー、6月にはアメリカでのイベント出演と、初の海外公演を経験したDが、久々のシングル
閣殿~L'Oiseau bleu~』をリリースする。バンドを取り巻く状況の変化や、国内外での経験が反映された、
ルな感情が描かれた作品に仕上がっていると言う。5人の感情の揺れを探るべく、久々のインタビュー。**

Photography : TAKAAKI HENMI　Interview : KYOSUKE TSUCHIYA

――5月に行なわれた初のヨーロッパ・ツアー、6月に参加したアメリカでのコンベンション・ライヴはどうでした?

HIDE-ZOU：いろんな方からお話は聞いていましたし、ファンの方からお手紙もいただいてたんですけど、実際に行ってみて分かったのは、ホントにDを待っててくれたんだなって。国によって反応はいろいろですけど、すごく求められてる様子が改めて伝わってきたんですよ。嬉しさと同時に、より頑張らなきゃなって気持ちが入り交じったツアーでしたね。

HIROKI：現地ではサイン会などもあって、みなさんと触れ合う機会があったんですけど、そこでも『ずっと待ってました』とか『また来てください』とか声をかけてもらって。もちろん、ライヴも凄かったですね。お客さんは会場に入るなり、歓喜の声が上がるぐらいのテンションで。演奏中、日本では曲の始まりと終わりでテンションが上がると思うんですけど、向こうのお国柄なのか、Aメロ/Bメロ/サビっていう展開ごとにいちいち反応してくれるんですよ。それがすごく新鮮で楽しかったですね。

Ruiza：ライヴはどこも凄く盛り上がったんですよ。ホントに最初の頃から応援してくれてる人もいっぱいいて、凄く感激しましたね。今まではちょっと苦手意識というか、海外でライヴをすることに対して、ハードルの高さを感じてたんですよね。やりたい気持ちはもちろんあったんですけど、国内と違って、ただブッキングすればいいわけではないし、いろんな準備も、いろんな人の力も必要だし。でも、今回の経験を通して、海外も身近に感じられるようになって。

――もし観客がほとんどいなかったら、また話は違うんでしょうけど(笑)。

Ruiza：そうですよね。より苦手になって帰ってきたりして(笑)。

Tsunehito：行く前は気をつける部分の話ばかり聞いてたんですよ。機材がなくなることがあるとかね。実際、ロシアでは酔っ払った変な若者が勝手に会場に幸せでしたね。ライヴのサポートをしてくれる方々からも、チームとして一緒にライヴを作っていこうという感じが凄く伝わってきて。

ASAGI：これまでも海外公演のオファーはたくさんあったんですが、なかなか態勢が整わなくて断念してたんですよ。その求められている声を実際に肌で感じてみて……何だか不思議な感覚でしたね。日本だけで活動していたのに、凄く離れた国に応援してくれるファンがいるというのは。改めて自分たちの音楽に自信が持てたところもありましたし、音楽に国境はないなぁとも思ったし、凄くいい経験になりましたね。各国でいろんなメッセージを書いた旗をもらったりもしたんですけど、Dが凄く愛されてるのを実感したり。みんなの力で乗り越えていいライヴをした時の感動はなおさら凄かったですね。ヨーロッパ、アメリカに来てよかったって、何度も何度もメンバーやスタッフと話しました。今までも世界各国をイメージした曲はありましたけど、今回のツアーで、Dとしての活動も、楽曲の幅も絶対に広がっていくと思うんですよ。実際に目にした景色も頭に焼き付いているので、様々な面でプラスに作用していくだろうなぁって。それにこのツアーは、Dとしてもベスト・タイミングだったなとも思うんですね。「VAMPIRE SAGA」は未来のヨーロッパを舞台にしているので、実際にそのイメージした地でライヴをすることは、凄く意義のあることでしたし。初の海外がヨーロッパというのは、Dにとてもいいことだったと思いますね。

――ヨーロッパは単独公演でしたが、アメリカはアニメのコンベンションにゲストとして招かれたんですよね。

HIROKI：そうですね。三日間のイベントで、ライヴは1日だけですけど、トータルで何万人も集まってて。

ASAGI：イベントとしてはアニメが好きな人たちがたくさんいるのは分かってたんですけど、実際にライヴをやってみたら、Dを観ることを目的に来てくれる人

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

内ツアーでは、新しいシングル『鳥籠御殿~L'Oiseau bleu~』がリリースされることになりました（オフィシャル・サイトでの通信販売も実施）。

ASAGI：音源の制作自体はヨーロッパに行く前から取りかかってはいたんですけど、まだ完全な形にはなっていなかったんですね。ただ、震災などもあった時期だったので、Dの活動を通して何か出来ないかとずっと考えていたんですよ。そんな中で、やっぱり僕たちは音楽の力を信じているので、聴いた人が少しでも幸せになってくれるような楽曲を作りたいなぁと思って生まれたのが、この「鳥籠御殿」だったんですね。その時点では歌詞は書いていなかったんですが、世界中の人たちが日本に手を差し伸べてくれていることに対する感動、感謝の気持ちもありましたし……世界進出してみて感じたことも凄く大きかったですね。イヤな出来事もたくさんありますけど、人と人との純粋なつながりが世界中にある。そういった想いも含めて歌詞にしたいなと考えてて。日本を離れてみて、世界に向けて音楽を発信したい気持ちがすごく強まったんですよ。一人でも多くの人にDの音楽を届けたい、そして少しでも幸せな気持ちになってほしい……とにかく今、やりたい音楽、伝えたいメッセージを形にして出すことが何よりも大事だったんですよ。

――7月からはマネジメント／レーベルから離れたそうですが、日本から世界へと歩みを進めていこうとする、バンドが置かれた環境を含めて、今のDの心境がそのまま伝わってきますよね。

ASAGI：そうですね。人それぞれ感じ方は違うのかもしれないけど、当たり前の毎日がいちばん幸せだったということにも、改めて気付かされたと思いますし、言っていただいたように、今のDの心境とリンクする部分もある。日本という鳥籠から世界へと羽ばたいていくこと、世界に向けて発信したいこと、今の日本に思うこと、Dの現状だったり、様々なものが詰まっている楽曲ではありますね。

り意識するようにもなったんですよね。今まで築き上げたものが、一瞬でなくなってしまうこともある。世界中でそういうことが起きているのは分かっていたんだけど……。ヨーロッパにいる間もずっと聴いていたんですけど、海外のファンの子たちとの心の交流や、環境とか景色とか、ちょっとしたことからも刺激を受けたし、感性が凄く磨かれている自覚があったんですね。その中でイメージもどんどん膨らんでいった。ここ最近の経験が、いい意味で曲に反映できているのは感じますね。

Ruiza：僕は阪神淡路大震災を経験しているので……思い出しましたね。自分の中では無茶苦茶大きなことなんですよ。ある意味、苦しさも感じましたし。そんな想いもある中で海外に行って……凄く複雑な時期ではあったんですね、自分にとっては。ただ、この曲をレコーディングすることによって、全部がプラスに変わったというか。純粋に楽しんでくれている海外のファンの人たちを観て、もっとシンプルに楽しみたい気持ちも凄く芽生えましたし、単純に音楽が凄く好きだな、気持ちいいなってことも再確認しましたし。そういう想いはこの曲に凄く入ってますね。

Tsunehito：みんなも言ってるように、時期的には震災のこともあったので、そういうことも考えながら、いろいろ作業もしてたんですけど……。こうして自分はバンドも出来ていて、海外にまでDの音楽を待っててくれるファンがいる。そんな幸せやありがたさも感じつつなんですけど、もちろん、まだまだ闘い続けている方も凄くたくさんいる。だから、とにかく聴いてもらいたいなぁと素直に思いながら作った感じですね。

――あらゆる面で、今まで以上に、凄く意味のある曲になりましたよね。

ASAGI：今までもずっと思ってたことですけど、ほんの小さな幸せでもいいから、伝えてあげたい。Dの楽曲たちを青い鳥に喩えて、Dという鳥籠御殿からたくさん羽ばたいていくようなイメージが最後のCメロのところなんですけど、そこは日

も、メロウな部分と力強い部分、繊細な部分があって、凄くやり甲斐のある曲に感じたんですね。その後の海外のツアーでは『頑張ってください』という言葉もたくさんの人からいただいた。自分が被災したわけではないですけど、逆に自分たちがその人たちに音楽を通して、少しでも何か返せたらなという気持ちも生まれましたし。演奏的なことで言っても、やはり音楽は奥が深いなと感じた曲でもありましたね。アレンジするに当たっても、今までのように詰め込むのではなく、隙間を作ることで曲の奥行きを生んで、結果的に壮大な楽曲になった。そういうチャレンジも出来たんですよ。音を通して気持ちを伝えられる素晴らしさというのか、音楽をやっていてよかったなと改めて感じましたし、ホントにいい作品が出来たなと思いますね。

――Dの楽曲にしては極めてシンプルな作りも、いかに言葉と音で気持ちを伝えるかといったみんなの想いが、そのまま反映されたのかもしれませんね。しかも多くの人はライヴで初めて「鳥籠御殿」に触れることになる。期せずして、この曲をまず直接、実演を通して届ける環境になったのも象徴的だと思いますよ。

Ruiza：生演奏だから伝わるものは凄くいっぱいあるし、ライヴってホントに凄いなって思うんですよ。

ASAGI：歌詞にもあるように、とにかく今は自分たちから届けにいく感覚なんですよ。実際、例えば今の状況で仙台でライヴをするというのは、どういうことなのか。やっぱり行くべきだって決めたのは、この曲があったからこそなんですよね。迷いは全くなくなった。待っている人たちがその地にいるのであれば、届けに行きたい。そういう気持ちを大事にするツアーにしたいですね。

HIDE-ZOU：ヨーロッパとアメリカを廻ってみて、やっぱり言葉の壁はあるんですよ。でも、だからこそ、心の深いところでの会話も出来ていたと思うんですね。そんなライヴを今回の日本のツアーでも出来たらなと思います。

杂志迷
zazhimi.com

――『Loops』を作るにあたって掲げたテーマなどは、ありましたか？
晃：制作に入った段階では、特にテーマとかはありませんでした。ただ、5月6

作品にしたいな…という気持ちが強くあったと思います。
――新境地の曲が並んでいて楽しめました。『Loops』で新たに聴ける4曲を、

ユアナ Gt

柊 Vo

boogieman

度100%のミニ・アルバム『Loops』完成

カリスト・柊が加入し、2枚のシングルを経てのミニ・アルバム『Loops』がリリースされる。柊のカラーやキャラクターを全面に打ち
ということで、boogieman5人が創り出す世界観がより鮮明になったようだ。8月13日には渋谷クラブクアトロでのワンマン・ライヴ
、他にはない刺激が、ここにはある。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

分をもう少し追求してみたいなと思って作りました。でも、作ってからちょっと狙いすぎかなと思って不安になって（笑）。万作やユアナに、〝この曲、大丈夫かな？〟って聞きました（笑）。
万作：晃くんは心配そうだったけど、僕は純粋に良い曲だなと思いました。流行りっぽくデジタル化したり、小綺麗にすると違う方向に行ってしまうけど、ちゃんとboogiemanのカラーを出してやるなら、何の問題もないんじゃないかな、と。
――「POLYGON」は、哲学的な匂いのある歌詞も要チェックです。
柊：歌詞は、人が一つの物事を見る時に対象が多面的だと感じているかもしれないけど、実は多面的に見ているのは人間である…ということがテーマになっています。例えば、〝正義〟も見方によっては〝悪〟になるじゃないですか。自分の立ち位置によって見え方が変わってくることを理解した上で、物事の本質を見極めることが大事だし、そうすることで自分の思想も拡がるんじゃないかと。そういうことを書いています。
ユアナ：「ラリユラ」は、シングルよりも自由度が高いミニ・アルバムということで、こういう曲があったら面白いんじゃないかなと思って作りました。作曲家としての自分的なチャレンジというよりは、バンドとしての新しい部分を引き出したい…というのがあって。歌やプレイ面で、みんなが今までにないものを出してくることを期待していました。
晃：この曲は、ユアナから万作への果たし状です（笑）。
万作：デモを聴いて、ブッ飛びました（笑）。デモの段階で全編にわたってスラップが打ち込まれていたので（笑）。とりあえず、一回ユアナさんに電話したんですよ。〝デモのバチバチいってるのは、シーケンスですよね？〟って（笑）。そうしたら、〝いや、ベースで、お願いします〟と（笑）。今までスラップはやったことがなかったので。大変だったけど、ユアナさんが新しい扉を開いてくれたこ

て行ききってしまえ…という内容です。この曲は最初に聴いた時に遊び心を感じたので、言葉遊びに重点を置いた歌詞になっています。
ユウイチロー：「シュレーディンガーの猫」は、今回の中では唯一のバラード系というか、ゆったりした曲だよね。今までのboogiemanとはまた一味違った洗練感のある曲に仕上がってて、この曲もすごく気に入ってる。
柊：この曲の歌詞は、〝不確定な状況〟がテーマになっているんですけど、それをそのままタイトルにしてもツマラナいじゃないですか（笑）。それで、メンバーに相談したら、このタイトルを考えてくれました。
晃：曲のタイトルは、すごく大事だと思っているので。タイトルを見た人に、聴いてみたいと思わせたい…というのがあって。だから、柊が煮詰まった時は、俺や万作も手伝うようにしています。歌詞の内容とかも、そうだよね？
万作：うん。歌詞に至っては、もう全員でチェックしています。分からないところがあると、どういう意味かを説明するように言ったりとか。メンバーに説明できないものだと、それこそ誰にも伝わらないから。
――メンバー全員が歌詞を理解するのは、すごく大事なことですよね。「シュレーディンガーの猫」の歌詞は、人間の愚かさを描いています。
柊：結構大きなテーマですけど、歴史を振り返ると、人間はどう転ぶか分からない不確定な状況を作り出すことがあって。それを繰り返した結果、過ちを犯してしまうことを、客観的な視線で書いています。それに裏テーマとして、今の日本のことも入れ込みました。
万作：「PicaSSO」は、〝boogieman流パンク〟という感じかな。
晃：そうだね。ユアナがこの曲を持ってきた時は驚きました。俺の中では、「ラリユラ」よりも意外でしたね。
ユアナ：本当に？ 単純に、こういうのをやってみたいと思っただけなんだけど

万作 Ba

晃 Gt

ユウイチロー Dr

人には絶対になれないと気づく時が必ず来ると思うんですよ。そのときに憧れの対象を否定したり、拒絶するのは間違ってて。それは自分の個性を探せるようになるスタートなんですよね。そういうことを書きつつ、〝自分らしくあれ〟とい

ユアナ：最初は、ソロは[illegible]もりじゃなかったんです。でも[illegible]を作っても時に、ちょっと気分転換に[illegible]ルッとソロを入れて、それをバ[illegible]に持っていったら、〝これは絶対に入れる[illegible]べきだ〟ということになっ[illegible]あ弾

蝴蝶网
hudie.com

ユアナ：いや、みんなが面白がるから、そういうのが良いのかなと思って（笑）。

ユウイチロー：『PicaSSO』のドラムは、もう考えつくものを全部詰め込んで、煙が出そうになりながら叩いた（笑）。ライヴでも煙を出すかもしれないから楽し

1年前に、boogiemanを諦めなくてよかった。

柊：『Loops』は、僕が加入してから作った音源の中でもいちばんバンド感の強い作品だと思います。この5人が創り出す世界観がより鮮明に出ていて、boogiemanとしての純度の高い作品になってて。今の自分の姿を100%出せたことも含めてboogiemanを知ってもらうには最適の1枚なので、ぜひ聴いてほしいです。

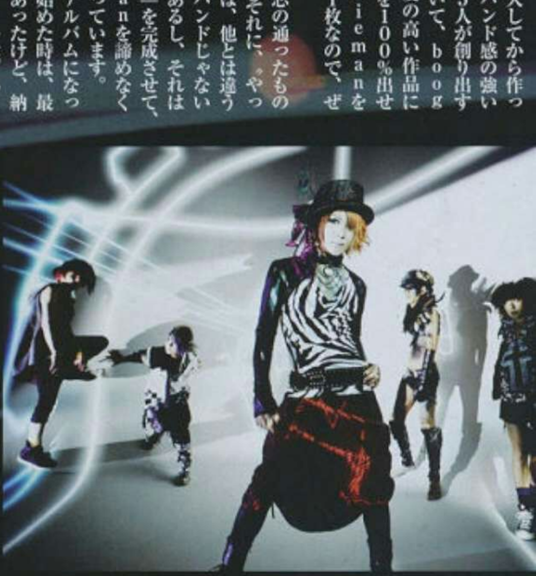
万作：バンドとして一本芯の通ったものが出来て良かったです。それに、〝やっぱりboogiemanは、他とは違うな〟と思いました。このバンドじゃないと出来ないことが確かにあるし、それはまだまだあって。『Loops』を完成させて、1年前にboogiemanを諦めなくて良かったなと改めて思っています。

晃：意外と硬派なミニ・アルバムになったなと思いますね。作り始めた時は、最初に言ったような不安もあったけど、納得のいく作品に仕上がりました。あとは、この後に作る音源の中で、『Loops』はいちばんストレートな作品になっている可能性が高い気がしますね。『Loops』には満足しているけど、これがboogiemanの全てではないので。この後の展開にも期待してほしいです。

ユアナ：今のboogiemanは、自分たちが作った音楽に刺激を受けて次につながっていくという理想的な状態になってて。『Loops』には、そういう良い空気感も詰まっているので、楽曲と併せてそこも味わってもらえると嬉しいです。あとは、みんなと同じように、このバンドでやりたいことはまだまだあるし、良い意味で期待を裏切っていこうと思っているので。期待を裏切られる快感を、楽しみにしててください（笑）。

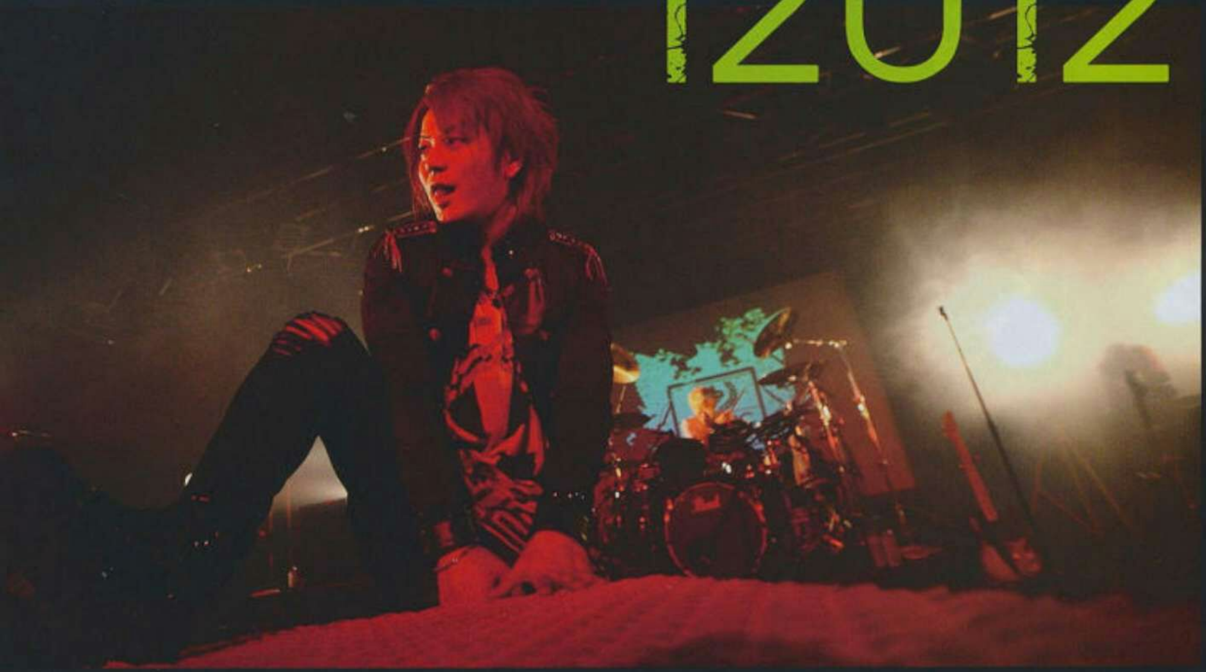
ユウイチロー：『Loops』は、この5人で心を一つにしてライヴやツアーに臨む中から生まれてきた曲が並んでて。よりライヴに近いところにある曲が揃っているから音源と併せてライヴも楽しんでほしい。特に、8月13日のワンマンは必見だね。『Loops』の曲が加わることで今までとは違ったライヴになるから期待しててほしいし、俺も自身も楽しみにしてる。今年の夏は、boogiemanを味わい尽くしてほしいね（笑）。

杂志迷
zazhimi.com



蝴蝶网
hudie.com

12012



6月5日・新宿BLAZEのステージには、4人の12012の姿があった。新体制での再始動を宣言してからの彼らは、新たなバンドを生み出すべく、前向きで攻撃的な姿勢を見せていた。そして4人での初ライヴとなったこの夜、今まで以上にリアルでダイレクトな感情が伝わって来るステージとなったのだった。8〜9月には12012主催"SUMMERTOUR 12CUP"、そしてワンマン・ライヴも開催される。さらなる希望に満ちた4人に訊いた。

Photography:RIE SUWAKI(MAX PHOTO)
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

──新体制での初ライヴを行なうにあたって、どんなことを思っていました？

宮脇：安全パイを取った無難なライヴをするんじゃなくて、新しい12012を"バシッ！"と見せたいと思っていました。やりたいことは、いろいろあったんですよ。それを全部見せる意気込みで取り組んだ結果、今までと違ったライヴにはなったかなと思っています。

酒井：今回のライヴは、本当に楽しみでした。4人でスタジオに入った時の感触は良かったけど、ライヴをやってみないと分からないことが結構あったんですよね。実際にステージでプレイした時に、どんなバンド感が出るのかとか、どんなグルーヴが出るのかとか。それを感じるのが待ち遠しくて、早く6月5日にならないかなと思っていました。

塩谷：いろんな想いの答えを求められていたと思うんですよ。ライヴだから、全部を伝えきらないといけないな…というのがあって。去年の12月のライヴが終わった時点では、またステージに帰って来られるかどうか分からない状態だったじゃないですか。だから、ヘタすると、またステージに立てたことだけで満足してしまいそうなところがあったので、そうならないように気持ちを引き締めて、納得のいくライヴをしようという意識で臨みました。

川内：4人での初ライヴでしたけど、不安はなかったです。バンドの状態が良かったので、変に気負ったりしないで、今の12012をそのまま見せたいなと思っていました。新体制の初ライヴということよりも、半年ぶりのライヴということのほうが心配だったかもしれない。身体が動かなかった…みたいなことは絶対に嫌だなと思って。でも、全く問題なくて、ホッとしました（笑）。

宮脇：僕も、新体制に対する不安はなかったです。やりたいことや見せたいことが明確に分かってて、それ以外の余計な気持ちが全くない状態だったので。純粋な気持ちでライヴを楽しみにしていました。あとは半年ぶりにステージに立って、"やっぱり自分の居場所は、ここやな"と思いましたね。それを改めて感じられ

く変わっていることが印象的でした。

酒井：5人だった頃のサウンドを、4人で再現しようという方向性ではないので。ギター1本でカッコいいものを聴かせたいというのがあるので、楽曲に対する解釈が以前とは違っているんです。だから、かなりサウンドの印象は変わったでしょうね。ただ、今回のライヴが完成形ではなくて、ライヴを重ねて、どんどん進化させていきたいです。

塩谷：今までの12012にあったものがなくなっていたかもしれない……でも新しいものがそこにあったと思います。いろんな曲をやるバンドなので一概には言えないけど、ソリッドになったことは感じますね。ライヴ中に、以前よりもメンバーそれぞれの息遣いやテンションを、より肌で感じられるようになったこともすごく新鮮でした。

川内：全体的に、カッチリやりすぎるのはどうなんだろう…ということを、みんなで話したんです。今までは同期でいろんな音を足したり、クリックを聴いてキッチリ表現しようというスタイルでしたけど、最近は"もう、その時の空気で、やっちゃおうぜ"という雰囲気になってて。俺も走りたくなったら走るし…みたいな（笑）。そういうスタンスを採ったことで、今まで以上にライヴを楽しめたし、よりリアルな12012を感じてもらえたんじゃないかなと思います。

宮脇：ライヴをして、新しいバンド感が生まれたことは実感しました。シンプルになったことで、それぞれの感情がよりダイレクトに伝わるようになったことも感じたし。あと[illegible]が楽しかったと言ってて良かったです。ずっとクリックを聴いてドラム叩いていたけど、そこから解放された最初のライヴだったので。それを楽しめたのは本当に良かったし、プレイ的にも全く問題な[illegible]トライしたのは正解でしたね。

──トライと言えば、今回宮脇さんは、「LOVERS」と「[illegible]」でギターを弾かれました。

宮脇：前から家で[illegible]歌ったりしてて、ライヴでやったら楽しいんじゃないかなと思ったんです。だから、元々

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

て。今までは世界観を創るということで演者的なモードの自分がいたんですけど、ギターを持って歌うと、素の自分に近い感覚で歌えることに気づいたんです。それもリアルなバンド感に繋がっていくんじゃないかな…というのもありました。弾きながら歌うのは楽しいので、今後も続けようかなと思っています。

川内：宮脇さんは、もっとガチャガチャ弾く気がしていたんですけど、意外とスマートに弾くなと思いました（笑）。落ち着いてはるわ…みたいな（笑）。

宮脇：高校生じゃないんだから（笑）。

――酒井さんのアコギを活かした「Over...」も楽しめました。

酒井：アンプラグド・アレンジみたいな曲があってもいいんじゃないか…という話が出て。スタジオで遊び半分でやってみたら、"イケるじゃん！"ということになりました。本番では緊張するかなと思ったけど全くそんなこともなくて、楽しく演奏できました。

宮脇：「Over...」は、壮大な曲なんですけど、それを出来るだけチープにやりたかったんです。狭いところに集まって、チープな音で壮大な歌を歌っている感じを表現したかった。この曲も楽しんでもらえたんじゃないかなと思います。

――「スマイルアゲイン」を、塩谷さんのピアノ1本をバックに歌うアレンジで披露したことにも驚きました。

塩谷：「スマイルアゲイン」を今やりたいという想いがあったんです。それも、ただやるんじゃなくて、「Over...」と同じように違う見せ方をしたいというのがあって。それで、ピアノを弾くことにしました。ガラッと変えたので、アレンジしていく過程がすごく楽しかったです。酒井と違って本番は、だいぶ緊張しましたけど（笑）。

宮脇：あの曲は、今の日本に向けて歌いました。そんなことで、何かを大きく変えられるとは思っていないけど、どうしても歌いたかったんです。ただ、バンド形態でやると、歌ってる言葉とかが分かりづらいところがあると思うので。しっかり言葉が届くように、なるべくシンプルな形でやろうということで、ピアノ1本で。

――惹き込まれました。メンバーが少なくなったことで、逆に聴かせ方のバリエーションが増えたのは面白いです。

宮脇：100%のものを出そうと思った時に、5人なら20%ずつでOKじゃないですか。4人なら25%出す必要がありますよね。それに、みんなでいろいろ話して、どういうカラーのバンドにしたいかは、もう決まっていたので。人数が減ると、その色を作るには自分が何色であればいいのかも分かりやすくなるじゃないですか。そういう風に、マイナスになるところをプラスに持っていけることをずっと考えていたので。だから今回のライヴも特別なことをしたわけではなくて、自然とああいうものになったと言えます。

塩谷：今後は、"4人感"を強く出したいというのがあって。中和されてしまって、みんなの持ってる良いところが埋もれてしまっている部分があったんです。これからは全員が持ってる良いところをどんどんピックアップして、バンドとしての総合力を高めていきたい。そういう意味では、今回のライヴで、すごく大きな一歩を踏み出せたかなと思います。

酒井：見せ方が増えたことに関しては、単純に、みんなの音楽好きな部分が出たな…という印象です。4人になって悲観するわけでもなく、4人でどんな音楽が出来るかを自然と追求してて。それが、すごく楽しいんです。"変わらないといけない"とか"新しい面を見せてやる！"みたいなギスギスした感じではないんですよ。純粋に音楽を楽しむ姿勢で取り組んでいるから、これからも良い感じで見せていけると思います。

川内：新しい見せ方を採り入れたことも含めて、4人でライヴをして、全然ありだなと思いました。4人で昔の12012を超えるという意味で歌っていましたけど、これは別モノだなという感覚があって。俺にしてみれば、もう5人の12012は超えました。新しい魅力を見せられたと思うし、メンバー全員が前よりも向上心に溢れてて。これからの12012はもっと良いバンドになっていくと思うので、期待してて欲しいです。

杂志迷
zazhimi.com

girugämesh

WORLD TOUR 2011 “Here we go!!” GRAND FINAL !!!!! 2011.6.26 Zepp Tokyo

蝴蝶网
hudie.com

そして、次なる再会のステージへ——

・市川公演からスタートし、ヨーロッパ、アメリカ、そして日本と廻ったギルガメッシュのWORLD TOUR 2011 “Here we go!!”が、日・Zepp Tokyoで幕を下ろした。たくさんのライヴを、ひとつひとつ丁寧に積み上げた分だけ、たくさんのものを収穫した彼ら。
この日は、そんな彼らのこれからをも感じさせるライヴとなった。
次に彼らが大きな一歩を踏み出すとき、どんな姿を見せてくれるのか、今から楽しみでならない。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX） Report:MIYUKI MURAYAMA

定刻どおり、ＺｅｐｐＴｏｋｙｏの広々とした空間が闇に沈んだ。色鮮やかな照明がオーディエンスを照らし出す。ステージ上にメンバーが登場するが、その姿は薄暗がりの中でぼんやりしたままだ。そして少しずつ明らかになる姿は、これまでと大きくイメージを変えていた。ざわめくオーディエンス。長いツアーのグランドファイナルとなるこの日、彼らはヴィジュアルを一新させ、その姿を現した。特に、銀色のエクステンションを編み込んだ弐の髪型や、肌の露出を多くした愁の衣装など、よりスタイリッシュに、より男らしくなったスタイルが目を引く。

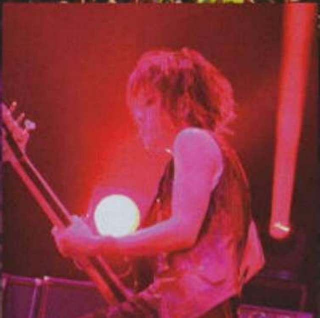
左迅の第一声から、「destiny」でライヴはスタート。自信に満ちた、落ち着いた滑り出しに、初めての会場、それも国内最大規模のライヴハウス…そこに対する緊張など感じられない。メンバー全員が早速この広い空間を楽しんでいる。弐が〝やろうぜ、東京！〟とのっけからあおる。左迅もオーディエンスに声を求め、一気にテンションを高めた。その勢いのまま「EXIT」へ。気持ちのいい流れに体がさらわれていく。続く「sunrise」では、もう体が自然にノリノリになって動き出すのみ。コール＆レスポンスも折り込み、会場中を見事なまでに引きつけた。Яｙｏはアルバム『GO』を「汗臭い光」と表していたが、確かに今の彼らには汗と光が似合う。そのまま〝祭り騒ぎで最後まで盛り上がりたい〟というＭＣに続き、「evolution」ではまさにお祭り騒ぎといった様相を呈する。ライヴの前半からどこまで盛り上がるのかと言わんばかりのテンションの高さだ。

その勢いのまま、どこまで突っ走るのかと思いきや、「driving time」の途中、ちょっと一息。〝どうも、愁です〟と突然の愁のＭＣで、ここはリラックスタイムだとか。脱力気味の笑いを交えた小咄で会場に和んだ空気を漂わせる。これまでの愁のＭＣと言えば、バラードなどの後の沈黙を〝YEAH!〟で突き破るのが恒例のパターンだったが、ここでまた新たな緩急をライヴ中に生み出すこ

zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
SE_Opening
1.destiny
2.EXIT
3.sunrise
4.evolution
5.ALIVE
6.Calling
7.driving time
8.イノチノキ
9.見えない距離
10.COLOR
11.Endless wing
12.CRAZY-FLAG
intro(now)
13.bit crash
14.DIRTY STORY
15.MISSION CODE
16.Never ending story
< encore Ⅰ >
17.pray
18.arrow
19.shining
20.Break Down
< encore Ⅱ >
21.再会



えない距離」は、美しく広がる世界を描き出したギター・ソロで始まり、テクニックをひけらかすのではなく、表現力でもって会場を圧倒した。リズムにノリながらも、切なさと力強さが胸を打つ「COLOR」、オーディエンスが大きくジャンプした「Endless wing」と、再び会場が熱を帯びてくる。

バキバキといった表現がぴったりのベースの音がまるで合図だったかのように、「CRAZY-FLAG」から一気に臨戦態勢に入るメンバー。〝かかってこいや！〟という声に応え、オーディエンスとメンバーがまさにぶつかり合う。無機的なビートが怪しげに響き渡り、始まったのは「bit crash」。うなり声のような叫びが会場いっぱいに広がる。サングラスをかけた弐が、〝今日はとことん行くぜ！〟と激しく叫び、さらにポーズまで決め、煽る。この日の弐は、これまで以上に積極的にアピールし、ヴィジュアルだけではない、その変貌ぶりを見せつけた。

「DIRTY STORY」から後は、もう力と力の勝負。まさに力まかせに叩きつけるЯyoをはじめ、誰もが全力を出し切ろうとする。そして「Never ending story」では、どこまでも明るいメロディの突き進む勢いに任せ、メンバーも傍若無人に広いステージを駆け回る。一方、フロアはモッシュの嵐。そこへ眩しいほどに降り注ぐ光がどこか優しく見えたのは、4人の思い切りの笑顔のおかげだろう。

一点の曇りもないような、スピーディな流れの本編に対し、アンコールでは、一言一言に込められた想いがしっかりと届く。左迅が心を込めて歌った「pray」には、想いを伝えるという歌本来が持つ力が感じられた。

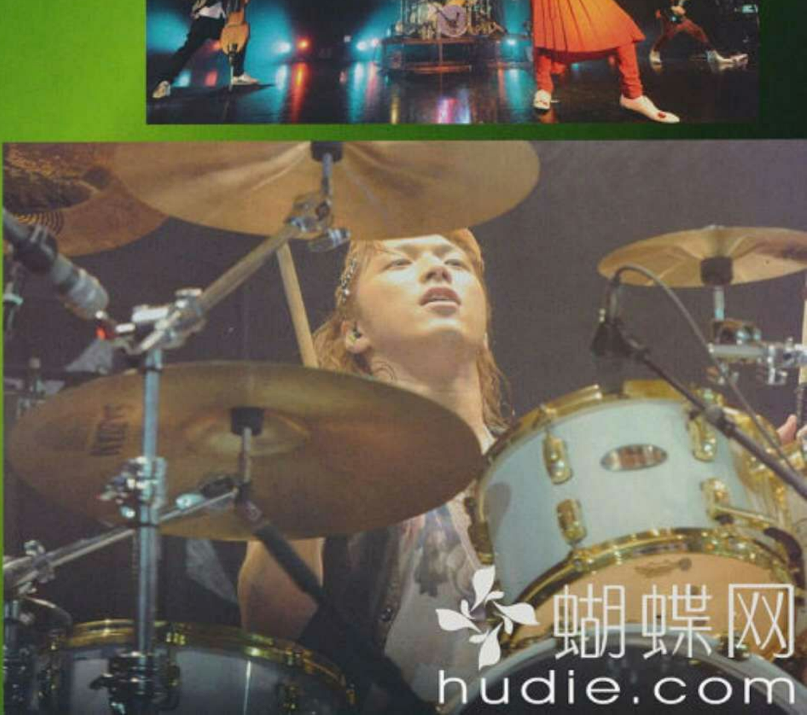
そして最後は「再会」。4本のスポットライトの中、浮かび上がるЯyo、愁、弐、そして左迅。次の再会を目指して、新しい道へと歩み出す姿がそこにはあった。それを後押しする大きな拍手と歓声がライヴの最後を彩る。確実に大切な何かをつかんだ長いツアーが、打ち寄せる波のような大きな感動と共に、ゆったりと幕を下ろした。

杂志迷
zazhimi.com

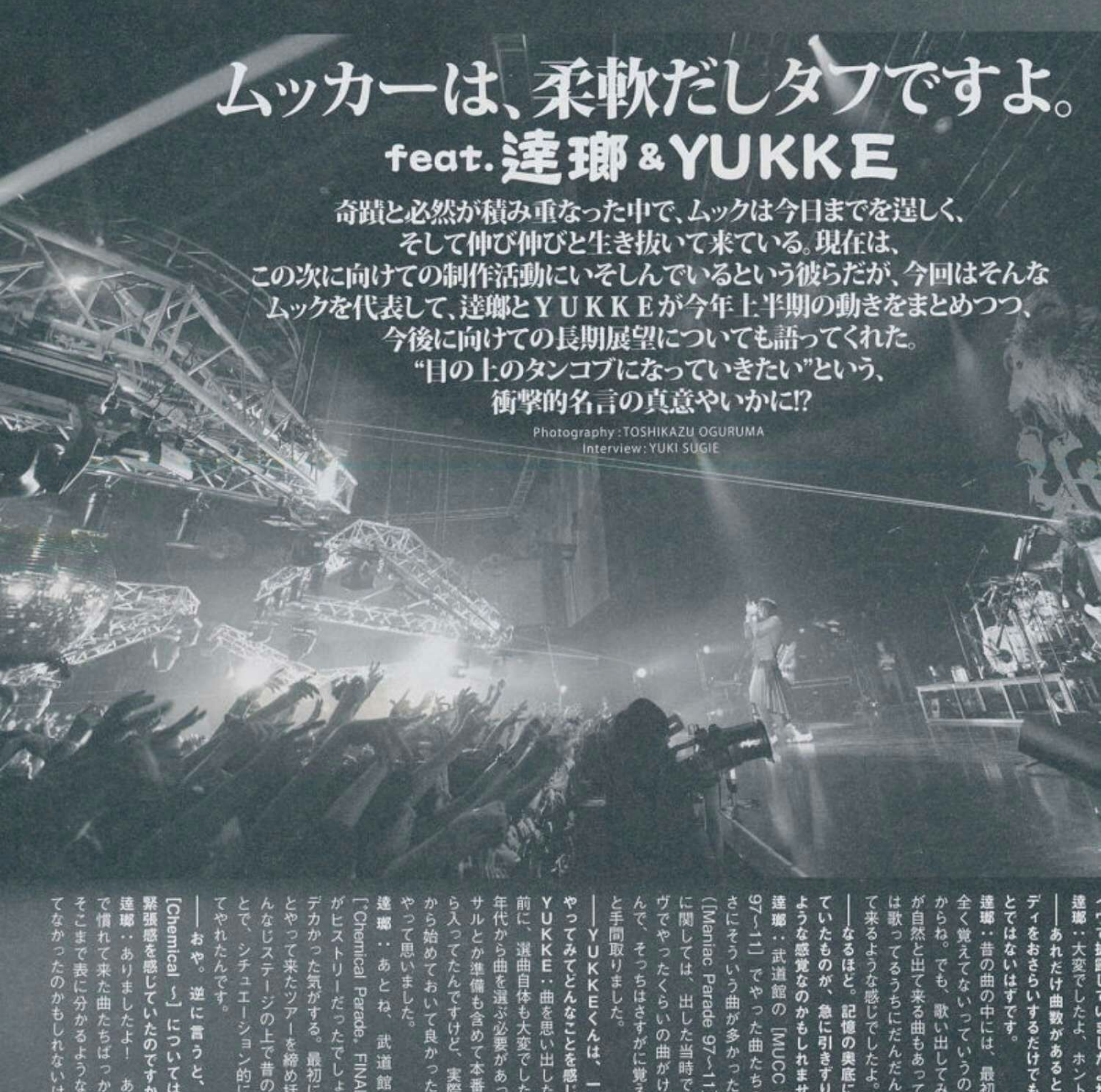
ムック

aniac Parade 97~11

2011年6月9日（木）
新木場スタジオコースト



杂志侠
zaznimi.com
蝴蝶网
hudie.com



ムッカーは、柔軟だしタフですよ。

feat.達瑯&YUKKE

奇蹟と必然が積み重なった中で、ムックは今日までを逞しく、そして伸び伸びと生き抜いて来ている。現在は、この次に向けての制作活動にいそしんでいるという彼らだが、今回はそんなムックを代表して、達瑯とYUKKEが今年上半期の動きをまとめつつ、今後に向けての長期展望についても語ってくれた。"目の上のタンコブになっていきたい"という、衝撃的名言の真意やいかに!?

Photography : TOSHIKAZU OGURUMA
Interview: YUKI SUGIE

達瑯：大変でしたよ、ホント。

――あれだけ曲数があると、歌詞とメロディをおさらいするだけでも、並大抵なことではないはずです。

達瑯：昔の曲の中には、最初メロディすら全く覚えてないっていうのもありましたからね。でも、歌い出してみると意外と詞が自然と出て来る曲もあって、そういうのは歌ってるうちにだんだんと記憶が戻って来るような感じでしたよ。

――なるほど。記憶の奥底にしまいこまれていたものが、急に引きずり出されてくるような感覚なのかもしれません。

達瑯：武道館の［MUCC history GIGS 97～11］でやった曲たちのほうは、まさにそういう曲が多かったです。新木場［Maniac Parade 97～11］でやった曲に関しては、出した当時でさえ数回ライヴでやったくらいの曲がけっこうあったんで、そっちはさすがに覚えるのにちょっと手間取りました。

――YUKKEくんは、一連のライヴをやってみてどんなことを感じました？

YUKKE：曲を思い出したり、覚える以前に、選曲自体も大変でしたね。いろんな年代から曲を選ぶ必要があったし、リハーサルとか準備も含めて本番の3ヶ月前から入ってたんですけど、実際そのくらい前から始めておいて良かったなって、今回やって思いました。

達瑯：あとね、武道館は1日目が［"Chemical Parade" FINAL］で、2日目がヒストリーだったでしょ。あの流れもデカかった気がする。最初に去年からずっとやって来たツアーを締め括って、翌日おんなじステージの上で昔の曲をやれたことで、シチュエーション的にリラックスしてやれたんです。

――おや。逆に言うと、5月21日の［Chemical ～］については、それなりの緊張感を感じていたのですか？

達瑯：ありましたよ！ あの日はツアーで慣れて来た曲たちばっかりだったから、そこまで表に分かるような硬さにはなってなかったのかもしれないけど。

り広げられていた印象ですよ。

達瑯：まぁ、最初の武道館と比べ[illegible]れはねぇ（苦笑）。

YUKKE：2回目の時と比べ[illegible]今回のほうが良かったなっていうの[illegible]自分たちでも感じますよ。

――ちなみに、今回の武道館公[illegible]ステージの中央にタワー型のオブジェがありました。時折、あの中で赤や[illegible]立体的にくるくると回っているシ[illegible]ありましたけれども、あれはどんな仕組みになっていたのです？

達瑯：たぶん、あのタワーに[illegible]人を当ててたんじゃないですか？ 俺[illegible]のライヴ観に行って、"この演出、どうなってんだろう!?"って考えるの、好きなんですよ。この間、たまたま気になったライヴと、ウチのライヴの照明チームが一緒だったんで、自分なりに考えて照明の人に"あれってこうやってんですよね？"って答え合わせしたら、だいたい合ってて嬉しかったです（笑）。

――では、ここでもうひとつ種明かしをしていただきたいことがあります。先ほど、YUKKEくんが［MUCC history GIGS 97～11］について選曲が大変だったと発言していましたが、あの流れはどのように決めていったのです？

達瑯：いろいろ試行錯誤はしたんですよ。でも、結果としては"昔のムック・入門編"みたいな感じでまとまりました。

――確かに、あのセットリストは近年ムッカーになった方々にも、かなり親切な内容でしたね。

達瑯：ほんっとのレア曲っていうのは、実は1曲か2曲で良いんじゃないか？っていう話をメンバーの間で話してたんです。

――その際には、後に行なう"ムックの日"のライヴで、よりマニアックな曲を演奏するということも念頭に置いていたわけですか。

達瑯：いや、そこは特に関係なかったですね。単純に、武道館で昔の曲をやった時、果たしてその曲をリアルタイムで聴いたことのある人って何人くらいいるんだろ

雑志虫 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

ムック

Maniac Parade 97~11

2011年6月9日（木）新木場スタジオコースト

う?っていうとこを考えたんですよ。比率として、当時を思い出したいっていう人たちよりも、当時のムックに触れてみたいっていう人のほうが絶対に多いだろうなと思ったから、武道館の2日目はベストに入ってるような、いわゆる昔の代表曲を多めにしたんです。

―そう昔の曲ではありませんが、個人的には「25時の憂鬱」を武道館で聴けたこともひとつの収穫でした。閉ざされた世界を描いたあの歌が、武道館という大空間でも、あれだけ魅力的な異彩を放つだなんて新しい発見でしたよ。

YUKKE：僕にとっても、あれはライヴでやる曲としては凄い上位に入るくらい好きな曲なんです。それを武道館でやれたっていうのは嬉しかったですね。

達瑯：へー、好きって何位くらい?

YUKKE：えっと、3位かな。

達瑯：じゃあ2位は?

YUKKE：何だろ…? あー、んー、とりあえず「25時の憂鬱」が1位ってことでイイですか（笑）。

―まんまと達瑯くんのワナに引っ掛かってしまいましたねぇ。

達瑯：おもしれー（笑）。

YUKKE：いやでも、「25時の憂鬱は本当に思い入れの深い曲なんですって。これはちょうど、ライヴでアップライトを弾くようになった頃の曲で、自分の弾くベースの音であぁいう不思議な空間を生み出せるんだっていうことが、当時は凄い新鮮だったんです。後半に行けば行くほど、カオスになってく展開も良いじゃないですか。そういう曲を武道館でやった時、予想外に大きいとこでも映える曲なんだなっていうことが分かったし、演出も良い具合に噛み合ってたから、"うわー、こりゃすげーアブねぇことになってる!"っ思って（笑）、やってて最高に気持ち良かったんですよ。

―かと思えば、あの日はアンコールにて久々にロバート氏が姿を見せたりもして、実に盛り沢山でした。

YUKKE：それを考えると、あの日やっ

「暁」も感動的でしたし、両日を通じて今年の武道館は大成功だった、と言っていいのではないでしょうか。

達瑯：うん、凄く良い2日間になりましたね。いや、6月9日のムックの日まで入れると3日間か。どれも良いライヴだったと思います。

―ただ、6月9日の［Maniac Parade 97~11］は物理的に暑くて過酷だったのではないです? 客席もけっこうな熱気でしたし。

達瑯：コーストは、基本的にいつも暑いんっすよ（笑）。

マネージャー氏：だいたい、クーラー入れるなって言ってたのはメンバーでしょ（笑）。

―それは、節電的な意味で!?

YUKKE：いや、ライヴハウスらしい感じを味わいたいっていうことですね。そういうことを、ぐっちゃ（ミヤ）がスタッフに言ってたみたいです。

達瑯：あぁ、ちっちゃいライヴハウスみたいな臨場感を出したいってことね。

YUKKE：でも、俺はいざ暑くなってきたら、スタッフがきっと空調を入れてくれるよね、って思ってたんですよ。それなのに、実際ろくに入んないままあの日は終わりました（笑）。

―それから、あの日のライヴはマニアックとうたっただけあって、中盤での「誰も居ない家」から「どしゃぶりの勝者」にかけての流れ、さらにアンコールでの「水槽」や「ジレンマ」が特にコアで圧巻でありました。

YUKKE：あれはどれも、凄い久し振りにやる曲ばっかりでしたからねぇ。

―つくづく、ムックは特殊なバンドだなと、また再確認しましたよ。基本的なスタンスこそ変わらないものの、音楽面でのものは今日に至るまで、幾重もの変遷を繰り返して来ているではないですか。そして、そんなムックにずっとついてきてくれているムッカーのみなさんの柔軟性も凄いなと思い知らされました。

達瑯：柔軟だし、タフですよ。さすがこ

杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网 hudie.com

多いですよ。今回いろんな時代の曲を同時期にやってみて、それは改めて思ったな。

YUKKE：その時々でやりたいと思ってたことを、出来る限り詰め込んでるんだよね。久し振りにやっても、それは自分でも分かりました。

達瑯：昔の曲って良いなと思えたことで、あれに負けない曲たちをこれからも作ってかなきゃ、っていう気持ちにもなれたしね。あんだけの曲数の準備を一度にするのは大変だったけど、凄く良い機会でしたよ。今年で14年ってことは、来年で15周年ですか？　今回のライヴたちは、そこに向けての良い足がかりになったんじゃないかと思います。

——さて。そうなると、俄然気になってくるのはムックの今後です。この号が出る頃のみなさんは、何をしていらっしゃる予定ですか？

達瑯：夏休みでしょう。海の日もあるし、バカンスしたい。もしくは、2日に1日の頻度でバーベキュー（笑）。

YUKKE：っていうワケもなく、おそらく個々で曲作りとかをやってる制作期間が続いてるでしょうね。今（取材時は6月後半）も、日々そんなことばっかりやってますから。

達瑯：7月だと、もうプリプロに入れてる曲もあるんじゃない？

YUKKE：実は、この間メンバーで集まって選曲会もやってるんです。

——それは気になりますね。まだ細かいことは明かせないにしろ、今のところどんなテイストの曲たちが出来つつあるのか、チラリとでも教えていただけますか？

達瑯：俺がみんなのデモを聴いた感じでは、わりとメロディアスでマイルドなのが多かった印象があったな。

YUKKE：次の展開に行こうとしてる感じも、僕は感じましたよ。タイミング的にレーベルを移籍しての一発目になるっていうのもあるのか、それぞれ新しい方向を目指してる感覚はどの曲にも漂ってました。

——移籍といえば、その件について達瑯くんが武道館でMCを取った時、みんなが喜ているんですよ（笑）。

達瑯：人によっては、事務所を移籍するって勘違いしてるケースもありそう。俺、手紙だかtwitterで見たし。"移籍しても[JACK IN THE BOX]には出てほしいです"って。

——正味なところ、レーベル移籍についてメンバー自身は今回のような見解をお持ちなのでしょうか。

達瑯：新しい環境で、新しい人たちと仕事をして、新しい意見をもらえるっていうのは、バンドにとって良いことなんじゃないですかね。ユニバーサルを出てから、事務所のレーベルでやって来て、もう何だかんだ3年近くでしょう？　そろそろ、体制的にも意識的にも固まってきたところは出て来てたし、そこに新しいものが流れ込んできて、一旦グチャグチャにかき混ぜてもらうっていうことは、たぶんプラスに働くと思いますよ。

YUKKE：僕も、あくまでポジティヴなこととして捉えてます。もっといろんな人に聴いてもらったり、観てもらったりする機会を増やしたいし、どんな新しい意見やアイディアが出てくるんだろう？って、今から楽しみですね。

——ムッカーの方からすると、新しくブレーンが増えて、出て来る意見が増える分、ムックが身動きの取りにくい状況になってしまうのでは??という点が、おそらく不安なのだと思います。でも、それは杞憂でしかありませんよね？

達瑯：ムックのこの感じは、どこでやることになっても変わんないと思いますよ。少なくとも、ムックのこの自由さを事務所が許してくれてる限りは（笑）。

YUKKE：そこ、許してくれてるっていう表現で合ってるのかな??（苦笑）

達瑯：合ってる合ってる。だって"こうしろ"とか"ああしろ"みたいにガチガチに縛ろうとすることは、そもそも手は組まないですよ。ウチのみんな、素直な状態で言うこときくと思います？

——失礼ながら、思えません（苦笑）。

達瑯：要は、そういうことです（笑）。もちろん、聞く耳は持ってるつもりだし、必要だと思ったら何だって取り入れますよ。

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

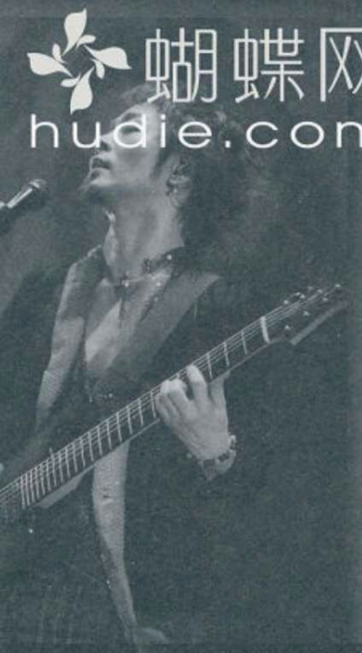
ムック

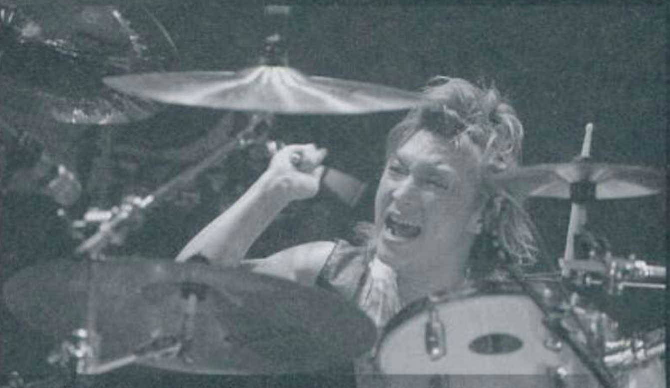
Maniac Parade 97~11

2011年6月9日(木) 新木場スタジオコースト

【set list】
1.フォーリングダウン
2.チェインリング
3.友達が死んだ日
4.ケミカルパレードブルーデイ
5.オズ
6.A.
7.五月雨
8.ガーベラ
9.誰も居ない家
10.幻燈讃歌
11.どしゃぶりの勝者
12.アイアムコンピュータ
13.暁闇
14.溺れる魚
15.こもれび
16.ファズ
17.夢死
18.前へ
19.咆哮
20.リブラ
<encore>
21.水槽
22.ジレンマ
23. 蘭鋳
24.フリージア

End_業





今までもそうだったみたいに。

―そういう意味では、ムッカーのみなさんにはもっとムックを信用していただきたいな、と思います。

YUKKE：そうですね、ぜひよろしくお願いします（笑）。

―なお、今後に向けたお話の続きとして、今年のムックは［ROCK IN JAPAN FESTIVAL］と［SUMMER SONIC］など、いわゆる夏フェスへの出演も決定しておりますので、今回はこの件についてもお話を伺っておきたいです。これら2本のイベントに対しては、どのような心持ちで臨むことになりそうですか。

達瑯：どうしましょう。ズルガメッシュを見習って（笑）、マキシマム・ザ・ホルモンのカヴァーでもやりますかね。（注：5月の［ROCKS TOKYO］というイベントで、後輩・ギルガメッシュがホルモンのカヴァーを行なったそうだ）

YUKKE：二番煎じはダメでしょ（笑）。

達瑯：あ、そう。ってことは、普通にやるのがいちばんなのかなと。

―同感ですよ。ムックの場合、これまでにも海外ロックフェス、日本での外タレのオープニングアクトなど、散々場数は踏んで来ているわけですしね。いつも通り、ムックらしさを発揮していただければ、何も問題はないと思います。

達瑯：背伸びをしない、っていうのは大事ですよ。俺らとしてはいつも通り、ライヴを楽しめたらそれで良いです。あとは、野外ならではの気持ちよさっていうのを感じられたら良いかな。

YUKKE：いや、もうひとつ大事なこと忘れてるって。以前の教訓として、夏の野外では裸足にならないっていうのを、今度は守りたいと思います（笑）。

―そんな灼熱の夏が終わると、すぐに季節は秋です。移籍後の第一弾音源は、いつ頃の発表になりそうですか？

YUKKE：うーん。まだ具体的な時期は、ちょっと言えない段階ですね。

達瑯：今年下半期に出ます！　とだけ、明言しておきます（笑）。

達瑯：んー。だけど、そこに関しては15周年って節目というより、途中っていう感じのほうが今んとこ強いんですよね。俺としては、20周年っていう節目に向けてのひとつのステップなんじゃないかな、って思ってるんです。

―さすが、武道館で69歳になるまでムックを続けると宣言しただけのことはありますね。既に、20周年のことまで視野に入っているとは。

達瑯：だから、15周年の時は過去を振返って"ここまでやって来ました！"って祝うよりも、出来ればみんなで未来に思いを馳せられるように、良い区切りをつけられるのが理想ですね。

―そこを越えての20周年ですか…その頃、ムックは一体どんなバンドへと成長しているでしょうね？

達瑯：考えられるケースとしては、20周年を前にして3年間のライヴ休止期間を取るんじゃないですかね。その間、メンバーは個々での活動をすると。

―どこかで聞いたような話ですね。それも、ムックのごく近くで。

達瑯：当然、復活は味の素スタジアムですよ（笑）。

YUKKE：えー（苦笑）。

―冗談はさておき（笑）、20周年というと6年後ですよ？　そこまで遠い未来の話、というわけでもありませんよね。

達瑯：何してんだろうなぁ？　その頃って。俺は、このまま変わってなければ良いなと思いますけど。ヘンに落ち着きたくないんで。理想は、周りにとって"目の上のタンコブ"でいることですね。

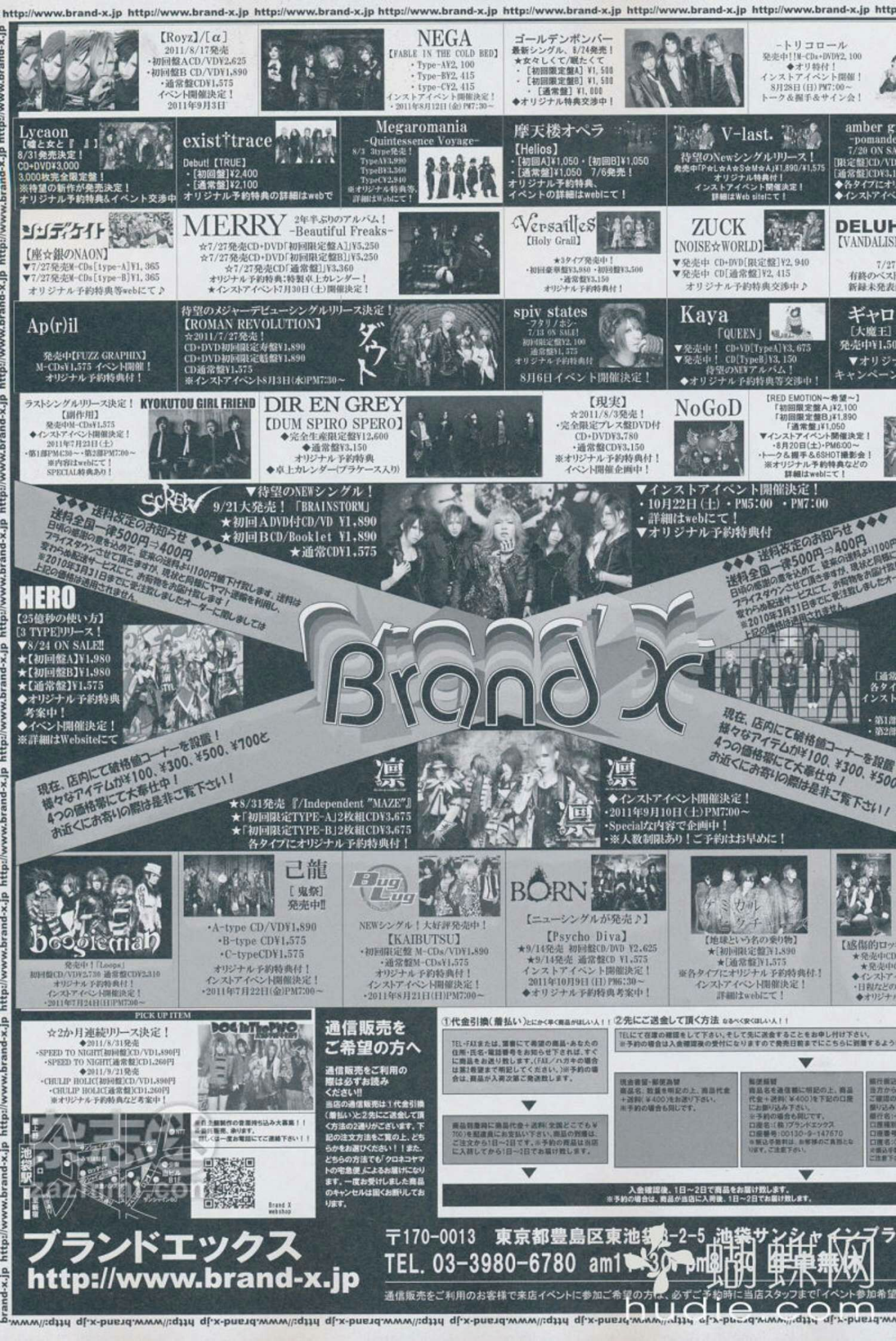
―それは誰に対してですか？

達瑯：もちろん、後輩のバンドたちに対して（笑）。まさに"目の上のタンコブ"っていう言葉の通り、"ちょっともう、いい加減いなくなってくれねーかな"って、ずっとみんなにウザがられてたい！

―憎まれっ子、世にはばかる的な!?

達瑯：それそれ。"何だよ、またアイツら出て来たよ…"って、ウンザリされんのってイイでしょ（笑）。

zazhimi.com


http://www.brand-x.jp
【Royz】/【α】
2011/8/17発売
・初回盤A CD/VD¥2,625
・初回盤B CD/VD¥1,890
・通常盤CD¥1,575
イベント開催決定！
2011年9月3日
NEGA
【FABLE IN THE COLD BED】
・Type-A¥2,100
・Type-B¥2,415
・type-C¥2,415
インストアイベント開催決定！
・2011年8月12日(金)PM7:30～
ゴールデンボンバー
最新シングル、8/24発売！
★女々しくて/眠たくて
・［初回限定盤A］¥1,500
・［初回限定盤B］¥1,500
・［通常盤］¥1,000
◆オリジナル特典交渉中！
-トリコロール
発売中!!【M-CDs+DVD¥2,100
◆オリ特付！
インストアイベント開催！
8月28日(日)PM7:00～
トーク＆握手＆サイン会！
Lycaon
8/31発売決定！
CD+DVD¥3,000
3,000枚完全限定盤！
※待望の新作が発売決定！
オリジナル予約特典&イベント交渉中
exist†trace
Debut!【TRUE】
・［初回盤］¥2,400
・［通常盤］¥2,100
オリジナル予約特典の詳細はwebで
Megaromania
-Quintessence Voyage-
8/3 3type発売！
TypeA¥3,990
TypeB¥3,360
TypeC¥2,940
※オリジナル特典等、詳細はWebにて！
摩天楼オペラ
【Helios】
・［初回A］¥1,050・［初回B］¥1,050
・［通常盤］¥1,050 7/6発売！
オリジナル予約特典、
イベントの詳細はwebにて！
V-last.
待望のNewシングルリリース！
発売中「P♂L☆A☆S☆M☆A」¥1,890/¥1,575
オリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！
詳細はWeb siteにて！
amber gris
-pomande
7/20 ON SALE
シンディケイト
【座☆銀のNAON】
▼7/27発売M-CDs［type-A］¥1,365
▼7/27発売M-CDs［type-B］¥1,365
オリジナル予約特典等webにて♪
MERRY
2年半ぶりのアルバム！
-Beautiful Freaks-
☆7/27発売CD+DVD「初回限定盤A」¥5,250
☆7/27発売CD+DVD「初回限定盤B」¥5,250
☆7/27発売CD「通常盤」¥3,360
オリジナル予約特典：特製卓上カレンダー！
★インストアイベント7月30日(土)開催決定！
Versailles
【Holy Grail】
★3タイプ発売中！
・初回豪華盤¥3,980・初回盤¥3,500
・通常盤¥3,150
オリジナル予約特典付
ZUCK
【NOISE☆WORLD】
▼発売中 CD+DVD［限定盤］¥2,940
▼発売中 CD［通常盤］¥2,415
オリジナル予約特典交渉中♪
DELUHI
【VANDALISM】
Ap(r)il
発売中【FUZZ GRAPHIX】
M-CDs¥1,575 イベント開催！
オリジナル予約特典付！
待望のメジャーデビューシングルリリース決定！
【ROMAN REVOLUTION】
☆2011/7/27発売！
CD+DVD初回限定寿盤¥1,890
CD+DVD初回限定魅盤¥1,890
CD通常盤¥1,575
☆インストアイベント8月3日(水)PM7:30～
ダウト
spiv states
-フタリノホシ-
7/13 ON SALE!
初回限定盤¥2,100
通常盤¥1,575
オリジナル予約特典付
8月6日イベント開催決定！
Kaya
「QUEEN」
▼発売中！ CD+VD［TypeA］¥3,675
▼発売中！ CD［TypeB］¥3,150
待望のNEWアルバム！
◆オリジナル予約特典交渉中！
ギャロ
［大魔王］
ラストシングルリリース決定！
KYOKUTOU GIRL FRIEND
【副作用】
発売中M-CDs¥1,575
◆インストアイベント開催決定！
2011年7月23日(土)
・第1部PM4:30～・第2部PM7:00～
※内容はwebにて！
SPECIAL特典あり！
DIR EN GREY
【DUM SPIRO SPERO】
◆完全生産限定盤¥12,600
◆通常盤¥3,150
オリジナル予約特典
◆卓上カレンダー(プラケース入り)
【現実】
☆2011/8/3発売！
・完全限定プレス盤DVD付
CD+DVD¥3,780
・通常盤CD¥3,150
※オリジナル予約特典付！
イベント開催企画中！
NoGoD
【RED EMOTION～希望～】
「初回限定盤A」¥2,100
「初回限定盤B」¥1,890
「通常盤」¥1,050
▼インストアイベント開催決定！
・8月20日(土)・PM6:00～
・トーク＆握手＆6SHOT撮影会！
※オリジナル予約特典などの詳細はwebにて！
SCREW
▼待望のNEWシングル！
9/21大発売！「BRAINSTORM」
★初回A DVD付CD/VD ¥1,890
★初回B CD/Booklet ¥1,890
★通常CD¥1,575
▼インストアイベント開催決定！
・10月22日(土)・PM5:00 ・PM7:00
・詳細はwebにて！
▼オリジナル予約特典付
◆◆◆送料改定のお知らせ◆◆◆
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料はプライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します！
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては上記の価格は適用されません。
HERO
【25億秒の使い方】
［3 TYPE］リリース！
▼8/24 ON SALE!!
★【初回盤A】¥1,980
★【初回盤B】¥1,980
★【通常盤】¥1,575
◆オリジナル予約特典考案中！
◆イベント開催決定！
※詳細はWebsiteにて
Brand X
現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！
凛
★8/31発売『/Independent "MAZE"』
★「初回限定TYPE-A」2枚組CD¥3,675
★「初回限定TYPE-B」2枚組CD¥3,675
各タイプにオリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
・2011年9月10日(土)PM7:00～
・Specialな内容で企画中！
・※人数制限あり！ご予約はお早めに！
boogieman
発売中!「Loops」
初回盤CD/VD¥2,730 通常盤CD¥2,310
オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催！
・2011年7月24日(日)PM7:00～
己龍
［鬼祭］
発売中!!
・A-type CD/VD¥1,890
・B-type CD¥1,575
・C-typeCD¥1,575
オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
・2011年7月22日(金)PM7:00～
BugLug
NEWシングル！大好評発売中！
【KAIBUTSU】
・初回限定盤 M-CDs/VD¥1,890
・通常盤M-CDs¥1,575
・オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
・2011年8月21日(日)PM7:00～
BORN
【ニューシングルが発売♪】
【Psycho Diva】
★9/14発売 初回盤CD/DVD ¥2,625
★9/14発売 通常盤CD ¥1,575
インストアイベント開催決定！
2011年10月9日(日)PM6:30～
◆オリジナル予約特典考案中！
ケミカルピクチャーズ
【地球という名の乗り物】
★［初回限定盤］¥1,890
★［通常盤］¥1,575
※各タイプにオリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
詳細はwebにて！
【感傷的ロッ
PICK UP ITEM
☆2か月連続リリース決定！
◆2011/8/31発売
・SPEED TO NIGHT［初回盤］CD/VD1,890円
・SPEED TO NIGHT［通常盤］CD1,260円
◆2011/9/21発売
・CHULIP HOLIC［初回盤］CD/VD1,890円
・CHULIP HOLIC［通常盤］CD1,260円
※オリジナル予約特典など考案中！
DOG inThePWO
Brand X webshop
通信販売をご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は1代金引換(着払い)と2先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。
①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！！
②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラ
TEL. 03-3980-6780
hudie.com

蝴蝶園
hudie.com

——今回も最初から両極の曲を作ろうっていう狙いはあったの？

AKIHIDE：いや、最初はここまで両極端に振り切った曲を置こうとは思ってなかったですね。とにかくまずシングルを作る上での選曲会をするために、おのおのが曲作りに入っていった中で生まれてきた曲たちで。あ、これいいね、っていうところをもっともっと更に煮詰めていったって感じでしたね。

SHINPEI：曲出しの段階で結構何曲か曲が出揃っていた中で、「LAST † PRAY」と「絶対！ I LOVE YOU」と「それは優しい気持ち」が自然と浮かび上がってきたんですよ。両A面曲の2曲は極端に色が違うし「それは優しい気持ち」もバラードでまったく世界観も異なるんですけど、熱いメッセージを届けるところが共通してるのかなと思いますね。

AKIHIDE：今回の曲作り期間は3月11日の東日本大地震以降だったこともあって、BREAKERZとして伝えていけることとか、BREAKERZらしさって何かなって考えて曲を作ってたんですよね。それもあってすごく伝えたいっていう想いが強くなっていたので、自然と包み込むような印象の「それは優しい気持ち」みたいな曲が生まれてきたし、「絶対！ I LOVE YOU」みたいに全力で背中を押してあげたいっていう想いが前面に出た曲も出来たし、ロックバンドとしての僕達なりの疾走感を曲におさめた「LAST † PRAY」も生まれてきたんです。

——作った時期のリアルな想いが曲に吐き出された感じだったんだね。

AKIHIDE：ですね。それもあって切なさだったり、もどかしさだったり、魂の叫びみたいなものが作品に詰め込まれていると思いますね。

DAIGO：なにかしら発信しなくちゃと思いましたもんね。何かしなくちゃいけない！ってすごく強く思ったというか。いろんな感情が入り乱れる中で歌詞を書いた感じではありましたね。選曲会のときに上がってきた曲を聴いて、みんな同じようなことを考えてるなって察しましたか

杂志迷
zazhimi.com

BREAKERZ

デビュー4周年記念!!

『LAST † PRAY／絶対！ I LOVE YOU』

何かしら発信しなくちゃと思いましたからね。
何かしなくちゃいけない!ってすごく強く思ったというか。

『BUNNY LOVE / REAL LOVE 2010』では、"本気モードなセクシー3部作を1枚にまとめた【セクシングル】"を、『月夜の悪戯の魔法 / CLIMBER×CLIMBER』では和テイストないままでにない振り切ったBREAKERZの一面を見せてくれた彼ら。そんな彼らから届けられるニューシングルは、またまた両極端に大きく振り切った1枚となる。陰と陽のまったく違った世界観は、それぞれにBREAKERZらしさを宿した楽曲たちとなった。

Interview: NAOKO TAKEICHI

も出しちゃってるっていう（笑）。これ随分ハズイ（恥ずかしい）んですけど（笑）。でもね、もうだんだんそういうことも歳取るとやっていけなくなるかなと思って、まだギリギリ大丈夫って言ってもらえるうちに無理しておこうかなと思って片ももも出してみました（笑）。ヴィジュアル系の諸先輩方がつけていらした眼帯もはじめてつけたし。SHOXXさんっぽい衣裳でもあるので、ぜひ、ヴィジュアル系ファンの方にも響いてくれたら嬉しいなと思います。

――「LAST † PRAY」はゴシックな印象だけど、間奏がまたかなりデコラティブで。

AKIHIDE：そうなんですよ（笑）。自分の中で眠っていたのか、やり始めたらすんなり出てきましたね。SHINPEIとのハモリもなかなかいい感じでしたしね。

SHINPEI：クラシカルツインギターみたいな感じは初めてトライしましたね。

――2人の音楽ルーツの中にはそういうゴシック要素を持った音楽はあるの？

AKIHIDE：あんまりないんですけど、80年90年代の洋楽は聴いてますからね。イングヴェイ・マルムスティーンとかジャーマンメタルもよく聴いてたし。

SHINPEI：僕はジャーマンメタルが好きだったので、クラシカルなギターフレーズを2人のギタリストがハモるっていうのはもともと好きな手法ではありましたね。なので、「LAST † PRAY」の間奏ではやりきりましたね（笑）。

――意外だったのは、リズムが案外単調なところ。故にギターのフレーズや歌がすごく立ってるんだよね。

AKIHIDE：そこは1番意識した部分でしたね。ベースに関しては僕の打込みですから、いままでの楽曲作りより、隙間を大事にした感じはあったかなと。

――なるほど。PVではAKIHIDEがバイオリンとかで使う弓でギター弾いてたりしますが（笑）

蝴蝶网 hudie.com

zazhimi.com

AKIHIDE：あれね、家帰ってめちゃめちゃショックだったんですよ！ かなり入り込んで集中してやってたので、あの弓でバンバンギター叩いちゃってたから帰ってよく見たらギターが傷だらけになっちゃっててかなり凹みましたね（笑）。あの衣裳や曲調もあるのか、みんな世界に入り込んじゃって3人とも迫真の演技でしたよ（笑）。

DAIGO：PVではソロカット部分もあるんだけど、そこ見所ですよ（笑）。

SHINPEI：僕はマスクを被ってるんですけど、人って世界観作られてああいう曲の中に置かれると変われますね（笑）。とくに、僕の場合マスクを付けると変わるんだなって自分でも初めて知りました（笑）。それくらい（世界に）入ってるのでPVのほうもぜひ見て頂きたいですね。

――「LAST † PRAY」の歌詞では何を伝えたかったの？

DAIGO：歌詞は絶望に近い場所から始まったりしてますけど、最後には自分たちは生かされているんだっていう光を感じてもらえるようにと思って書いた歌詞でしたね。闇ばかりじゃないんだっていうことが伝わってもらえたら嬉しいです。これは上手く歌うというより、本能の叫びという感じで歌いましたね。

――「絶対！ I LOVE YOU」は一変して光を存分に感じられる1曲だったね。

DAIGO：この曲は全力で駆け抜けてる感じの曲が作りたくて作った1曲でしたね。こういうリズムパターンの曲っていままで作ったことなかったんですよ。個人的にこういうツタツタ系のリズムって苦手だったんですよ。でも作ってみたら案外良くて（笑）。愛について歌いたかったので、そんな歌詞もこの曲調にピッタリハマったんじゃないかなと思いますね。〝愛してる〟って言われるのって嬉しいし、〝愛してる〟って言えることも幸せだなって震災後より強く思うようになったことで書けた歌詞でもありましたね。名誉や地位じゃなく、欲しいのは愛だよなってことを書いてます。俺もね、30超えたのでシャイとか言ってる場合じゃねぇぞと（笑）。そろそ

DAIGO(Vo)　AKIHIDE(Gt)

BREAKERZ

くアコギに歌が乗っただけのシンプルなデモだったんですけど、もうその時点で完成型の歌詞が乗っていたし、すぐにバンドサウンドでやってるイメージが沸いたんですよね。同期とかツインギターで表現していく部分とかすごくいい感じに乗っかったなと思ってます。ストリングスが入ってる曲は他にもあるんですけど、ここまで軽快に入っているのって珍しくて。いろいろと冒険できた1曲でした。

AKIHIDE：テンポ感を体に染込ませるまでが大変でしたね。なかなかテンションの高い曲なので、そこに持っていくまでの緊張感というかスリリングさがまた良かったのかなと（笑）。そんな僕らのテンション感や楽しい雰囲気が伝わってくれたら嬉しいですね。

――「それは優しい気持ち」ではじっくりとメッセージを伝えてくれてるね。

DAIGO：生きていく上で、人は1人じゃ生きられないなっていう想いを詰め込みましたね。人と人との絆の大切さを歌詞にしたくて書いた1曲でした。今だけじゃなく、ずっとこの先人生を生きていく上で、挫けそうになったときにみんなの近くに流れてくれる曲になったらいいなと思いますね。元気を注入出来るような1曲であったら嬉しいですね。

――ハモリも印象的だよね。

DAIGO：そこの部分はSHINPEIに歌ってもらってハモったんですよ。

――ハモリあってこその深みも感じたよ。

SHINPEI：それは良かった。僕自身この曲を聴いたとき、とても大[illegible]に気づかせてもらった気がしたし、タイトルどおりのメッセージが真っ直ぐ胸に入ってきた1曲でしたね。

AKIHIDE：曲に、歌に寄り添うようにギターを弾きましたね。弾き過ぎずバンドとして1つの音、メッセージを届けられた気がしてます。

DAIGO：ライヴで直接歌って届けたい曲でもありますね。ライヴと言えば！ SHOXXさんは2日発売ということなので、まさに次の日、つまり3日は2回目の日本武道館になる訳ですが、1日に1

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

ヴィジュアル系貴重盤 アーティストグッズ ゴシックロリータブランド古着

クローゼットチャイルド

新宿店 / 原宿店 / 池袋店 / 横浜店 移転しました

◆closet child 新宿店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F (TEL 03-3365-6316) < OPEN :11:00~20:00 >

◆closet child 原宿店 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-7-6 COXY176ビル101 (TEL 03-3403-4108) < OPEN :11:00~20:00 >

◆closet child 池袋店 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-5 七福久ビル3F (TEL 03-3983-5322) < OPEN :12:00~21:00 >

◆closet child 横浜店 〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸2-6-9 プライト横浜7F (TEL 045-316-2166) < OPEN :12:00~21:00 >

震災の影響により休業中であった横浜CDショップが再オープン!!

CD/お洋服/ヴィヴィアンウエストウッド/ファッションドールの総合ショップとしてリニューアルオープン

リニューアルオープン記念としてお洋服の新着＆良品放出、ヴィヴィアンウエストウッドの新着300点放出を

更にサマーバーゲン第2弾としてセール品大量補充＆再値下げを

買取 大強化中

closet child

期間限定買取査定額大幅アップ 8.1-8.31

キャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

R指定 アヲイ vistlip ViViD Versailles 己龍 ケミカルピクチャーズ ゴールデンボンバー 人格ラヂオ DIR EN GREYアルバム BugLug BORN lynch.

貴重盤超高価買取中!!

- R指定/人間失格 [初回限定盤]/2,400円 買取
- ViViD/ViViD Oneman Indies Last Live"光彩GENESIS" /3,600円 買取
- the GazettE/FILM39DAYZ(配布DVD/カード付)/ 9,800円 買取
- D'ESPAIRSRAY/World Tour 2010 "Human-clad Monstera" FINAL /1,800円 買取

更に詳しい買取表はウェブで!!

- 新興宗教楽団NoGoD/INDIES BEST SELECTION2005-2009/3,500円 買取
- ベルベット/(DVD-R)極東審議/1,800円 買取
- born/-Abnormal Head Machine-/3,600円 買取
- MUCC/COVER PARADE/5,000円 買取

Versailles

Holy Grail
[完全限定生産豪華仕様盤]
CD+DVD
2160円

ゴールデンボンバー

初 恐怖の全国ワンマンツアー－ワンマンこわい－追加公演(2010/6/25)
(通常盤) DVD
6000円

大佑と黒の隠者達

漆黒の光 [初回限定盤]CD+DVD
2000円

ダウト

ダウト自作自演 LAST INDIES TOUR 【絆-kizna-】at渋谷C.C.Lemonホール 2DVD
2500円

DIR EN GREY

DUM SPIRO SPERO(通常盤) [2011/8/3発売] 2DVD
1800円

BugLug

SUPER NOVA 初回盤 CD+DVD
1200円

lynch.

greedy dead souls
3600円

ツアーグッズ・ファング
物販写真・ツアー
コラボアクセサリー・

アーティ
グッズ
買取大強化

ガゼット・シ
PlasticTr
ナイトメア・DIR E
Gackt・雅等大

送料・梱包材全て無料! ご不要なCD/DVD/アーティストグッズ/お洋服等お買取させていただきます。

STEP1 宅配セットに商品を梱包
STEP2 佐川急便にて着払いで発送
STEP3 到着後、約５日で査定完了
STEP4 査定結果のご連絡
STEP5 振込にてお支払い

梱包用段ボールお届け致します!!買取/対象ブランド

買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段
必要事項(氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名、
支店名・口座番号・口座名義人名(フリガナ・雑誌名)を記入した用紙
下記住所までご郵送下さい。
※宅配買取システムの詳細は弊社ＨＰを必ず参照下さい。

※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

宅配買取受付窓口
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1Ｆ TEL:03-3365-

高価買取一覧表はHPでご確認いただけます!! 毎月２万点以上のヴィジュアル系の商品買

ヴィジュアル系オンラインショップ

総アイテム8000点以上日本一の取り扱い量!
クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PC&スマートフォンにて購入いただけます!!
http://www.closetchild-cd.jp/

ゴシックロリータブランド古着オンラインショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa / BPN / ALGONQUIN
BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / Emily Temple cute / MILK
人気ゴシック・ロリータブランドのユーズドオンライ
入手困難な予約完売品/今期物
定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専
http://closetchild.ocnk.net

お兄系/109-2古着オンラインショップ

FUGA BUFFALO BOBS JACKROSE Roen TORNADO MART VANQUISH Xfrm Diavlo
毎週約200点出品!! お兄系/109-2系ブランド古着専門オンラインショップ!!
http://m-closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム～入手困難なオープライ
人気のアクセサリー等の定番アイテムのリーズナブルなユーズ
更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時
http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

SHOCK WAVE アポロ Vol.51

at 高田馬場AREA 2011.6.18

に高田馬場AREAを舞台に定期開催中のイベント『SHOCK
ポロ』。6月18日のライブに登場したのは、Lament./Drop/ド
ルモット/ヴィデオグラマァ/NEJIBRAY/DIAURA/LUV
(D'espairsRay楽器陣セッション)の計7バンド。その熱狂の模
もお伝えします。

ASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)/Report:TOMONORI NAGASAWA

Lament.

1.remenbrance
2.Daylight
3.Rewind
4.Valentine
5.Lily

Drop

1.knife
2.disorient
3.voice
4.sky

ドクターモルモット

1.ブラックアウト
2.キッチンにて
3.星に願いを
4.きらり

ヴィデオグラマァ

1.腐乱だ、明日
2.ムゥンサルト
3.空中紳士
4.時代スパンコール錯誤
5.雛号棟
6.犬紙
7.警句

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

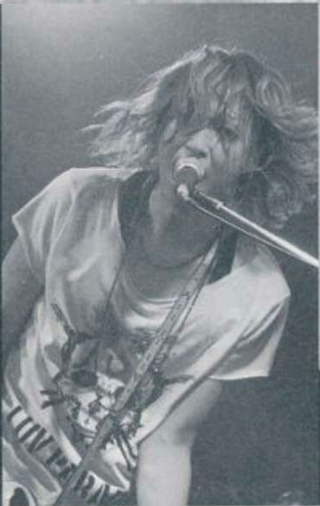
蝴蝶网
hudie.com

1.失翼の聖域
2.カオスプレイ
3.cult
STER

DIAURA

1.KIKKING ME
2.CRAZED BRAIN
3.And Then There Wear None
4.カルマ·互礎のマンティコークース-
5.剥落

1.mOBSCENE　2.Smells Like Teen Spirut　3.YALL WANT A SINGLE
4.POSE　5.NEW WORLD　EN1.LOVE IS DEAD



を通し、聞き手の胸へ突き刺してゆく。ヘヴィ　ダークメロな曲調へ、妖しく、暗闇／刹那に絡み合う歌声。Lament.の描く暗黒な耽美の調べは、たまらなく嬉しい狂気な音楽のメインデッシュだ。90年代ゴスVスタイルと、今風のヘヴィな音楽性を巧みにクロスオーバーさせながら、ドラマを描いてゆくLament.。そのステージから目を逸らしたくない。そんな気持ちで見つめていた。

ハイパーなデジタルビートと歪みを上げたノイジックな生音たちが激しく絡み合ってゆく。サビでは胸くすぐる歌を届けてくれた。ライヴ／音源両面で活きる音楽性を軸に据えているDrop。もちろん、ライヴという場だけあって、体感的な衝動は何倍も増している。普通なら、美なメロ歌も厚い音に霞みがちだが、Dropのヴォーカルは、激烈な音の塊の中でさえ、しっかり想いを伝えてくれた。まだまだ未完成で粗削りなバンドだが、演奏の輪郭がもっと明瞭になり、歌との寄り添い度がさらに増したとき、より個性放つバンドに成長していきそうだ。

ノイズ放つギター・サウンドが作り上げた狂乱呼び起こす音の壁の上で、チープ&スリルなテクノビートが縦横無尽に飛び交ってゆく。サウンド面はかなり攻撃的。いや、歌も激しく攻めたてているのだが、何処か親しみやすさを抱くのは、歌声やステージ・パフォーマンスからシニカルな姿勢が見えて来るからか!? ひと癖あふれたインパクトを通し、会場中の人たちの視線を集め続けていたドクターモルモット。ドラムレスというスタイルを逆手に取った、超ハイパーなデジビート。歌い手の蜂子の曲がった壊れ具合。その狂喜さに魅力を覚えていた。

触れた瞬間から、耳に旋律や歌が飛び込んできた。ハッピーモードあふれるテクノビートの上で、舞い踊るよう軽快に疾走した曲を奏でてゆく演奏陣。何よりもヴォーカル・佑哉の親しみやすくもメロディックな歌のセンスに、耳が虜になった。やるなヴィデオグラマァ…とほくそ笑んでたら、続く「ムゥンサルト」で魅せた、狂気的な表情混じった激な演

上での引き出しの多彩さに、バンドの持つ懐深さを実感した。

"いけるかTOKYO!"。その叫びを合図に、腰の奥底までビンビンに響き渡るスピード&ヘヴィな音が炸裂し出した。まるで野獣の如く、感情剥き出しに攻めてゆくヴォーカル・翔。凄まじい音圧持った曲の塊を、バズーカ砲並の迫力を持って放ち続けてゆく楽器陣。"今日からこのメンバーでMEJIBRAYだ"。この日から彼らは、正式にバンドとして活動をスタート。だがすでに、解き放つ音には、魂通し合った音が生まれている。止まることなき大きな音のウネリに身を預け、無我夢中で首を振る観客たち。脈動する激烈な音の咆哮に、魂が熱く震えた。

なんてドラマ性を持った楽曲なんだ。静寂から高揚、歓喜に狂気と、演奏が進むごと、多彩な顔が曲の中から見えてくる。もちろん、ライヴで活きる演奏を主眼にしているように、激烈かつ重厚な音が軸になっている。そのうえで、めくるめくドラマを眼前に提示していったDIAURA。冒頭彩った「失翼の聖域」の時点で、会場には激しく身体揺さぶる人たちが多数登場。強い感情の抑揚を持った「カオスプレイ」に描いた、狂い咲いた熱情。演奏が進むごと、燃え盛るドラマを作りあげていったDIAURA。無限の可能性花開く寸前を体感した気分だ。

この日、トリを飾ったのは、D'espairsRay楽器隊が集結し誕生したLUV PARADEだ。幕が開くなり、いきなり演奏がスタート。ヴォーカリストに、スクリーモ声の似合うTAKA（defspiral）を迎え、彼らが表現したのは、ヘヴィ系ナンバーのカバーやオリジナル曲たち。ニルヴァーナの歌を原曲以上に、狂気性孕んだヒステリカルかつラウドにアレンジしてゆくなど、自分たちの個性を活かしつつも遊んでゆく様が見えてきた。さらにアンコールでは、D'espairsRayのナンバー「LOVE IS DEAD」をヴォーカレスで披露。演奏のみとはいえ、誰もが、炸裂したデジタル&ラウドな音の波に乗りながら、思い思いに狂喜していった。

SHOXX VOICE!!

ある一定の方向を目指した『pomander』

昔の人は香りを持ち歩きお守りにしたという。そう聞くと、"香料"の意味を持つamber grisが、初のフル・アルバムのタイトルを『pomander』としたのも納得。"お守りのようにすぐそばにある音楽"をイメージして作られた本作、"amber grisの全貌を見せられることが出来た"とメンバーは語る。ここでは、限定盤に焦点をあて、全11曲に込められた想いを徹底解剖しよう。

amber gris

Interview:ERI MIZUTANI

――7月20日、初のフル・アルバム『pomander』がリリースされます。

手鞠：良い意味で片寄っているというか、決して聴きやすくはないと思うんです。その上で、ある一定の方向を目指して進んでいるところを出したくて。前に出したミニ・アルバムでは、メンバーそれぞれが曲を出してきたところから完成形に至ったんですけど、本作に関してはみんなして意識したところが一緒で。そうやって、根底がある上での作品作りが出来たのは良かったと思いますね。

ラミ：毎回そうなんですけど、amber grisの曲って、出来上がりを聴く度に"こんな風になったんだ!"っていう驚きがあるんですよ。本作もまた、出来上がった11曲を聴いた時、かなり驚きましたね。けど、そうやって驚けたのが嬉しくて。

殊：アルバムだけあって、曲数は過去最高に多いじゃないですか。なので、僕は集中力が途切れないよう気をつけました。

――「in sickness and in health…」から、本気なところが伝わってきましたよ。

手鞠：この原曲を持ってきたのは僕です。その時の感情をワッと入れて作ってしまったということもあり、最初、それは雑な印象の曲でしたね（笑）。

kaname：それでも、伝わってくるものがあったので、後から僕が手を加え仕上げていって。

wayne：そこからですね、各パートのすべきことが見えたのは。

ラミ：僕は殊くんと一緒にレコーディングしたんですけど、良い感じで録れました。

殊：心ひとつですから（笑）。

ラミ：kanameくんが力を貸したにせよ、手鞠くんの癖がよく出ている1曲だと思います。

――「wishstar and sunlight and darkness.」は、kanameさんの作曲ですね。

kaname：自分を取り巻く環境を改めて見つめ直した曲です。これ、「光と光して光を注いでくれているものをイメージしながら音を作っていきました。いろんな光り方というのを楽曲の面で出したので、そこを注目して聴いてほしいです。

――メンバーのことを光に喩えるとは、素敵です。

kaname：恥ずかしいんで、実は言いたくなかったんですけどね（笑）。

――お次は、wayneさん作曲の「Million Dead Baby Songs」。

ラミ：この曲、大好きです。

wayne：これは元々、メロディックコアが作りたくてフレーズを作っていたんですけど、みんなに聴かせたら、だいぶ変わってしまって。

手鞠：何か、"みんなの歌"っぽい感じにもなったよね（笑）。

――一体、どこで変化したのでしょう?

殊：最初に聴かされた時、これはメロコアだからって言われてなかったから、自然とそうなってしまったのかなと（笑）。でも、各々が思ったことを形にした結果、良い方向になったので良かったです。

――PVにもなっている「feel me」は、本作の中でいちばん聴きやすい曲となっています。

kaname：作曲した時点では、これをリード曲にしようとかはまるで思っていなくて。

手鞠：けど、PVにするならばこの曲しかないだろうと。

kaname：うん、ファイトソングなだけにね。

――最初から、誰かを応援するために作った曲だったのですか?

kaname：励ましたいっていう想いはありましたね。ライヴ後に作ったということもあり、俺たちはいつでもそばにいるよっていう気持ちを込めてギター弾いていったんです。

ラミ：出来上がった時、感動して泣いてましたからね。

――kanameさんが?

ラミ：いや、僕が（笑）。PV撮りながら

zazhi.com

kaname(Gt)

wayne(Gt)

ameさんが原曲を持ってきたとのことですが。

kaname：「Room No.13」はライヴでは既に披露しているんですけど、元々は自分の気持ちが落ちていた時に出来た曲で。この気持ちを音にしたらどうなるんだろうと思って作っていったんですけど、出来上がるまでは本当に苦しかったです。それでも、確かめたかったんですよね（苦笑）。不思議なことに、こうして曲に置き換えることで、気持ちが落ち着いて。曲にすることですっきりしたというか。他の楽器にしても、不安定な気持ちをよく表現してくれたと思います。

——アルバムの中で良いアクセントとなっていますよ。そうそう、おやっと思ったのですが、「Humming bard's」「Awake or asleep」の並びって、限定盤と通常盤で共通しているのですよね。これには何か特別な意味が？

ラミ：いえ。曲順に関してはメンバーでいろいろと考えたんですけど、この流れは意識したわけではなく、偶然に一致して。

手鞠：きっと、無意識のうちに、感情的なところでベストだなと感じたので、この並びになったんだと思いますね。

kaname：「Humming bard's」は、メンバーに対しての、挑戦状的な楽曲。メジャー感溢れていますけど、いいですか？っていう。

たはいいけど、メンバーやってくれるかなぁって最初は心配で。

手鞠：けど、満場一致で、やったらいいじゃん！ってなって。タイトルはダブルミーニングです。

殊：みんな、すごく乗り気だったよね。

——それだけ、みなさんの頭が柔軟になったのだと思います。

kaname：おかげで、遊び心を存分に出すことが出来ました。「Awake or asleep」は、完全にライヴ意識ですね。

ラミ：展開が面白いと思います。何せ、冒頭からあのリズムですよ。

——マーチでくるとは（笑）。それにしても、この曲、相当感情が入っていますね。

kaname：この時ちょうど、苛立ちを感じていたんですよね。それで、タイトルを〝寝ても覚めても〟として、感情を詰め込んでいったんです。これは、誰が聴いても斬新さを感じられる曲になったんじゃないかな。

——続いての3曲、「ファラウェイ、ファラウェイ。」「hazy moon luv gaze.」「浴室の人魚」は、wayneさんが作曲を手掛けられています。

wayne：「ファラウェイ、ファラウェイ。」は、爽やかで明るい曲なんですけど、暗い感情の時に出来た曲で。そういう風に、正反対の想いが出てしまうのって、自分に足りない部分を補っているからなんじゃないかと思うんです。

——きっと、欲していたんでしょうね。

wayne：そう思います。だから、明るくはあるのだけれど、そこまできらびやかではないのかも。自分としても、こういう曲が書けて良かったです。

——amber grisならではのポップソングとなっています。

手鞠：テンポ感とリズムパターンからくる小気味良さっていうのが清涼感を残しますよね。

wayne：「hazy moon luv gaze.」もライヴでは既に披露しています。単純に、ギターをジャカジャカ鳴らしている曲が欲しいというだけで作っていったんですけど、イメージしていたスピード感が出せたので満足しています。次の「浴室の人魚」は、普段、自分が感じている孤独感を踏まえて作ったこともあり、曲のテーマは〝終わり〟となっています。

——〝終わり〟といえども、退廃的でないところが、良くて。

wayne：サビ始まりっていうのも新しいし、展開の多さもポイントとなっていますからね。

——そしてラストを飾るのは、手鞠さん作曲の「element of soul」です。

手鞠：この曲は、kanameくんやwayneくんが作ってくるもの違う位置にあると思います。リズム隊が〝〟ているAメロの雰囲気、光の揺ぎや風を表現したギター、それぞれの良いところが出た上で、伝わる歌というのを考えながら仕上げていきました。また、伝えたいことの全てをサビに込めたので、歌詞カードには敢えてサビしか載せてなくて。僕の本心は最後に入っているので、そこが聴く人に伝わればいいなと思いますね。あと、秋には東名阪でワンマン・ライヴを行ないます。1回目のワンマンからの成長とamber grisが本当に見せたかったものを提示していきたいなと思っているので、ぜひ確かめに来て下さい。

ラミ(Dr)

殊(Ba)

杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

V-last.

夏到来!! 弾ける「P☆L☆A☆S☆M☆A」

杂志迷
zazhimi.com

自分たちの活動を“テロ”と称し、メンバー全員が個性的なキャラクターで注目を集めているV-last.。先日、新木場コーストにて行われたイベントライヴ「V-Love☆Live」では、オープニングアクトながらも抜群の存在感を見せ付けてくれた。今回のインタビューでは、7月27日に出る最新作『P☆L☆A☆S☆M☆A』の内容と、8月21日に行われる単独公演について訊いた。

Interview:ERI MIZUTANI

SHOXX VOICE!!

夏らしさ全開ですが、作品のテーマは？
shyena：特に、これといったテーマは決めていないんですよね（笑）。
寛-HIRO-：選曲会の時点では歌を聴かせる曲を入れたいねって言っていて。
shyena：そうだったね。それで、歌モノがメインとなったんですけど、作曲者であるユキハとしては、どうやってリード曲を作っていったの？
ユキハ：V-last.の音楽って、激しめだったりポップだったりするものが多いだけに、ストレートな曲がないなって思ったんですね。それで、聴きやすい曲っていうのを意識して作ったのが、この「P☆L☆A☆S☆M☆A」なんです。
shyena：満を持してってやつだね。
ユキハ：うん（笑）。そういえば、この曲、デモをかなり作り込んでいったんですよ。それこそ、イベントライヴでの待ち時間にもパソコンいじってたぐらいなので。
——それだけに、メンバーの反応もさぞかし良かったのでは？
shyena：僕は、最初に聴いたとき、キター！って（笑）。その後からメンバーでアレンジしていったんですけど、良い具合にケミストリーが起ったと思います。
ユキハ：以心伝心だよね。
shyena：ケミストリーと以心伝心って若干意味違くない（笑）!? でも、こうしてわかりやすい曲を持ってきてくれたので、僕としてはわかりやすい歌詞を付けようかなって。自分たちがプラズマとなって、みんなの願いを叶えようと、そういったことを書いています。なので、歌詞を読んでいると、V-last.の5人が、みんなにどんどん近付いていることが感じられると思います。ちなみに、タイトルの間に星が入っているんですけど、それにもちゃーんと意味があって。これ、全部で5つあるんですけど、メンバーのことを表しているんですね。5つの星がみんなのことを守っている、そんなイメージで入れてみました。
——なるほど、そういった意味があったんですね。そこは演奏する前にメンバーに伝えて？

から。
——バイオレンス・ドラマーのMAKOさんから〝キラキラ〟という言葉が出てくるとは！
MAKO：俺が言うと変ですかね（笑）。でも、今回の俺のメイク、曲に合わせてやたらにキラキラしてるんですよ。ほら、見て下さい、このキラキラフェイスを。
——えっと……、緑色なだけに、惑星を意識した感じ？
MAKO：そうですね、これはMAKO星です（笑）。今回からレコーディングの環境が変わったということもあり、この曲を録っているときは色々と勉強になりました。大きかったのは、ドラムチューナーの方が付いてくれたこと。それにより、アドバイスもたくさんもらえたし、音に変化が出たと思います。
ユキハ：デモの段階で、俺からMAKOに注文を付けていったりしたんですよ。作曲者としては、キレの良いドラムを叩いていってもらいたくて。ほんと、俺の思いどおりに叩いてくれたので、大満足です。
——ドラムがぐちゃぐちゃしてしまったら、せっかくのキラキラが損なわれてしまいますしね。
MAKO：なので、しっかり叩くっていうことを意識しましたね。俺のせいで、ぐちゃキラになっても困るんで（笑）。
——ギター陣としては、キラキラを引き立てるために、どうしていこうと思いました？
寛-HIRO-&義-yoshi-：今回、ツインギターとして、このキラキラさを…※@□β△。それで…¥＊#&%。
——双子ならではのシンクロ感というか、2人の発言が見事に重なってしまって、最後のほう、何を言っているのか聞き取れなくなってきたんですけど（苦笑）。
寛-HIRO-：じゃあ、まずは俺から（笑）。この曲では、ツインギターソロが入っているんですけど、この部分に関しては俺が全部考えていったんですよね。最初は普通にギターソロ、そこからツインギターソロへと変わっていくところもかっ

義-yoshi-(Gt)　ユキハ(Ba)　shyena(Vo)　MAKO(Dr)　寛-HIRO-(Gt)

もハモリがあるんですけど、そこも良い感じです。
義-yoshi-：弾いていて気持ち良いフレーズ作りを心がけましたから。イントロで出てくるシンセとのユニゾンを始め、サビのリードギターも気持ち良くて。
——2人とも、得意とするパターンの曲だけに、やりやすかったと。
寛-HIRO-：弾いていて楽しかったです。役割もはっきりしているし。
shyena：双子がシンクロしてくれたおかげで、僕も歌いやすかったです。そうだな、じっくり聴かないとわからないかもしれないんですけど、今回はハモリを重点的にやったんですね。全編を通して入っているので、そこに注目して聴いてもらいたいです。自分としても成長を感じられる部分なので。
——ちなみに、映像に関してはどのような感じで？
寛-HIRO-：曲と同じぐらいキラキラした感じになってますよ。メンバー全員で星を眺めているシーンが入っているんですけど、そこがすごくお気に入り。
寛-HIRO-：あとは、双子マジックをお楽しみ下さい！
義-yoshi-：自分たちでも、どっちがどっちだかわからないので（笑）。
——「ハピサマ」は、義-yoshi-さんが持ってきた曲ですね。
義-yoshi-：うちらの曲って、ドラムのカウントから始まるものが多かったので、ここらで同期始まりの曲を入れてみてもいいかなって。
——切なさもあり、展開が面白いです。
義-yoshi-：最後のアルペジオが切ないんですよね。あと、ベースのスラップも良いですよね。これは、レコーディング当日にユキハに頼みました。
ユキハ：ここで言う〜!?って思いましたけどね（笑）。でも、自分にとって挑戦にもなるしということで、入れてみることにしたんです。
MAKO：俺は、リード曲と同じように、楽しく叩くことができました。夏らしいドラムになったと思います。

shyena：これは、元気な女の子が恋をするというテーマの曲なので、聴いてくれるみんなも共感してくれるんじゃないかなって思います。
——「チェリー×チェリー×チェリー」は、始まり方が今までにない感じで。
ユキハ：ジャズを取り入れてみました。でも、最後はパンクっぽくなるっていう。それもV-last.らしいかなって（笑）。
shyena：やっぱり、V-last.だったら面白いことをしないと。
——これぞ、ケミストリー。
shyena：そうです、まさに！
——さて、8月21日には第8テロ命令として、渋谷O-WESTにて単独テロ公演が行われます。
shyena：今から楽しみです。そうそう、来てくれるみんなは、僕らのグッズにあるタオルを持ってきてくれると楽しめるんじゃないかなと思います。僕らもV-last.色で染まったフロアを見てみたいですし。
——では最後に、現段階での意気込みを、お1人ずつ聞かせて下さい。
MAKO：7月、8月と地方に行くのでそっちも楽しみにしていてほしいです。そこで吸収したことをO-WESTで出していきたいと思うので。絶対に、最高の単独テロ公演にするので、必ず来るように。
ユキハ：単独テロ公演、最高の舞台にしたいので、みんな来て下さい！
寛-HIRO-：「King of the terrorism」というタイトルに相応しい単独公演を見せたいですね。自分たちが、自信を持って良いと思えるものを見せるので、楽しみにしていて下さい。
義-yoshi-：8大テロの中で3枚のCDを出したんですけど、全部違った作品になっているので、それらがこの単独公演でどう変化するかを見てほしいです。
shyena：きっと、バンドの成長が見られる単独公演になると思います。長いようで短かった8大テロ、第1テロから応援してくれているみんなの期待を裏切らないステージをお約束しますよ。これは僕らからのマニフェストです！

zazhi.com
蝴蝶网
hudie.com

Interview:MIYUKI MURAYAMA

Megaromania

真髄の探求

SHOXX VOICE!!

6月24日渋谷O-WESTのワンマンを成功に収めたMegaromania。続いて、そのワンマンと同タイトルとなるミニアルバム『Quintessence Voyage』を、8月3日にリリースする。現在制作中というこの作品は、これまで以上に激しさを推したものになるという。8月はCD発売記念主催ツアーで全国を回り、そして9月には東名阪でのワンマンが控えている。さらにパワーアップした姿が、再び渋谷O-WESTで見られることだろう。

──ミニアルバム『Quintessence Voyage』のコンセプトは？

翠：今回のミニアルバムは、「Oath」からさらにパワーアップしたメガロマニアを表現した、自分たちのバンドの真髄を追求するものを作りたいと思ってました。「Oath」はキャッチーでメロディアスで、見た目に反してたところもあったと思うんですけど、それはこのミニアルバムで激しさを強調するためのねらいだったんです。今回は、自分たちの原点回帰プラス、自分たちの成長したところを併せ持ったものにしたかったので、激しい要素を各々の曲に含めてます。

美沙麗：激しめを意識して曲を書いたし、今まで積んできたものからよりレベルアップしたものになっていると思います。

邑詩：前回のシングルより難易度が上がったので、レコーディングは時間との戦いでしたね。

──作品のタイトルを掲げた曲が2曲目に来てますね。

翠：僕が…曲順を決めて提示する

れて。

美沙麗：（照笑）

翠：歌詞的にも、曲と曲で歌詞の世界がつながってたりもするので、それもいいな思いました。

──「Distinctive territory」は、1曲目をイメージして作曲したんですか。

美沙麗：CDを開けて、トレイに乗せて、再生した瞬間に激しい感じで、"おお、テンション上がる！"みたいな（笑）。リフがガツガツいく曲が1曲目だったら、アルバム的に濃くなるんじゃないかと思って。でも、曲頭からそんなに激しいフィルを入れなくてもいいじゃないって思いましたけど。初めて聴いて逆にびっくりしちゃったんで（苦笑）。

──ドラムから始まるのは、美沙麗君のアイデアではないんですね。

美沙麗：邑詩がやりたいと。

邑詩：はい（笑顔）。びっくりさせてやろうと思って、やらかしました。

美沙麗：そんなドラムをやったもんで、俺も負けられないと思って。僕の中の変

蝴蝶网 hudie.com
zazhimi.com

に、ヤッター!って思ったんですよ。今までになかったし、欲しい曲だったので、すごく嬉しかったですね。
翠：響きとかそういう面で、日本語で歌うよりは、英語のほうがいいんじゃないかって。実験的な部分でもありますね。
——そして、次のタイトル曲は激しくも、ダークな雰囲気があって。
美沙麗：翠君が持ってきたメロディーを聴いたら、自分が持ってこようと思ってた曲の展開と全く一緒だったんですよ。キーもわりと近かったので、これは絶対一緒にしたほうがカッコいいものになると思って、合作になりました。
翠：メロディーから広げていった感じではあるんですけど、トータルコンセプトとして激しさというのがあったので、ねらいどおりです。ダークだけどサビで一気にメロディアスになるのはよくあるパターンだと思うんですけど、その中でメガロマニアのコアな部分を出しつつ、今のメガロマニアの激しい曲というのが出せたと思います。
——歌詞の内容も、「Oath」で言ったような、未来へ進むような想いですよね。
翠：自分自身のこれから先の居場所を探すというのがテーマですね。その中でどれだけ強い意志を持って突き進んでいけるかを描いています。
——Bタイプにこの曲のPVが付くんですね。
氷牙：邑詩を交えての初のPVです。
邑詩：撮影はかなり不安だったんですけど、根性で乗り切ったので、かなりいい感じに撮れてます。
——次の「If...reminiscence」は同期が多くて、荘厳な雰囲気のある曲ですね。
美沙麗：アルバムならではの曲ですね。ここまでがハードなギターのアプローチなので、緩急をつけるためにシンセをがっつり入れました。広がりのある世界観を出せる曲にしたかったんです。シンセは出てるけど、やっぱりギターも主張したいし、駆け引きしましたね。
蜘影：女声コーラスもまた入れてみたので、面白い曲になったと思います。
氷牙：最初に聴いたときに、シンセががっつり入ってたので。ゲームのサントラみたいだって大人気を博しました(笑)。僕もこれは大好きです。
蜘影：仮タイトルが「FF」(ファイナル・

邑詩(Dr)

い発見ができたところが、歌うベースに現れてるのかなと思います。
——Cタイプにだけ、次に「bouquet」が入ると。
翠：「bouquet」の歌詞が、「If...~」の歌詞のアナザーストーリーになってるので、そこに入るんです。もっとアンダーグラウンドで、もっと心の奥深くの気持ちが出てる感じですね。
蜘影：これはマニアックな曲なんです。ギター隊でフレーズを考えてるときに、ディミニッシュコードを今さら勉強をしまして。これはすごいと思って、それをひたすら多用した曲です。覚えたてのものをどんどん使いました。
美沙麗：まるで子どものように(笑)。
——マニアックさは感じましたか。
美沙麗：蜘影の持ってるマニアックと僕の思ってるマニアックはまた違う場所にあるんです。僕はサビの後のところがすごくマニアックだと思ってますね。
蜘影：サビで拍子が変わっちゃうんですけど、拍子が変わる曲も、うちにはあまりないので。それでまた新しいものができたかなと思います。
邑詩：拍子が変わったりしてたので、こんなのやったことないやって感じでした。
氷牙：マニアックさを一番担ってるのはベースだと思うんです。Aメロのところがうなされました(苦笑)。
美沙麗：呪われてるフレーズなんです。
——それはもともとあったんですか。
氷牙：もともとそれっぽいのがプリプロの段階であって。本当は刻みを倍にして、16分でも弾けるんですよ。だから、これでいいのか?って言ったら、のっぺり、ぬめっとした感じを出すには、8分がいいんだって言われまして。結果的にいい意味で呪いのメロディーができました。たぶん一番マニアックだと思います。
蜘影：曲を打ち込んだ段階で全部打ち込んでいたんです。それを聴かせたら、このベース死にたくなるねって言われました(苦笑)。

——「Oath」の後にこれを聴くと、ミニアルバムへの期待が膨らみますね。
美沙麗：ギターがガンガン主張してますからね。ねらいどおりです。ギターでがつがつ引っ張っていこうかみたいな。
——でもそれだけじゃなく
氷牙：盛り沢山ですよね。
翠：原曲はもっとすごいことになってたので、引き算したんです。さらに違う構成とかもあったので。
氷牙：1曲なのに〝今のは3曲入ってたの?〟っていうぐらいで。
美沙麗：僕一人で作ってたら、3曲分ぐらいになってしまったので、メンバーが引き算してくれました。満足です。
——最後が蜘影君の曲で「Atmosphere」。
蜘影：これは、ヴィジュアル系の王道ですね。初めて歌メロも全部打ち込んで、俺の中での王道のヴィジュアル系のメロディアスな曲みたいなのを出したら、翠君からもそれにかなり近い感じでメロディーがアレンジされて戻ってきたので、すごく仕上がりが楽しみです。
——王道のヴィジュアル系は、メガロマニアとしてはシンプルになるんでしょうか。
蜘影：他の曲に比べればスリムと言うか、そういう形にはなってますね。
美沙麗：全曲がごちゃごちゃしてるように聞こえるじゃないですか。緩急をつけた曲もほしいなと思って、変に複雑にしてないんです。
翠：複雑で詰め込まれた曲が多いんですけど、アルバムのコンセプトを素直に感じてもらえる曲を最後に持ってきました。
——9月のワンマンも、激しさを重視したものになるんですか。
翠：「Oath」で完全復活して、自分たち的には流れに乗ってどんと行きたいところなので、その強い意志とお客さんを引っ張る気持ちが音に出て、激しいライヴなると思います。その前の主催ツアーでいろんな経験をして、秋にまた新たな答えを出せるようにしたいですね。

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

DIAURA

SHOXX VOICE!!

DICTATOR

元ヴァルナのyo-kaと佳衣を中心に誕生したDIAURA。彼らが、8月10日に1stミニ・アルバム『DICTATOR』をリリースする。8月30日には、渋谷BOXXにて、1stワンマン・ライヴ「独-DICTATOR-裁」も決定。しかも当日、会場限定『メビウスリング』の発売が決定。今後の鍵となる最新音源。これから大きく羽ばたきそうなDIAURA。その最初の爪痕を、ここに紹介しよう。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

—DIAURAとして正式な活動をスタートさせたのが…。

yo-ka：今年の1月22日。なので、ようやく半年ほど経ちました。

—最新ミニ・アルバム『DICTATOR』の中からは、DIAURAの音楽スタイルの芯となる姿が見えてきます。バンド自体、早い時期から音楽性は明確に見えていたのでしょうか？

yo-ka：DIAURAは、自分と佳衣の2人から始まったんですが、お互いの信頼関係からのスタートだったとはいえ、音楽性の面ではまだ漠然としたイメージしか持っていなかったんですよ。だから、最初はすごく迷いがあった中での始まりだったし。走り出しが、SHOXXさん関連でのリリースとなったオムニバス盤「Explosion showcase」への参加と、それに伴う全国ツアーでした。いきなりキャリアのあるバンドさんたちとの対バンだったからか、あまりにもの自分たちのヴィジョンの無さに躓いてしまい、最初の2〜3ヶ月間は迷いの日々でした。だけど、サポートで入ってた翔也が正式メンバーとして加入した3月末頃から、ようやくバンド内の意識や方向性がまとまり出したんです。

—yo-kaさんと佳衣さんは、以前はヴァルナのメンバーとして一緒に活動をしていた同志。2人の結束の固さはわかっていただけに、音楽性も明確に掲げてのスタートかと思っていました。

yo-ka：確かに、信頼関係からこのバンドは始まったんですけど、2人とも無理に背伸びをしようとしてたと言うか、以前のスタイルよりも進化した姿を見せないと意味がないということに意固地になりすぎたあまり、〝違うこと〟を求めては、逆に迷走していました。だけど、昔の自分も、今の自分も、結局は〝同じ自分〟じゃないですか。だったら、自然と沸き上がるものを大切にしながら、そのうえで、DIAURAというバンド名の由来にもなった「DICTATRIAL AURA」、つまり、〝独裁的なオーラ〟を放つ音楽性を求めようという意識に変わっていったん

蝴蝶网
hudie.com

yo-ka(Vo)

佳衣(Gt)

翔也(Ba)

杂志迷
zazhimi.com

ことができなくなっていました。そんな時期に翔也が加入したので、改めてDIAURA自体を冷静に見つめ直す機会を得ることができたし。そこで、見えてきたことも多かったんです。

翔也：サポートとして加入した頃から、2人には"すごく個性的でありながらも、人間味あふれる人たちだな"というのを感じていました。何事も真剣に突き詰めすぎるあまり、迷っていた姿も見ていました。だからこそ、"自分が何かしらの力になれたら"という意識は、僕自身も強かったんです。

——DIAURAのライヴと言えば、毎回、激しく攻めたてゆく姿勢を全面に押し出しています。だけど楽曲面では、1曲の中でも多様な表情を描き出していくように、とてもドラマ性を持った曲調が特色ですよね。そこの違いも、面白さの一つとして感じています。

yo-ka：自己満足で終わるライヴほど悲しいものはないじゃないですか。ライヴの場というのは、どれだけオーディエンスと一緒になって楽しんでいけるかが大切なことです。活動していくうえで、ライヴは一番比重を置いていることだし、

佳衣：結成当初は、自分たちのやりたい音楽のみを念頭に置いて楽曲制作をしていたんですけど、ライヴって、オーディエンスと自分たちとの"気持ちの掛け合い"で一体化していくものじゃないですか。DIAURAとしてのライヴ経験を重ねるたびに、オーディエンスが求めているものが、自分たちにも強く伝わるようになったんです。そこから、曲作りの面でも変わっていったところはありますね。

——ミニ・アルバム「DICTATOR」の冒頭を飾った「奈落の花」は、暗鬱／哀愴な表情とが交錯しあうダークメロな楽曲として完成。ライヴでも、深い感情をぶつけながら歌い演奏していませんか?!

yo-ka：「奈落の花」は、歌ってると自分の感情の内側へ入り込んでしまう。と同時に、感情を爆発させるので、表現の押し引きが魅力になっている楽曲なんです。

佳衣：ライヴで演奏していると、自然と感情が深く入っていくから、音源とライヴとでの聴こえ方の違いも楽しめるはず。

翔也：ただし、感情が入り込みすぎると楽曲の世界へ引きずり込まれるので、気

ビで一気に開放してゆく歌。

佳衣：楽曲制作へ入る時点で、yo-kaから"これは独裁的な想いをテーマにした曲にしたい"と聞いていたこともあって、自分の中では明確な世界観をつかんだうえで作り上げた楽曲になりました。サビで聴けるスタイルはもちろん、その中に妖しさも加えたかったし。サビ歌自体にも、美しいメロディーが流れつつ、そこへ起伏豊かな姿を描きたかったんです。そこは上手く表現できたと思います。

翔也：サビで、一気にドーンと開けてゆくうえに、サビメロ自体が本当に綺麗なんです。だからこそ、その表情を如何に活かせるかを考えながら演奏しました。

yo-ka：「DICTATOR」の中に自分は、この世界を支配する一人の独裁者の姿を描写しました。しかも、その独裁者が亡くなっても、また新たな独裁者が生まれてゆくという、その巡りゆく様を歌詞に描きました。と同時に、歌詞にも書いた♪世界をこの手に♪というのは、DIAURAとして掲げている指針でもあるんです。つまり、自分たちも、この世界のてっぺんを狙いたいということ。それくらいの覚悟を持って活動しているということ

曲の両方を手がけました。ライヴ活動を始めた当初、自分の中にすごくもどかしさを感じてたというか、ライヴで感情を爆発させる楽曲が欲しくなり、まさにライヴのことのみを考えて作りました。ただし、DIAURAの場合、どんな楽曲でもサビでは開放的な表情を描いていきたいと思ってるんです。だから「MASTER」も、サビで開けた表情を持ったうえで、ライヴで爆発していくに相応しい表情の歌になっています。実際に今のライヴでも、最後を飾る定番の盛り上がり曲になっていますからね。

佳衣：演奏面でも、小難しいことはぜんぜんやってないんです。だからこそライヴになると、歌い手や演奏者の感情を真っ直ぐに伝えられる。シンプルだからこそ、気持ち伝えやすい楽曲になりました。

翔也：自分も、演奏しながら、良い意味でバカになれるというか。お客さんたちとの一体感をすごく感じられるので、やっていて楽しい楽曲にもなっています。

佳衣：yo-kaの作る楽曲は、とてもわかりやすいからこそ、バンドを知ってもらう上でも、最高の入り口になっているんです。そこで踏み込んできた人たちを、

ロディアスで開放的な「インフィネイト」へと繋がっていきます。

佳衣：「インフィネイト」は、今までのDIAURAにはまったくなかった、ポップな表情だったから、果たしてDIAURAに合うのか?!と思いつつ、メンバーに投げたんですけど、メロディーと歌詞が乗った瞬間、新しいDIAURAの持ち味になると確信しました。強い自信を得られた楽曲になりました。

yo-ka：佳衣がデモ音源を持ってきたときに、仮タイトルとして「アニメ、ワ○ピ○スのテーマ曲風」と書いてたんですけど、まさに、そんなイメージを抱かせる楽曲になったよね。歌詞も、DIAURAにはラブソングが欠けていたので、あえて素の自分として、素直な感情を書き記していきました。

翔也："こういう曲をDIAURAがやるんだ"と嬉しい驚きがあったんですけど、耳にスーッと入ってくる楽曲なので、8月30日の渋谷BOXXでのワンマンで披露したときの反応が楽しみなんです。

佳衣：まさに「DICTATOR」は、1枚目にして最高傑作になりました。まずは、その衝撃を感じてください。

OXX
O!!

凛

周年記念ワンマンの振替公演が決定!!

日（土）大阪BIG CATにて開催された凛1st Anniversary Festival「an epidemic
RTURE」ライヴは特殊効果によるアクシデントが発生し、わずか3分で中止となっ
たが、振替公演が決定した。さらに、フルアルバム、ワンマン公演、そしてリーダー
よるサイドプロジェクト「KISAKI PROJECT第二章」の情報が発表されたぞ!!

年8月7日（日）大阪BIG CAT
（土）大阪BIG CAT
nniversary Festival Oneman Live「an epidemic of "OVERTURE"」振替公演
CAT（☎06-6258-5008）
年8月31日 2 TYPE RELEASE!!
lbum『Independent "MAZE"』
／価格3,675円（税込）／豪華ジャケット仕様／完全限定盤／各タイプ未発表曲
ナスディスク付2枚組仕様
年記念 東・阪CLUB 2011 LAST ONEMAN
（日）OSAKA RUIDO
dent -MAZE-」
AKA RUIDO（☎06- 6252-8301）
PROJECT
-2007年 ex.ヴィドールのジュイをヴォーカルに迎え活動してきたKISAKI
Tが新ヴォーカリストを迎え第二章として活動を再開……。
）（日）赤坂BLITZ<復活ライヴ>

UNDER CODE PRODUCTION
005大阪市福島区野田2-7-2中村ビル3F
ww.under-code.jp

犬神サーカス団

ニュー・シングル発売!!

なわれた9GOATS BLACK OUTとの異色2マン・ツアー
17年目にしてなお新たな魅力を開花させていた犬神
団が、ニュー・シングル『桜散る中』を8月24日にリリー
"生物の進化の行方に対する疑問を軽快なロックンロー
て唄ったキラーチューン"ということで、犬神ならで
観が描かれる作品となっている。
このリリースに合わせてワンマン・ツアーも決定!!
（土）名古屋ell.SIZE
（日）大阪KNAVE
日）高田馬場フェイズ

ww.inugami.jp

DELUHI

のベスト＆フル・アルバム発売決定!!

解散が発表され、現在ラスト・ツアー"-VANDALISM-2011"真っ最中の
から、ラスト・アイテムとなるベスト・アルバムが届けられる。
日にリリースされる『VANDALISM』は、"破壊"という意味を持つタイトル通り、
ックス＆リマスターされた上に、リアレンジ＆リテイクも施され、さらには未発
の泉」も収録されるという、今までのDELUHIを再構築したと言える最高傑作
ている。
聴くほど、ラストが近付いているのが惜しまれるばかりであるが…彼らの残りの
ールは次の通り。
（木）福岡DRUM Be-1
（日）さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3
（水）渋谷O-EAST
日）渋谷C.C.Lemonホール（追加公演）

e.deluhi.com

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

新メンバー加入!!

6月26日・渋谷O-EASTで行なわれた主催イベント「犬小屋 #5」において、なんと新メンバー・綴葉（Dr）の加入が発表されたDOG inTheパラレルワールドオーケストラ。バンドとしてビルドアップされ、さらなる期待のかかる彼らだが、ニュー・リリース＆東名阪ワンマン・ツアーも決定した!!

◆シングル2ヶ月連続リリース
8月31日リリース：「SPEED TO NIGHT」
9月21日リリース：「CHULIP HOLIC」

◆東名阪ワンマン・ツアー『犬 NIGHT カーニバル』
9月23日（金）名古屋ell.FITS ALL
9月24日（土）大阪ロックタウン
10月1日（土）新宿BLAZE（会場限定CD販売あり）

次号にて、新体制でのインタビューもお届けできる予定。お楽しみに!!

http://www.inu-para.com/

Administrator

1st ALBUM『CROSS』リリース＆WINTER CIRCUIT決定!!

Administratorより、自身初のフルアルバムのリリース、そして、原宿アストロホールでのワンマン公演を含む、2011年WINTER CIRCUIT開催のニュースが届いた！ 詳細は以下の通り。

●1st ALBUM「CROSS」2011年10月5日リリース
・初回生産限定盤 CD：12曲入り＋DVD CLIP他 ¥3,800円（Tax in）
・通常盤 CD：15曲入り ¥3,150円（Tax in）

●Administrator WINTER CIRCUIT 2011
・11月25日（金）名古屋 ell.FITS ALL
OPEN 17:00 / START 17:30 （問）enter brain：☎052-760-2477
・11月26日（土）心斎橋 CLUB DROP
OPEN 16:00 / START 16:30 （問）心斎橋CLUB DROP：☎06-6213-9101
・12月10日（土）原宿 ASTRO HALL ※ONEMAN
OPEN 16:00 / START 16:30 （問）SOGO TOKYO：☎03-3405-9999

チケット一般発売：2011年10月8日（土）
チケット料金：全立見¥3.500（税込・ドリンク代別）

Official Website：
http://administrator-web.com
Official MySpace：
http://www.myspace.com/admofficial

MASCHERA

12年の時を経て…

2000年3月に、その歴史に終止符を打ったMASCHERA（マスケラ）が、それから12年の時を経て、2012年1月7日に一夜限りの限定復活を果たすという!!
彼らがどんな意志のもとに復活を決めたのかは現時点では伺い知れないが、2012年はバンド結成20周年にあたる年であるだけに、スペシャルな夜になることは間違いない。
【MASCHERA 12 YEARS RECEPTION ～MAD TEA PARTY 2012～】
●1月7日（土）渋谷O-WEST
●開場17:00／開演18:00
●チケット¥6,500（税込）／9月3日（土）より一般発売開始
●問合せ：HOT STUFF PROMOTION☎03-5720-9999

http://www.maschera2012.com/

zazhimi.com
蝴蝶
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ヴィジュアル系専門店 販売・買取 ピュアサウンド

西日本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一！1フロアに5万点の品
只今、ゴシック＆ロリータ古着コーナー拡大中！大阪と言えばピュアサウンドで

■商品ラインナップ■CD/DVD/VHS/テープ/FC会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック＆ロリータ古着

SUMMER SALE 2011

中古商品全品 20%OFF!（※一部SALE商品対象外）

第一弾 7/16[土]▶8/28[日]　第二弾 9/17[土]▶10/10[月]

★西新宿店だけの特別企画★

西新宿店ではグッズ・書籍の買取も大歓迎!! 独自の買取リストもぜひご覧下さい！ もちろんCD/DVDもお待ちしております!! 詳しくは下記アドレスをご覧下さい。▼▼▼

http://www.visualkaitori.net/visual/index1.html

ゴスロリ専
~maiden
http://www.maid

モバイル版
遂にOPEN
▶▶

ゴスロリ古
OPEN
開催
店内
30%～
OFF
場所：旧ピュアサウン

■CD（邦楽・洋楽etc）■DVD（ミュージック・映画・アニメetc）■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服（その他V系古着）

郵送買取なら絶対ピュアサウンド!!

1枚からでも**無料！**着払いでお送り下さい。送料代金は、**当店が負担します！**

買取方法

①商品の送付
・お売り頂く商品
・身分証明書のコピー（運転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点）
・買取依頼書
・親権者同意書（18歳未満の方のみ）
を必ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに専門スタッフが1点ずつ丁寧に査定。

③結果
査定結果をメール or 電話にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品はキャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第ご指定の口座にお振込♪
お振込の際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

店頭にて持ち込みでの買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定、即現金にてお支払い★

詳しくはこちら▶

【買取依頼書について】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。[振込先の金融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス]【親権者同意書について】18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの同意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
【査定後不成立の商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

西新宿店でも

メンズブランド高価買取中！

下記の商品1点以上で全体査定金額が20%UP!!

◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

買取の極意！

①CDなどの帯は捨てたらアカン!!
②美品・完品（付属品が完備）が一番!!
③リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD!!

ゴシック＆ロリータ古着取り扱いブランド

◆ATELIER-PIERROT◆ATELIER BOZ◆alice auaa◆ALGONQUINS◆Angelic Pretty◆Inno
◆Victorian Maiden◆VISIBLE◆Vivienne Westwood◆A+Lidel◆h.NAOTO◆EXCENTRIQU
◆Emily Temple Cute◆Ozz On◆CANDY STRIPPER◆Qutie Frash◆Comet◆Jane Marple
◆Jean Paul GAULTIER◆Juliette et Justine◆SUPER LOVERS◆SEX POT ReVeNGe◆S
◆Dangerous nude◆no future◆Heart.E◆BANANA FISH◆HIDE ROCK design◆HYSTER
◆PEACE NOW◆BLACK PEACE NOW◆BLACK PEACE NOW (FOR MEN◆PUTUMAYO◆
◆BABY,THE STARS SHINE BRIGHT◆BABY,THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and th
◆MAD PUNKS◆MAXICIMAM(MA)◆MAM◆MIHO MATSUDA◆MILKBOY◆Mary Magdal
◆metamorphose◆Moi-meme-Moitie◆LISTEN FLAVOR◆ROMANTIC NEUROSIS◆WOR

高価買取ブランド
◆QutieFrash◆Moi-meme-Moitie
◆Q-pot◆MALKOMALKA
◆alice auaa◆Ozz On
◆Vivienne Westwood
◆GADGET GROW
◆monomania

メンズ高価買取ブラン
◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆
◆Justin Davis◆DEAL DESIG
◆Roen◆VANQUISH◆Xfrm◆
◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.
◆GLAD NEWS◆FUGA◆VICE
◆ROYALORDER◆Moonage D

買取強化キャンペーン 7/21▶9/20

郵送・店頭買取どちらをご利用でも適用されます。　**ゴールデンボンバー関連強化買**

ヴィジュアル系CD・DVD・グッズなどヴィジュアル系商品全般を対象に**BIG**な買取キャンペーンを開催致し

もちろんゴシック＆ロリータ古着服も対象です!!

対象商品．．．．．．．．．．．．．
買取価格が￥200-以上の商品が・・

10点以上で・・・通常査定価格＋￥1,000-	60点以上で・・・通常査定価格＋￥
20点以上で・・・通常査定価格＋￥2,000-	70点以上で・・・通常査定価格＋￥
30点以上で・・・通常査定価格＋￥3,000-	80点以上で・・・通常査定価格＋￥
40点以上で・・・通常査定価格＋￥4,000-	90点以上で・・・通常査定価格＋￥
50点以上で・・・通常査定価格＋￥10,000-	100点以上で・・・通常査定価格＋￥

（※当店査定価格が￥200-以上の商品でも、完品では無い物、状態が悪いものはカウント出来ませんので

杂志迷
zazhimi.com

シルバー高価買取ブランド

◆Artemis Classic◆Justin Davis◆DEAL DESIGN◆F.A.L◆Bloody Mary
◆bizarre◆ROYAL ORDER◆かすう工房◆春銀

Pure Sound Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34 サンエースビル 5F
☎06-6214-2549
▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

■詳しい買い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

MEJIBRAY

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

サウイフモノ

ヴィデオグラマァ

Para:noir

ポルターガイスト

BRAY(メジブレイ)

ツヅク-(Vo.)/MiA-ミア-(Gt.)/一風-イップウ-(Gt.)/恋一-コウイチ-(Ba.)/メト(Dr.)
1年3月
】都内近郊
コルマ-瓦礫のマンティコーラース-」(LIMITED SINGLE) / 「KILLING ME」(1st
E 2011年8月24日リリース)
WHITE SIDE GROUP
東京都新宿区西新宿8-5-2　フィヨーレ西新宿102
nejibray.com/　info@mejibray.com

フモノ(ソウイウモノ)

ACCI-サッチ-(Vo.)/ドンキー(Gt.)/ぬっぺ(Ba.)
1年3月
】都内近郊
パッパパッパラッタ～鉛盤～」・「パッパパッパラッタ～麦盤～」(1st SINGLE
3日リリース)
〒170-0013　東京都豊島区東池袋2-62-8　BIGオフィスプラザ池袋11F　サ
ouiumono.com/　info@souiumono.com

oir(パラノイア)

(Vo)/聡-satoshi-(Gt)/悠雲(Gt)/相沢翔(Ba)/雪乃(Dr)
9年8月
】高田馬場AREA
011年5月21日1st Full Album先行シングル「-BITE the BULLET-」、2011年
ll Album「a 21g meaningless existence」
http://　anoir.tv/

杂志迷
zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

ヴィデオグラマァ

【メンバー】佑哉-ユウヤ-(Vo.)/僭俐-ナリ-(Ba.)
【結成日】2006年6月1日
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】「前兆盤」(2006年8月8日)/「頽廃の沐浴」(2008年11月11日)/「嫌悟盤」(2009年8月8日)/「吉禍盤」(2009年9月9日)/「慎寸都市」(2009年11月11日)/「腐乱だ、明日」(2010年6月9日)/「慎寸都市[補完版]」(2010年9月15日)/「第3セクター【検証版】」
【問い合わせ】http://videoglamour.jp/　info@videoglamour.jp

ポルターガイスト

【メンバー】光孝(Vo)/瑞希(Gt)/奏(Gt)/ユウ(Ba)/SALA(Dr)
【結成日】2010年8月25日始動
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】6月29日1st Maxi Single「ダンシングキラー」
【問い合わせ】http://ip.tosp.co.jp/i.asp?I=polter__geist

蝴蝶网
hudie.com

綴

MiA

MEJIBRAY

KILLING ME

**2011年6月18日。高田馬場AREAのステージに突如として現れ、圧倒的なライヴパフォー
とその実力を見る者に印象づけたMEJIBRAY。彼らはその日を結成日とし歩き始めた——
綴(Vo)・MiA(Gt)・一風(Gt)・恋一(Ba)、そして言葉を発しない人形のようなメト(Dr)。誕
れたニュー・カマーの誕生だ。硬派でヘヴィな音と絶対的な存在感を放つ彼らの謎に迫る。**

——が、いきなりの完成度の高さで驚いたっていうのが率直な感想。結成の経緯は？

綴：まずバンドを組みたいなというところから、ギターの一風とベースの恋一とMEJIBRAYをやろうと決めたんです。そこでドラムを探さなくちゃなと思っていたところで、偶然メトを拾ったんです。

——拾われたの!?

メト：…………。

綴：あ、メト話せないんです。捨てられた人形みたいにポツンと道ばたに居て。連れて帰って試しにドラムを教えてみたら、すごく上達するのが早くて。もしかしたら潜在意識の中に何かドラムと通じるモノを持っていたんじゃないかと思うくらい。本人もすごくドラムが好きらしくて。でも、まだ喋ることが出来ないんで調教中なんです。少しずつメンバーには自分の意思を伝えることを覚えてきてますね。

メト：…………。

——こんにちは、メトくん。

メト：…………。

恋一：今、ちょっと様子を伺ってますね。たぶんもう少ししたら気持ちを吐き出すと思います。

綴：そして、最後にMiAと出逢ったことでMEJIBRAYは完成したんです。

MiA：バンドに対する生き様に惹かれたんです。僕が加入することになったときには、もう既に何曲もオリジナル曲があったんですけど、楽曲的にも僕の得意

一風：僕は速弾きよりも、少し古いフレーズをまったりと弾いて表現する方が得意なギタリストでもあるので、MiAとのツインではすごく奥行きを感じてもらえる音を届けられてる感じなんです。

——そうだね。今回取材するにあたり8月24日リリースの1stマキシシングル「KILLING ME」と会場限定販売のシングル「カルマ-瓦礫のマンティコーラース-」を聴かせてもらったんだけど、「KILLING ME」の2曲目「剥落」のド頭のツインは、2人の個性が充分に伝わってくる奥深さを感じたからね。

MiA：ありがとうございます。「剥落」では本当にこの2人ならではの個性を存分に活かせたと思います。

一風：一方「カルマ〜」の2曲目「And Then There Were None」の軽さ重視のギターロック調な音でも、まったく違った世界観の中でお互いの個性を充分に出せたギターが弾けたと思います。

恋一：現段階で、ウチのバンドは基本ギターソロを前面に押出していくバンドでもあるんですが、「And Then〜」は唯一ギターソロがなく後半のベースソロが聴き所でもあるので、ぜひ聴いてほしいですね。リズム隊に関して言うならば、ベースが乗せやすいカッコイイドラムをメトが叩いてくれるので、根本的に相性がいいリズム隊なんだと思いますね。ん？何？

メト：…………。

綴：そうですね[illegible]けど、自分的には綺ポップな印象なんですけどね。でも、チャラチャラと音楽をやるつもりはないので、硬派にぶつかりたいと思いますね。歌詞に関しては、リアルじゃないことを歌ってても響かないと思うし、すべてが嘘だと思うので、自分が体験したことや感じたことを赤裸裸に綴ってます。僕、昔ヴィジュアル系ってシーンに、ある種の嫌悪感を抱いていたことがあったんです。昔はこういう激しい曲でアングラな世界を描いた世界よりも、背中を押してくれるような、"頑張れ"って言って励ましてくれる歌が好きだった。けど、そういう歌を聴きながら"もっと頑張れる！もっと頑張らなくちゃ！"って思ってた頃、壁にぶつかって辛いことばかりだったんです。それもあって、綺麗ごとじゃ人は救えないことを知ったんです。それから偽善が大嫌いなんです。

——そこからリアルな歌を歌うようになったの？

綴：はい。自分を奮い立たせる、在るべき場所がステージだと思っていて。自分の生き様を見せる場所だと思っているんです。歌詞も同じく、自分の生き様、リアルそのもの。そこから何かを感じてもらえたら……。そんな想いで今ここに居るので、その想いが伝わってくれたら嬉しいなと思います。誰も幸せになんてしてくれない。自らが勝ちとるものだと思うから。

恋一

メト

杂志迷
zazhimi.com

Interview:NAOKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com

サウイフモノ

ッパパッパラッタ♪"は地球を救う!?

り世の中ちょっとおかしくなってるんですかね??? スゴイのが出て来ちゃいまし
カラーでお見せ出来ないのがまことに残念なんですが、実はコイツら真っ青なんで
になりません? 良くも悪くも(笑)。ま、良くも悪くも気になった人はぜひ、このイン
ー読んでみてもらっていいですか?(←謙虚)サウイフモノ。ぜひ、お見知りおきを。

NAOKO TAKEICHI

SACCI

キー

SACCI：すいません。お邪魔します。

——どうしちゃった感じ?

SACCI：いや、普通にバンド結成しようと思ってメンバー集めてたんですけど、1年以上かかっちゃって、やっと5人揃ったぞ!ってとこで、メンバーがやっぱ辞めとくって言い出して。しかたないので、こういう形になりました。

——最初の5人のときから既に青塗りをしようと?

SACCI：いえ。最初はカッコイイバンドをやろうと思ってたんですよ。でも、集まらないから青塗りしよかなって。

——余計に集まらないでしょ……。

ドンキー：僕、最初青塗りって聞かずに誘われて、OKした後に青塗りを打ち明けられましたからね。完全に騙されました。

ぬっぺ：僕はSACCIさんとは前のバンドのボワトリンで一緒だったんで、そこからなんとなくの流れで……。やはり当然のように、"青塗りは……"って感じでメンバーも見つからず。

ドンキー：みんな嫌々ですよね。

SACCI：なんだよオマエら! そんなことじゃダメだよ!

ドンキー：本当は、僕が率先して青く塗ってるんですよ!

SACCI：ところで、今回どうして取材しようと思ってくれたんですか?

——あははは。担当編集者が夜中にテレビを見てたら、3人が公園で躍ってる姿にビビビときちゃったらしくて……。

SACCI：変わってますね。

ぬっぺ&ドンキー：なんてことを! いや、ありがたい話だろ!

——あははは。結成して?

SACCI：3ヶ月です。まだライヴもちゃんとやってないんですよ。(※取材は6月末に行われました) 4月のライヴが地震の影響で7月に延期になってしまったので。これから積極的に頑張っていこうと思ってる最中です。

——サウイフモノっていうバンド名は?

SACCI：特に意味ないし、そこはあまり重要じゃないんで気にしないで下さい。特にコンセプトもないんですよ。楽しいことやって、みんなで一緒に楽しめたらいいなってとこです。躍ったりもするんですが、ちゃんと楽器は弾いてます。ドラムはサポートでやってる感じです。

——曲は普通にキャッチーでいい曲が揃ってるよね。

ぬっぺ：まだ音源も今年の3月に限定でリリースした1stシングル「パッパパッパラッタ」のみなんですが、ぜひ、聴いてもらえたら嬉しいですね。

SACCI：見た目で嫌い!って思っちゃった方も、一度音を聴いてもらえたら嬉しいなと思いますね。それで嫌いだったらしかたない。

ドンキー：おいおい諦め早いな(笑)。

SACCI：諦めも肝心。でも、衣裳は至ってシンプルでアメカジ風なんで。

ぬっぺ：そうでもないでしょ(笑)。

SACCI：あ、そう? ま、こんなバンドなんでよろしくお願いします!

ぬっぺ&ドンキー：伝わったかな?

——多分ね(笑)。最後に1ついい? ぬっぺ、私の友達にそっくりなんだよね。しかも女の子。

ぬっぺ

失礼というよりお友達に失礼だろ!

SACCI：いや、僕本当のことしか言えないんで……。にしても、本当に今日は楽しいお話ありがとうございました。

ぬっぺ：おいおい(笑)。逆逆、その台詞普通僕らが言われなくちゃいけないのに(笑)。

SACCI：何言ってんだよオマエら。俺らのレギュラーのラジオ(WEBラジオ『電波青年』)なんてクソも面白くねぇじゃねぇか(逆ギレ)! ま、そんな面白くねぇラジオを月曜の夜やってますので、ぜひ気が向いたら聞いてみて下さい。まったく面白くないので。

ぬっぺ：すごい逆プロモーションですね(笑)。ですが、気になったらぜひ!

——そうね。あ、終わってるわ。

SACCI：えっ? 僕たちがですか!?

——いやいや(笑)。7月11日のライヴの告知をしようと思ったんだけど、本誌発売の頃は終わってるなと。

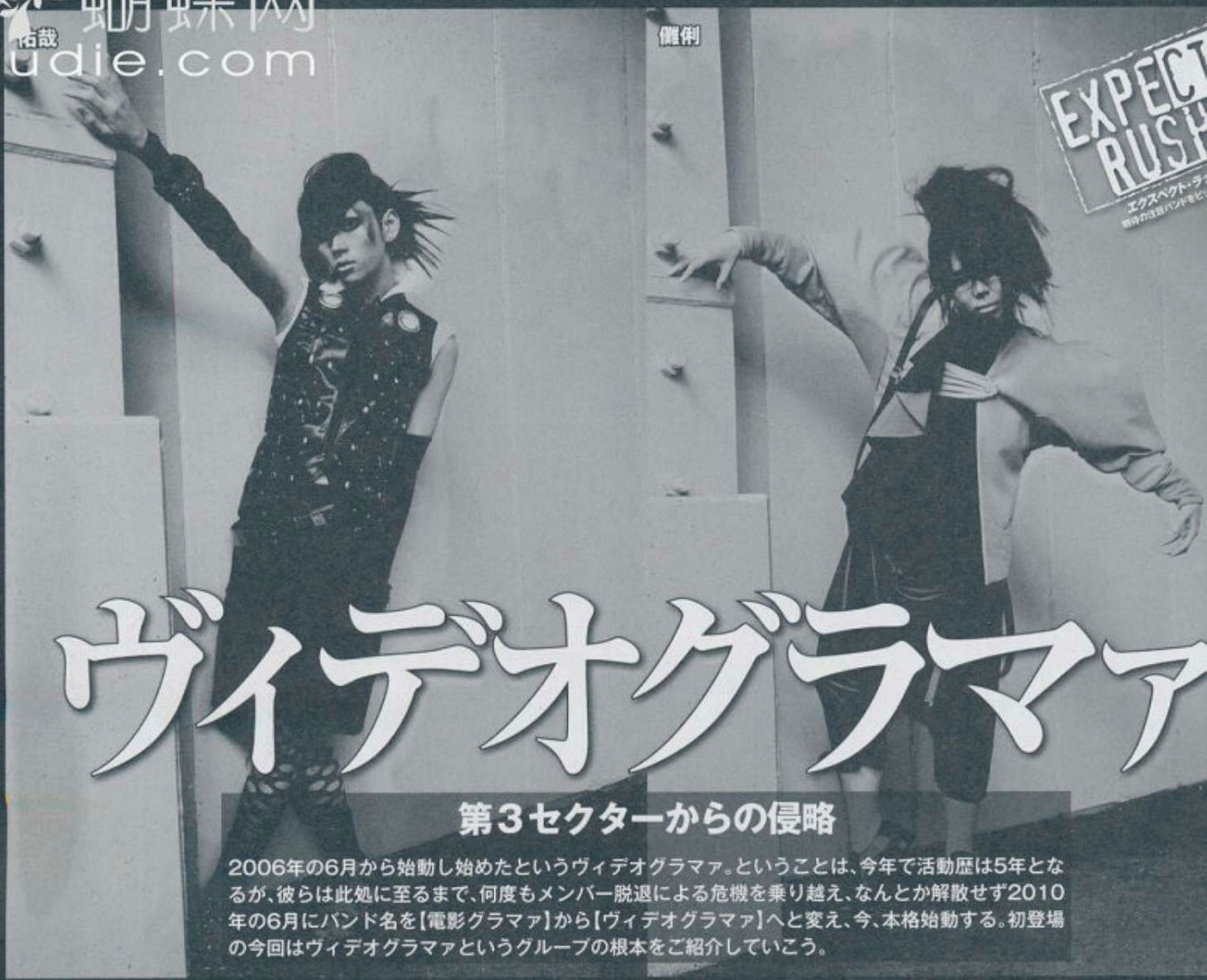
SACCI：良かった、僕らのこと、終わってるって言われたのかと思いました。

ドンキー：あははは。ある意味そう思われてた方が気が楽ですけどね(笑)。

ぬっぺ：だからもっと前向きに行こうよ

杂志迷
zazhimi.com

蝴蝶网 hudie.com



佑哉　儚俐

ヴィデオグラマァ

第3セクターからの侵略

2006年の6月から始動し始めたというヴィデオグラマァ。ということは、今年で活動歴は5年となるが、彼らは此処に至るまで、何度もメンバー脱退による危機を乗り越え、なんとか解散せず2010年の6月にバンド名を【電影グラマァ】から【ヴィデオグラマァ】へと変え、今、本格始動する。初登場の今回はヴィデオグラマァというグループの根本をご紹介していこう。

Interview:NAOKO TAKEICHI

佑哉：はい、そうです。今日は初めての取材で心細かったりもしたので、サポートメンバー以上にヴィデオグラマァの音に関わってくれているドラムの悠介くんと、ギターのハルイくんにも一緒に来てもらってます（笑）。最初、僕と儚俐はインターネットのメン募でなんとなくフワッと知り合ったことで意気投合して一緒にやろうってことになったんです。

儚俐：ずっとメールでのやりとりだったんですが、ある日直接会ったときたまたま同じジャージ着てたので、コイツしかいない！　と思って決めました！

――今回、取材をするにあたって「腐乱だ、明日」（2010年6月リリースのシングル）と『燐寸都市【補完版】』（2010年9月リリースのミニアルバム）という過去音源を2作聴かせてもらったんだけど、すごく良かった。でも、結成からもう5年？　正直こんないいバンドなんて知らなかったんだろ？って思ったけど。

儚俐：ありがとうございます！　実はサポートメンバーも含め、この体制になって活動し始めてからはまだ2年くらいなんですよ。2006年に結成したんですけど、なかなかメンバーが固定せず、ちゃんとした活動が出来ていなかったもので。此処に至るまではなんとなく、フワッと活動して来ちゃった感じなんです。

――もったいない！　サポートメンバーチームも正式に入っちゃいなよ！

悠介：あははは。でも、サポートとは言え、すごく好きな音でもあるのでほぼ正式メンバーくらいな気持ちでやってるんで。

佑哉：よくいろんな方々からも勧められるんですよ。正式に4人でやれば？って。

ハルイ：でも、僕に関しては、僕の持ってる機材目当てで儚俐さんに声をかけられて、機材に僕が付いて行ったという形で、なんとなくフワッとサポートメンバーになったって経緯なんです。

儚俐：いやいや、ハルイくんにも大変お世話になっております！　今のヴィデオグラマァは第3期なんですが、実は第1期もこのメンバーだったりするんです。

――それぞれの音楽ルーツって？

悠介：僕はグニュウツールさんとか好きで。ロックロックしてないのが好きで。インダストリアルな音楽も好きなんです。

ハルイ：だいたい似てますね。好きな音。

――なるほどね。でも、インダストリアルな音の感触が好きな感じは楽曲からも溢れ出てるよね。けど、『燐寸都市【補完版】』の1曲目の「虚構天國」は、かの有名な「スモーク・オン・ザ・ウォーター」のフレーズがオマージュ的に拝借してあったりもするよね？

儚俐：そうなんですよ！　お気づきですね！　なんとなくじゃなくフワッとオマージュな感じで用いてます。

佑哉：「虚構天國」の曲中での僕の雄叫びは、かなりいい感じのロックなシャウトになってるので（笑）。

儚俐：ちなみにあの雄叫びは、ロブ・ハルフォードの雄叫びを聴きながらそこをリスペクトしながら録ってましたから！　8月11日にリリースされる『第3セクター【検証版】』には、某メタリカの「バッテリー」をオマージュしてます！

ハルイ：それ、某になってないすけどね（笑）。

――ちょっと待て（笑）。ロブ・ハルフォードって！　ジューダス・プリーストなんてメタルの神様みたいなもんじゃないかっ！〝僕達メタル寄りじゃないんですよ〟って言いながらメタリカだのディープ・パープルだのってめちゃめちゃメタル寄りやんけ！っていう（笑）。

儚俐：はい（笑）！　いやいや雑食なんです。なんでも聴くんです、自分は。インダストリアルもニューウェーブもメタルも大好きです！　「腐乱だ、明日」の2曲目の「パラレル理路」ではガロの「学生街の喫茶店」のオマージュだったりしますからね（笑）。フワッと歌謡曲要素もあります。

――幅広過ぎる（笑）。

佑哉：今、すごく自由に自分たちの音を表現出来ている状態なので、ここから勢力的にフワッと攻めていけたらなと思ってますので、気にかけて頂けたらと思います。

儚俐：ライヴ活動も積極的にやっていけたらと思いますので、ぜひフワッと遊びに来ていただけたらと思います！（一同フワッと）。

杂志迷 zazhimi.com

Para:noir

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

異なる"人間"の共存…

茜(Vo)

同期を多用した無機質的なサウンド、タイトなノリ、そこに乗る激情的な歌。そんな個性を持つPara:noirが本誌初登場。初のフル・アルバム『a 21g meaningless existence』を8月3日にリリースし、さらに2ndワンマンを8月22日・渋谷BOXXで行なう。活動開始から約2年で、彼らなりのサウンドを作り上げたその実力には、さらなる可能性が秘められていそう。これからの活動にますます期待したい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

悠哉(Gt)

暁-satoshi-(Gt)

雪乃(Dr)

相沢翔(Ba)

—どういう経緯で結成したんですか。

茜：僕が新しいバンドを組みたいと思って、長く親交があった悠哉に声をかけたところから始まって。彼はすんなり決まったんですけど、そこから全メンバーが決定するまで1年ぐらいかかってます。暁は元々顔見知りで、相沢は先輩に紹介されました。

—それから雪乃くんが加入して、この5人が揃ったのが2010年8月。メンバーを探している時に、バンドのイメージは決めてたんですか。

茜：こういう音楽性で自分が歌うというのを前提に、曲をみんなに聴いてもらいながらメンバーを探してましたね。僕のヴォーカル・スタイルはある程度固まっ[illegible]

—サウンドは同期[illegible]多用され[illegible]無機質的な印象がありま[illegible]

茜：僕らの楽し[illegible]込みまくってる感じです。曲を作って[illegible]僕と相沢は、同期ありきで曲を作ってるので、後から足したような同期はやめてるんです。

相沢翔：同期の音色とかリズムで曲の雰囲気が支配されるようなアレンジをねらってますね。

茜：僕と相沢がエレクトロニカにハマって、アナログシンセの音をかなり好んでた時期が長かったんですよ。それで、クラブサウンドに重点をおいてます。

—リズムがすごくタイトで、人間味のあるグルーヴ感とは一線を画してますね。

茜：そこは最初からあるコンセプトで、[illegible]

るのみ?

相沢：タイトであればあるほど、乗せた激情が生きるんじゃないかと僕は思うんで。

雪乃：パラノイアに入ってからタイトさを求めるようになって、クリックの真ん中という意識はかなり高まりました。

—ギター陣は、これだけ同期が鳴っている中で、どうアプローチしようと?

暁：縦のラインきっちりのリズムと、その上に熱く乗るヴォーカルの間を縫うような意識でやってますね。ぶつからないように、ギターを泣かせて。

悠哉：リズムの芯を捉えられるように、それを意識してます。

—歌は、感情的な部分やメロディアスな部分、シャウトやファルセットと、か[illegible]

—歌詞については、特に伝えたいことがあったりするんですか。

茜：今回のフル・アルバムでは、"21g"という言葉にすごくこだわって。人間が死ぬと21g軽くなると言われてるんですけど、命とか、そういう僕が触れたかった核心に触れているのがこのフル・アルバムです。

—パラノイアらしさが詰まったアルバムになりましたか。

相沢：それは間違いないですね。自分たちの軸を中心に作ってるので、"ザ・パラノイア"というアルバムになりました。

茜：13曲目に入ってる「Merciless sorrow-666-」は、僕らが始動の時にリリースした曲なんですけど、その曲を今の僕[illegible]

を目指しているんですか。

茜：サウンド面でお客さんを引っ張ってるんですけど、逆に僕が感情表現に徹する瞬間は一切お客さんのことは気にしないです。

暁：僕は出来るだけ一人ひとりのお客さんの顔を見ることをいちばん気にしてますね。ライヴはCDと違って、そのときの空間にどういう感じで接していけるかだと思ってるんで。

悠哉：バンドで[illegible]全体的な動きにしろ、お客さんを先導できるようなステージングとか、お客さんと会話できるような関係を目標にしてます。

—今後の展望としては?

茜：自分たちのライヴと音楽だけで、こ[illegible]

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

ポルターガイスト

闇、欲望の世界へ

昨年の8月25日に結成。メ
は、多彩な表情を心に隠し
孝(Vo)、もう一人の狂気/
器性を担当している瑞希
在感の深いニューロマンサ
(Gt)、人生の悟りを開いた
薩ことユウ(Ba)、何気ない
声がバンドの運命を左右し
SALA(Dr) の5人。現在、
グル『ダンシングキラー』を
8月25日には、結成一周年
たワンマン・ライヴ[騒霊現
宿ルイードK4で開催する
定している。そんな、注目の
キラー、ポルターガイストの
せまろう！

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――まずは、メンバーが集まったきっかけから教えてください。

光孝：僕と瑞希が同じ先輩バンドのローディーをやっていたので、お互いの存在を知ってたことが前提でのことなんですけど。ちょうど、互いのバンドが解散のタイミングが重なったことや、2人とも攻めていくバンドをしたいという意識があったので、手を組もうと。そこから、自分がよく対バンしていたバンドで、気になる存在だった奏がフリーになったので誘い、瑞希が前のバンドで一緒だったユウとSALAを誘い込み、バンドが誕生しました。

瑞希：一番信頼できるリズム隊なんでね。

――光孝さんと瑞希さんは前々から知っていながら、でもそれ以前は一緒にやるという意識は持っていなかったの!?

光孝：互いに、以前のバンドのライヴを観てるんですけど、2人とも、当時はお互いの魅力に気づけなくて。だけど、同じ中学校だった同級生と同窓会で会ったら、互いに魅力的になっていて付き合い始めた、みたいな感覚というか。2人とも、前を失い、それで初めて気づけたんですよ。

ユウ：灯台もと暗しみたいなね。

光孝：そう。こんな近くに最高のパートナーがいたんだみたいな感覚だったね。

――ポルターガイストの楽曲って、疾走性や躍動感がありつつもメロディアスだから、ノリやすく、つい口ずさみたくなる音楽性なんだけど、歌詞が、非常に猟奇／狂気的で過激な内容です。そのギャップに、強い独自性を感じました。

光孝：表に出てる表情と、じつは内面に抱えてる悶々とした感情って、誰もが持っているものじゃないですか。誰だって、感情が豹変することだってある。ポルターガイストが歌っていることは、誰もが心の中に抱えている闇や欲望の世界。自分は、それを音楽へ投影することで救われているんだと思います。楽曲に関しては、どんどん構成が複雑化していくヴィジュアル系の世界だからこそ、あえて、ちょっとしたひっかかりを持ちながらも、基本はシンプルな構成にして、誰もが入り込みやすく。そのうえで、攻め倒す姿勢の曲にしています。

――親しみやすさと猟奇性、その不思議なバランス感が、強烈な魅力を放っているのは、1stシングル『ダンシングキラー』を聴いていても感じたことでした。

光孝：誰もが唄うようなポジティブなメッセージよりも、自分の心をえぐった言葉のほうが、唄うたびに、自分やメンバー自身の感情さえも悶々とさせていく。そういう身を削った楽曲ばかりだからこそ、作品にリアルさが出てくるんですよ。

奏：今のポルターガイストは、ガンガン攻め倒してゆく姿勢で活動しています。その姿勢は、今回の作品にもしっかり描き出せたので、良かったなと思っています。

瑞希：ただ攻めるだけじゃなく、ノリ良く、聴きやすく耳に飛び込んでくるから、ライヴはもちろん、音源も擦り切れるほど聴いて、そこを感じて欲しい。

SALA：楽曲が良いのは、当たり前。自分がいろんなバンドさんのCDを聴きながら感じていた、〝こうだったら、さらに良くなっていたのに〟という気持ちを、音源のミックスにも反映させたので、攻めの姿勢を感じながらも、聴きやすい作品になってると思います。

――8月25日には、新宿ルイードK4にて、結成一周年を記念したワンマン・ライヴ［騒霊現象］も決まっています。

瑞希：イベントでは表現しきれない多彩な表情をワンマンでは表現できるので、そこは絶対足を運んで欲しいです。前回のライヴで好評だったユウくんのコーナーは、今回も用意しているので。

ユウ：前回のワンマンではコックさんになり、舞台上でホットケーキを焼きました。今回は真夏に開催なので、夏を感じさせる何かを……そこは企業秘密です（笑）。

――このバンドはシリアス系かと思っていたら、そんな緩さも持っていたとは……。

光孝：うちらは、そういう肩肘張らないポップな遊び心も持っているので（笑）。でも基本は、つねにギリギリの状態まで自分たちを追い込みながらです。地に足が着くか着かないかくらいの速度で、攻めて、走り続けていく意識で活動をしていきます。

瑞希：今のポルターガイスト自体が、すでにランナーズハイーと言うか、止まることさえしたくない状態なんです。その勢いを持って、攻め続けていきたいなと思っています。

光孝：うちのメンバー、音楽になるとトランス（豹変）するので、その予測不可能な面も含めて、楽しんでもらいたいですね。

杂志迷
zazhimi.com

光孝(Vo)

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ

奏(Gt)

瑞希(Gt)

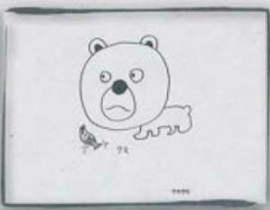
SALA(Dr)

ユウ(Ba)

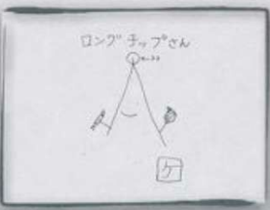
一筆入魂 ザ・ミッション!!

可愛いキャラクターにハマるのは子供であり、大人であればマニアかオタクというレッテルを貼られる時代は終わったのか。
からマジョリティへ。公務員の募集ポスターにすらアニメ的なイラストが添えられる時代。町おこしなどではゆるキャラが大活躍。
乗ろうじゃないか、このビッグウェーブに！　ということで今月は『地元のゆるキャラ』を考案していただきました！

ムック)



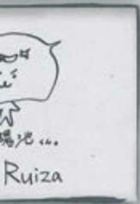
ナカヤマアキラ(Plastic Tree)



佐藤ケンケン(Plastic Tree)

長谷川正(Plastic Tree)

有村竜太朗(Plastic Tree)



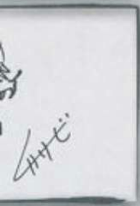
a(D)

ASAGI(D)

Aiji(LM.C)

maya(LM.C)

YUKKE(ムック)



京 HIGH BLACK)

マコト(ドレミ團)

HIROKI(D)

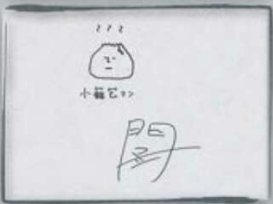
Tsunehito(D)

HIDE-ZOU(D)

ガマソ)

涼平(メガマソ)

インザーギ(メガマソ)



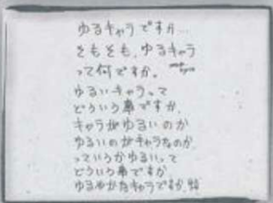
門マーシー(THE 東京 HIGH BLACK)

マダオ(THE 東京 HIGH BLACK)

oGoD)

華凜(NoGoD)

Shinno(NoGoD)



Kyrie(NoGoD)

団長(NoGoD)

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

ばる(DuelJewel)

Natsuki(DuelJewel)

祐弥(DuelJewel)

Shun(DuelJewel)

隼人(Du

川内亨(12012)

塩谷朋之(12012)

酒井洋明(12012)

宮脇渉(

ミナセ(ダウト)

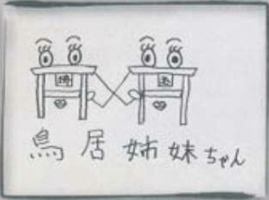
玲夏(ダウト)

ひかる(ダウト)

威吹(ダウト)

幸樹(ダ

玲音(愛狂います。)



さらん(愛狂います。)

ルビ(愛狂います。)

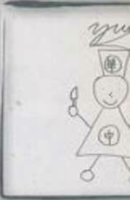
えみる(愛狂います。)

ゆきみ(ユナイト)

ハク(ユナイト)

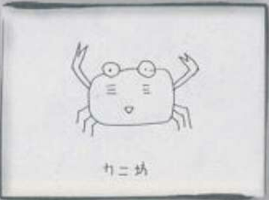
LiN(ユナイト)

椎名未緒(ユナイト)



結(ユ

ラミ(amber gris)



殊(amber gris)

wayne(amber gris)

kaname(amber gris)

手鞠(am

メト(MEJIBRAY)

恋一(MEJIBRAY)

一風(MEJIBRAY)

MiA(MEJIBRAY)

綴(MEJ

nudie.com
杂志迷 zazhimi.com

ソンのブログ オープンしました！

東京店、原宿店、名古屋店、大阪店の日常や情報が満載の「スタッフブログ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-blog/
全スタッフより音源の聴き所などをお伝えする「ヴィジュアル・ソムリエ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-sommelier/

元気を!!

ン HAPPY SUMMER SALE

E SITUATION(ラヴシュエーション)

でも愛があれば大丈夫！今年の夏をさらに楽しくするためにライカエジソンがサマーセールを開催!!
カルチャーを通して日本を元気にするために「何が出来るか」を考え、前代未聞のスペシャルキャンペーンを企画しました！
き「愛の告白」をテーマにした動画をご提供いただきました。
スペシャルDVD『「LOVE SITUATION(ラヴシュエーション)」DVD』を全店、通信販売にて配布します!!!
」を感じてください♥笑

AM11:00よりライカエジソン東京店、名古屋店、大阪店、ライカエジソン ドットコム ラフォーレ原
買い上げ毎にスペシャルDVD『「LOVE SITUATION(ラヴシュエーション)」DVD』をプレゼント!

T、DVD、MT、書籍、グッズ(チケット、予約の前金は対象外になります)
AM11:00からお買い上げ先着にてスペシャルDVD『「LOVE SITU ン(ラヴシュエーション)」DVD』を配布いたします。
電話が繋がりにくくなる可能性がございますのでご了承ください。 、Webサイト

ーン期間：2011年8月5日

数量限定！

気になる参加バンドはこちら！ *50音順

R指定
愛狂います。
IceOAGe
ASTRO BOY
Annie's Black
Anli Pollicino
EAT YOU ALIVE
宇宙戦隊NOIZ
Ap(r)il
<<-EVA->>
エルム
AUBE
Kaya

我蘇道
Cu[be]
己龍
ケミカルピクチャーズ
Called≠Plan
ZUCK
Jackman
シンディケイト
朱
SEX-ANDROID
0801式209336
SOMATIC GUARDIAN
Dali

DaizyStripper
DIAURA
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
DragonWAPPPPPPER
Dolly
NoGoD
Virgil
BugLug
花少年バディーズ
お遊戯会が掻っ怪ぇ[PaRADEiS]
PIECE
Vistlip
HERO

Blu-BiLLioN
POPCORE
Mix speaker's,Inc.
Megaromania
MoNoLith
yuina
ユナイト
Lycaon
Royz
LOST ASH
ワン★スター

都合により収録内容が変更になる可能性がございますので予めご了承ください。

hudie.com

Tour 2011
NUCLEAR FISSION]
2Lサイズフォト

ケミカルピクチャーズ イベントあり
Maxi Single 初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,575
7/27 地球という名の乗り物
★オリジナル特典：(初回)コメントDVD (通常)フォト

DecoLa Hopping イベントあり
CLIP DVD ¥1,575
7/27 七つの海の宝物☆
★オリジナル特典：LIVE DVD

DEATHBIE
Maxi Single
7/27 鮮血のMARIYA
初回限定盤・通常盤 ¥2,100

MERRY イベントあり
Full Album
7/27 Beautiful Freaks
初回限定盤A・B ¥5,250／通常盤 ¥3,360

イベントあり
_world/HELLO
ラッチポストカード

ロマンシング性 イベントあり
Maxi Single
7/27 テクノブレイク番長 ¥1,575
★メーカー特典：性春学園学生書風トレカ

LuLu イベントあり
Maxi Single
7/27 被験者No.049 ¥1,050

DIR EN GREY
Full Album
8/3 DUM SPIRO SPERO
初回限定盤 ¥12,600／通常盤 ¥3,150
★オリジナル特典：(初回)B3ポスター6枚セット (通常)フォト
メーカー特典：B3ポスター

NoGoD
Full Album
8/3 タイトル未定
初回限定盤 ¥3,780／通常盤 ¥3,150

e ¥800

Megaromania イベントあり
Mini Album
8/3 Quintessence Voyage
TYPE A ¥3,990／TYPE B ¥3,360／TYPE C ¥2,940
★オリジナル特典：(TYPE A)5枚組フォト&コメントDVD (TYPE B)集合絵フォト&コメントDVD (TYPE C)5枚組フォト

愛狂います。 イベントあり
Maxi Single
8/10 皇帝ペンギン
初回限定盤 ¥2,415／通常盤 ¥1,890

DIAURA
Mini Album
8/10 DICTATOR TYPE A・B ¥2,940

ヴィデオグラマァ
Maxi Single ¥980
8/10 第3セクター【検証版】

ot.
us ¥525
L FACT ¥1,575

Anli Pollicino
Maxi Single ¥1,365
8/17 Devilish Eyes

Royz イベントあり
Maxi Single
8/17 α
初回限定盤A ¥2,625
初回限定盤B ¥1,890
通常盤C ¥1,575

AYABIE イベントあり
8/24 Maxi Single 流星
初回限定盤A・B ¥1,890／通常盤 ¥1,260

EAT YOU ALIVE イベントあり
Full Album
8/24 The world is mine
初回限定盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,200

ari
編 ¥1,050
0分59秒編 ¥1,050

ゴールデンボンバー イベントあり
Maxi Single
8/24 女々しくて/眠たくて
初回限定盤A・B ¥1,500／通常盤 ¥1,000

SOMATIC GUARDIAN イベントあり
Maxi Single A・Bタイプ ¥1,575
8/24 LOVE&PEACE

HERO イベントあり
Maxi Single
8/24 25億秒の使い方。
初回限定盤A・B ¥1,980／通常盤 ¥1,260

己龍
LIVE DVD ¥4,980
8/31 己龍全国単独巡業「夢幻鳳影」～千秋楽～ 赤坂BLITZ

ワールドオーケストラ
NIGHT
90／通常盤 ¥1,260
HOLIC
90／通常盤 ¥1,260

MILKY EMILY -みるえみ-
Maxi Single
8/31 夢色galaxy ¥1,575

Lycaon イベントあり
Mini Album ¥3,000
8/31 嘘と女と『 』(全国流通盤)

ASTRO BOY イベントあり
Mini Album ¥2,625
9/28 Technologic

ワン★スター イベントあり
Maxi Single ¥2,500
10/12 TETRASCROLL -テトラスクロール-

情報(♣:カメラタイム有り)

(土)	みんな…
(日)	みんな…
(月)	PM… トーク&…手&サイン
(土)	PM2:00～トーク&サイン会
(土)	PM4:00～トーク&サイン
(日)	PM3:00～サイン会
(土)	PM6:00～
(土)	PM5:00～トーク&6ショット撮影会
(日)	PM…
(土)	PM4:00～トーク&握手&サイン会
(土)	PM6:00～トーク&5ショット撮影会(2タイプご購入でさらに2ショット撮影会)
(日)	PM12:00～トーク&握手&5ショット撮影会
(日)	PM4:00～内容未定
(日)	PM6:00～トーク&握手会
(月)	PM6:00～トーク&握手&撮影会
(水)	PM6:00～トーク&握手会
(土)	PM6:00～トーク&握手会
(土)	PM3:00～トーク&サイン会(2タイプご購入でさらに6ショット撮影会)
(日)	PM6:00～2タイプご購入でトーク&サプライズパーティ&撮影会
(土)	PM5:00～トーク&握手&6ショット撮影会
(土)	PM6:00～トーク&握手会+α
(火)	PM5:00～トーク&6ショット撮影会
(土)	PM4:00～トーク&握手&サイン会
(日)	PM5:00～トーク&握手&サイン会
(土)	時間未定 トーク&撮影会

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

spiv states	7/23(土)	AM11:30～撮影会
ISK:M	7/23(土)	PM3:00～1時間店員
R指定	7/25(月)	PM6:00～トーク&握手会+α
DecoLa Hopping	7/28(木)	PM6:30～1時間店員
Mix Speaker's,Inc.	7/29(金)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
Re:dis	7/30(土)	PM4:00～トーク&握手&サイン会
Lycaon	7/30(土)	PM6:00～トーク&2ショット撮影会
BugLug	7/31(日)	時間・内容未定
Blu-BiLLioN	7/31(日)	時間未定 トーク&握手&サイン会(2タイプご購入でさらに?ショット撮影)
NEGA	7/31(日)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
Crack6	7/31(日)	みんな… 会場:名古屋ハートランド(ライブ終演後)
ZUCK	8/ 5(金)	PM2:00～トーク&握手会(2タイプご購入でさらに撮影会)
己龍	8/ 5(金)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
boogieman	8/ 6(土)	PM1:00～トーク&サイン会(2タイプご購入でさらに6ショット撮影会)
ユナイト	8/ 6(土)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
DuelJewel	8/ 9(火)	PM5:00～トーク&握手会
Moran	8/ 9(火)	PM7:00～トーク&握手&サイン会
LuLu	8/16(火)	PM3:00～トーク&握手会
Megaromania	8/17(水)	PM6:30～トーク&握手&6ショット撮影会(2タイプご購入でさらに2ショット撮影)
Royz	8/19(金)	PM6:00～トーク&握手&撮影会
[illegible]	8/20(土)	PM12:00～トーク&握手&撮影会
ゴールデンボンバー	8/20(土)	PM3:00～トーク&握手会
ギルド?	8/20(土)	PM5:00～トーク&握手&5ショット撮影会
AYABIE	8/22(月)	PM1:00～トーク&握手&サイン会
シンディケイト	8/26(金)	PM5:00～トーク&握手&サイン会
ケミカルピクチャーズ	8/26(金)	PM6:30～トーク&握手&6ショット撮影会
EAT YOU ALIVE	8/28(日)	PM3:00～1時間店員
Lycaon	8/31(水)	時間未定 1時間店員
愛狂います。	9/ 4(日)	PM2:00～トーク&5ショット撮影会(2タイプご購入でさらに2ショット撮影)
EAT YOU ALIVE	9/18(日)	PM1:00～トーク&6ショット撮影会
HERO	10/ 9(日)	時間未定:2部制 トーク&撮影会
ワン★スター	10/12(水)	時間未定 1時間店員
ワン★スター	10/15(土)	時間・内容未定

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

宇宙戦隊NOIZ	7/23(土)	PM4:00～トーク&6ショット撮影会
R指定	7/23(土)	PM6:00～トーク&握手会+α
Re:dis	7/24(日)	PM3:00～握手&サイン会
spiv states	7/24(日)	PM7:00～撮影会
BugLug	7/30(土)	時間・内容未定
Blu-BiLLioN	7/30(土)	時間未定 トーク&握手&サイン会(2タイプご購入でさらに?ショット撮影)
Crack6	7/30(土)	みんなは俺の手を知っている!! にぎにぎ握手会 ※会場:OSAKA RUIDO(ライブ終演後)
ギルド	7/31(日)	PM12:00～トーク&握手&5ショット撮影会
boogieman	8/ 6(土)	PM5:00～トーク&サイン会(2タイプご購入でさらに6ショット撮影会)
NEGA	8/ 7(日)	PM2:00～トーク&握手&サイン会
ユナイト	8/13(土)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
ZUCK	8/15(月)	PM2:00～トーク&握手&サプライズパーティ
己龍	8/15(月)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
LuLu	8/17(水)	PM3:00～トーク&握手会
DuelJewel	8/18(木)	PM5:00～トーク&握手会
Moran	8/18(木)	PM7:00～トーク&握手&サイン会
Megaromania	8/20(土)	PM2:00～トーク&握手&6ショット撮影会(2タイプご購入でさらに2ショット撮影)
NoGoD	8/21(日)	PM1:00～トーク&握手会
Royz	8/25(木)	PM1:00～トーク&握手&サイン会
ケミカルピクチャーズ	8/25(木)	PM3:00～トーク&握手&6ショット撮影会
AYABIE	8/26(金)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
EAT YOU ALIVE	8/27(土)	PM3:00～1時間店員
シンディケイト	8/28(日)	AM11:30～トーク&握手&サイン会
愛狂います。	9/ 3(土)	PM2:00～トーク&5ショット撮影会(2タイプご購入でさらに2ショット撮影)
AGE of PUNK	9/17(土)	時間未定 トーク&サイン会
HERO	9/18(日)	時間未定:2部制 トーク&撮影会
EAT YOU ALIVE	10/ 未定	時間未定 トーク&6ショット撮影会

Like an Edison Release Information

Like an Edison presents LIVE
150名限定ライヴ 3

OZ

Royz

EAT YOU ALIVE

7月23日(土) 池袋BLACK HOLE
*5月21日(土)よりライカエジソン東京店、ローソンチケット(Lコード:77661)にて先行発売！
ライカエジソンでのご購入は発売初日のみ電話予約が必要です。

7月30日(土) 大阪FAN-J
*5月21日(土)よりライカエジソン大阪店、ローソンチケット(Lコード:59140)にて先行発売！
ライカエジソンでのご購入は発売初日のみ電話予約が必要です。

7月31日(土) 名古屋ell.SIZE
*5月21日(土)よりライカエジソン東京店、ローソンチケット(Lコード:42427)、
チケットぴあ(Pコード:139-048)にて先行発売！ ライカエジソンでのご購入は発売初日のみ

■ライカエジソンディストリビューション 今月のおすすめ

※価

Lycaon
Mini Album ¥3,000
8/31 嘘と女と『 』(全国流通盤)
イベントあり

yuina
Maxi Single ¥1,050
7/27 hurry_new_world/HE
★メーカー特典：スクラッチポストカード

EAT YOU ALIVE
イベントあり
Full Album
8/24 The world is mine
初回限定盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,200

ASTRO BOY
Mini Album
9/28 Technologic ¥

ロマンシング性
イベントあり
Maxi Single
7/27 テクノブレイク番長 ¥1,575
★メーカー特典：性春学園学生書風トレカ

D'eiz
Maxi Single
8/3 evoke ¥800

ヴィデオグラマァ
Maxi Single
8/10 第3セクター【検証版】 ¥980

MILKY EMILY-みるえみ-
Maxi Single ¥1,575
8/31 夢色galaxy

ワン★スタ
イベントあり
Maxi Single ¥2,500
10/12 TETRASCROLL

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3706

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

ライカエジソン通販改革！

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！
*代金引換の場合は手数料が別途300円

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

★ライカエジソンドットコム
ラフォーレ原宿店 イベント情報

hudie.com

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

from 彩冷えるの ヒナタごっこ 第64回

も夏がやってきました!! 連日、
ますが、みんなバテてはいませ
もうバテバテです。
受け「節電」が例年以上に僕ら
る訳ですが、一番電力を使用す
その夏に一番電力を使用するの
リクーラー。この暑さをクーラー
り切るために色んな商品が登場

や身体に貼る「冷えピタ」をは
射して体温に反応しヒンヤリす
プのものであったり、寝具でも
られるものがどんどん登場して
しつつ、こういう「涼グッズ」
ことによって経済も回るから、
ゃないかとは思うけれど、さす
頼るだけではとても乗り切れそ
年の夏。だって6月ですでに40℃
している訳で。これが8月になっ
で気温が上昇するのやら…考え
体内からもパワーを得ないとい
とやはりさっぱりとした「そう
麦」なんかを食べることが多い

とは思いますが、もっと体力が付くものをたまには食べないといけない。「焼き肉」とかね!! 夏場の焼き肉なんて想像するだけで暑くなっちゃいますが、やっぱり体力つくものは食べないと!! プラス体温を下げる瓜科の食べ物「スイカ」とか「メロン」とかを食べるのもいいでしょう！ キュウリを丸ごとお味噌につけてかじるのが僕は好き。キュウリも瓜科だから体温下げますよ!!

音楽家なので聴覚からも涼を感じる術を述べるとしたら、やっぱり「風鈴の音」なんじゃないでしょうか？ 最近では風鈴があるお家をあまり見かけませんが、玄関先とかに風鈴をかけて、生温い風に揺れ奏でるその何とも儚げな音色はどこか涼しさを感じますよね。その他だと氷を削る音とか、ガラス窓に爪を立てて「ギーギー」させてみるとかね。後半ちょっと違う方向に行ってしまいましたが（笑）、でもなんか体温下がりません？ イライラして逆に体温上がっちゃうかな…。

あとは、稲川淳二さんの怪談DVDを観たりとかね。肝試しとかもいいでしょう。

色んな夏の涼しい過ごし方があると思いますが、上記した半分以上が昔からあるもの。文明がいくら発達したとしても、昔から人々が涼しく夏を過ごすためにしてきたことというのは今の時代でもじゅうぶん効果的なのです。

今の時代、ほとんどが電力使用による便利化が進む中で、その電力ありきの日々を生きている僕らが電力使用が不自由になってしまったら…。そんな現状はきっと少し時代を巻き戻したような状態なんでしょう。そこまで電力がメインではなかった頃に。その頃生きていた方々からすると、なんの不便でもないと思いますが、電力がある日々に慣れている今の方々からするととっても不便。これを機に電力使用と自分の生活を考えることができると思います。そこまで電力を使用しなくても、それなりに快適に過ごせる術は必ずあるんです。そのことを家族で、ご両親、おじいさんおばあさんと話す機会とするのもとてもいいことだと思います。

話は食べ物の行に戻るのですが、夏場は僕、食欲がなくなってそうめんばっか食べて痩せてしまうんです。ちょうどここ最近制作期間が続いて、身体を動かさずに食べてばっかでちょっと丸くなってきてたからちょうどいいのかな。でも、しっかりご飯を食べないと。水分もね。

あとは夏をじゅうぶんに楽しむことでしょうか。海や山で楽しむ夏、お友達や家族、恋人と新たな夏の素敵な想い出を。「仕事の夏」な人もいると思います。それはそれで「今年の夏は本当に頑張っていい成果を残せたぜ!!」って夏の終わりに誇れるように。受験を控えてる方は「勉強の夏」かな。みんなが遊んでいる間にしっかり勉強してその成果を試験で出せるように頑張ろうね！

僕の夏はレコーディングや9月から始まるツアーの準備で終ってしまいそうです。でも、なんとか1回くらいは海に行きたいな。みんなはどんな夏を過ごされるのかな？

夏はこの紙面を飾っているバンドさんみんな大変な季節です。メイクがすぐ崩れるから。楽屋でメイクしてステージに登場するまでに汗かいちゃってせっかく綺麗にメイクしてもらったのに崩れてしまったりとかね。でも、それもライヴ。たとえ一曲目でメイクがぐちゃぐちゃになっても愛してあげてくださいね。そしてフロアも灼熱状態なことでしょう。みんなに対しても同じことでメイクばっちりなみんなも素敵ですが、汗だくになってライヴを楽しんでる笑顔を観るとステージ上の演者はみんなテンション上がるんです。嬉しいんだよ。だからMCのタイミングで鏡を出してメイクを直さないで、しっかりとメンバーのMCを聞いてあげてくださいね（笑）。MCで喋ってるのにメイクを必死に直している方を見かけるとちょっと寂しい。今年の夏もたくさんのライヴイベントがあると思います。「ライヴ三昧の夏」それもいいでしょう。エネルギーを放出しつつ音楽からエネルギーを得て笑顔になって。そんな音楽を僕も早くみんなと奏でにいきたい。早くツアーが始まらないかな。

それでは素敵な夏をお過ごしください。

魔よけ

お題6：パンダ

著者近影

ノにしよう」とのマネージャー氏
日上野に来園したパンダを描いて
…が、ここへ来てミヤ画伯のアタ
らなくなったような…（笑）。

LM.Cの YouTubeで検索してみた。 新連載

第一回目のお題【星の在処。】

［ルール説明］

あるキーワードを決めてYouTubeで検索→トップの映像から、関連映像を検索し続け→30分以内にいかに衝撃映像に出逢えるか、奇跡をひたすら待つ企画です。

Ⓐｉｊｉ：お題のキーワードをYouTubeで検索して、再生回数の多い映像を見て話していくという、先が不安になる連載が始まりましたが…一回目という事で今月27日に発売する我々のシングルタイトルの"星の在処"で検索したら、[札幌大学のYOSAKOI] の映像が出てきたと。…サブ・タイトルの"共に生きる輝き"って、すげー「星の在処。」っぽいよ？（笑）

ⓜａｙａ：とりあえず、見てみます？（と鑑賞）

Ⓐ見た感じ、札幌大学のYOSAKOI祭りの開幕式なんだ。…"ヨサコイ"ってそもそも何なんだろうね？

ⓜお祭りの名前？

Ⓐ創作ダンスをするお祭りなの？

ⓜ調べます？（iPadで検索）"高知県"って書いてありますよ？"夜にいらっしゃい"っていう……

編集：それは本当の"意味"ですね（笑）。

Ⓐでもこれ、伝統的な踊りなら分かるけど、完全な創作じゃん？ どの辺がソーラン節？

㋮ネージャー：「金八先生」でやったのが始まりなんじゃない？（『金八』シリーズの映像を鑑賞）

ⓜ"南中ソーラン"っていうのが、"ロック・ソーラン"の最初みたいですよ。『金八』は南中ソーランを取り上げたらしいっす。（"南中ソーラン"の動画を検索）

Ⓐ22万回もプレビューされてる！（さらに検索結果一覧を見て）あ、これどう？「世界でいちばんダサいソーラン節」。

一同：（爆笑）

ⓜ外国人!?（笑）

Ⓐこれはダサいね!!（笑）でも、これを見ちゃうと、"世界一のソーラン節"は何なんだろうって思うよね？

㋮（"世界一"で検索）あ、ナゾが解けた！「世界でいちばんダサいPV」。

一同：さっきと映像が同じだ!!（爆笑）

ⓜさっきのがニセモノだったわけですよね。"世界一ダサいPV映像"に"ソーラン節"の曲をあてただけですね（笑）。

(編)あれ？"世界でいちばんダサいPV"シリーズにSHAZNAの「Melty Love」…？（と鑑賞）

一同：…あれ!?（笑）アレンジ入ってる？（「Melty Love」に合わせた違う映像だった）

Ⓐわ、口が合ってる！（笑）

ⓜ案外早く、ヴィジュアル系に繋がりましたね（笑）。

(編)同じ映像でMALICE MIZERでも作られてますよ？

ⓜそんなにうまくいくわけないですよねぇ。（と鑑賞）

一同：キタ！ こっちも合ってる!!（笑）

ⓜウチももっと頑張りたいですね。これに使われるぐらいに（笑）。

Ⓐ「cosmology」とかピッタリ来ると思うよ（笑）。これは良かったよ！（拍手）

今月の着地点:「世界でいちばんダサいPV」シリーズ／MALICE MIZER「月下の夜想曲」編
http://www.youtube.com/watch?v=2LnNtpdSMgM&playnext=1&list=PL062954B9D48B4E55

本日のスウィーツ:
Cajuの果実 焼き
込んだチー ーキ
※ほに 終え
ら閃きまし 。

杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网

THE KIDDIE 佑聖

第26回

絶頂モンスターハイゲイン☆

どうも海が開いたら佑聖です（・。・）

今年は短髪にする男性が多いようですが、そんな流れに乗ってなのか僕も10年ぶりぐらいにだいぶ短くしてみました。

あまりに切りまくったので、事務所の先輩に気づいてもらえなかったというせつないエピソードもありますが、普段生活するうえでは最高に快適です。

だって1分で髪乾いちゃうんだぜ!! そう考えると女性の人たちは大変だなーって思ったね。

最近思うんだけど、みなさん結構体重とか気にしたりするでしょ？ ○○キロ増えたーとか痩せたーとかさ、すごく気になるんだけど女性ってその長い髪の毛も体重にカウントされてるんでしょ？ 最近思うことシリーズダントツナンバー1なんだけどその髪の毛だけで何キロあるのかなーって思う。なんかなんとなく損した気分になっちゃうな俺だったら!!

実は僕も最近体重を減らしたくて…と言っても何もしてないんだけど、俺って太りにくく痩せにくい体質みたいなので、
一回痩せてみたいんだよねって一年中言ってるのだけれど、なんだけれどもみたいな感じなのだけれども。

走ることが嫌いなのでなかなか実行できないのだよね。けど今年はそういう避けてきたことに挑戦していこうって思ってるので、夏のツアーまでにがんばってみようかなって思ったり思ってなかったり。

と、いうかこの号が出る頃には夏のツアー目前じゃないか!!

今年の夏ツアーはタイトルのスパーキングって入ってるくらいかましてやろうって思ってるので体力作りひっそり応援してててね。たぶんやらないけど。いや、やる!! かも!! がんばる!!

あと最近10年以上ぶりに歯医者に行ってみました。感想めちゃくちゃ痛かった。

今年は10年ぶりのことが多いな。あと10年ぶりなのはなんだろう？

ドッヂボールとかやりたいかな（・。・）

さて、先月の問題
STNDRDT□
□に入る言葉は、Hでした!!
1st、2nd、3rd、4thとなるからだ!!

今月の問題!!
タイム　　にあって　時間にない
マカロニ　にあって　グラタンに無い
タトゥー　にあって　刺青に無い
メリット　にあって　シャンプーに無い

これなんじゃ!!

じゃらんば。

第40回

夢のぐるぐる大回転

アーティストがつなぐ、リレー連載☆

KENZO (AYABIE)『この夏、日焼けを気にせず行くとしたら山？ 海？ 理由もよろしく！』➡佑聖 (THE KIDDIE)

はい、バトンきました～。
どうも、AYABIEのケンゾーです。

DREAM THEATER好きつながりで、摩天楼オペラの燿くんからお題がきたわけですが……

えっ？ なに？

『この夏、日焼けを気にせず行くとしたら山？ 海？』

だと!?

正解は両方行っちゃう！

海も山も好きじゃないけど嫌いじゃないし。
うん。
どっちも行っちまおう。

ひと前まで海って好きじゃなかったんだけど、沖縄行ってから急に好きになったんだよね！
やっぱなんでもいいものにふれると、同じ物や事でも全然違うよね！

さて、そんなあたしが所属するバンドAYABIEは、現在メジャー1stシングルの制作に取り組んでいるのだが、はっきりいって………

良い！

いいものができとる。

知ってる方も知らない方も、是非聞いていただきたいものだ。

これからツアーも始まるし、今年はみんなと最高の夏が過ごせる予感☆

そういえばDEATHBIEとかいうバンドが本格始動するみたいだね！

一体どんな奴らで、どんなバンドなのか…。今から楽しみだね！

さて、次はこのバトンを誰に渡そうか…。

あっ！ 決めた!!

THE KIDDIEの佑聖たんにしよう！

普段からよく一緒にいるし（笑）。

え～お題はねぇ～……

『好きな国BEST3!!』
国内外問わず。
あっ、理由もねっ!!

よろしこ！

じゃあまたいつか☆

ケンゾーでした!!

第十四回 リョヲ丞

少女-ロリヰタ-23区 THE コラム

「17歳の宝島」

ベースのリョヲ丞です!!
先日、高校生の頃に書いた詩を見つけてしまった。とっても恥ずかしいけど、せっかくの機会なんで載せてみる。

神様、僕にS2機関を下さい。
食べなくても眠らなくても永久に稼働する精神を下さい。

正しい歌の作り方。
誰か、誰か僕に声を下さい。

僕は僕が作ったキャンディーなんてもうちっとも甘くて美味しいなんて思えない。
飴をちょうだい。飴をいっぱいいっぱい僕にちょうだい。
お腹いっぱいのサンドイッチちょうだい。
ビスケットとチョコレートもちょうだい。
画用紙いっぱいにクレヨンで描きなぐったお菓子の山じゃもう何も感じないんだ。

僕はまるで壊血病に苦しむ海賊だ。

「宝島はどこだ一体どこなんだ!?」

だけど気がつけばいつもいつもカモメやクラゲやトビウオが波の隙間から囁き続けるんだ。

「そんなものはどこにもない」
「あってもお前にゃ見つけられない」
「そんな地図なんて偽物だ」
「海賊のできそこない」
「その航路は間違いだ。お前はいつでも判断ミスだ」
「なんだこのボロ船は」
「そもそも海賊帽が似合ってない」

そんな時は夜空いっぱい
賊船の先っちょで頭を
いつも自分に言い聞かせ

「ヨーホーおいらは海賊
海賊王ヨーホーおいらは
おいらは海賊王ヨーホー
ホーおいらは海賊王ヨー
海賊王ヨーホーおいらは
らは海賊王ヨーホーおい
ホーおいらは海賊王ヨ
王」

ヨーホーおいらは海賊王

17歳の自分へ。

大丈夫、まだまだ宝島は
航海は続いているよ。

素晴らしい仲間たちと
れているよ。

そう、正に人生とは航

【少女-ロリヰタ-23区の
9.23に赤坂BLITZでワン

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第89回 先月

毎日暑い…。この原稿を書いてる今はニューシングル発売直前で、ツアーも始まってないのですが、これを皆が読む頃にはもうツアーも半分近く終ってて、もちろんシングルも出てて…。

つまり、何が言いたいのかというと、「何を書いていいのか悩むよね。」ってことかな（何年やってんねん！）

なので終った話にはなりますが、今日までの事でも書こう。

先月もすこし書いたけど、6月は毎週月曜日ツーマン企画ってのをやってんけど、平日にも関わらず、どの週も好評で僕ら的にも、お客様的にも凄く意味のある企画になったんじゃないかな？

ほんと、またこの企画やろう！って単純に思えたし、これから始まるツアーに向けても色んな課題も見えた。こんなに打ち上げした月も珍しいかも（笑）。

お酒をたくさん飲んだ6月。
酒といえば、よく言われるのが、「あれ、お酒飲めたっけ？」って言葉。おそらくもう200,000回は言われてます。その度、いやぁ、普段はあんまり飲まないしめちゃくちゃ好きって訳でもなくて、[illegible]飲めないとかじゃなくて、状況によっては普通に飲むしなんたらかんたら……。

っていうのも面倒くさ
よ！ でええやんって
は好きかどうかわから
大好きです！

さて、今年もパーソナ
だきましたが、去年と
ナチュラルな感じで撮
撮影だといつもしっか
ので、逆に貴重な写真
ブログ等で素はがんが
こうやって改めて素を
こし恥ずかしかったり
が撮れたと思うので是

そんな充実の6月、来月
トに、それ以上に濃い

ほな、ツアーで！

zazhimi.com
hudie.com

D'espairsRay マニアの覗き穴

最終回

気付けば早くも9年か～。
そんなにやってるイメージないけど、毎回締切を迫られるというプレッシャーに合ってたのは鮮明に憶えてます（笑）。
書いてる事はほとんどくだらない内容だったかもだけど、このプレッシャーが4人を成長させたんだと思います。
読者の皆さん、ありがとうございました。こんな4人を今後ともよろしくね。

HIZUMI

この連載は長かった分、色んな事を書きました。
時には小説のような事も書きました。
何もないところから何かを無理矢理考えだす、そんな感じは曲作り以外あまり無い事で、この連載のおかげで作詞が出来るまでになりました。
ってのは言い過ぎだけど（笑）、何かしら良いきっかけになっていたと本気で思います。
長い間マニアックな連載にお付き合い頂き、ありがとうございました。

Karyu

D'espairsRayの解散に伴い、この連載にてマニアの覗き穴は最終回とさせて頂きます。
沢山くだらない事を書きました。
時には真面目な事を書いた事もありました。
そんな約９年間にも及ぶ連載になりましたが、マニアの覗き穴を応援いただき、皆様本当にありがとうございました。

ZERO

みなさん、マニアの覗き穴を長い間見てくれてありがとうございました。
連載は終了という事になりますが、これからは心の覗き穴で僕達の事を応援していてください。
心でまた覗き覗かれてお互いに励ましあっていけたらなとおもいます。
ショックスのみなさんも、本当にありがとうございました。

TSUKASA

Speaker's, Inc. seekの凡人水族園 第百十二回

s,Inc.としては初の海外。そ
となる久しぶりのアメリカ
な旅となった。「トランクー
へin the sky」した僕はワ
に成長していた。
よい疲労感で眠りにつきた
旅の思い出を感じながら汚れ
けるべく荷を解こうとした。
た。トランクの鍵が閉まっ
確か鍵はトランクの内側ポ
いた筈。という事は紛れもな
ランクの中には旅の思い出と
てきたバンドの映像、写真そ
。そして洗濯物が入ってい
いに慌てた。取り敢えず家の
してみたが名案浮かぶ筈も
フォメーション」へと電話を
らかく対応してくれた係の人
ロックですね」と教えてくれ

た。思えば此処が悪夢の始まりだった。すんなりと成田鍵屋を紹介され電話をかける。成田鍵屋さんはまたしても物腰柔らかく「開けますよー。お代は一万二千円になります。」と仰った。ここでふとした疑問が湧いてきた。TSAロックとは0911事件以降アメリカが行っている検査で鍵を掛けたまま荷物を預けても合鍵で開けて中身を調べるというものである。其処までは僕も知っていた。[illegible]鍵を開けたまま荷物を預けたのである。[illegible]が閉められたまま手元に戻ってきた。怪しいものは入っていませんよと鍵を開けたまま荷物を預け、鍵を閉められて戻ってきたトランクを、僕は成田インフォメーションの指示に従い鍵屋で一万二千円を支払い開封する。これはおかしな話である。再度疑問を糾すべく成田インフォメーションに電話すると「然様でしたか。それは申し訳ございませんでした。それでは航空会社の方に」と再び物腰柔らかく案内された。それを受け継いだ航空会社インフォメーションの方も非常に優しく「成る程ですね。但しこちらの電話番号ではその問題は取り扱っていませんので、次の電話番号までお掛け下さい」と言うのだ。これで万事解決と思った僕が甘かった。なんと電話が繋がらないのだ。そして更に驚く事に、電話番号教えてくれた航空会社インフォメーションも繋がらないのである。此処に来て完全な[illegible]に陥った。
約二時間物腰柔らかくタライ回しを繰り返された挙句の果てに繋がらなくなった電話。僕は行き場を無くし電話を持ち只只立ち尽くす。まるで安部公房の小説の世界の様な不条理。トランクは開くのか。僕の未来は。行く末は。気になる続きは次号へ。
今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

Moran Hitomiの「瞳孔反射」 第40回

「音」

例の、これは音に関する話。
な音と言うのがある。黒板を
お皿にスプーンやフォークが
なんかもう書いてるだけで
わ……うぎゃぁぁぁぁぁ」っ
く聞いたのが、携帯電話で地
震時になる音、あれも確かに
まりに敏感すぎて鳴らない設定
いたけど、鳴らなかったら
いざという時危ないんじゃ
ど、実際あの警告って鳴って
に地震が来るから、結局非難
来なくて、せいぜい出来るの
いなもんだし、鳴らない設定、
った。
するときにクチャクチャ音を
が許せないって話をよく聞く
は正直よく解らなかった…。

比較的最近までは…。
回転寿司を食べに行った時、隣に座っていた50歳位のサラリーマン風のおじさんが、すっごいクチャクチャ五月蝿くて、大好きなツナ軍艦を食べてても、大好きなイクラ軍艦食べても、全然美味しいと感じられないくらい不快で不快で、確かにこれは無理だとわかった。きっと今までそういう風に食べる人が周りに一人もいなかったんだろう。だからあの不快さに気付いてなかったのだ。実は俺も幼いころ、母親に注意された記憶があって、直してもらって本当に良かった。
さて、それで俺が最も苦手かもしれない音の話。実はインターホンのピンポ～ンという音が猛烈に嫌いである。事前に来客がある事がわかっていて心構えが出来ていれば、まだ大丈夫なのだが、そうでない場合、凄くドキッとしてしまう。本当に心臓に悪いくらいと感じるくらいドキドキしてしまう。それには小学校の時の体験が色々と影響している。
うちは幼いころに両親が離婚していて、平日は朝から晩まで、家には弟と俺だけで、病気などして学校を休むと、日中は一人きりになった。平日の昼間、学校を休んで家にいる時間が実はとても好きで、「笑っていいとも」を見てるだけで、なんだかとっても得をした気持ちになれた。ところがある時、そんな些細な幸せの時間をぶち壊す、不審な電話がかかってきた。それは割と歳のいった大人の女性からの電話で唐突に「今親はいる？」と聞いてきて「仕事なのでいません」と答えると「お前の家族は呪われている」とか「もう親は帰ってこない」とかそんな事をひたすら言ってきて、何せまだ小学生だった俺は、もう怖くて怖くて、しばらくは黙って聞いていたのだが、一方的に電話を切った。切った直後も何度か電話が鳴ったが、当然取らなかった。するとそれから１～２時間後、今度は家のインターホンが鳴った。「ピンポ～ン、ピンポンピンポ～ン」数回にわたり大きな音がなり、覗き穴から外を確認しに行こうか迷ったのだが、恐ろしくて結局覗きには行けなかった…。
このいたずら電話はそれからも、必ず親のいない時間を狙って、数年にわたりかかかって来た。やがて中学生くらいになると、その電話に対する恐怖心も消え、「またてめぇかよ、いいかげんにしろよ」などと、こっちも言い返すようになってきた。この電話は弟も何度か取っていて、弟は俺よりもっと柄悪く「ぶっ殺すぞ」などと言っていたとか。
それ以来、電話の音に対する恐怖心はすぐに消えていったのだが、なぜかインターホンの鳴る音だけは、ドキッとする癖がついてしまったようで、大人になっても一向に治らない。これはもう俺のトラウマになってしまったのかもしれない。
最後に、全く関係ないが、音の話ついでに、もうひとつ。俺は家の中でよくものをなくすのだが、その都度、鳴らせたらいいのにと思ってしまう。携帯電話が見つからない時、俺はPCからメールを送って携帯を鳴らす。それで何処にあるかすぐに見つけられるからだ。で、この鳴らせたらいいのにという発想に行きつくわけだ。俺が特に鳴らせたらいいなぁと思う物はリモコン‼　テレビやDVD、エアコンそれぞれの本体に、リモコンを鳴らせるボタンが付いていれば、絶対に便利だと思う。これは家電メーカーにプレゼンしたい位のアイデアだと思うんだけど、どうかな??
あとは眼鏡ね…目の悪い人なら、きっとわかってくれるはず。俺くらい視力が低いと、目の前にあっても見つけられないからね。客観的に見たら、ギャグみたいな姿だよ、ほんと…。そんな時、鳴らしたいんだよ。

蝴蝶网 hudie.com

ギルガメッシュ 第14回■弐■

CRAZY-CHAIN

こんにちは弐です。

いや～毎日本当に暑くて外出するにも個人的には一苦労なそんな夏なんですが、皆さん熱射病とかにかからないように気をつけてくださいね！
水分補給は十分に！

そして夏といえば「海」!! 去年はメンバーとスタッフで船釣りにしてから海で遊んでそのあとバーベキューして凄く楽しかったな～…。
今年も行けるといいな。プライベートで一番楽しみにしてるイベントなんで！（笑）

海で遊ぶのも好きだけど、プールも大好きなんですよ！
中学生の頃、夏休みになると「ワイルドブルーヨコハマ」というプールに絶対に行ってました。
あそこはすっっっっごく楽しいところだったのに今は閉園してしまって本当に残念です…。
そして最近は「ナガシマスパーランド」に行きたくてたまりません!!
車で大阪に向かう途中にあるので、いつもあそこに立ち寄りたいと思うんですよね。
ウォータースライダーもたくさんあるし、すぐ隣では遊園地もあるし、まさに一石二鳥の夢の楽園ですー！ ホテルもすぐ近くにあるみたいで、今回のギルガメッシュ旅行ここに行きたいな…切実に。

ちなみに絶叫系の乗り物は苦手な方で、過去にジェットコースターとタワーハッカーを乗ったときのあの恐怖はいまだに忘れられません。
落ちるときのフワッとするあの感覚が凄く怖くて嫌なんです。
あれを好きで何回も乗れる人が凄くうらやましいです（笑）。

しかーし!!

それでも行きたくなる遊園地は最高です。
「ここの遊園地、プールは最高だ！」っていうのがあるなら是非教えてくださいね！

heidi.

『ハイジのアルプス

暑くなってきましたね!!
暑いのだけは大の苦手なんですよ!!

でもお風呂上がりのコーラは本当に美味しい季節だとは思います!!

そういえばこれが出る頃にはもう行った後になっちゃうけどheidi.初の海外公演に行ってきます!!

今まさに出発直前 やっ ね！

ついで言うと人生初の 外でもあ ！！

ついで言うと飛行機 なり

アメリカってどんな感じなんだろう。

LAって（言ってみたいだけ）24の舞台になってる所だよね。

なんかそれだけでドキドキします（笑）

予想としては多分初めて東京に出てきて渋谷に行った時の感じに近いんじゃないかと！（栃木県出身）

ここが天下の渋谷かぁ～！
ここが天下のロサンゼルスかぁ～!!!

まぁ人間見たことない世界を観る事はとても大事な事だと思うんですよ。

第27回：コー

アメリカどこだろって
久しぶりに世界地図ま
地球ってでっけーな（

レッツ、フライト♪♪

じゃ、またね!!

通好みの集う店
Flower Record の広告
tel 03-5380-3505
fax 042-563-7793
mail:apples@flower-record.com

がんばれ日本と言われても、がんばり過ぎた報いがこれだ!!誰も耳を貸さなかった、20年前にKIYOSHIが歌った「原発反対」の唄!!レコード会社に拒否されて、おかげで福島は第2のチェルノブイリ!安全性より収益性!!こんな日本に誰がした!!FLOWER RECORDは栗原の意思を継いで、さらに営業は続きます。

FLOWER RECORD
164-0001 東京都中野区中野5-59-1 興亜ビル305
tel 03-5380-3505 fax 042-563-7793
mail:apples@flower-record.com
URL:http://www.flower-record.com

木曜定休
11:30～21:00
出張買取で20:00に閉める場合も有

東京近郊の配布物・会場限定物取得代行
地方の方でも、配布・会場限定CD,デモ、ビデオ、DVD等が、リーズナブルな値段で手に入ります。お気軽にお申し付けください。

リサーチ お探しのアイテムをお申し付けください。優しいスタッフがあなたのご要望に親身になってお答えします。Wants List 大歓迎。在庫の無いものも、入荷次第、お知らせします。

通信販売 全国どこへでもお届けします。TEL、ハガキ、封書、FAX、E-メールにてお問い合わせください。在庫確認後、代引、口座振込、現金書留にてお承ります。

ホーム… 完成ながら… できない量… 取等の情報…

今月の貴重盤

【ガゼット】2009.03シングルデモ（プロモ別ヴァージョンCD）,ディスオーダー（プロモCD,「十四歳のナイフ」収録）,センチメンタル..百鬼夜行（ビデオ）【シド】吉…
MD）【摩天楼オペラ】アルカロイド...（CD）【カリガリ】解体（限定DVDボックス）,再教育（2CD+DVD）,【【 】】（限定CD+写真+T-シャツ+缶バッチ+手提げ…
ム）【ノイズ】イミテーションポップ（CD）【ディルアングレイ】ヨーロッパ配布CD-ROM【INORAN】アナザールーム（DVD）【ラルクアンシエル】配布ビデオ（…
也】プライベートルーム（会場限定CD）【ニュークリッドロマンス】'92～'00ヒストリー（CD）【ムック】カヴァーパレード（CD）【エックスジャパン】インディーズ…
エヴァーラヴ（YOSHIKI直筆サイン入り限定ナンバー入りシルクスクリーン）,会報1号【TAIJI】直筆サイン入り写真セット・音風CD【ダミーズチルドレン】デモ各…
ト】'01ゼップ東京（ビデオ）【サッズ】アンタイトルド（会場CD）【スラットバンクス】ビデオ,配布DVD【覇叉羅】Vajra（デモ）【V.A】ナーヴァスナイト（ビデオ,マリ…

ヴィジュアル系アイテム、高価買取させていただき…

中古CD, DVD, デモテープ, ビデオ, レコード, アーティストグッズ, 本その他 80年代から現在まで！
★特に、業界もの、配布もの、会場限定もの、限定枚数の少ないもの、発禁もの、前身バンドのものは、…
査定!!!! その他、カヴァーポップス、GS、日本のロック・フォーク、日本のジャズ、ニューミュージック…
ポップ、J-ロック、日本パンク全般（初期パンク、ハードコア、Oi／スキンズ、ネオモッズ、メロコア、ス…
トコア他）、日本のネオロカ・サイコビリー、日本のヘヴィーメタル、サントラ...etc. ロック中心に洋楽…

買取り強化月間継続!! あなたの聴かなくなった貴重盤・他をお売りください。プレス枚数が500枚以下のものは、特別査定!!TEL、ハガキ、封書、FAX、E-メールにての大まかな査定もOK！送金は、口座振込み、現金書留にて！

宅配便買取 郵便・宅配便にて、ドシドシ送ってください。1枚からでもOKです！もし、CDアルバム20枚以上、もしくは、当店の高価買取例のアイテムが含まれる場合は、送料着払いOKです。なるたけ早めの査定後、連絡させていただきます。

出張買取 東京近郊… 山梨 etc.… 貴重盤放… 無料でお… 軽にお問…

今月の万単位買取例 ★ 本気です

【Xジャパン】'85ライヴデモ,配布デモ、配布ビデオ2種,X現る（ビデオ）,直筆サインもの,スタッフオンリーグッズ,インディーズ時代のもの大歓迎!!【SUGIZO】プ…
ジェ】キッズブルー（プレゼントビデオ）,デモ各種,FC限定DVD,プロモ【ジャンヌダルク】1stデモ、配布ビデオ【シド】吉開学（初回MD）【シュラ】DE L.（ビデオ）【…
【YUKIYA】ソロデモ【黒夢】サス4・ダブルベッド、ガーネット、レッドカーペットのデモ【ラルクアンシエル】4thアヴェニュー、前身バンドのデモ【ラピュータ】サディス…
ラドキシカル（ビデオ）【ルナシー】デモ各種【マリスミゼル・摩天楼・キャインスフィール】デモ各種,ビデコン用ビデオ【マインカンプ】スピーダー（緑ジャケ7"）…
夢・月…（デモ）【シャムシェイド】配布CDS【V. A】ヘヴィーメタルギターバトル（CD,帯付）【松川敏也】バーニング（CD,帯付）

今月の高価買取例

【アンド】蜘蛛【BE≒LUNA】音源すべて【ベルリン】ニーザー【カリガリ】第5実験室（CD）,第2実験室（6曲入りデモ）,極秘（FC限定CDS）【フロート】蒼の休日…
プDVD2種【カリメロ】ノスタルジー【D】アリス【ダミーチルドレン】ミスターピップ 他【毒殺テロリスト】CD各種【ゴールデンボンバー】恋愛宗教論、ゴール…
アワー【ガゼット】別れ道、午前0時、14歳、泥だらけ【リンチ】グリーディ..（CD）【デスゲイズ】29403、ダウナー、配布、会場CD各種【ベリー】白痴、ブラッドフ…
ELUHI)】サヴェイランス【デュエルジュエル】ノア、ラピダリー【電脳オヴラアト】LOVE 2010【イクジットトレイス】レアもの【アンミュレ】配布CD・デモ【ギフ…
ユ】無配型円盤【ハイジ】夕焼けと子供【ジェジジョンソン】ミルクミックス他レアもの【犬神サーカス団】デモ,御霊前,詩集【Mix Speaker's,Inc.】シンデレラ…
ム】ヤプー..（CD）【陰陽座】前身バンド「空想科学病人紙とメモ紙」「ロオレライ」のデモ【PABLO HONEY】彩色蜂蜜パレット【ルドルフシュタイナー】デモ…
なぎ+帽子【SECIR】妄想と夢、Feather、twilight7【シンティケイト】流星【ヴィヴィッド】テイクオフ（CD）【V. A】ホットインディーズベストセレクション（CD）

【アイオン】デモ、BOOTLEG7.8（ビデオ）,ヒストリー（プレゼントビデオ）,イースター（CD）【アフターイメージ】配布ビデオ各種【ベビーシッター】配布デモ、空し…
D）【バクチク】FC限定DVD,トゥーサーチ（プレゼントCD）,FULL VOLUME（ミニコミ）【グニュツール】パンフ、配布もの【ティープ】ライヴビデオ【デザピエ】…
ーツ】ラストライヴ（ビデオ+本）【デルスキュエル】麻酔【フェリア】終焉の響（CD）【ガーゴイル】クレイジーサディズム（デモ）,フューチャー..（完全版）【ルイマ…
C限定DVD【ジェリーベリー】マザークライシス（CDR）【かまいたち】デモ各種【黒夢】アンダー（配布ビデオ）【ラレーヌ】1stデモ【ラムール】レプラ【ルイマリー】…
クト】'95パンフ,サインもの各種【メリーゴーランド】...イズデッド（CD）【MORRIE】薔薇色に染まる（CDS）【マティスグレイル】グッズ他【ミサリナレイ】ラスト…
特典CD【ローズスメルモード】BEAT CORE001【レッドアイ】調教/バレリーナ【ソフトバレエ】限定写真集【シャムシェイド】CDボックス【スケアクロウ】ライヴビ…
Dボックス【スラットバンクス】裏の裏ビデオ（DVD）【ヴァラブチュアス】デモ【ヴァイラス】異民族（デモ）【ヴァサラ】ジェノサイド,覇者凱旋 他（デモ）、アロー…
ーズFC会報、ポスター、ステッカー、ヴァニシングヴィジョン（CD,3rdプレス）【ZEED】ビデオ【ジキル】ホールド..（ビデオ）【V. A】GIV創刊準備号（ビデオ）【V.…
屋川ビンテージバープレゼント（CD）＊,80年代ジャパニーズメタル・ハードコアパンクのデモテープ大歓迎!!

麺は固め!!

第158回 by 竹入隆行

発売させて頂くタ
のアルバム「情熱
のレコーディング
でようやく終わり

年中に9月末発売！
コーディング完バ
言われて、昨年は
っしりでしたので、
間に合うか間に合わ
半疑のまま、がむ
くりに打ち込んで
何回も何回も無理
たし、ほんまに不
ャーの中、今年を
した…。それが終
…。不思議な感じ
もちろん間に合わ
う気満々でやって
まく言えませんが
終わったのです！

ムに1番最初に作
た曲は「大阪の唄」

し、おふくろが1
れた貧乏や孤独や

ら仕事を唄と選び、
…
も諦めてなくて…

阪を離れ、東京に
い所があって。し
への接し方に(期待
りすごい悩んだ時

んまに最近やけど
じで…

阪を好きになり感

想いが…

ちゃ作りたくなっ

「奇跡を信じて」

悔しさと絶望と
孤独の中でしがみついて
ラジヲから流れる
悲しい唄にいつかいつか

やけに遅く感じた
時間に耐えて
奇跡を信じてた

あてもなく夜道を
歩き続けた涙拭いて
本当の「弱さ」を
隠し続けて強く強く

まるで世界に 独り
取り残された様に
何かを憎んでいた

何度も何度も
手を合わせた
大阪の空を見上げて
あの頃の夢を
まだ見ているよ
今でも唄う夢の続き

本物の「強さ」を
はき違えていた牙を剥いて
無責任な中傷に

潰されかけていつかいつか
やけに遅く感じた
時間に耐えて
自分を信じてた

何度も何度も
傷つけられた
大阪の空を見上げて
あの時の憎しみ
もう忘れて
今でも唄う夢の続き

何度も何度も
手を合わせた
大阪の空を見上げて
あの頃の夢を
まだ見ているよ
今でも唄う夢の続き

何度も唄う夢の続き

押忍！

うしろの正面

―ただしづら―

第145回
by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆様こんちくわ。7月…七夕ですね。皆さんお願い事はしましたか？ 僕は…まあ、それなりな事をしてみました（笑）。プラの方は年末の振替公演も終わり、この夏はイベント中心に活動する感じです。来月7日には初めてフェスなるものにお邪魔したりするので、今から非常にワクワクしております。夏の野外ライヴって開放感があって良いですからね…どちらかといえばプラは屋内のイメージが強いように思いますが（笑）、そういった場所でも自分たちらしいステージを観せられようにがんばりたいと思います！ さて、今月は「擬人化」の話でも。「擬人化」とは…手元にある辞書によると「人間でないものを人間になぞらえて表現すること」とあります。で、なぜこんな話をしようと思っているのかというと、先日メインベースである「白雪さん」を擬人化したイラストを頂いたのです!! 一応愛称として名付けてはあるものの特にそれ以上のイメージを抱いてはなかったので、「これは面白いなー！」と思った訳です。万物に魂は宿る…という考え方も古くから存在はしていたので、「擬人化」はそれを分かりやすく具現化した形といえなくもないっすね。ちなみに擬人化された白雪さんは…やはり名前からなのか、若干パンクなかわいい女の子でした…これからは振り回したり床に投げ捨てたりしないで、丁重に扱わねば！と、少し思ったりもしますなあ（笑）。まあ、あまり擬人化に入れ込みすぎるのもどうかな？と思うフシもありますが、ちょっとした想像力を養うには楽しいのではないですかね。そう思うと、プラを擬人化したらどんな人なのか気になります…むむむ。皆さんもいろいろ想像してみて下さいね（笑）。という事で、今月もマリモーランドからお届けしました！ それではさよーなりー!!

HOCK WAVE アポロ Vol.53

2011年8月18日（木）高田馬場AREA

★出演★
＊サウイフモノ
＊Ap(r)il
他

8日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
多彩な顔ぶれのバンドが競演！ 8月のアポロもお見逃し無く♪
トは、イープラス（http://eplus.jp）
ンチケット（Lコード予約 http://l-tike.com）AREA店頭にて、絶賛発売中♪
※バンド予約は一切ありません。

音楽専科社 HP［http://www.ongakusenkasha.co.jp/］
帯サイト：音楽せんか？［http://mobile.ongakusenka.com］

（問）高田馬場AREA ☎03-3361-1069

大島暁美のロックンロール日記

×月×日

V-Love☆Live@新木場スタジオコーストのチケットが一カ月前にSOLD OUTになったので、お客さんがたくさん来てくれることはわかってたけど、満員のお客さんが最初から最後まで盛り上がってくれて、本当に楽しく[illegible]したイベントになった。どのバンドにもあたたかい声援を送ってくれて、「今日は、いいお客さんばかりだね」といろんな人に言われたよ。ネット中継もVisual-Land.TVとYouTube公式サイトの両方で見ることができたので、トータルPV数20万以上！　配信会社の人が「浜崎あゆみの記録には及ばなかったけど……」というくらい、たくさんの方が放送を見てくれた。海外からのアクセスも多かったようで、嬉しい限り。

出演は8バンドと多かったのだけど、バックステージはごった返すことなく、どのバンドさんもライヴを楽しんでくれてた。ゴールデンボンバーとLOST ASHは自分たちの出番以外、ほとんどのバンドを2階から見ていて、終わってから「すごい勉強になりました♪」とお礼を言ってくれたよ。

バンドの転換時には、Viju☆Love☆NightでおなじみのDJチームが、新旧のヴィジュアル系の名曲をかけて会場を盛り上げた。Viju☆Love☆Nightではおなじみの燿くんやLOST ASHをはじめとして、歌広場淳くん、Alice Nineの将くん、ヒロトくん、Naoくんが、かわるがわるDJブースに乱入。「転換時間中も目が離せなくて、トイレに行けないよ～！」とお客さんからクレームをつけられちゃったけど、それってすごく楽しかったという意味だよね♪と、楽天的に解釈しよう（笑）。

半年くらい前から準備を始めたので、時間はたっぷりあると思ってたのだけど、2週間くらい前から怒濤の追い込み。連日、睡眠不足で頑張ったので、終わった時は達成感というよりも、肩の力が抜けてしまったような感じだったよ。ふにゃふにゃふにゃ。

×月×日

その一週間後。恒例のHOT WAVE公開収録&HOT WAVE LIVE。公開収録ゲストは、MoranとLOST ASH、LIVEはR指定、DragonWAPPPPPPER、宇宙戦隊NOIZと、個性的なラインナップだ。

朝起きてTwitterを見たら、自由なライフスタイル（？）で有名なHitomiくんが「これから、寝ます」とつぶやいてる。入り時間が午前中の予定なので、思わず「誰かHitomiくんにモーニングコールをしてあげて～」って、つぶやいてしまった。果たしてちゃんと来てくれるのかなと心配してたら、打ち合わせの途中で無事に到着。その一部始終を収録の時にばらしたら、Hitomiくんに「やめてくださいよ～」と悲鳴を上げられてしまった。

LOST ASHにはあらためて結成のいきさつを聞いたのだけど、ヴォーカルを捜している時、Dyeくんが「友達にすごいイケメンがいる」って言ったら、メンバーが「その人にしよう」って即答したと言うのね。「オーディションとかなかったの？」と聞いたら、「なかったです！」と、キッパリ。実は、そのことをDaikiくんは知らなかったのだそうで、収録中に「それ、今、初めて聞いたわ……」と、驚いていた。もっともあとで聞いたら、DyeくんはDiakiくんのカラオケを聞いて、歌がうまいのは知っていたんだそう。そんな話を笑いながら暴露してくれるLOST ASHさん、お茶目だわ～。

×月×日

7月から第一日曜日に、ヴィジュアル系の情報番組「Viju☆Love☆Cafe」が、スタートした。その日の夜に、恒例のDJイベント「Viju☆Love☆Night」があるので、出演するミュージシャンDJをゲストにお呼びして、選曲を語ってもらうというコーナーもある。第一回目であるこの日のゲストは、DASEIN、摩天楼オペラ、樹威、DJゲストに、マコト（ドレミ團）、ANDROID_RYO:SUKE_23、Hitomi(Moran)、海外のヴィジュアル系バンド紹介にスウェーデンのSeremedy、新人紹介コーナーにJILLED RAYという豪華なラインナップ。ザックリとした流れは、前半に真面目な音楽の話を聞き、後半は全員に登場してもらってのサイコロトーク（サイコロを振って、出た数字のお題に答えてもらう）←雰囲気も内容もまさにバラエティって感じなので、ゲストのミュージシャンや視聴してくれているみなさんの反応はどうかな……と心配していたのだけど、意外にもみんなが楽しんでくれてよかった。

なにしろこの日は第一回目の放送だったので、時間配分とかが全然わからず、かなりの行きあたりばったり（時間を教えてくれるフロア・ディレクターが、途中までいなかったくらい……笑）。サイコロ・トークは全員が一問ずつ答えただけで時間がなくなってしまい、あと1人か2人ということになった。「どうしようか」と言ったら、「じゃ、最後の質問は大島さんで！」とミュージシャン・チームが言いだした。う～、1対8じゃ勝ち目がないわ……。その前の流れで、6つの質問の中で「夏の日の想い出」というのがいちばん面白いという雰囲気になっていたので、わたしがサイコロを振る時には「なーつの日♪　なーつの日♪」というコールが起こってしまった。そして、なんと!?　ミュージシャン・チームの怨念（？）が天に通じたのか、お題は「夏の日の想い出」に決定！　いやはや、これには焦ったよ。突発的なトークに弱いMC大島……。みんなのフォローでなんとか切り抜けたけど、ホント、冷や汗ものだったよ。次回は、8月7日(日)14:00～。お楽しみにね～！

そして、その日の夜は、Viju☆Love☆Night #009。昼の放送で出演DJさんがあおってくれた効果もあり、大盛況！　スペシャル・ゲストDJの恩田快人（ZAMZA、JUDY AND MARY）は、「ヴィジュアル系ヒストリー」というテーマで洋邦問わずに選曲してくれた。フロアでは、彼が今プロデュースをしているTHE KIDDIEのメンバーが、楽しそうに恩ちゃんが選んだ曲に酔いしれていたよ。HitomiくんのDJの時は、楽屋からSiznaくんとSoanくんが心配そうにブースを眺めていたし、ユウくんがいつの間にかブースに立っていたり、KENくんやTEROくんがフラッとやって来たり、いつものようにいろんなミュージシャンが遊びに来てくれて、楽しい空間を作ってくれた。次回は、Viju☆Love☆Cafeと同じく8月7日（日）だよ。詳しくは、オフィシャルblogをチェックしてね！
http://ameblo.jp/vijulovex

×月×日

東海林のり子さん喜寿のお祝い。わたしは、発起人の一人兼MCをさせていただいた。大勢のミュージシャンや関係者が集まり華やかなパーティだったけど、大先輩の東海林さんの前でのMCはメ
たよ。

仕事終わりで駆けつけてくれたミ
多かったんだけど、yasuも仕事の
からず、「当日、メールするね」と
も、わたしは当日MCで忙しくて、
携帯を見ることができなかった。で、
ら、1時間近くも前に「場所、どこ
が入ってたの。あわてて電話したら
で向かってるとこ。カーナビに住所
うすぐ着くよ」という。「あれ～、どう
たの？」と聞いたら、「大島さんから
なくて、どうしようかなと思ってた
が連絡をくれたんだ」と言うのね。
記帳する時、来場予定者リストにya
のを見つけて（ストーカーかい……
られないので連絡してみたんだっ
ブな夕霧くん、エライ（笑）。

二次会では、ずーっとyasuの隣に
ブなトークを展開してた（……と、
たしは離れたとこにいたので内容は
ど、夕霧くんの目がずーっとハート
た。憧れの人といっぱいお話できて、

×月×日

jealkbの取材。取材場所に向かう
寄りの駅のホームのベンチに、ベー
寝ている黄色いシャツを着たおにー
た。その前を通り過ぎてから「あら!
ら、なんとそれはこれから取材する
た。それから、二人で同伴出勤（笑
話になった時、haderuくんが「最初
ムレスだと思いませんでした？」と、
dunchくんにも、「そういえば、大島
り過ぎてから、振り返りましたよね
れてしまった。たしかに怪しいオーラ
ていたことは、認めざるをえない感じ

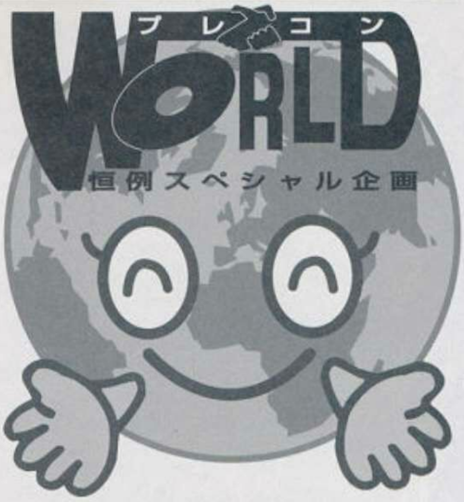
tic Tree

ポスターを1名様に

2 LM.C

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

蝴蝶网 hudie.com



☆いや〜、暑い日が続きますね。寒いのよりは暑い方が好きなぺろちゃんでも、さすがにこの暑さを前にダウン寸前です…(苦笑)。節電をしつつ、涼しく夏を乗り切るいい方法はないものですかね？　避暑地にでも行くか…。さてさて、そんなわけで(？)、今回の画伯さんは…、巷で噂のあのバンド…THE 東京HIGH BLACKより、Vo.ムササビさんの登場ですよ〜☆

ト(ドレミ團)

フォトを2名様に
サインが入ります。

杂志迷 zazhimi.com

3 ViViD

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

1 the GazettE

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

10 THE 東京 HIGH BLACK

サイン入りフォトを５名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

8 V-last.

サイン入りチェキを1名様に

6 boogieman

ポスターを3名様に

11 DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

サイン入りポスターを3名様に

9 MEJIBRAY

サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

7 ダウト

サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲し
※現物にはサインが入ります。

イラスト：ムササビ（THE 東京 HIGH BLACK）

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.223

住所	〒 TEL （ ）			
氏名	フリガナ	年齢		男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に３つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P136～137）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　Ｄａｉｗａ銀座アネ
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2011年8月20日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①the GazettE ②ナイトメア ③LM.C ④ViViD ⑤Plastic Tree ⑥DEAT
⑧マコト(ドレミ團) ⑨Mix Speaker's,Inc. ⑩NoGoD ⑪DuelJewel ⑫Bu
⑭愛狂います。 ⑮R指定 ⑯ケミカルピクチャーズ ⑰花少年バディーズ
⑳boogieman ㉑12012 ㉒ギルガメッシュ ㉓ムック ㉔BREAKERZ ㉕SH
ロ ㉖amber gris ㉗V-last. ㉘Megaromania ㉙DIAURA ㉚MEJIBRA
㉜ヴィデオグラマァ ㉝Para:noir ㉞ポルターガイスト ㉟THE 東京 HIGH
㊲Peace&Smile Carnival2011特集 ㊳V-Love☆Live ㊴一筆入魂!! サ・ミッ
ストBOX ㊶早耳情報 ㊷ロックンロール日記

杂志迷 zazhimi.com
hudie.com

ol.224予告

20日全国一斉発売!

響で、いつもより進行が早くなった今号。ワタワタしな
なんとか校了にこぎつけました。梅雨まっ只中の6月。
撮影。無謀にも、ロケを計画した私。過去、アンティッ
告-の撮影以外は（なぜか、アンカフェのロケを敢行しよ
と、必ず雨。しかも！　台風が直撃するという悲劇がし
。どうやら、私と輝喜が揃うと雨を呼んでしまうらしい
晴れ女の効力を発揮している私。もちろん、今回も降水
なんて吹き飛ばし、風は少々強いものの、雨に降られる
影を無事終える事が出来ました♪　毎年恒例となりつつ
レミ團・マコトのパーソナル企画。撮影場所に移動する
クテク銀座の街を歩いていると…狩野英孝氏率いる（?）
影隊に遭遇。お店の紹介をしていたみたいなのですが…マ
「今、俺絶対映りこんだ！」らしいので、フラフラ歩く
撮影隊が狩野氏の後ろに映り込んでいる画が、いつか放
（された）かも（笑）。(S)

前編集長ぽっくんの自作曲（下ネタ満載）がなぜか
さんにてオンエアされた。のみならず、その週の最優秀
ってしまった（笑）。ぽっくんのプロモーターである私
バム（今まで制作された曲を収録）のサンプル盤を持っ
材現場でプロモーション。その時のみなさんの反応は…
用に、早くジャケット作ってね（Aiji)』、『やっぱりタイ
強になるよね（竜太朗)』、『(直筆のメッセージを見て)
いしか話したことないのに、なんでこんなに愛されてる
…（左迅)』などなど。LM.Cに続くぽっくんとアーティ
コラボ、いつかまた実現する日が来るのか!?（A）

ttEのニューシングル『REMEMBER THE URGE』最速
材当日は夜からの撮影だったのですが、たっぷりと時間
のライティング調整で、撮影が終わったのは日付をまわっ
協の二文字はないthe GazettEの本気を見ました。お陰で
が撮れたと思います。皆さんお疲れ様でした！

印刷界も節電モードということで、スケジュールがどん
なっていく……。ルーチン化している仕事のスピードを
いいだけだったりするのかもしれませんが、しかしそれ
かに難しい。悪い癖のように染み付いたいつものペース
ば（笑）。頑張るしかないですね！（T）

&巻頭特集は
ol.224

トメア

ングル『SLEEPER』に迫る!!

ンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、
為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックスビル5F音楽専科社経理
ックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスター
もあります。ご了承ください）。
店でVol.224（8月20日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.216
11年2月号 ¥1200

■ViViD巻頭&表紙16ページ特集■YOMI（ナイトメア）■沙我（Alice Nine）■Plastic Tree■LM.C■D■ギルガメッシュ■D'espairs Ray■陰陽座■AYABIE■Mix Speaker's,Inc.■ゾロ■DaizyStripper■アンド■HERO■Waive■NoGoD■東京ミカエル。

Vol.211
10年9月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ特集■YOMI×RUKA（ナイトメア）対談■シン（ViViD）■Plastic Tree■ムック■LM.C■Kra■D■Versailles■マコト（ドレミ團）■Sadie■ゾロ■ギルガメッシュ■DELUHI■Fatima■BugLug

Vol.217
11年3月号 ¥1200

■Alice Nine巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE 8ページBook in Book封入!!■シド■ナイトメア■ミヤ（ムック）■葵from彩冷える■ギルガメッシュ■一志（Kagrra,）■LUNA SEA■Kra■SuG■ViViD■THE KIDDIE■DOG inTheパラレルワールドオーケストラ■Kanon×TOKIO HOTEL■D'espairs Ray■12012■heidi.■Sadie

Vol.212
10年10月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙14ページ特集■the GazettE■シド■柩&咲人（ナイトメア）■Kagrra,■Lc5■葵 from 彩冷える■[illegible]■ヴィドール■THE KIDDIE■ViViD■ギルガメッシュ■少女-ロリヰタ23区■heidi.

蝴蝶网 hudie.com

Vol.218
11年4月号 ¥980

■咲人（ナイトメア）巻頭&表紙16ページ特集■シド■the GazettE■SuG■AYABIE■Kagrra,■ViViD■Over The Edge'10スペシャル対談■ギルガメッシュ■Moran■Mix Speaker's,Inc.■ヴィドール■jealkb■DOG inTheパラレルワールドオーケストラ■ダウト

Vol.213
10年11月号 ¥1250

■創刊20周年特別号■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ムック8ページブックinブック封入■シド■ナイトメア■Alice Nine■Plastic Tree■Kagrra,■Versailles■LM.C■SuG■ViViD■heidi.■ギルガメッシュ■THE KIDDIE

Vol.219
11年5月号 ¥1200

■Plastic Tree巻頭&表紙12ページ特集■RUKI&戒（the GazettE）パーソナル・インタビュー■YOMI&Ni~ya（ナイトメア）■LM.C■ムック■武瑠（SuG）■怜我（ViViD）■Kagrra,■葵■Kra■ドレミ團■Sadie■SCREW■PENICILLIN■BREAKERZ

Vol.214
10年12月号 ¥980

■SuG巻頭&表紙16ページ特集■LM.C8ページ Book in Book封入!!■ナイトメア■Alice Nine■イガグリ千葉（仙台貨物）■Kagrra,■Lc5■THE KIDDIE■ヴィドール■Sadie■ViViD■Kanon×Kanon■BREAKERZ■jealkb■D'espairsRay

Vol.222
¥980

■SuG×ViViD巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE横浜2デイズ・レポート■仙台貨物撮り下ろし特集■ムック■ViViD■AYABIE■LM.C■Lc5■kanon×kanon■v[NEU]■lynch.■Versailles■Moran■イベント「治外法権」スペシャル対談

Vol.221
11年7月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙22ページ特集■Alice Nine最新シングル・インタビュー&レポート■SuG■Kra■イガグリ千葉（仙台貨物）復活■零乃（ViViD）■葵■12012■ギルガメッシュ■HERO■ダウト■heidi.■人格ラヂオ■アンド■DOG inThePWO

zazhimi.com

Vol.220
11年6月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙24ページ特集■the GazettE最新シングル最速インタビュー■有村竜太朗（Plastic Tree）■ムック■LM.C■SuG■Ko-ki（ViViD）■THE KIDDIE■少女-ロリヰタ-23区■真緒（Sadie）■ギルガメッシュ■DaizyStripper■Versailles■樹威■DOG inThePWO

Vol.215
11年1月号 ¥1200

■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ViViD 8ページBook in Book封入!!■シド■Over The Edgeスペシャルセッション■ナイトメア■ムック■Plastic Tree■Alice Nine■AYABIE■THE KIDDIE■Lc5

蝴蝶网
hudie.com

THE 東京HIGH BLAC

Legendary men come again!!

杂志迷
zazhimi.com

ヤツらならやってくれる!!

約1年ぶりに、伝説のオトコたちが帰って来た！　1年間、各自が海外で充電し時期を待っていたというムササビ／マダオ／門マーシーか
"THE 東京 HIGH BLACK"が、8月に渋谷C.C.Lemonホールで行なわれる【Peace & Smile Carnival 2011】のステージをジャックすると
果たして、今回はどんなパフォーマンスを見せてくれるのか。そして早くもメジャー・デビュー!?という3人に、じっくりと話を訊いた

Photography:SUSUMU MIYAWAKI（PROGRESS-M）
Hair & Make-up:ASAMI YAMADA（PS COMPANY）,FUMIE NOZAWA
Interview:YUKA SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

杂志迷
zazhimi.com

L to R:マダオ(Vo),ムササビ(Vo),門マーシー(Gt)

THE 東京 HIGH BLACK

—であれば、この1年間でそれぞれとこがどうスキルアップされたのか、知りたいですね。
ムササビ：まずは、マダオからじゃない？
マダオ：俺!? …そうですね、去年のライヴで、サポートであるはずのTomorrow Joeのメインっぷりに、心打たれまして。このままではいけない、エンターテインメントとしてのハイブラックを自分なりに追求しようと思いまして、ニューカレドニアに行ったんです。結果、磨かれたのは演出、かな。
ムササビ：…かな？ じゃねぇよ！（笑）僕はですね、何しろノドが弱いということで…。
マダオ&門マーシー：…ぷっ！（たまらず吹笑）
ムササビ：留学先のイギリスでも、〝ガラスのノド〟で有名でしたからね。リハにしても本番にしても、5曲が限界なんですよ。だから、ノドを鍛えて、パフォーマンスを磨こうと。
—結果、ノドはだいぶ強くなったんでしょうか。
ムササビ：ノドは…強くならないですね、やっぱり。なので、あとは自分のハートでいかにカヴァーするか、内面的な部分をどう強くするかっていうのが課題だと思っていて。声が出なくても歌いきってやるぞという、リーダーとしての器も、大きく見せていきたいなと。
門マーシー：俺は、筋肉ですよね。筋肉留学してましたから。
—なかやまきんに君的な!?
門マーシー：そうそう。なかやまきんに君と、同じ誕生日なんですよ。彼が行くなら、俺も行くしかないなと。
ムササビ：で、どこ行ってたんだっけ。
門マーシー：…台湾。
—なぜ台湾…リーダー、この方向性合ってます!?
ムササビ：もちろんっ。
門マーシー：やっぱ、ギターって筋肉で弾くんですよ。
ムササビ：下半身、スゴイよね。ふくらはぎがハンパない。
—なんだか、3人の一体感が去年より増したような気はしますが…8月に出演するイベント〝Peace&Smile Carnival 2011〟では、どんなショウを見せたいと思っているんでしょうか。
ムササビ：噂では、持ち時間が長めらしいんですよねぇ。
—ということは、前回WANDSのカヴァーを披露したように、今回もカヴァーがあったりとか？
ムササビ：もちろん、オリジナル曲もやりますけど、夏っていうところも考えつつ、プラスアルファの要素はいろいろ考えてます。ま、俺らの場合、だらだらやってもしょうがないからね。
門マーシー：やっぱり、スタートダッシュが大事ですからね。
マダオ：そうだね。やっぱ…出オチなんで、ははは。
—サポート・メンバーは？ ギタリスト・Tomorrow Joeさんは、今回も出るんでしょうか。
門マーシー：出ます。レンタル移籍って感じですかね。レンタルだったら、いつでも返せるじゃないですか。
マダオ：うん。前回のパフォーマンスを見たら、いつでも返す準備をしておいたほうがいいのかなって思いましたよね。
門マーシー：そうそう。だから、彼が次のライヴでも良いパフォーマンスを見せれたら、本契約に話を持っていこうかなって感じですよ。
—そんなTomorrow Joeさんには、どんなことを望みますか？
門マーシー：やっぱり…ダンス？
—ギタリストですよね!?
マダオ：うん、一応。でも、何リストっていうくくりをしたくないもんね。
門マーシー：パフォーマンスも、お客さんじゃなくて彼らに向けてるしね（笑）。
ムササビ：彼は底が見えないですよ。
門マーシー：ある意味、いちばん練習するし。
ムササビ：アレンジもしてくるしね。
マダオ：そうそう。ま、持ってるものを全部出してほしいかなと。
—ドラムとベースに関しては、前回とことになったんでしょうか。
門マーシー：それが、実はまだ、2人のプレイを聴いたことがなくて。ただ感覚だけで決めたんです。
マダオ：考えるんじゃない、感じるんですよ！
門マーシー：で、彼らの名前もまだ知らないので、今日ここで名前をつけてあげようかなと。
—え、今!?
ムササビ：そう、今。この雑誌を読んで彼らに知ってもらったほうが、驚きがあっていいかなって。
門マーシー：やっぱ、このへんにあるものから決めます？（ケータリングのサンドイッチを発見！）…サラダハム。
マダオ：お、いいんじゃない？
門マーシー：ちょっと中東系な響きでね。
ムササビ：じゃあ、ドラムはサラダハム！ あとはベースか…（ケータリングのチョコを発見！）ライスパフは？
マダオ：いいんじゃない？ ライスパフとサラダハム。語呂も近いし。決定で！
—ゼヒ、その名に相応しい!?ステージングを見せていただきたいものですっ。さて、今後に関しては、どういう活動展開を考えているんでしょうか。
ムササビ：やっぱり、まずは音源を出さないと知られないですからね。その上で、ヨーロッパ・ツアーなど廻りたいですね。
門マーシー：やっぱ、行きたいですよね。
マダオ：うん、俺らには外国がピッタリ！
—いきなりワールドワイドっ。以前は門マーシーさんが2曲を作りましたけど、現状、曲作りはどんな感じで進んでいるのでしょうか？
門マーシー：あのですね、リーダーが〝ラップがしたい〟と言い出しまして。ま、それがノドを痛めた原因なんじゃないかっていう説もあるんですけど。
ムササビ：やっぱラップだな、ってね。
—となると、ミクスチャー寄りな感じになりそうですよね。
門マーシー：そうですね…っていうか、まだ作ってないんで何とも言えないんですけど、はは。
—あ、お互いに、
ムササビ：そうそう。特に、マダオはそうですね。
マダオ：うん、〝ヤツらならやってくれる〟ってね。お互いが離れている間、その信頼感はより強くなってきたと思います！
—そして、久々に再会してみれば、どこか安心感があったりもして？
マダオ：いや、リーダーなんかは〝やっぱりダメだな〟って思いますよね。遅刻するところとか。
ムササビ：いやいや、遅刻したのは僕だけじゃないですよっ。3人揃って、キレイに30分、遅刻しましたからね！
門マーシー：やっぱ…時差ボケ？
ムササビ：そうそう。まぁでもね、久々に3人集まってみたら…すごく照れましたよね。
門マーシー：うん、確かに。
マダオ：なんかぎこちなかったよね。
—とか何とか言いつつ、今後活動していく上で、お互いに期待していることもあるわけですよね。
ムササビ：マーシーは、やっぱり天真爛漫なところがあるので…そこを直してほしいですよね。
—そのままでいてね、じゃないの!?
マダオ：ふっ…撮影になると、天真爛漫がより顕著だからね。
ムササビ：突発的すぎて、止めようがないしね。やめてほしい（笑）。
マダオ：ま、期待できるのは、下半身を使った何か、ですよね。
—…コンポーザーとして期待することは、何かないですか!?
ムササビ：曲に関しては、かなりの信頼感を寄せてますから。作るのも早いし。コピーの曲をやるにしても、限りなく本物に近づけるし。…ヒマなんでしょうね（笑）。ま、頼りにしてます。マダオは、結構寡黙なので…そこは直してほしいかな。ただ、彼のパフォーマンスには期待してますよ。
門マーシー：Tomorrow Joeを超えてもらわないとね。
ムササビ：ま、8月のライヴではすげぇもっと筋肉をつけてもらいたいかな
—ノドに筋肉、求めちゃいます!?
門マーシー：うん、求めますね。これから長く活動していく上で、ライヴでも5曲から6曲ぐらいに増える可能性はあるので。それにはノドの筋肉は必要なので…一緒に筋肉留学しますか。
—また行くんですか!?
ムササビ：ま、それぐらいのことをしないと、せっかくマーシーが良い曲を書いてきてくれても、アプローチができないですからね。覚悟は…少しあります。
マダオ：やっぱり、マーシーが曲であれば、リーダーは歌詞かなって思うんですよ。リーダーの歌詞は、心に響くし、想像の斜め45度をいくし。僕は、リーダーの歌詞に期待してます。
—そういう歌詞が、曲をますます輝かせてくれるわけですもんね。
門マーシー：そうなんですよ。最高の歌詞を書いてくれるので、安心して委ねてます！
—何しろ、新曲を楽しみにしております。そういえば、去年、〝THE 東京 HIGH BLACKはメジャーします〟と宣言されていましたしね。
ムササビ：そうそう。1年空きましたけど、今年中にはみんなに新しい音源を届けて、メジャーに羽ばたきたいですね。
—ちなみに、今後活動する上で、それぞれ何かひとつ、誓うとしたら？
門マーシー：…太ももの筋肉を2倍にします。
—ふくらはぎだけじゃないぞと。
門マーシー：そう。バランス的に、ふくらはぎだけが太くてもおかしいので（笑）。
マダオ：僕は精神論でいきますけど…下手の後ろのほうからTomorrow Joeのアツい視線を感じたとしても、その誘惑に負けない、見ない、ダメ絶対っ…やっぱ、そこかな。
ムササビ：僕は、リーダーとしての器を大きくして、バンドを動かしていきたいなと。あとは、ノドの筋肉ですよね。ノド筋を強くして、出来れば6曲歌い切れるようにします！（笑）

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

ダウト

それぞれの"自分革命"

杂志迷 zazhimi.com

オリコンインディーズシングルチャートで2作連続1位に輝き、渋谷C.C.Lemonホールのワンマン・ライヴを成功させたダウトが、7月27日にメジャーデビュー・シングル『ROMAN REVOLUTION』をリリースする。ダウトらしさあり、新しさあり、斬新な楽曲が集まっているだけに、聴き応えあり。ここでは、3曲入りの通常盤に焦点をあて、メンバーに話を聞いた。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Hair & Make-up:MANAMI TANAKA
Interview:ERI MIZUTANI

蝴蝶网 hudie.com

形で制作に臨まれたのでしょう？
幸樹：まず、1つ目として、メジャーデビュー・シングルという肩書きを捨ててしまおうと。そのことが少なからずともプレッシャーになったりすると思ったので、そこを取り除いた上で、ダウトとして良い音楽を届けるという、いたってシンプルなところから制作が始まりました。今ある中でいちばん良いものを出す、そのスタンスは今回も変えずにやっていきましたね。
――ちなみに、表題曲の候補はどのくらいあったのですか？
玲夏：30曲ぐらいかな。
幸樹：それで、自分たちの〝これだ！〟というものを貫き通した結果、「ROMAN REVOLUTION」が表題曲として決まって。ウチらの楽曲って、基本的にはライヴを想定して作っているので、ライヴのような感じになっていると思います。あと、アレンジに関しては、メンバーを信頼しているので、こういうことをしたいっていうイメージだけ伝えて、丸投げして。
ミナセ：俺も、この曲は最初から飛ばしていきたいって思ったので、勢いや荒々しさを出していきました。聴いていて思わず体が動いてしまうようなノリを意識して叩いていきましたね。
――ライヴと同じようなテンションで叩いていったということですね。
ミナセ：録っていた時も勢いで叩いていたので、動きでいったらライヴと一緒ですね。まぁ、ライヴのほうがもっと激しいとは思うんですけど（笑）。あと、自分では気付かなかったんですけど、レコーディング前日がワンマンだったこともあり、録るよってなった瞬間、テンションが上がったみたいです。
――玲夏さんも、この曲のノリの良さをすぐに感じ取ったことと思います。
玲夏：そうですね、メロディからして疾走感があるんで。今回、このコード感が好きっていうのもあったので、そこはあんまり崩さずに、メロディの間を抜けられるかっていうのを意識していきましたね。今回、結構黙っていたほうじゃないですか。そうでもないですか？
――動いていると思いますよ（笑）。
幸樹：玲夏、マグロなんで。
――まさに回遊魚ですね。動いていないと死んでしまうっていう。
玲夏：ははは（笑）。ガッガッいくのは嫌いではないので、レコーディング中もテンション上げていきましたね。〝じゃあ、いきまーす〟って言われて、スタートボタンを押されてから、〝よし！〟って気合いを入れて弾いていきましたから。やっぱり、自分の気合いの入れようで、音って全然違うんですよね。ただ、ライヴとレコーディングは違うものだと考えているので、ライヴとはまた違ったテンションを出していきましたけど。
――なるほど。では、威吹さんはこの曲のどの辺に幸樹さんらしさを感じました？
威吹：メロディのセンスですね。メロディの付け方が独特の感じがあるので、そこで幸樹っぽいなと思いました。
幸樹：威吹、この曲で初めて、ソロで速弾きに挑戦しているんですよ。
――そこは幸樹さんからの要望で？それとも自発的に？
威吹：自発的に。新しいことをしたいなと思ったのがキッカケだったんですけど、そういえばタッピングとか今までやったことなかったなと思って、入れてみることにしました。
――良い味出しています。さて、ひヵるさんはリード曲に対してどのような気

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com

玲夏 Ba

持ちで臨まれたのでしょう？
ひヵる：幸樹らしい季節感が出ている曲だったので、そこは大事にしていきましたね。デモの段階から夏っぽさや爽やかさを感じていたので、箇所箇所で違う風景が見せられたらいいなと思い、演奏していきました。
——その際、第三者から〝こうしたほうがいいんじゃない？〟など、アドバイスはもらいましたか？
ひヵる：自分の中でこういう風な音を出したいですっていう相談をした上で、色々な意見をもらいましたね。
——そうでしたか。リラックスした様子が音から伝わってきたので、良い環境で録ることが出来たのだなと感じられましたよ。
ひヵる：そうですね、とにかく楽しかったです。
——曲はもちろん、歌詞も注目すべき

メジャー・デビュー作『ROMAN REVOLUTION』リリース!!

ミナセ Dr

点がいっぱいです。こちら、どのような想いで書き上げていきましたか？
幸樹：さっき、ひヵるが言ったように、歌詞でも季節感を大事にしていきました。あとは、《自分革命》とあるように、聴いてくれた人が、何か変われるキッカケになってくれたらなと。
——今までの良さを残しつつ、新しさもある歌詞となっていますね。
幸樹：最終的に、自分らしい歌詞が書けたなと思います。すごく達成感はありますね。あと、人から〝懐かしい〟って言われたので、そこは今までやってきたことが活かされているんだなと、自信に繋がりました。
——歌い方もまた、今までやってきたことが存分に出ていると思いますが、こだわったところというと？

じゃないかなと。きっと、ライヴでも音源に近い形で見せることが出来ると思います。
——ガラリと変わり、和のテイストが面白い「蛍火」が2曲目に収録されます。
威吹：デモの段階ではアッパーな曲だったんですよ。それこそ『ROMAN REVOLUTION』と同じくらいに。でも、それと同じにしても面白くないと思ったので、和風な要素を取り入れてみました。ダウトって歌謡曲テイストも取り込んでいるバンドだから、和[illegible]な感じも珍しくはないんですけど、こうした和っぽさはあんまりないかな。
——歌詞はずいぶんと切ない感じ
幸樹：これは、流れたままですね。人間、大人になるにつれ、良くも悪くも賢くなってしまうじゃないですか。言い訳

zazhi.com
hudie.com

思ったので、サビまでは細かいことをしていますね。反対に、サビではポップさを意識したのでノレる感じに仕上げていきました。自分なりにこの曲を解釈してフレーズを作っていったので、自然のままに叩けました。

玲夏：和風っていうのが大前提だったので、まず、和風なベースって何だろうっていうところから考えましたね。で、出した答えが、あんまり和風ってことに捕われなくてもいいかなと。「ROMAN REVOLUTION」とは真逆で、コード進行がベタな感じなので、それをどう動かすかというとこに重点を置いて弾いていきましたね。良い具合にふわふわした感じが出せたと思うし、間奏から2回目のBメロは、ベースが全部持っていっているんじゃないかと（笑）。

ひかる：この曲自体、雰囲気があったので、そこをどうやって表現していくかと考えた結果、音色で遊ぼうということになり。ギターらしくないけどギターで出せる柔らかい音だったり、音色で雰囲気を変えられたらいいなっていうのを重点的に考えて弾いていきました。

——全体を包み込むような柔らかさが特徴的ですね。

幸樹：そういえば俺、この時、無理な減量がたたって栄養失調になっていたんですよ。それで、弱々しい表現が出来たのかもしれません。

——そうでしたか。って、曲のために命を削らないで下さい（苦笑）。こうして無事に出来上がったわけですが、作曲者的にはどう見ます？

最終的に素晴らしい曲になったと思います。それぞれの楽器もそうだし、メンバー以外の音も合う、感覚的にまとまったなと。

——そして、「バラ色の人生」は、玲夏さんの曲ですが。

玲夏：苦しいですよね（笑）。

幸樹：ええ（笑）。でも、そこが良い。

玲夏：歌詞も、今の喧騒な時代を祭りっぽく表現しようと思い、書いていきました。

——サンバ調のリズムに《ヤーレン ソーラン》という歌詞がくるとは（笑）。演

シングがメインとなっているんですけど、今までにない感じになっています。裏のリズムも今までにはない取り方だし。難しいけど、その分、楽しい曲ですね。

ひかる：この曲は、身体ごと持っていくような感じで弾いていったんです。立って弾いたんですけど、かっちり弾くというよりかは、リズムに乗って弾いていったので、やっていて気持ちが舞い上がっていきましたね（笑）。

玲夏：イントロのベース・ラインが良いってメーカーの人からも言われたので、そこはメインとして活かしていきました。

——聴きどころ満載ですね。あと、パーカッションがこれでもかっていうぐらい、賑やかで。

玲夏：あれは全部自分たちでやっているんですよ。おもちゃ箱の中に入っているパーカッションをそれぞれが選んで、マイクに向かって一斉に鳴らしていって。

——斬新なアイディア。また、それをさらりと出来てしまうのも、実にダウトらしいというか。

幸樹：何か、今までは自分の良いところを出すって感じだったんですけど、今回は自分の悪いところも含めて好きになってもらうって感じで。悪いところも全部見せて、好きなの？ 嫌いなの？ って。恋愛だってそうじゃないですか。

玲夏：そこから、本当の愛が生まれるんですよ。

——な、なるほど（笑）。これはホント、ライヴで盛り上がる曲だと思います。

幸樹：阿波踊りの会でも入れて、お祭りな感じで見せていこうかなって。……となると、やる度にその人たちを呼ばないといけないのか（笑）。

——3曲ともバラエティに富んでいるだけに、聴いていて本当に面白かったです。これならきっと、ファンの方も満足してくれるはずです！

幸樹：11月23日にはPS COMPANY PRESENTS ダウト自作自演ONEMAN LIVE「Life is LIVE!!」〜まさに人生とはライヴだ〜を渋谷AXで行なうので、ダウトのさらなる成長を見に来てもらいたいですね。

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

Photography:HIROE YAMAUCHI (PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE

OMPANY presents[Peace & Smile Carnival 2011]
IBUYA 7DAYS at C.C.Lemon Hall"前哨戦!!

PS COMPANY presentsで、7月20日から全国6ヶ所で行なわれるZeppサーキット『キラキラ☆サマー☆タイフーン!! Tour 2011』に続き、8月には舞台を渋谷C.C.Lemonホールに移し、ガチンコ・イベントと言える『Peace & Smile Carnival 2011 SHIBUYA7DAYS at C.C.Lemon Hall』が、行なわれる。7日間それぞれ、2バンドずつのガチンコ対決に加え、オープニング・アクトやスペシャル・ゲスト、さらにはセッションも登場するなど、スペシャルな7日間になることは必至。
今回は、そんなガチンコ・イベント前哨戦として、ガチ対談を敢行。景夕(Kra)×鋲(SCREW)×猟牙(BORN)、ヒロト(Alice Nine)×玲夏(ダウト)、Chiyu(SuG)×零乃(ViViD)の3組に、"7DAYS"にかける意気込みを訊いた。

蝴蝶网 hudie.com
杂志迷 zazhimi.com

蝴蝶网
hudie.com

景夕：そうですね、鋲以外は。
鋲：…メイクしてる時とか、無言でプレッシャーをかけてくるんですよ。
景夕：プレッシャーじゃないって。かまってほしいなって思って近づくんだよ。なのに、そっけないっ。
——先輩に絡まれても、どうしていいか分からなかったりしますよね。
景夕：でもね、獅牙は放っておいても来てくれるんですよ。
獅牙：俺、景夕さんに話しかけたくて。景夕さんってゲームしてることが多いから、みんな遠慮して話しかけにいかない

——そんなお2人が景夕先輩のことをどう思っているのか、本音を聞きたいですよね。
景夕：うん、知りたい。"ちょっとこの人ウザいんだよな"っていうところがあれば、直していきたいし（笑）。
鋲：やっぱり…先輩なので、緊張して喋りかけに行けないんですよね。一度ご飯を食べに行ったんですけど、絡んできてくれた時に、どうしたらいいか分からなくて（苦笑）。
景夕：ヴォーカルチームで固まってたんだけど、みんなお酒飲んでなかったから、

く突っ込んで来てください（笑）。
獅牙：景夕さんは、物静かな人なのかなっていう印象があったんですよ。でも、パフォーマンスを観させていただいたら、すごいなと思って。単刀直入に、絶対仲良くなりたいと思ったんですよ。今回のツアーで少し仲良くなれたかなと思うので、これからもっと頑張ります。あと、俺にとっては鋲くんも先輩なんですけど、最初は怖そうな人だと思ってて。
——ステージでの鋲さんを観れば、確かにそう思いますよね。
獅牙：そうなんですよ。で、実際に話し

らってます。俺、鋲くんのことすげえ好きなんです。ホントですよ（笑）。
——照れ隠しかもしれませんが…実際、鋲さんはどう思っているんですか？
鋲：いや、来てくれると嬉しいんですよ。
景夕：ホントに？ なんか、行きにくい雰囲気があるんだよね。いつも何か考え事してそうなイメージがあるから、話しかけたらジャマになるかな、って思うし。
獅牙：分かります分かります。でも最近、俺はジャマだと思われてもいいから話しかけるようにしてます。
景夕：お、すごい。僕も見習いますよ。
鋲：俺も見習います！
——とはいえ、ステージに立てば、アーティストとして、ヴォーカリストとして、お互いに意識はするわけですよね。
獅牙：俺はぶっちゃけ、先輩のことはバリッバリ意識してます。お世辞とかじゃなくて、カリスマな方たちだなと思ってて。先輩方のライヴを観る度にいつも、悔しくなるんですよ。負けてられねぇなって思うし、もっともっと頑張らないとダメだなって。刺激受けまくりですよ。
鋲：俺は、そういうライバル心が態度に出てるのかもしれないです。
——だから、"近寄りがたい"と思われるのかもしれませんね。
鋲：そうそう。楽屋でも、ステージ上のままというか、SCREWの鋲でいなきゃいけない、みたいな。それで、無意識のうちに距離を置いちゃってるのかもしれないです。…2人とも、すいません！
——でも、そこまで意識せざるを得ない相手だということですもんね。
鋲：うん、ライバル心を抱けない相手だったら、もっとヘラヘラしてると思う。
景夕：ウチは、系統的に異色なバンドじゃないですか。だから、他のバンド…中でも激しいSCREWとBORNは、観てて面白いんですよ。なおかつ、キャラはそれぞれ別モノだから、どういうところで違いが出てるのかとか、同じリズムでもそれぞれどう動くのかとか、勉強できるところはたくさんありますね。
鋲：…純粋ですね！ 俺、一緒に廻って

なら、その時に見えた方向に行けばいいだけじゃない？ Ｋｒａみたいに何でも出来る状態だと、それを固めないとその先にはいけないわけだし。バンドとしての一本道があるっていう意味では、それはＳＣＲＥＷの強みだと思う。
——さすが景夕先輩！
鋲：ホント、さすがですね。トリ肌立ちました。
獅牙：目からウロコですね。
景夕：…なんか、すごく持ち上げられて怖い（笑）。
——油断大敵ですっ。さて、8月の渋谷Ｃ．Ｃ．Ｌｅｍｏｎホール7デイズ公演では、いろいろと入り乱れての斬新なアイディアが実現しそうですよね。
景夕：今回のイベントは、バンド主体で内容を決めてますからね。セッションの組み合わせとかも、すごく面白いですよ。BORNはほぼ出ずっぱりだしね（笑）。
獅牙：そうなんですよ。せっかく出させていただくので、どれだけ無茶苦茶やれるか、がテーマですね。先輩のお力をお借りしつつ、かしこまらずにいきます。
鋲：ま、SCREWはBORNと結構かぶってるので…ツブします。
獅牙：これこれ、きたよぉ。
景夕：やだやだ、ウチの後輩たちっ（笑）。でもね、楽しさはありますよ。どうやったらイベントが面白くなるか、全バンドでミーティングしてたりしますからね。
獅牙：すごくワクワクしますよね。普通のイベントでは観られない光景が、たくさん観られると思います。
鋲：自分が出演しない日も観に行きたいですからね。夏の思い出を作ります（笑）。
——最後に、お互いエールを送るなら？
景夕：年長者から言わせてもらうと…ウマくツブし合って、2人ともキレイに消えてくれればいいかな（黒笑）。だから頑張れっ♥
鋲：そっちかぁ…お互い強くなって、追いつこう！
獅牙：あ、そうですね。とにかく、この夏いちばん刺激的なイベントにします！

杂志迷
zazhimi.com

ヒロト Alice Nine × 玲夏 ダウト

――お2人は、わりと接点があるわけですか。
ヒロト：あんまり話す機会ってないんですけど…先月、渋谷C.C.Lemonホールで、ダウトのライヴを初めて観させてもらって。ステージングがすごいなっていうのを、玲夏さんに直接言いたかったんですよ。
玲夏：ありがとうございますっ（照）。僕はAlice Nineさんのライヴを何回か観させてもらってるんですけど、ヒロトさんはすごくアツさを感じる人だなって思いますね。バンドに対する熱とか想いが、音でもパフォーマンスでも、

すね、素晴らしい。ただ、パートは違えど、同じアーティスト同士ですから、ライバル心のようなものもあったりして？
ヒロト：ないといえばウソになりますよね。C.C.Lemonホールでの7デイズには、ダウトだけじゃなくて、PS COMPANYのバンドがほぼ総出で集まりますからね。PS COMPANYってすごく雰囲気の良い事務所ですけど、それだけじゃなくて、ピリピリしてたり、バンド同士のせめぎ合いも感じられる7日間になればいいなって思いますよ。Alice Nine以外は、『キラキラ☆サマー☆タイフーン』なんかでもツアー

は、残念なんですけどね。
ヒロト：そうなんですよね。ただ！ このイベントは、もしかしたら部分的にはかぶるかもしれないからねっ。
――それが噂のセッションですよね。
ヒロト：そうそう。あの…玲夏さんって、セッション出ます？
玲夏：あ、出ます出ます。
ヒロト：3つぐらい？
玲夏：そうですね。
ヒロト：なるほど。僕は2つかな。
――どういうセッションになりそうなのか、それぞれヒントをいただけたりしますか？

Nineさんが出ない日でも、もしかしたらメンバーさんはセッションに参加するかもしれないし。
ヒロト：だから、自分のいちばん好きなバンドがメインアクトの日だけを観に行くと、むしろこのイベントのいちばん面白い部分を見逃すことになりますよ！
玲夏：プラスアルファのセッションも含めて、1日通して楽しませようとしてますからね。
――自分のバンドで音を出すのとは違った発見や楽しみ方が、セッションにはありそうですしね。
玲夏：うん、僕はこれまで、あんまりセッションはやったことがないんですけど…他のバンドの人と音を出すっていうのは、すごく刺激になりますよね。
――ヒロトさんは、カラスでの活動がありますし、セッションの面白さは知っていますよね。
ヒロト：ま、クソ大変なんですけどね（笑）。でも、やるとそれだけの価値はあるなって思いますよ。もちろん、自分のホームでメンバーと音を出すのは当たり前に良いですけど、バンドって人が集まって音を出すので、一人メンバーが替わるだけでも、やり方がガラっと変わったりするし。知らない自分に出会える感覚はあります。"メンバーがこういくから、じゃあ自分はこういうアプローチをする"っていうお約束が、崩されますからね。
玲夏：そうなんですよね。そういう音の会話がいつもとは別な感覚で楽しめるし、そこで受けた刺激を、自分のバンドにフィードバックできるし。セッションには、そういう良さがありますよ。
――ちなみに、お2人が一緒にステージに立つことはないですか。
玲夏：いやぁ、一緒に立ちたかったんですけどねぇ。
ヒロト：でも、まだ分かんないですよ。ホントに、どうやってあのステージングをしてるのか、すごく興味がありますからね、玲夏さんに。玲夏さんって、将

ですよ。
玲夏：あ、聞きました、将さんから。まぁ…ステージングは感覚なんですけどね。
ヒロト：トレーニングとかしてます？
玲夏：たまに、ですけど。
ヒロト：いや、結構筋肉がないとできないような動きをされてたんで。あれ、気合いじゃいけないですよね。
玲夏：半ば根性的なところはありますけどね（笑）。ステージ上でフラつくのってカッコ悪いから、もしそうなりかけたらどうごまかすかとか（笑）。そういう気の遣い方はしてます。でも、僕なんかに比べたら、ヒロトさんのステージングはパーフェクトですよ。あんな広い武道館の中であれだけオーラを放てるって、すごいなって思うし。
ヒロト：いやいや……僕はフラつきまくりですって（照）。
――なんか…やっぱりホメ合う感じになっちゃいましたね、はは。
玲夏：でも、普段あまり話す機会がないだけに、たまに会った時に、"この間のライヴ、カッコよかったです"って、なかなか踏み出せないですからね。同じパートだったら、また突破口があるかもしれないけど。
ヒロト：あ、確かに。でも、今日こうやって直接言えて良かったですよ。将くんが仲良くしてるから手を出しちゃいけないかなって思ってたけど（笑）、これを機会に仲良くしてください。
玲夏：あ、こちらこそですっ。
ヒロト：でも7日間、ホント楽しみですよ。個性が強い人たちの溜ま[illegible]たいな事務所なんで、イベントを[illegible]するためにバンド自身が奮闘してるし、みんなが入り乱れて、かなり刺激的なものになるんじゃないかな。
――では、お互いにエールを送り合っていただきましょうか。
玲夏：[illegible]ータルで楽しめますよ[illegible]
ヒロト：伝統のあるステー[illegible]華[illegible]られるように、お互い頑張りま[illegible]う！
玲夏：いつも通りのヒロトさんを見せつ

葉蝶 hudie.com

りあえず、今把握してるのは2つかな。
零乃：俺も2つですね。
Chiyu：あ、そうなんや。零乃は誰とセッション組むん？
零乃：1つ目は「きゃろっつ」というセッションバンドで、俺と、タイゾさんと、結良さんと、Koikiと…ヴォーカルは獅オくんです。2つ目は「エセ異端芸者」というセッションバンドで、俺と、和己さんと、ジンさん、玲夏くんと、ヴォーカルは幸樹くんです!!
Chiyu：なかなかのテクニカルバンドやんっ。
——しかし、いつもと違うメンバーで、違うアーティストの曲を演奏するっていうのは、なかなか出来ない体験ですよね。
零乃：うん、ちょっと不思議な感覚だし、新鮮な感じですよ。刺激がありますね。
——学園祭とか文化祭に近いノリもありそうですよね。
Chiyu：ホンマ、文化祭ノリですよ。
零乃：俺、そういえば中学校の学園祭で、SEX MACHINEGUNSやりました。
Chiyu：俺もよくコピーしたわ。
零乃：「みかんのうた」とか。
Chiyu：「みかんのうた」は絶対やるよな。
零乃：あと、「ファミレスボンバー」とか。
Chiyu：そうそう。「ONIGUNSOW」とかもあったな。
零乃：ありましたね！ あと、「食べたいなめたい危険地帯」とか。ギター&ヴォーカルやりましたもん。
Chiyu：はは、そうなんや。いやぁ、セッションって面白そうやな。SuGなんかはドラムが代わって、それだけでも感覚が全然違ったから、全パートが代わるってホンマ楽しみ。
——ところで、お互いのことはどう見ているんでしょうか。
Chiyu：零乃くんは…ギターオタク。
零乃：俺、Chiyuさんはよく動く人だなって思います。いちばん目立つっていうか…前後も左右も動くから、ライヴ観

じがする。
——確かに、ベーシストってポジション低い人多いですけど、Chiyuさんは特に低いですよね。よく弾けるなって思ったりもします。
零乃：ですよね。…腕、長いんですか？
——そういう問題!?
Chiyu：いやいや！ 真っ直ぐ立って手をそのまま伸ばしただけだと、（いちばん上の）4弦にしか当たらへんよ。低くすると弾きにくいことは弾きにくいけど、そっちでもう慣れた。一度ポジションをちょっとだけ上げたことがあるけど、逆に弾けなかったからね。
——お互い、自分のバンドにギタリスト、ベーシストがいるから、そういう意味でもプレイスタイルやキャラの違いが面白くもあるんでしょうね。
Chiyu：そうそう。零乃くんなんて、SuGに入ったらすごく楽曲がしっかりしそうな気がする（笑）。
零乃：いやいやっ（汗）。
Chiyu：最初に（高田馬場）エリアでライヴを観た時、びっくりしたもん。ずっとピロピロ弾いてて、〝なんじゃコイツは！〟って（笑）。
零乃：恐縮です。Chiyuさんは、さっきの話じゃないですけど、ベースをすごく下げてるのに、スラップとか、しっかり弾ける人なんだなって。
Chiyu：いや、ライヴでは結構ごまかしてる（笑）。ライヴに関しては、テクニックかパフォーマンスかっていったら、俺はパフォーマンス寄りじゃないと活きないと思ってるからね。その点、零乃くんはライヴでもテクニックをしっかり見せるから、スゴイなって思う。
——こういう会話って、もしかして普段はなかなかしないんじゃないですか？
Chiyu：うん、しない。〝ウェ〜イっ〟ぐらいしか言わへんもんな。
零乃：よく考えたら、中身のない会話しかしてないかも（笑）。
——テンションは似通ってそうです。
Chiyu：そう思う。高めやんな。

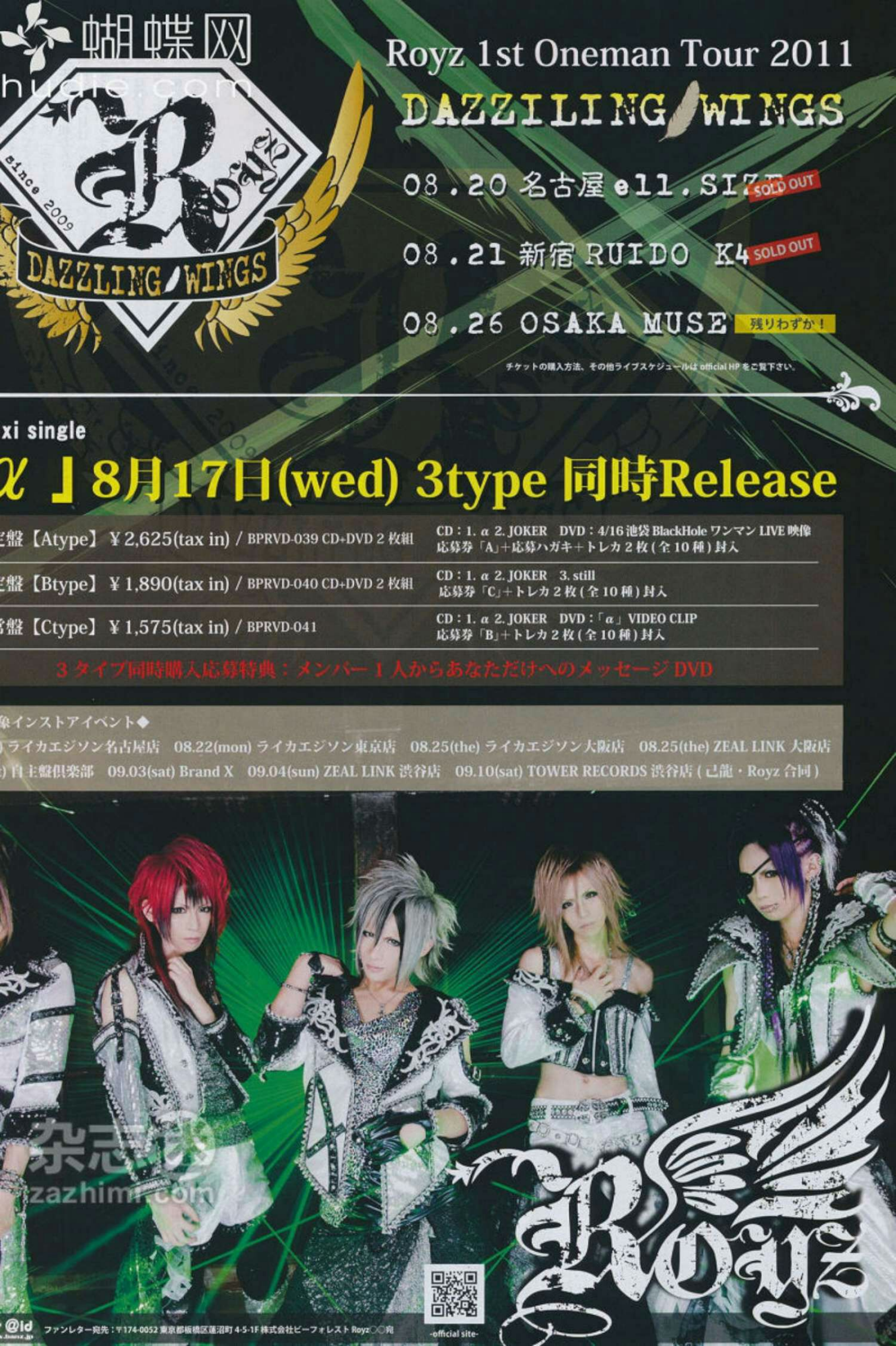
零乃：うん、わりとそうですね。
——弾くギターもシブ好みだったりしますし。
Chiyu：そうそう。それでいて、太ももは見せたい、みたいな（笑）。
零乃：何でギターのポジション高くしてるかって、弾きやすさ半分、太もも見せたい半分ですからね！（笑）
——そういうことだったとは（笑）。ちなみに7日間中、セッションで2人一緒にステージに立つことはありますか？
零乃：最初、一緒になるはずだったんで

Chiyu SuG × 零乃 ViViD

INEGUNSか！ 俺、ちゃんとNOISYさんのセリフとか言うで（笑）。
零乃：うわ、やりたい。今回出来なくても、いずれやりましょう！
——何しろ、〝キラキラ☆サマー☆タイフーン!!〟でも一緒になりますし…お互いにエールを送り合っておきましょう。
Chiyu：ま、今ViViDは飛ぶ鳥を落とす勢いなんでねっ。
零乃：どう返すべきか…困ります。
Chiyu：でもホント、良い意味でお

——そう素直に言えるって、素晴らしい。
零乃：ですね。俺としても、ハッキリ言ってもらって嬉しいです。
——じゃあ、零乃さんもハッキリどうぞ。
零乃：え!?（汗）…俺たちは先輩たちを目標に、早く同じフィールドに立てるように追いつきたいと思います!!
Chiyu：ヴィジュアル系の王道で、ViViDほど勢いあるバンドって他にいないからね、今。SuGは変化球しか投げられないけど、それぞれの道で先頭走れるように、お互い頑張りますよ！

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 hudie.com



蝴蝶网
hudie.com
杂志迷
zazhimi.com

現役アーティストの本格レッスン

全く新しい高校生活

転編入生随時受付中

高校卒業取得確実にサポー

Free Spirit Music&Talent High School

フリースピリット音楽芸能学園

コウコウセイカツヲ ROCKセヨ!

音楽・芸能+高校卒業

現役プロミュージシャン・アーティスト・タレントなど、メジャーデビュー実績多数。
初心者でも大丈夫、高校卒業をしっかりサポート!

『夢は現実にするもの…』今までに多くの卒業生たちが夢と高校卒業資格を同時に手に入れてきました。フリースピリット音楽芸能学園は、ミュージシャン、タレント、夢を目指す高校生たちを応援するだけではなく、実際に現実とさせるための学びの場です。また現在高校生の方の転編入学についても随時受付をしています。『音楽+高校卒業または、芸能+高校卒業』を日本で初めて形としたまったく新しい学びの場、『フリースピリット音楽芸能学園』まさに今、この瞬間が夢へのスタートです。

無料体験レッスン開催中

現役プロミュージシャンによる本格レッスン開催!

体験入学

7/24(日)・8/7(日)・9/4(日)・9/18(日)・10/2(日)・10/16(日)

学校説明会 カリキュラム:授業内容の説明(ミニ体験レッスン有り)

7/31(日)・8/21(日)・9/11(日)・9/25(日)・10/9(日)・10/23(日)

音楽専

ヴォーカ
ギター科
ベース科
ドラム科
キーボー
ダンスウ

芸能専

マルチタ
声優アニ

フリースピリット音楽芸能学園 [旧 東京自由学園] 〒164-0001 東京都中野区中野6-21-1

03-5337-7272

jimu@freespirit.jp

WEB freespirit.jp

音楽 芸能 高校 検索

蝴蝶网 hudie.com

little HEARTS. ON LINE STORE !!

インストアイベント参加チケット、特典もお付け致します。

ARTS. 通信販売受付中★

e HEARTS. の HP からご注文下さい。

ittle HEARTS.：http://littlehearts.jp

ジ：http://www.littlehearts-shop.jp/

★ご注文方法★当サイトへの会員登録（無料）後、すぐにご注文いただけます。

★各お支払方法の選択★
①代引き
商品到着時に商品と引換
②現金書留
お支払確認後、商品発送

★お支払方法及び商品発送料★
①代引き：¥700
送料+代引き手数料（¥300）
②現金書留：¥400
送料全国一律

★携帯電話からのご注文★
・お名前・住所・電話番号・ご希望商品
・お支払い方法・ご希望配達時間帯
をご記入の上、info@littlehearts.jp
までお問い合わせ下さい。

七夕祭り企画『仙台七夕祭りin little HEARTS.』

～仙台七夕期間限定★アーティスト限定アイテム★プレゼント！～

【参加アーティスト】

p(r)il／THE KIDDIE／己龍／ZUCK／DuelJewel／DoG inTheパラレルワールドオーケストラ／
／BugLug／vistlip／Blu-BiLLioN／ベルベット／Mix Speaker's,Inc.／Moran／Royz(五十音順)

期間8/6(土)～8/8(月)★
アーティスト
メッセージ入りミニ色紙
ティストコメントDVD
ティストグッズもあり!!

七夕くじ 1回 ¥300-(ハズレ無し)
<大当たり>
各アーティスト「チェキ＋メッセージ入りミニ色紙」
<チャレンジカード>
1枚…アーティストポスター
7枚集めた場合(七夕の7にちなんで)…コメントDVD
お好きな各アーティストをお選び下さい。

特別キャンペーン
コメントDVDプレゼント!!
参加アーティストのCD・DVD商品を1点お買い上げの
お客様にもコメントDVDを配布致します。
購入商品のアーティストのコメントDVDを差し上げます。
※期間中、通信販売でもご利用いただけます。

R指定、Ap(r)il、Moranはメッセージ入りミニ色紙で、ナイトメア、THE KIDDIEはアーティストグッズです。参加アーティストは、予告無く追加・変更になる場合がございます。ご了承ください。

THE KIDDIE

RELEASE LIVE DVD
appy Spring Tour 2011
KASAKA BLITZ

<初回限定盤>¥6,800
別冊100Pブックレット、スリーブケース付き
<通常盤>¥4,800

NIGHTMARE

ジェムケリーCMソング

2011.0907
NEW SINGLE RELEASE
「SLEEPER」

<TYPE-A>CD+DVD ¥1,890
[CD]
1.SLEEPER
2.Star Spangled Breaker
[DVD]
SLEEPER PV

<TYPE-B>CD+DVD ¥1,890
[CD]
1.SLEEPER
2.Star Spangled Breaker
[DVD]
Star Spangled Breaker PV

<TYPE-C>CD ONLY ¥1,260
[CD]
1.SLEEPER
2.Star Spangled Breaker
3.アイリス

ORE EVENT little HEARTS.で開催されるインストアイベントにつきまして。

各イベントにより、詳細が異なる場合がございます。HPをご覧下さい。

員数が増えました。
名になりました。

チケット発券方法
商品の発売日の10時から発券です。
引き取り順に先着順でお配り致します。

インストアイベント開催スペース
90名様収容の広い店内で開催致します。
イスに座ってゆっくりお楽しみ下さいませ。

通信販売のお客様
事前に商品をご注文下さい。
チケットの確保は発売日の10時から
電話受付を開始します。

ORE EVENT

未定 【Blu-BiLLioN】トーク＋握手＋サイン＋チェキ撮影会
未定 【BugLug】未定
18:00 【Mix Speaker's,Inc.】トーク＋握手＋サイン会
18:00 【己龍】トーク＋握手＋サイン会
13:30 【ZUCK】トーク＋サプライズパーティー＋握手＋サイン会
16:00 【ν[NEU]】トーク＋握手＋撮影会
18:00 【Moran】トーク＋握手＋サイン会
7/29(金)15:00 【DuelJewel】トーク＋握手会
8/7(日)未定 【amber gris】未定
8/13(土)13:00 【MERRY】サイン会(メンバー未定)
8/16(火)14:30 【Megaromania・NEGA】トーク＋握手＋サイン会
8/22(月)18:30 【宇宙戦隊NOIZ】トーク＋握手＋サイン会
9/2(金)18:00 【ギルド】トーク＋握手＋5ショット撮影会
9/18(日)18:00 【ケミカルピクチャーズ】トーク＋握手＋サイン＋6ショット撮影会
10/9(日)18:00 【PENICILLIN】握手会

!! バンギャルちゃん事情

お客様にインタビューしちゃいます

よちゃん

た出来事… ト！！

今日購入した商品 SHOX'X vol.222

!! ロリヰタ-23区・葵

いよちゃん、ともかちゃん
ありがとうございました♪
来月号はあなたかもー(ﾟoﾟ)

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

little HEARTS. 携帯サイトでもインストアイベント情報やSTAFFブログがご覧頂けます！

蝴蝶网 hudie.com
杂志网 zazhimi.com

zazhimi.com
蝴蝶网
hudie.com

-ROCK FESTIVAL'11

SOPHIA / ムック / YELLOW FRIED CHICKENz
ゴールデンボンバー / Eins:Vier
girugämesh / MICHAEL MONROE / LM.C
ALI PROJECT / BLACK VEIL BRIDES / ViViD / NEW lynch.
Dazzy Stripper / NEW BORN / HERO
摩天楼オペラ / SuG / vistlip / NEW Versailles Philharmonic Quintet / ダウト

...and more

フィシャルバスツアー

屋・新大阪・新潟・仙台・広島・岡山発着コースをご用意しております
のコースに ☆コンサートチケット付き ☆バスツアー参加記念グッズプレゼント
-http://www.kk-kanko.com/v-rock2011.html 企画旅行 国際急行観光株式会社フォーサイト事業部 03-5283-2102(月～金 10:00-17:00)

KET

発売日: 9.3 -sat- 10:00AM
ードー東京 / チケットぴあ / ローソンチケット / CNプレイガイド / イープラス
自由席￥12,000 (税込/DRINK代別途￥500) /
タンドVIP指定席￥16,000(税込/スタンド指定・オフィシャルパンフレット・1DRINK付)
行販売は全て割引価格(￥1,000引き)にて販売! 詳細は公式HPをご覧ください

ORMATION キョードー東京 0570-064-708

事項

就学児の入場は必ず保護者同伴の上、保護者１名につき未就学児１名のみ入場可能
ーティストの出演は予告なく変更になる場合があります
演アーティストのキャンセル及び変更によるチケットの払戻等は一切致しません

zazhimi.com

K FESTIVAL実行委員会 / テレビ朝日
ン放送 / NACK5 / テレ玉
ョードー東京 / クリエイティブマンプロダクション
S MATE / SHOXX / Vの流儀 / SYNC MUSIC JAPAN / トレジャーズ / HEAVEN'S ROCKさいたま新都心 /
まスーパーアリーナ
/ ESP
ACKSTAGE PROJECT

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

再び日本から世界へ '11
開催決定!!

V-ROCK FESTIVAL '11

2011.10.23 -sun-
さいたまスーパーアリーナ

OPEN 9:30　START 11:00　END 20:30

杂志迷
zazhimi.com

http://v-rockfes.com/

杂志迷 zazhimi.com
蝴蝶网 nudie.com

in Japan
537-09
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045370913
00933